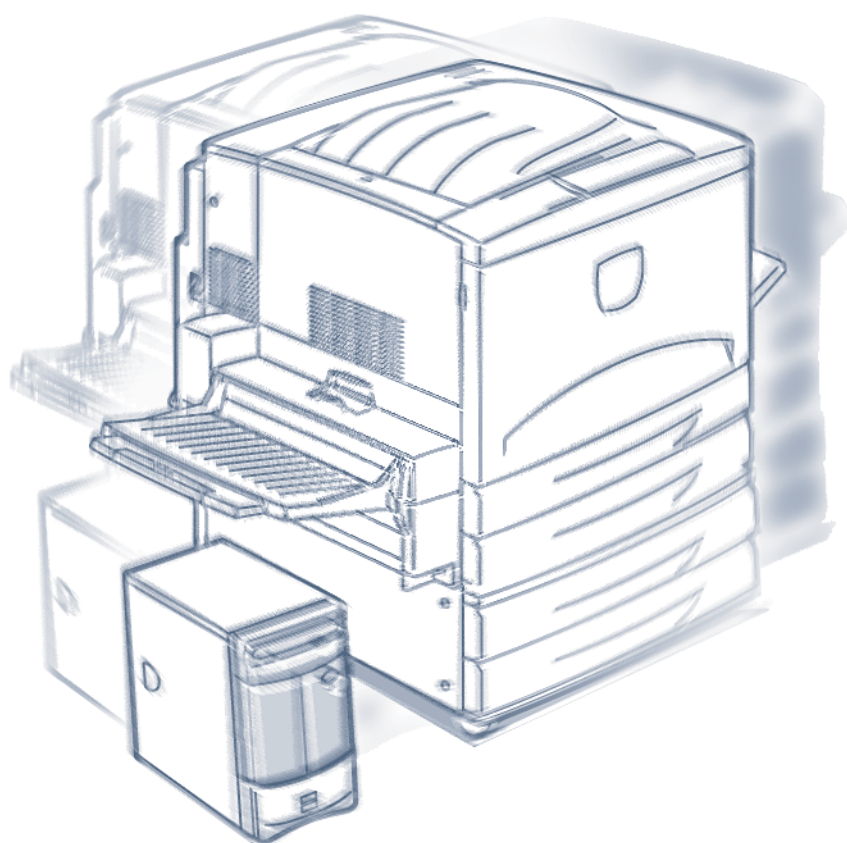
カラーレーザープリンター

# DocuPrint CG835

ドキュプリント

# 取扱説明書

THE DOCUMENT COMPANY

FUJI XEROX

「東洋インキ標準色 ver.2.0」について
本プリンターは、東洋インキ製造株式会社より「東洋インキ標準色 ver.2.0」の認定を受けています。
「東洋インキ標準色 ver.2.0」とは、東洋インキ製造株式会社が、印刷物の標準化のために定めた規格です。
「東洋インキ標準色 ver.2.0」の印刷条件は、以下の通りです。

- インキ：TK ハイユニティ
- イメージセッター：Creo Dolev 800
- 印刷機：三菱ダイヤ 304 型
- 用紙：パールコート 104.7g/m² （三菱製紙）
- スクリーン：175 線 / インチ スクエアドット

本プリンターは、大日本インキ化学工業株式会社より「DIC 標準色」の認定を受けています。
「DIC 標準色」とは、大日本インキ化学工業株式会社が印刷物の色の標準化のために定めた規格です。この規格は，アート紙上のオフセット・プロセス印刷の色範囲として設定したものです。
本プリンターは、D50 光源下で「DIC 標準色」の基準レベル「電子写真方式」に適合しています。これにより、標準的オフセット・プロセス印刷における印刷物の色を近似的にシミュレーションすることができます。

本プリンターは、「DIC 標準色」の認定を受けていますが、大日本インキ化学工業株式会社の発行している「DIC カラーガイド・プロセスカラーノート」見本帳（*1）の色と必ずしも一致するとは限りません。
本プリンターは、経時変化、環境変化等に伴う印画特性の変化により、プリント色に多少の色の誤差が生じる場合がありますのでご注意ください。
本プリンターは、製品個々および消耗品の特性バラツキにより、プリント色に多少の色の誤差が生じる場合がありますのでご注意ください。
本プリンターに搭載されている DIC 標準色プロファイルは、本プリンター用に開発されたものであり、大日本インキ化学工業株式会社が作成したオフセット標準印刷用プロファイル「DIC 標準色プロファイル（DIC Standard Color SFC)」とは異なります。
*1:「DIC カラーガイド・プロセスカラーノート」見本帳は、特色見本帳「DIC カラーガイド®」、「DIC カラーガイド®・パート 2」の色を、アート紙上、DIC 製プロセスインキを用いて近似的にプロセス印刷（黄、紅、藍、墨）の網点%の組み合わせで色再現したプロセス見本帳です。



## ご注意

① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
④ 本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
⑤ 本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。
⑥ 本製品は、外国為替および外国貿易法および / または米国輸出管理規制に定める「輸出規制貨物」に該当します。つきましては、本品を外国へ輸出する場合には、日本国政府の輸出許可および / または米国政府の再輸出許可を受ける必要があります。

# はじめに

このたびは DocuPrint CG835 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
Print Server Series（サーバー）は、Adobe PostScript を使用して、高品質のカラープリントを実現します。Print Server Series には、ネットワークプリントサーバーとして使用するために必要なソフトウエア、およびハードウエアが準備されています。
本書は、Print Server Series のパッケージに同梱されているハードウエアの接続方法、プリントサーバーとして使用するためのシステムのセットアップ方法、および本機の操作方法について説明しています。なお、富士ゼロックス（株）の保証範囲は、Print Server Series の標準構成、およびそのオプション製品に限ります。
本書の内容は、Windows 2000 Professional の基本的な操作を習得されているかたを対象に、記述しています。

富士ゼロックスプリンティングシステムズ株式会社

**ハードディスクドライブのデータ消失**
外部からの衝撃やユーザーマニュアルなどに記載された方法に従わない電源の遮断などの理由によって、本体のハードディスクに不具合が発生した場合、蓄積されたデータが消失することがあります。この場合のお客様のデータ消失による直接、間接の損害につき、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

**コンピューターウィルス関連による被害**
コンピューターウィルスに感染することによって発生した障害については、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

この取扱説明書のなかで⚠と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。
また、本書の「安全にご利用いただくために」をご一読ください。

プリンターで紙幣を印刷したり、有価証券などを不正に印刷すると、その印刷物を使用するかどうかにかかわらず、法律に違反し罰せられます。

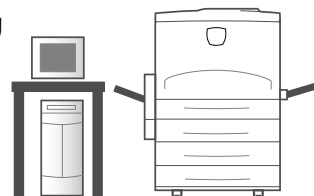
本機は、社団法人電子情報技術産業協会が定めた家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに適合しています。

受信障害について
ラジオの雑音、テレビなどの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、この商品の電源スイッチを一旦切ってください。電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。
・本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
・本機とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
・この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
・受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。（アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。）
・ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。
この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

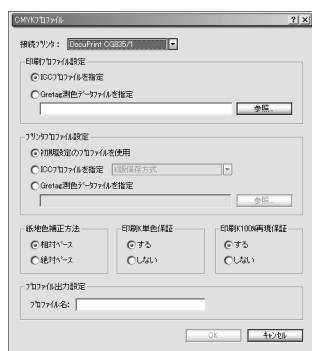
# Print Server Seriesの特長

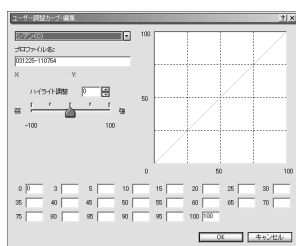
## DTP・プリプレスに<br>最適な機能を搭載

**Print Server Series は、DTP アプリケーションやイメージ作成アプリケーションからの、高度で詳細な設定を必要とするプリントに対応する、各種機能を搭載しています。**
**Print Server Series は、DTP・プリプレスに最適な環境をお届けします。**

### 色再現性変動の補正を実現するキャリブレーション。

プリント枚数による色再現性の劣化を補正する、キャリブレーション機能があります。トレイごとにキャリブレーションデータを割り付けられます。キャリブレーションは、サーバー、またはクライアントコンピューターに接続されたスキャナーを使って行います。

参照
**「2.3 キャリブレーションで色を補正する」**

### 各種プロファイルを作成・使用して、より印刷色に近い色味を実現。

印刷物をターゲットとして印刷シミュレーションをするための、より精度の高いCMYKプロファイルを作成できます。
作成には、ICC プロファイルも使用できます。

また、CMYK それぞれの色の濃度を自由に調整することができる、ユーザー調整カーブも作成できます。

「シアンが全体的に濃いめ」といったプロファイルを作成しておけば、キャリブレーションデータとの組み合わせによって、さまざまな色の変化をつけることができます。

### 何度でも使える、カラープロファイル

作成したカラープロファイルは、印刷条件が変わらない限り何度でも利用できます。
また、印刷会社、デザイン会社やクライアントなど環境が違っても、それぞれをサーバーに登録しておけば、切り替えて色味をシミュレーションできます。

参照
**「第 2 章 色の調整」**

### オーバープリントなどの機能に対応、簡易校正機としても使用可能。

ドキュメントにオーバープリントが設定されていたり、RGB 画像や、印刷で再現されにくい細線などが使用されていたりするとき、それを警告色で区別してプリントできます。
また、ディスプレイでは確認できない、オーバープリントやトラッピング、色分版も、印刷と同じ出力形態でプリントできます。
豊富なプリントオプションを活用すれば、プリンターを簡易校正機としても使用できます。

参照
**「6.2.6 画質タブ」**

### RGB 色補正と CMYK 色補正を単独に適用。

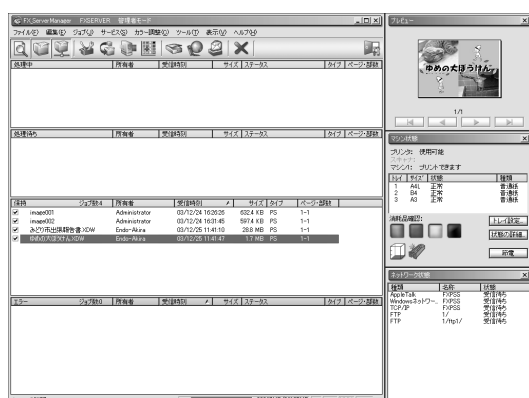
ひとつのドキュメントにRGB画像とCMYK画像が混在しているドキュメントなどに対しても、適切な色補正ができるよう、RGB 色補正と CMYK 色補正を単独に適用できます。

参照
**「6.2.3 カラータブ」**

## 快適な出力環境を提供。

**ServerManager 画面でジョブを操作**

ジョブの優先順位の変更やジョブ編集後の再プリントなど、プリントジョブを ServerManager で管理できます。

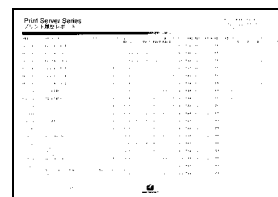
ServerManager 画面では、エラーが発生したジョブが赤文字で表示されたり、スプールに保存されるジョブには先頭にチェックマークが付くなど、重要なことがすぐわかるようになっています。

**ServerManager の環境をカスタマイズ**

ServerManager の環境をサーバー管理者が使いやすいようにカスタマイズしたり、任意の人だけが設定できるよう、特別な機能にはパスワードをつけて管理したりすることもできます。

**フォントの管理**

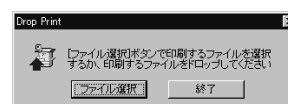
サーバーにインストールされているすべてのフォントを一覧表示したり、バックアップしたりできます。

**プリント履歴の管理**

プリントジョブの履歴を、表計算アプリケーションで編集できるCSV形式のファイルに出力できます。プリンターを共有している場合は部門やユーザーごとにプリント履歴の確認ができるので、管理がしやすくなります。

参照

「第5章 ネットワーク設定と サーバーの管理(管理者向け)」

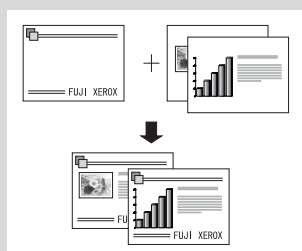
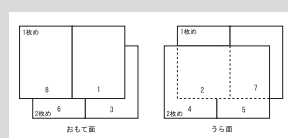
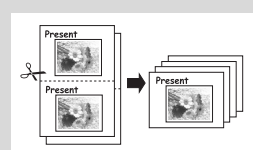
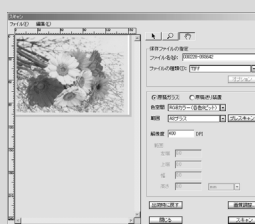
## DropPrint と WebManager を使えば、さらに便利に。

DropPrint を使えば、ドキュメントを作成したアプリケーションを持っていなくても、クライアントからプリントできます。

また、WebManager を使えば、クライアントからサーバーの状態を確認できます。

参照

「第 4 章 さらに便利に使うために」

### ■そのほか、プリントに関する便利な機能。

・差込印刷

・小冊子作成

・ダブルプリント

・スキャナー

その他
- プリント結果をプレビューで確認
- PostScript ファイルの作成
- 両面印刷微調整
- カラーパッチやコメントをつける

# 目　次

## 第 5 章　ネットワーク設定とサーバーの管理（管理者向け）

## 第 6 章 リファレンス

# マニュアル体系と本書の読み方

## マニュアルの種類

本製品では、次のマニュアルを用意しています。使用目的に合わせてご利用ください。

■お使いいただくために

同梱品のご案内と、箱を開けてから、印刷できるまでのプリンターの設置手順の概要を説明しています。まず、このマニュアルを見て、同梱品を確認してください。
そのあと、以下の取扱説明書と合わせて参照しながら、プリンターを設置してください。

■取扱説明書（プリンター編）

プリンター本体の設置手順を説明しています。
また、プリンター本体の電源の入 / 切、用紙のセット方法、紙づまりの処置、消耗品の交換など、日常プリンターを使用するときに必要なことがらについて説明しています。

■取扱説明書（サーバー編）　＜本書＞

Print Server Series のパッケージに同梱されているハードウエアの接続方法、プリントサーバーとして使用するためのシステムのセットアップ方法、および Print Server Series の操作方法について説明しています。

## 前提知識と前提条件

本書は、サーバーとして本機を日常で使用するときに読んでいただきたいマニュアルです。本書の内容は、お使いの OS の環境の基本的な知識や操作方法を習得されていることを前提に、Print Server Series（以降、サーバーと呼びます）のクライアントアプリケーションをはじめて使用するかたから、サーバーを管理するかたまでを対象に説明しています。お使いの OS の基本的な知識や操作方法については、OS に付属の説明書をお読みください。また、本書を読み始める前に、次の項目を確認してください。

■接続対象となる機器やソフトウエアが明確になっていること

■本機を接続するために必要な製品については、販売店やカタログなどからの情報によって、準備できていること

# 読み方のヒント

マニュアルの読むべき章を、役割別にまとめます。参考にしてください。

■クライアント

サーバー管理者に確認後、第 7 章を参照してドライバーをインストールしてください。次に第 1 章を参照して、ServerManager の基本操作とクライアントからの操作を覚えてください。
色の調整をするかたは、第 2 章を参照してください。

■サーバー管理者

まず、第 5 章を参照してサーバーを使う準備をしてください。
その後、ServerManager の環境を使いやすいように設定してください。
あとは、必要な機能の章を参照してください。

# 本書の表記

①本文中の「コンピューター」は、パーソナルコンピューター、Macintosh、ワークステーション、ホスト装置の総称です。

②本文中では、説明する内容によって、以下のマークを使用しています。

注記 注意すべき事項を記述しています。必ずお読みください。

補足 補足事項を記述しています。

参照 参照先を記述しています。

③本文中では、以下の記号を使用しています。

参照「　　」：参照先は、本書内です。

参照『　　』：参照先は、本書内ではなく、ほかの説明書です。

「　　」：フォルダ、ファイル、アプリケーション、CD-ROM、機能などの名称や入力文字などを表します。

[　　]：コンピューター上のメニュー、コマンド、ウィンドウやダイアログボックスとそれらに表示されるボタンやメニュー、項目などの名称を表します。

〈　　〉キー：キーボード上のキーを表しています。

④チェックボックスがチェックされている状態をオン、チェックされていない状態をオフで表します。

⑤ラジオボタンは、チェックされている項目が、選択されている項目です。

# 本書の構成

**本書は、以下のような構成になっています。**
**第5章には、サーバー管理者向けの情報がまとめられています。**
**第 6 章は、各種ソフトウエアの画面やメニューから設定できる項目が探せるようになっています。**

# 安全にご利用いただくために

機械を安全にご利用いただくために、本機をご使用になる前には必ず「安全にご利用いただくために」を最後までお読みください。
『取扱説明書（プリンター編）』の「安全にご利用いただくために」も、あわせてごらんください。

各図記号は以下のような意味を表しています

⚠警告　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があると思われる事項があることを示しています。

⚠注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負うことが想定される内容および物的損害の発生が想定される事項があることを示しています。

△記号は、製品を取り扱う際に注意すべき事項があることを示しています。指示内容をよく読み、製品を安全にご利用ください。

高温注意

発火注意

感電注意

指はさみ注意

⃠ 記号は、行ってはならない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。

禁　止

火気禁止

分解禁止

接触禁止

● 記号は、必ず行っていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。

指　示

プラグを抜け

アース線を接続せよ

## 設置および移動時の注意

### ⚠注意

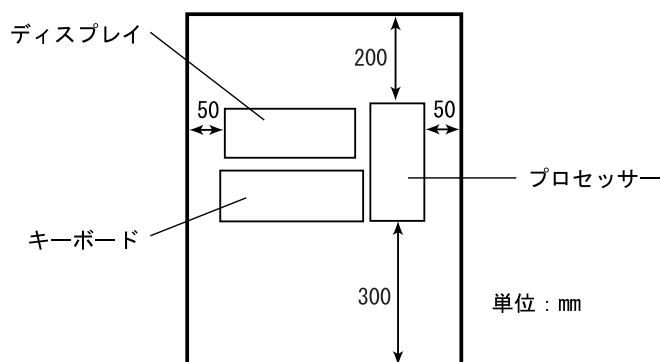
高温、多湿の場所や換気が悪くホコリの多い場所には機械を設置しないでください。発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。

ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものに近い場所には機械を設置しないでください。火災の原因となるおそれがあります。

機械は、重さに耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。機械の転倒などによりケガの原因となるおそれがあります。

プロセッサー：10.0kg（オプション装着時）
ディスプレイ：4.5kg
キーボード：1.0kg（マウスを含む）

機械を持ち上げるときには、十分にひざを折り、腰を痛めないように注意してください。

**機械の後部には通気口があります。機械は壁から 200㎜ 以上離して設置してください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。また、機械の操作および日常の点検など、機械を正しく使用し、機械の性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。**
**以下の設置スペース(上部から見た図)は、DocuPrint CG835 のサーバー部分だけを記載しています。プリンター部の設置スペースについては、『取扱説明書(プリンター編)』をごらんください。**

**機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源コードが傷つき、発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。**
**火災や感電の原因となるおそれがあります。**

**機械を移動する場合は、機械を 10 度以上に傾けないでください。**
**転倒などによるケガの原因となるおそれがあります。**

## その他

- **いつも良い状態でご使用いただける環境の範囲は次のとおりです。**
  **温度 10 ～ 35 ℃　湿度 15 ～ 80%（結露がないこと）**

- **直射日光が当たる場所には機械を置かないでください。故障の原因となることがあります。**

## 電源およびアース接続時の注意

⚠警告

電源プラグやコンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、湿気などにより表面に微小電流が流れ、発熱による火災のおそれがあります。

電源プラグは、定格電圧 100V で、定格電流 15A 以上のコンセントに差し込んでください。なお、本機の定格電源は、プリンターが100V、11A、プロセッサーが100V、2A、そして、ディスプレイが 100V、1.5A となっております。

プリンター、プロセッサー、ディスプレイを同時にテーブルタップでご使用になれます。その場合、それぞれの電源プラグは、定格が 125V、15A で最大 1,500W までのテーブルタップに差し込んでください。また、テーブルタップには、プリンター、プロセッサーおよびディスプレイ以外の機器を接続しないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。

延長コードは、定格(125V、15A)未満のものは使用しないでください。発熱による火災のおそれがあります。なお、延長コードが必要な場合は、お買い求めの販売店またはプリンターサポートデスクにご相談ください。

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。また重いものを載せたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、発熱による火災や感電のおそれがあります。

電源プラグは絶対に濡れた手で触らないでください。感電のおそれがあります。

万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、電源プラグから出ているアース線を、次のいずれかに取り付けてください。
・電源コンセントのアース端子
・銅片などを 650㎜ 以上地中に埋めたもの
・接地工事(D 種)を行っている接地端子

ご使用になる電源コンセントのアースをご確認ください。アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、お買い求めの販売店またはプリンターサポートデスクにご相談ください。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。
・ガス管(引火や爆発の危険があります。)
・電話専用アース線および避雷針(落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。)
・水道管や蛇口(配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。)

電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）、お買い求めの販売店またはプリンターサポートデスクに交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電のおそれがあります。

次のようなときには直ちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店またはプリンターサポートデスクにご連絡ください。そのまま使用を続けると火災のおそれがあります。
・機械から発煙したり、機械の外側が異常に熱くなったとき
・異常な音やにおいがするとき
・機械の内部に水が入ったとき

付属のACアダプター、充電器以外を使用しないでください。火災、感電、故障のおそれがあります。

## ⚠注意

機械の電源スイッチを入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。アークによりプラグが変形し、発熱による火災の原因となるおそれがあります。

システムの定格電圧 100V と異なった電源電圧での使用は行わないでください。機能トラブルもしくは、発熱による発火、感電の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。

1か月に一度は機械の電源スイッチを切り、次のような点検をしてください。なお、異常がある場合は弊社のテレフォンセンターまたは販売店までご連絡ください。
・電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれていますか。
・電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどはありませんか。
・電源プラグやコンセントに細かいホコリがついていませんか。
・電源コードにき裂やすり傷などはありませんか。

連休などで長期間、機械をご使用にならないときは、安全のために電源スイッチを切り、ディスプレイが消灯してから、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となるおそれがあります。

機械の清掃および保守、故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、ディスプレイが消灯してから、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械の清掃や保守を行うと、感電の原因となるおそれがあります。

インターフェイスケーブルを接続するときは、必ず本機の電源スイッチを切ってください。感電の原因となるおそれがあります。

## その他

- ラジオの雑音、テレビ画面のチラツキやゆがみなどの電波障害が発生し、電波障害の原因が本機であると考えられる場合は、本機の電源を切って電波障害がなくなるかどうか確認してください。電源を切ると電波障害がなくなるようであれば、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。
  ・本機とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
  ・本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
  ・本機とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
  ・受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。
  （アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。）
  ・ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

## 機械使用上の注意

### ⚠警告

機械の上に花瓶、植木鉢、コップなど水の入った容器を置かないでください。水がこぼれた場合、火災や感電のおそれがあります。

機械の上に金属類を置かないでください。すき間から内部に、クリップやホチキスの針のような金属類や燃えやすいものが入り込むと、機械内部がショートし、火災や感電のおそれがあります。

万一、異物(金属片、水、液体)が内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、ディスプレイが消灯してから、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、お買い求めの販売店またはプリンターサポートデスクにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電のおそれがあります。

機械を改造したり、部品を変更して使用しないでください。火災のおそれがあります。

### ⚠注意

機械の上に重い物を載せないでください。機械のバランスが崩れて倒れたり、重い物が落下してケガの原因となるおそれがあります。

### その他

- フロッピーディスクには、磁気を帯びたものを近づけないでください。フロッピーディスクに記憶されているデータが失われる場合があります。

# 1章

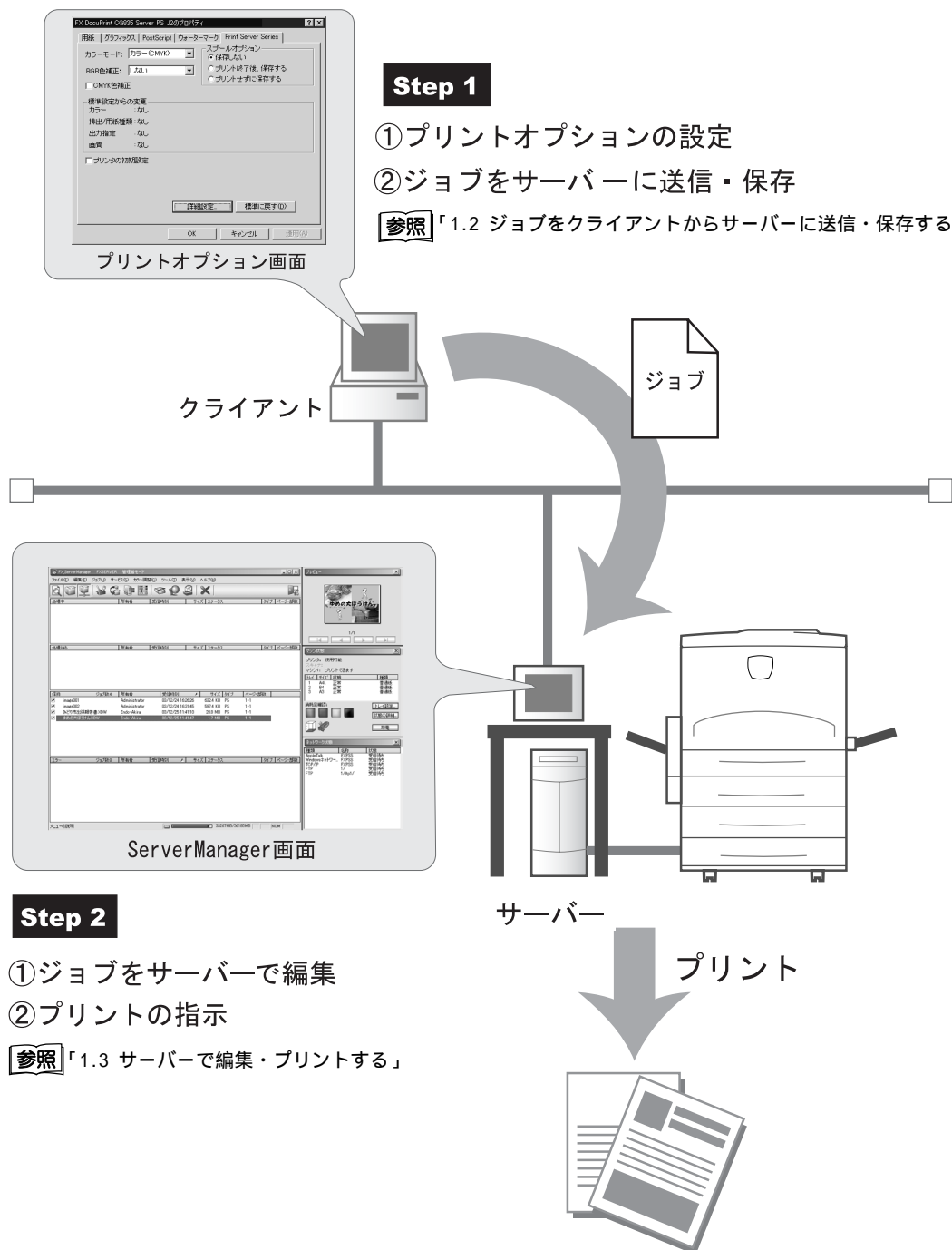
# 基本的な操作



この章では、サーバーの基本的な操作について説明します。
サーバーをはじめて使うときに、お読みください。

# 1.1 プリントの流れ

**クライアントからのプリントは、次の流れで行います。**

補足
お客様がご使用になるコンピューターやシステム構成によって、異なる場合があります。

- **わからない用語があったときは、「付録0 用語集」を参考にしてください。**
- **サーバーの操作中にトラブルが発生したときは、「第8章 困ったときは」を参照し、対処してください。**

# 1.2 ジョブをクライアントからサーバーに送信・保存する

**色の調整をはじめ、いろいろな機能を利用するために、ジョブをクライアントからサーバーに送信し、スプールに保存します。**

### ■操作の前に

- サーバーのセットアップと各種設定が完了している必要があります。サーバー管理者に確認してください。
- クライアントのコンピューターに、プリンタードライバーなどのソフトウエアをインストールしていない場合は、「第7章 クライアントソフトウエアのインストール」を参照してください。



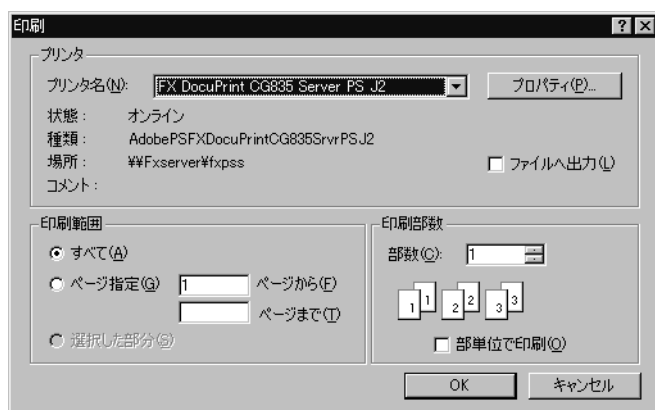
## 1.2.1 基本的な送信の仕方

### Windows の場合

**ドキュメントの基本的な送信の仕方は、次のとおりです。**
**ここでは、Windows 98 のワードパッドを例に説明します。その他の OS での手順も同様です。**

操作手順

**1 アプリケーションの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。**

［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

**2 ［プリンタ名］を Print Server Series のサーバーに設定し、［プロパティ］をクリックします。**

**3** **表示されたダイアログボックスの［Print Server Series］タブにある［スプールオプション］から、［プリント終了後、保存する］または［プリントせずに保存する］を選択します。**

補足
表示されるプリントオプション項目は、プリンタードライバーによってタブ形式とそうでないものがありますが、機能は同じです。

**4** **必要に応じて、その他のプリントオプションを設定します。**

参照
プリントオプションの詳細については、「6.2 プリントオプション」を参照してください。

**5** **［OK］をクリックし、［印刷］ダイアログボックスで［OK］をクリックします。**

ジョブがサーバーに送信されます。

**6** **必要であれば、WebManagerを起動してジョブを確認します。**

WebManagerを使うと、プリントジョブを表示したり、一時的にプリントを停止したり、プリント待ち行列からジョブを削除したりできます。

参照
WebManagerの使い方については、「4.4 Webブラウザーでジョブを管理する」を参照してください。

**引き続き、「1.3 サーバーで編集・プリントする」に進んでください。**

### Macintosh の場合

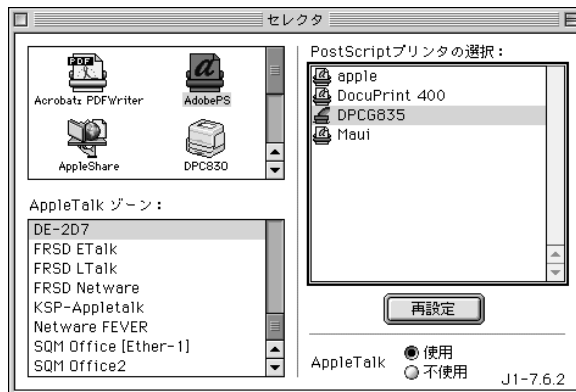
**Macintosh のアプリケーションからサーバーにプリントする手順について説明します。**

操作手順

**1 セレクタ（漢字 Talk 7.6.1 以降）またはプリントセンター / プリンタ設定ユーティリティ（Mac OS X）で、Print Server Series のサーバーを、使用するプリンターとして選択します。**

以下は、Mac OS 9.1 の例です。

補足

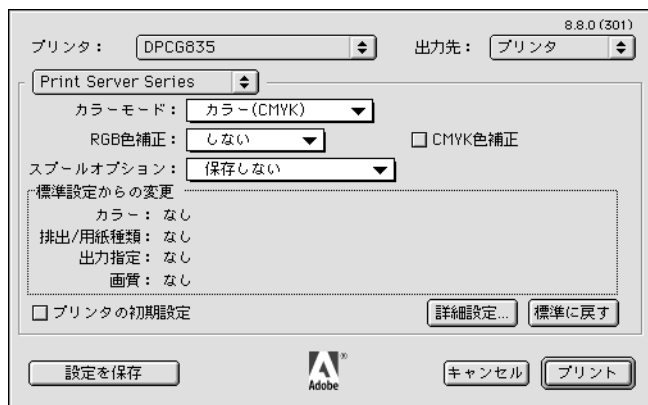
- PageMaker からプリントする場合は、PageMaker 用の PPD ファイル（「FX DocuPrint CG835 PSS-51 PM J2」）を使用します。選択されている PPD ファイルの確認、および PPD ファイルの変更方法については、「7.6 Macintosh 用プリンタードライバーのインストール」を参照してください。
- サーバーの名称やゾーン名がわからない場合は、使用しているネットワーク管理者に確認してください。

**2 プリンターが選択できたら、セレクタ（漢字 Talk 7.6.1 以降）またはプリントセンター / プリンタ設定ユーティリティ（Mac OS X）を閉じます。**

**3 アプリケーションの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

プリントダイアログボックスが表示されます。

基本的な操作

1

## 4 ［出力先］から［プリンタ］を選択し、左上にあるメニューから、［Print Server Series］を選択します。

## 5 ［詳細設定］をクリックします。

プリントオプションの詳細を設定するダイアログボックスが表示されます。

## 6 ［出力指定］タブを選択して、［スプールオプション］から、［プリント終了後、保存する］または［プリントせずに保存する］を選択します。

## 7 必要に応じて、その他のプリントオプションを設定します。

参照

プリントオプションの詳細については、「6.2 プリントオプション」を参照してください。

注記

Print Server Series のサーバーは、AdobePS プリンタードライバーのレイアウト機能（両面印刷）には対応していません。

**8** **[設定] をクリックし、プリントダイアログボックスで [プリント] をクリックします。**

ジョブがサーバーに送信されます。

**9** **必要であれば、WebManager を起動してジョブの状態を確認します。**

WebManager を使うと、プリントジョブを表示したり、一時的にプリントを停止したり、プリント待ち行列からジョブを削除したりできます。

参照

WebManager の使い方については、「4.4 Web ブラウザーでジョブを管理する」を参照してください。

**引き続き、「1.3 サーバーで編集・プリントする」に進んでください。**

# 1.3 サーバーで編集・プリントする

サーバーで受信したジョブを、ServerManager を使って編集し、プリントを指示します。
ここでは、ServerManager の主な機能と操作方法について説明します。
各機能の詳細は、「第 6 章 リファレンス」を参照してください。

## 1.3.1 ServerManager のウィンドウ

ServerManager は、次の 4 つのウィンドウから構成されています。

①FX_ServerManager ウィンドウ
「ジョブ管理リスト」には、クライアントから送信・保存されたジョブが表示されます。ジョブの状態には、処理中、処理待ち、保持、およびエラーの 4 つがあります。
また、「ステータスバー」には、メニューのヘルプ情報と、ディスク容量の情報が表示されます。

②プレビューウィンドウ
ジョブ管理リストで選択したジョブの、プレビュー画像が表示されます。

**③マシン状態ウィンドウ**
**プリンターの現在の状態が表示されます。**
**［トレイ設定］ボタンをクリックすると、各トレイの用紙の種類や特 A3 トレイの用紙サイズを設定できます。**
**［状態の詳細］ボタンをクリックすると、ポップアップウィンドウが表示され、マシン状態の詳細が確認できます。**
**［節電］ボタンをクリックすると、節電モードに移行します。節電モードのときは、［節電解除］と表示され、クリックすると節電モードが解除されます。**

**④ネットワーク状態ウィンドウ**
**利用できるネットワークの現在の状態が表示されます。**

## 受信したジョブを確認する

**［スプールオプション］でサーバーに保存するように設定したジョブは、ジョブ管理リストの保持リストに表示され、先頭のチェックボックスがオンになっています。**

| 保持 | ジョブ数:2 | 所有者 | 受信時刻 |
|---|---|---|---|
| ☑ | ドキュメント.doc | Endo-Akira | 02/07/31 16:24:31 |
| ☑ | Report1.doc | Endo-Akira | 02/07/31 16:36:30 |

**このチェックボックスをオンまたはオフにすると、ジョブを保存するかどうかを変更できます。処理中のジョブに対しても操作できます。チェックボックスがオフになっているジョブは、プリントなどの処理が終了すればジョブ管理リストから削除されます。**

補足

- 通常、ウィンドウ内の文字の色は黒で表示されますが、ジョブの状態によって赤やオレンジなどの色文字が使われるものもあります。
- ジョブに色文字が使われていたり、ジョブ管理リストのエラーリストに表示されているときは、「第 8 章 困ったときは」を参照し対処してください。

## ログインモードの表示

**［FX_ServerManager］ウィンドウ左上には、サーバー名と ServerManager にログインしたモードが表示されています。**
**システムの運用に影響するような ServerManager の設定や、セキュリティープリントの設定がされているジョブの操作などを、制限なく行うには、管理者でログインしている必要があります。**

参照

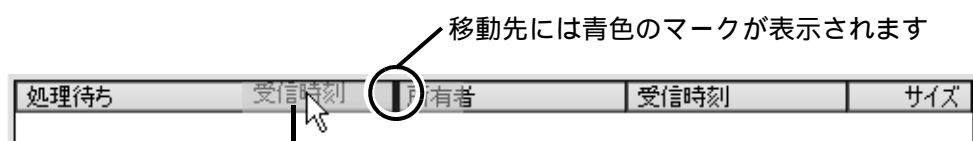
ログインモード、およびログインの操作方法については、「5.3.5 ログインモードの設定」を参照してください。

## カラム幅の変更

各ジョブ管理リストの、ヘッダー部分の右側をドラッグすることで、各カラムの幅を変更できます。

## カラムの移動

各ジョブリストの移動させたい項目のカラムを選択し、移動したい場所までドラッグします。

■「受信時刻」を「所有者」の前に移動する場合

## ジョブリストのソート

保持リストとエラーリストでは、指定した項目をキーにして、ジョブを昇順または降順にソートして表示できます。ソートしたい項目のカラム上でクリックすると、△マークが表示され、昇順にソートされます。昇順（△）と降順（▽）は、1 回クリックするごとに、切り替わります。
デフォルトは、「受信時刻」の昇順にソートされています。

■「ジョブファイル名」の昇順にソートする場合

| 保持 | ジョブ数 | 所有者 | 受信時刻 | サイズ |
|---|---|---|---|---|
| ☑ | Microsoft Word - 10Report.doc | Endo-Akira | 02/08/14 09:04:59 | 59.4 KB |
| ☑ F | Microsoft Word - 報告書.doc | Endo-Akira | 02/08/14 09:03:48 | 28.0 KB |
| ☑ S | presen.pdf | Endo-Akira | 02/08/14 09:02:52 | 711.5 KB |

このカラム上で 1 回クリックします。△マークが表示されます。

## 1.3.2　ジョブの編集

**ジョブ管理リストにあるジョブを選択して、次のことができます。**

- **ジョブ管理リスト間をドラッグして移動し、ジョブの状態や処理の順番を変更**
- **ServerManager のメニューを実行**
- **右クリックで表示されるポップアップメニューの項目を実行**

補足

- ジョブに対する操作は、選択されたすべてのジョブが対象になります。ただし、選択したジョブやジョブの数によって、使用できるメニューの項目は異なります。
- 複数のジョブを選択する場合は、Windowsのファイル選択と同じように、<Ctrl>キーまたは<Shift> キーを使用して選択します。
- 一般ユーザーでログインしている場合、セキュリティープリントが設定されているジョブを操作するためには、パスワードの入力が必要です。

**[ジョブ] メニューから [ジョブ編集] を選択して表示された [ジョブ編集] ダイアログボックスで、各タブの項目を変更できます。**

補足

ダイアログボックスの右上に［?］ボタンがある場合は、ダイアログボックス内の項目に関する説明を画面上に表示できます。詳細は、「6.1.5 ダイアログボックス内の項目の説明」を参照してください。

注記

処理中のジョブに対して、編集はできません。

## 1.3.3　プリフライトでエラーのチェック

### ■プリフライトとは

**プリフライトとは、プリントする前に、ジョブにエラーがないかどうかを確認する機能です。たとえば、ジョブで使用しているフォントがサーバーにインストールされているかどうかを確認できます。**

■プリント例より

**エラーをチェックするときは、［ジョブ］メニューの［プリフライトレポートの作成］を使って、チェック結果をプリフライトレポートとして作成します。**
**レポートをプリントするときは、［ジョブ］メニューの［プリフライトレポートの印刷］を使います。**

## 1.3.4　プリントの指示

**ジョブの編集やプリフライトチェックが完了したら、プリントを指示します。**
**プリントするときは、ジョブをドラッグして処理待ちリストに移動します。**
**［ジョブ編集］ダイアログボックスが表示されている場合は、［プリント］をクリックします。**

**■ジョブ管理リストから**

**処理待ちリストにドラッグします。**

**■［ジョブ編集］ダイアログボックスから**

**上記のほかにも、プリントの指示には次の方法があります。**

- **ServerManager の［ジョブ］メニューから［再開］を実行**
- **右クリックで表示されるポップアップメニューから［再開］を実行**

## 1.3.5 エラーシートがプリントされたら

**プリント処理中に PostScript エラーが発生すると、エラーシートがプリントされます。エラーシートには、エラーの内容が記述されています。**
**シートを参照して、ジョブのドキュメントの設定を確認してください。**

参照

エラーシートは、エラーが発生したときにプリントするよう、デフォルトで設定されています。エラーシートをプリントしないように設定を変更したい場合は、「5.3.1 ServerManager の環境設定」を参照してください。

■エラーの内容の例

```
%%{Error:undefined spot color,(DIC 2349p)]%%
%%[Flushing:reset of job (to end-of-file) will be ignored]%%
```

# 色の調整



この章では、色の調整機能について説明します。

人間の目で色の微妙な違いを判断することは、簡単にはできません。
しかし、スキャナーや測色器を使えば、色をデータとして扱えるので、計算によって自動的に色を安定させる補正をしたり、商業印刷をシミュレーションするカラープロファイルを作成したりできます。

# 2.1 色の調整でできること

## 色の調整でできる主な機能

### ■プリント結果を安定させるキャリブレーション

**プリント枚数による色再現性の劣化を補正する、キャリブレーション機能があります。**
**キャリブレーションは、サーバー、またはクライアントコンピューターに接続されたスキャナーを使って行います。**

参照
「2.3 キャリブレーションで色を補正する」

### ■RGB カラープロファイルの作成

**モニターやスキャナーで使用した ICC プロファイルを、サーバーのカラープロファイルとして登録できます。このプロファイルを使用してプリントすれば、印刷機に近い色味で校正出力ができます。**

参照
「2.4 RGB 用 ICC プロファイルを読み込む」

### ■CMYK プロファイルの作成

**印刷物をターゲットとして印刷シミュレーションをするための、より精度の高い CMYK プロファイルを作成できます。作成には、ICC（International Color Consortium）プロファイルも使用できます。**

参照
「2.5 CMYK プロファイルを作成する」

### ■CMYK カラープロファイルを使った印刷シミュレーション

**CMYK プロファイル作成機能で作成したプロファイル、または TypeD プロファイルを指定して、オフセット印刷の色味をシミュレーションできます。**
**また、印刷会社、デザイン会社やクライアントなど環境が違っても、それぞれをサーバーに登録しておけば、切り替えて色味をシミュレーションできます。**

参照

- 「2.2 プロファイルを使用した カラーシミュレーションの流れ」
- 「6.2.3 カラータブ」


### ■ユーザー調整カーブによる CMYK 調整

**ユーザー調整カーブを作成すれば、CMYK それぞれの色の濃度を自由に調整できます。**

参照
「2.7 ユーザー調整カーブを作成する」

# 2.2 プロファイルを使用したカラーシミュレーションの流れ

**プロファイルを使用したカラーシミュレーションの流れを説明します。**

デバイスを調整

**Step1**

スキャナーを調整します。

参照「2.8 スキャナーの使い方と調整」

プリンターをキャリブレーション

**Step2**

プリンターのキャリブレーションをします。

参照「2.3 キャリブレーションで色を補正する」

プロファイルの用意

**Step3**

ICCプロファイルを読み込みます。
プロファイルを用意するか、
サーバーで作成します。

参照「2.4」～「2.8」の各節

ジョブの編集と最終チェック

**Step4**

クライアントからジョブを送信。
サーバーでジョブを最終チェックします。

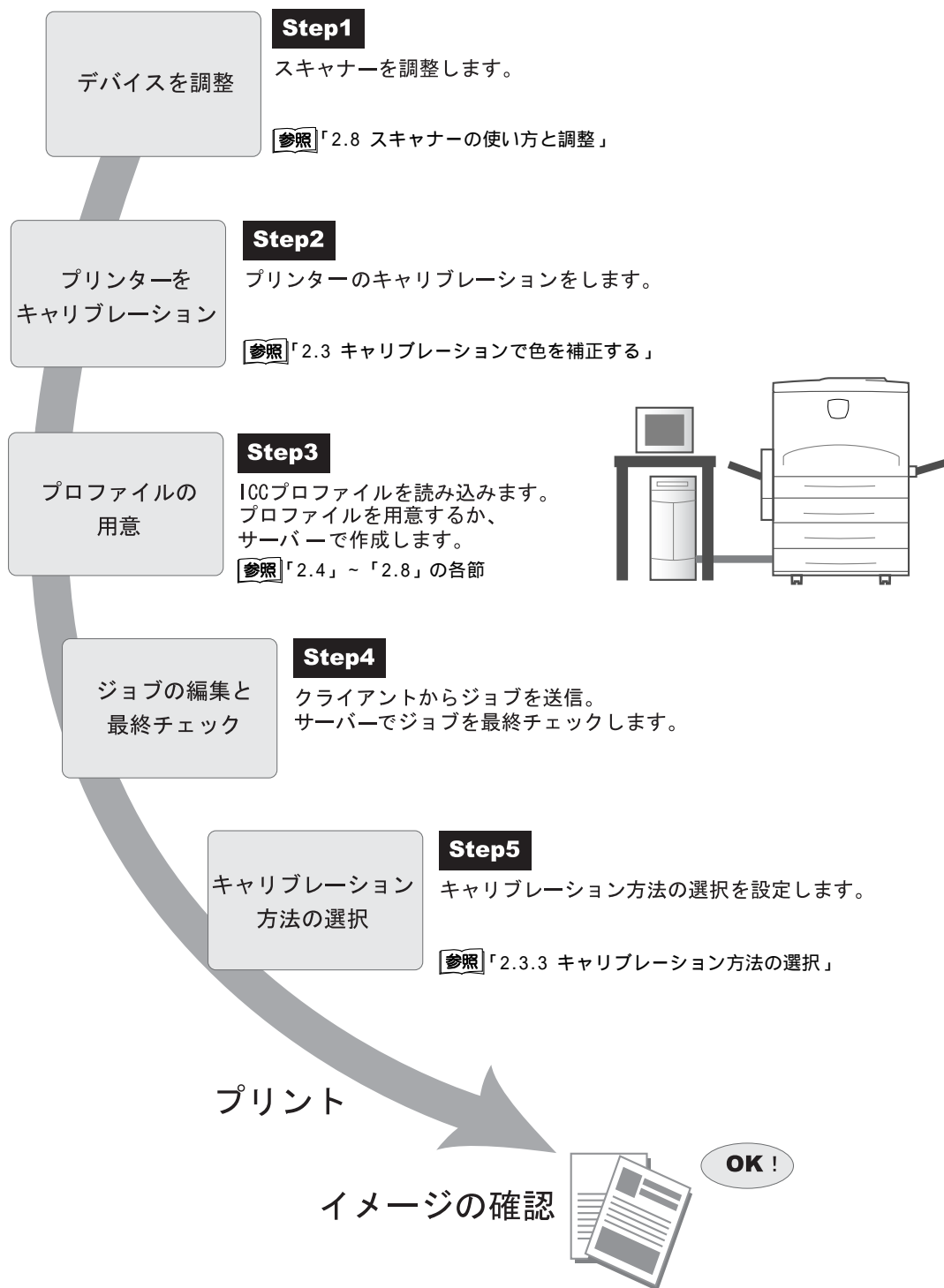
キャリブレーション方法の選択

**Step5**

キャリブレーション方法の選択を設定します。

参照「2.3.3 キャリブレーション方法の選択」

プリント

イメージの確認

# 2.3 キャリブレーションで色を補正する

**キャリブレーションを使用した色補正について説明します。**

## キャリブレーションについて

**プリンターは、使用環境やプリント枚数などによって、プリントされる色が変化してしまいます。キャリブレーションとは、このような変化を補正する機能です。**
**作成したキャリブレーションデータを、任意の用紙トレイに割り当てます。**

注記
- キャリブレーションは、1週間に1度程度、設置場所の温度や湿度の安定しているときに行ってください。出力を安定させたいときには必要に応じて、キャリブレーションを行ってもかまいません。
- キャリブレーション中は、受信ジョブはRIP処理されません。



## キャリブレーションの種類

**DocuPrint CG835では、次のような方法でキャリブレーションができます。**

**■自動キャリブレーション**

**キャリブレーションシートを、サーバー、またはクライアントコンピューターに接続されたスキャナーから読み込む方法です。以下のスキャナーが使用できます。**

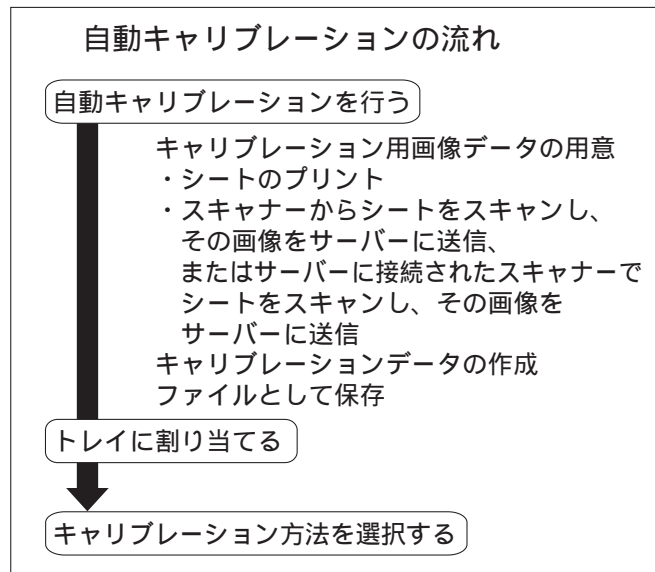
**＜サーバーに直接接続されたスキャナー＞**
- **EPSON ES-8500**
- **EPSON ES-2200**

**＜クライアントコンピューターに接続されたスキャナー＞**
- **DC1255（DocuColor 1255）**
- **EPSON GT-9700F**
- **EPSON ES-2200**

補足
自動キャリブレーションに使用できる、その他のスキャナーについては、リリースノートをごらんください。

## 2.3.1 スキャナーを使用した自動キャリブレーション

**自動キャリブレーションデータを、新規に作成する手順について説明します。**

注記
正しいキャリブレーション結果を得るためには、自動キャリブレーションを行う前に「2.8 スキャナーの使い方と調整」を参照して、スキャナーを調整してください。

## キャリブレーション用画像データの用意

**まず、キャリブレーションシートをサーバー、またはクライアントコンピューターに接続されているスキャナーでスキャンします。**

補足

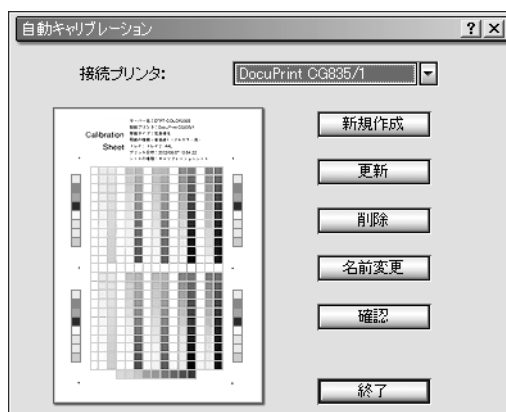
- キャリブレーションシートをプリントするため、用紙トレイにA4サイズ以上の用紙をあらかじめセットしておきます。
- キャリブレーションには、J紙（弊社標準紙）を使用してください。

操作手順

**1** **ボタンをクリックします。**

［自動キャリブレーション］ダイアログボックスが表示されます。

補足

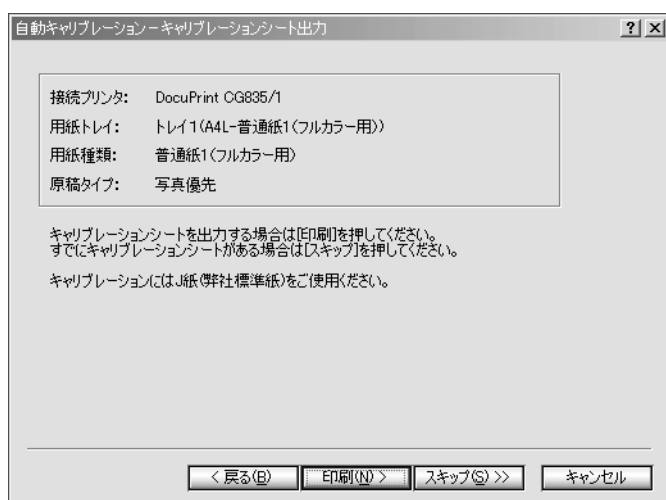
［カラー調整］メニューから［自動キャリブレーション］を選択しても、［自動キャリブレーション］ダイアログボックスを表示できます。

**2** **［接続プリンタ］から、キャリブレーションをするプリンターを選択し、［新規作成］をクリックします。**

［自動キャリブレーション - 出力設定］ダイアログボックスが表示されます。

**3** **出力する［トレイ］、［原稿タイプ］、［排出先］を指定し、［次へ］をクリックします。**

補足

プリントオプションで、［原稿タイプ］から［文字 / 写真（写真優先）］を選択した場合は、［写真優先］に割り当てられたキャリブレーションデータが使用されます。［文字 / 写真（文字優先）］を選択した場合は、［文字優先］に割り当てられたキャリブレーションデータが使用されます。

［自動キャリブレーション - キャリブレーションシート出力］ダイアログボックスが表示されます。

**4** **設定した内容を確認し、［印刷］をクリックします。**

しばらくすると、はじめにマシン調整シートがプリントされ、続いてキャリブレーションシートがプリントされます。

［自動キャリブレーション - キャリブレーションシート確認］ダイアログボックスが表示されます。

注記

プリントされたキャリブレーションシートの各パッチに、汚れや色ムラがないことを確認してください。汚れなどがあった場合は、再度プリントしてください。

**5** **キャリブレーションシートが正しくプリントされていることを確認します。**

**6** **キャリブレーションシートをクライアントコンピューターに接続されているスキャナーでスキャンする場合は、［自動キャリブレーション - キャリブレーションシート確認］ダイアログボックスの［キャンセル］をクリックして作業を中断します。**

参照

クライアントコンピューターに接続されているスキャナーでキャリブレーションシートをスキャンする方法については、「2.8 スキャナーの使い方と調整」を参照してください。

**キャリブレーションシートをサーバーに直接接続されているスキャナーでスキャンする場合は、［自動キャリブレーション - キャリブレーションシート確認］ダイアログボックスの［次へ］をクリックして、後述の「自動キャリブレーションデータの作成」の手順 3 に進みます。**

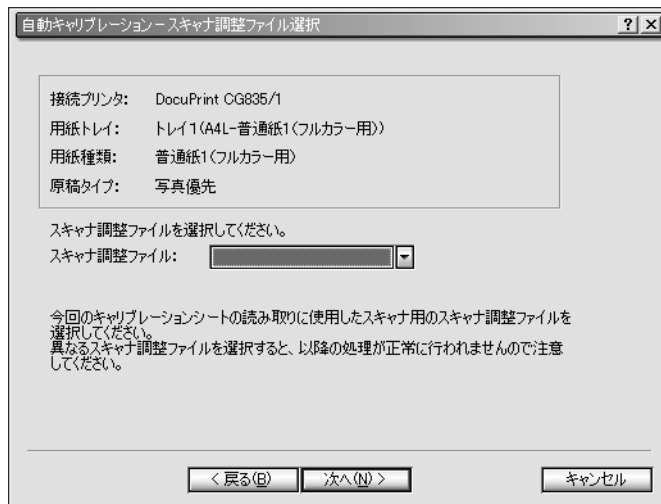
## 自動キャリブレーションデータの作成

操作手順

**1　前述の「キャリブレーション用画像データの用意」の手順 1 ～ 3 までを実行します。**

［自動キャリブレーション - キャリブレーションシート出力］ダイアログボックスが表示されます。

**2　ここでは、キャリブレーションシートをプリントする必要がないので、［スキップ］をクリックします。**

［自動キャリブレーション - スキャナ調整ファイル選択］ダイアログボックスが表示されます。

**3　［スキャナ調整ファイル］を選択し、［次へ］をクリックします。**

注記
スキャナ調整ファイルには、使用しているスキャナーに合ったファイルを選択してください。

［自動キャリブレーション - キャリブレーションシート読み込み］ダイアログボックスが表示されます。

## 4 サーバーに接続されたスキャナーから読み込む場合は、[スキャナから] を選択します。

**クライアントコンピューターに接続されたスキャナーで、スキャンしたキャリブレーションシートを読み込む場合は、[画像ファイルから]を選択します。**

補足

[スキャナから] は、[サーバーの環境設定] の [スキャン] タブで、[スキャナを使う] チェックボックスがオンになっているときに選択できます。

## 5 [スキャナから] を選択した場合は、プリントされたキャリブレーションシートをスキャナーにセットします。

補足

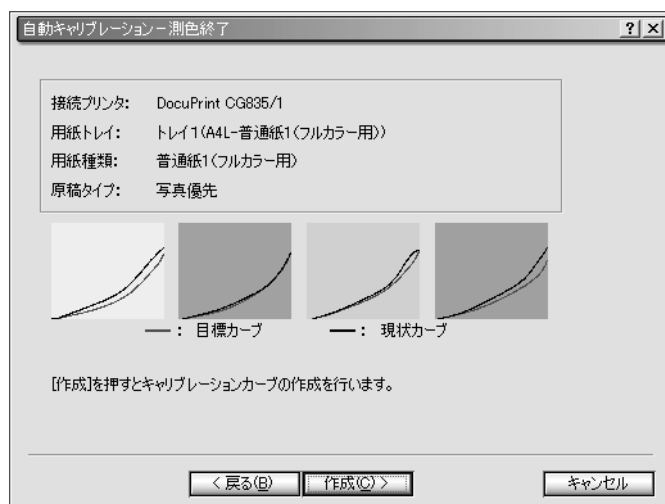
キャリブレーションシートの上に白紙を 5 枚以上重ねて置いてください。

**[画像ファイルから] を選択した場合は、[参照] をクリックしてキャリブレーションシートの画像ファイルを指定します。**

## 6 [読み込み] をクリックします。

補足

- DropPrint2 を使ってサーバーに送信された画像ファイル（TIFF）は、「D:\FujiXerox\PrintServerSeries\cpsi\ColorProfile\Calibration\DPCG835_1\AutoCalibration」フォルダに保存されています。DropPrint2 については、「4.3 DropPrint2 を使ってプリントする」を参照してください。
- キャリブレーションシートから読み取られたパッチ濃度の状態によっては、プリンターの濃度調整を行う必要があります。この場合には、自動的に濃度調整を行う画面になるので、指示に従って濃度調整を行ってください。そのあとで、自動キャリブレーションを最初からやり直してください。濃度調整についての詳細は、後述の「●●● 濃度調整」を参照してください。

測色が始まります。
測色が終了すると、[自動キャリブレーション - 測色終了] ダイアログボックスが表示されます。

## 7　［作成］をクリックします。

測色した結果を保存するための［自動キャリブレーション - 保存］ダイアログボックスが表示されます。

## 8　［キャリブレーションファイル名］にファイル名を入力し、［保存］をクリックします。

補足
ファイル名のデフォルトは、「YYMMDD-HHMMSS」です。

［自動キャリブレーション - 割り当て］ダイアログボックスが表示されます。

## 9　キャリブレーションファイルを、選択しているトレイ、および原稿タイプに割り当てるかどうかを選択し、［OK］をクリックします。

測色した結果が新しいキャリブレーションファイルとして保存され、［自動キャリブレーション］ダイアログボックスに戻ります。ダイアログボックスを閉じるときは、［終了］をクリックします。

**引き続き、「2.3.2 キャリブレーションデータの割り当て」に進んでください。**

### 自動キャリブレーションデータの更新

**自動キャリブレーションのデータを更新したい場合は、[カラー調整] メニューから [自動キャリブレーション] を選択し、[更新] をクリックします。表示されたダイアログボックスで、[キャリブレーションファイル] から更新するデータを選択し、[更新] をクリックします。**

参照

[更新] をクリックすると、[自動キャリブレーション - 出力設定] ダイアログボックスが表示されます。以降の操作については、「自動キャリブレーションデータの作成」と同様です。前述の手順を参照してください。

### 自動キャリブレーションデータの削除

**自動キャリブレーションのデータを削除したい場合は、[カラー調整] メニューから [自動キャリブレーション] を選択し、[削除] をクリックします。**
**表示されたダイアログボックスで、[キャリブレーションファイル] から削除するデータを選択して [削除] をクリックし、確認のダイアログボックスで [はい] をクリックします。**

補足

削除したキャリブレーションデータが割り当てられていたトレイには、[標準] が設定されます。

### 自動キャリブレーションデータの名前変更

**自動キャリブレーションのデータ名を変更したい場合は、[カラー調整] メニューから [自動キャリブレーション] を選択し、[名前変更] をクリックします。**
**表示されたダイアログボックスで、[キャリブレーションファイル] から名前を変更するデータを選択し、下の入力エリアに新しい名前を入力します。[名前変更] をクリックして、[OK] をクリックします。**

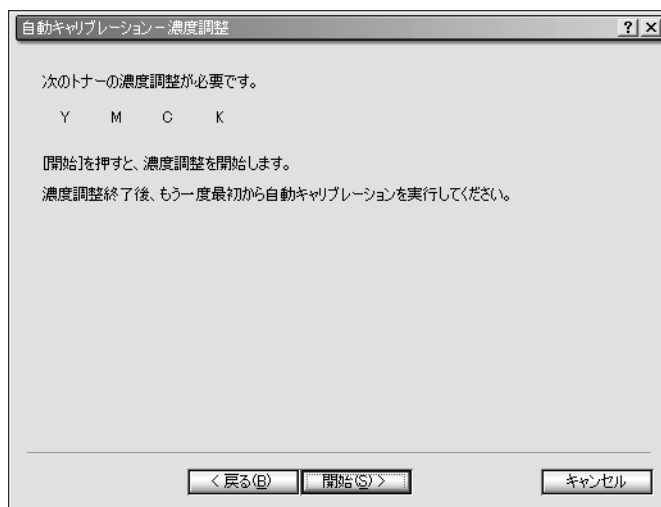
### 自動キャリブレーションデータの確認

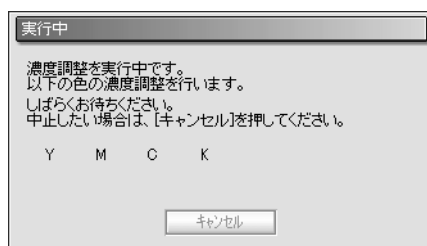
**過去に作成したキャリブレーションデータと、現在のプリンターの状態を比較できます。**
**自動キャリブレーションデータを確認したい場合は、[カラー調整] メニューから [自動キャリブレーション] を選択し、[確認] をクリックします。**
**表示されたダイアログボックスで、[キャリブレーションファイル] から現在と比較するデータを選択し、[確認] をクリックします。**

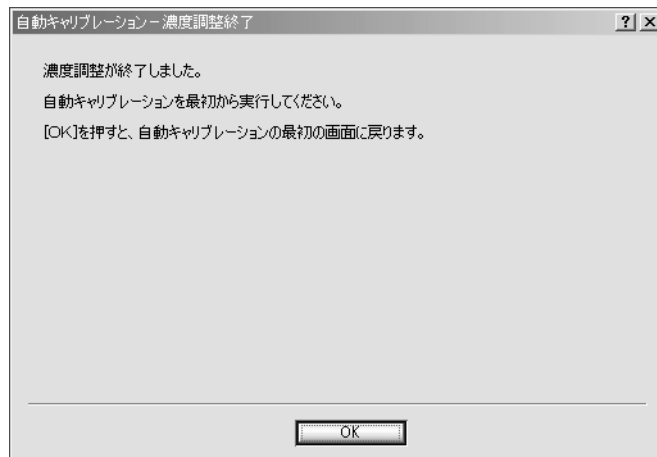
参照

[確認] をクリックすると、[自動キャリブレーション - 出力設定] ダイアログボックスが表示されます。以降の操作については、「自動キャリブレーションデータの作成」の手順 6 まで同様です。前項の手順を参照してください。なお、[確認] をクリックしたときのマシンの状態によって、マシン調整シートは出力されない場合もあります。
測色した CMYK の色結果を表す、[自動キャリブレーション - 測色終了] ダイアログボックスが表示されたら、[OK] をクリックします。

### 濃度調整

**キャリブレーションシートから読み取られたパッチ濃度に問題があった場合には、プリンターの濃度調整を行います。**
**濃度調整が必要な場合は、[自動キャリブレーション - キャリブレーションシート読み込み] ダイアログボックスで [読み込み] をクリックしたときに、[自動キャリブレーション - 濃度調整] ダイアログボックスが表示され、濃度調整が必要なトナーの色が表示されます。**
**[開始] をクリックすると、濃度調整が始まります。濃度調整が終了するまでは、プリンターの電源を切らないでください。**

補足
［自動キャリブレーション - 濃度調整］で、［戻る］をクリックすると［キャリブレーションシートの読み込み］ダイアログボックスに戻ります。
また、［キャンセル］をクリックすると、［自動キャリブレーション］ダイアログボックスの画面に戻ります。

**濃度調整の実行中は、次のような進捗状況を示す画面が表示されます。**

注記
濃度調整には、数分かかります。濃度調整を行うトナーの数によって、時間は異なります。

**濃度調整が終了すると、次の画面が表示されます。[OK] をクリックすると、[自動キャリブレーション] ダイアログボックスの画面に戻るので、自動キャリブレーションをやり直してください。**

注記

自動キャリブレーションは、キャリブレーションシートの出力からやり直してください。

## 2.3.2　キャリブレーションデータの割り当て

**作成したキャリブレーションデータをプリントに適用するには、用紙トレイに割り当てる必要があります。**
**普通紙や再生紙など、トレイごとに用紙が異なる場合でも、それぞれの紙色に合わせたキャリブレーションデータの割り当てができます。**



補足
1つのキャリブレーションデータを、複数のトレイに割り当てることもできます。

操作手順

**1　[カラー調整] メニューから [キャリブレーションの割り当て] を選択します。**

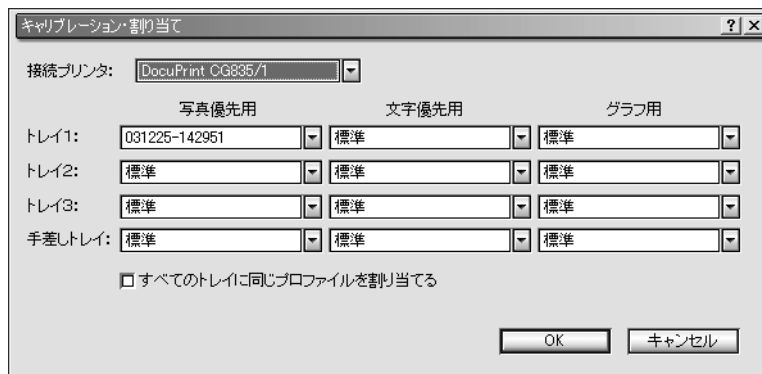
［キャリブレーション・割り当て］ダイアログボックスが表示されます。

キャリブレーション・割り当て

接続プリンタ: DocuPrint CG835/1

| | 写真優先用 | 文字優先用 | グラフ用 |
|---|---|---|---|
| トレイ1: | 031225-142951 | 標準 | 標準 |
| トレイ2: | 標準 | 標準 | 標準 |
| トレイ3: | 標準 | 標準 | 標準 |
| 手差しトレイ: | 標準 | 標準 | 標準 |

□ すべてのトレイに同じプロファイルを割り当てる

OK　キャンセル

**2　[接続プリンタ] から、キャリブレーションデータを割り当てるプリンターを選択します。**

**3　[トレイ 1] ～ [トレイ 3]、または [手差しトレイ] で、作成したデータを選択し、[OK] をクリックします。**

補足
［すべてのトレイに同じプロファイルを割り当てる］チェックボックスをオンにすると、各原稿タイプで［トレイ 1］だけがキャリブレーションデータを選択可能になり、［トレイ 1］に割り当てたキャリブレーションデータが［トレイ 2］、［トレイ 3］、［手差しトレイ］にも割り当てられます。キャリブレーションデータをひとつだけ使う場合は、このチェックボックスをオンにします。

**作成したキャリブレーションデータをプリントに反映するときは、プリント時に、キャリブレーション方法を選択する必要があります。**
**引き続き「2.3.3 キャリブレーション方法の選択」に進んでください。**

## 2.3.3　キャリブレーション方法の選択

**自動キャリブレーションの結果を適用するためには、プリント時にキャリブレーション方法を選択する必要があります。**

操作手順

**1** **[カラー調整] メニューから、[キャリブレーション方法の選択] を選択します。**

［キャリブレーション方法の選択］ダイアログボックスが表示されます。

**2** **［接続プリンタ］から、対象になるプリンターを選択します。**

**3** **［通常プロファイル］に、キャリブレーション結果を適用するかどうかを指定し、［OK］をクリックします。**

**■通常プロファイル**

**通常のプリント処理に、キャリブレーション結果を適用します。**
**デフォルトは、［なし］です。**

## 2.3.4　キャリブレーション確認印刷

**■この機能でできること**
**作成したキャリブレーションデータをサンプルに適用したものと、何も適用しないものの 2 枚がプリントされます。**
**2 枚のプリント結果を比較することで、キャリブレーションの効果を確認できます。**



操作手順

**1　［カラー調整］メニューから、［キャリブレーション確認印刷］を選択します。**

［キャリブレーションの効果の確認］ダイアログボックスが表示されます。

**2　［接続プリンタ］から、対象になるプリンターを選択します。**

**3　確認したいキャリブレーションデータが割り当てられている［トレイ］、［原稿タイプ］、［排出先］を選択し、［印刷］をクリックします。**

初めにキャリブレーションが適用されていないサンプルが、続いて、選択したキャリブレーションデータが適用されたサンプルがプリントされます。

**4　［終了］をクリックします。**

# 2.4 RGB 用 ICC プロファイルを読み込む

**モニターやスキャナーに使用した ICC プロファイルをプリントに適用することで、プリント結果の色味をより近づけることができます。**
**次の 2 種類の RGB 用 ICC プロファイルをサーバーに読み込み、プリントに反映できます。**

- **モニターおよびスキャナー用 RGB 色補正プロファイル**
- **モニターへの出力用 RGB 出力プロファイル**

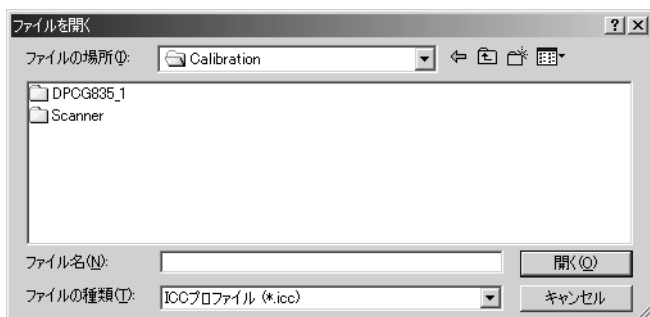
## 2.4.1 RGB 色補正プロファイルの読み込み

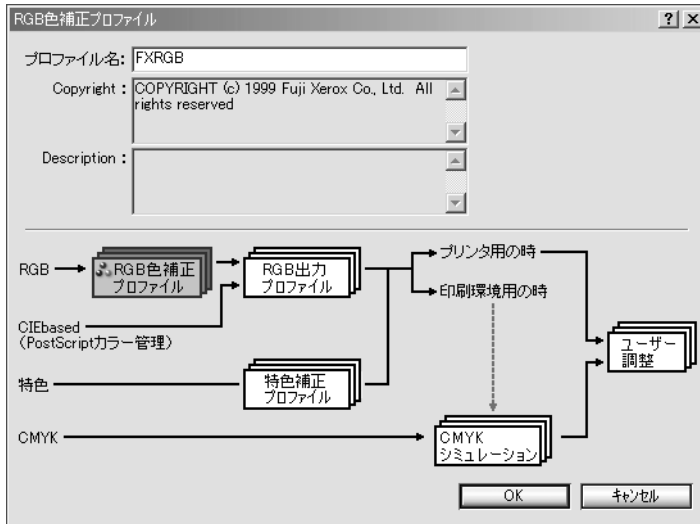
操作手順

**1 ［カラー調整］メニューから［RGB 色補正プロファイルの読み込み］を選択します。**

［RGB 色補正プロファイル］ダイアログボックスが表示されます。

**2 ［読み込み］をクリックします。**

［ファイルを開く］ダイアログボックスが表示されます。

**3** **読み込む ICC プロファイルを選択し、[開く] をクリックします。**

プロファイルの情報を確認するダイアログボックスが表示されます。

**4** **必要であればプロファイル名を変更し、[OK] をクリックします。**

**注記**

次の項目は、プロファイル名に使用できません。

・「標準」　・「fxsRGBCSA」　・読み込み済みのプロファイルと同じ名前

プロファイルがサーバーに読み込まれ、一覧に表示されます。

[RGB 色補正プロファイル] ダイアログボックスを閉じるときは、[終了] をクリックします。

**引き続き、「2.4.2　RGB 色補正プロファイルの割り当て」に進んでください。**

## RGB 色補正プロファイル名の変更

**サーバーに読み込んだ RGB 色補正プロファイルの名前を変更したい場合は、RGB 色補正プロファイルの一覧からプロファイルを選択して [プロパティ] をクリックし、表示されたプロパティダイアログボックスで名前を変更し、[OK] をクリックします。**

## RGB 色補正プロファイルの削除

**読み込んだ RGB 色補正プロファイルを削除したい場合は、RGB 色補正プロファイルの一覧からプロファイルを選択して [削除] をクリックし、確認のためのダイアログボックスで [はい] をクリックします。**

**補足**

割り当てられているプロファイルを削除した場合は、自動的に [標準] に変更されます。

## 2.4.2 RGB 色補正プロファイルの割り当て

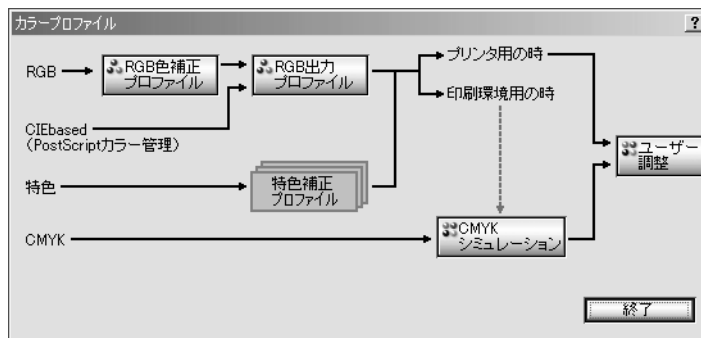
**サーバーに読み込んだ RGB 色補正プロファイルをプリントに適用するには、サーバーに登録する必要があります。プロファイルを登録すると、プリント時にプリントオプションから選択できます。**

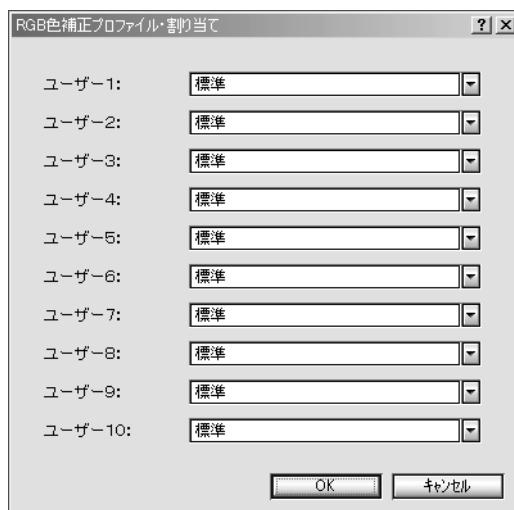
操作手順

**1** **ボタンをクリックします。**

［カラープロファイル］ダイアログボックスが表示されます。

補足

［カラー調整］メニューから［カラープロファイルの割り当て］を選択しても、［カラープロファイル］ダイアログボックスを表示できます。

**2** **［RGB 色補正プロファイル］をクリックします。**

［RGB 色補正プロファイル・割り当て］ダイアログボックスが表示されます。

**3** **ユーザー 1 〜 10 に割り当てる ICC プロファイル名を選択します。**

デフォルトでは、すべてに［標準］が設定されています。

**4** **［OK］をクリックします。**

**割り当てたプロファイルをプリントに適用するときは、プリントオプションの［カラー］タブの［RGB 色補正］で、ユーザー 1 ～ 10 を選択してください。**

## 2.4.3 RGB 出力プロファイルの読み込み

操作手順

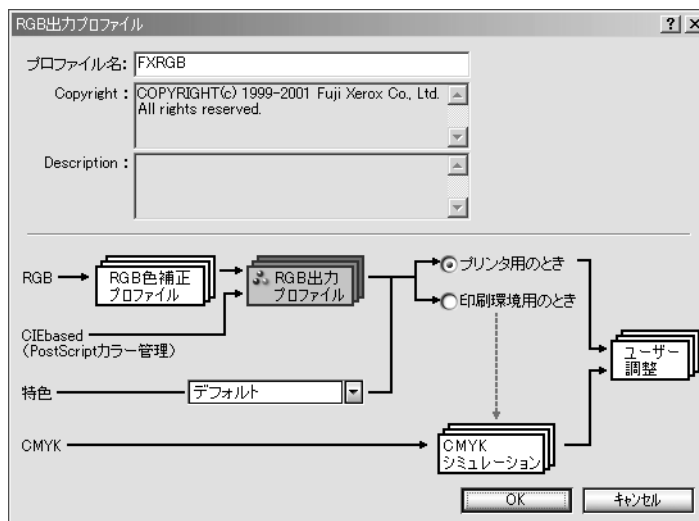
**1** **［カラー調整］メニューから［RGB出力プロファイルの読み込み］を選択します。**

［RGB 出力プロファイル］ダイアログボックスが表示されます。

**2** **［接続プリンタ］から、ICC プロファイルを設定するプリンターを選択し、［読み込み］をクリックします。**

［ファイルを開く］ダイアログボックスが表示されます。

**3** **読み込む ICC プロファイルを選択して、［開く］をクリックします。**

プロファイルの情報を確認するダイアログボックスが表示されます。

**4** **特色用のプロファイルの変換モードと、出力形態を指定します。**

補足
特色用の［デフォルト］は、プリンター用です。印刷環境には適していません。

**必要であればプロファイル名を変更し、[OK] をクリックします。**

注記
次の項目は、プロファイル名に使用できません。
・「標準」　・読み込み済みのプロファイルと同じ名前

プロファイルがサーバーに読み込まれ、一覧に表示されます。
［RGB 出力プロファイル］ダイアログボックスを閉じるときは、［終了］をクリックします。

**引き続き、「2.4.4 RGB 出力プロファイルの割り当て」に進んでください。**

### RGB 出力プロファイル名の変更

**サーバーに読み込んだ RGB 出力プロファイルの名前を変更したい場合は、RGB 出力プロファイルの一覧からプロファイルを選択して［プロパティ］をクリックし、表示されたプロパティダイアログボックスで名前を変更し、[OK] をクリックします。**

### RGB 出力プロファイルの削除

**読み込んだ RGB 出力プロファイルを削除したい場合は、RGB 出力プロファイルの一覧からプロファイルを選択して［削除］をクリックし、確認のためのダイアログボックスで［はい］をクリックします。**

補足
割り当てられているプロファイルを削除した場合は、自動的に［標準］に変更されます。

## 2.4.4 RGB 出力プロファイルの割り当て

**サーバーに読み込んだ RGB 出力プロファイルをプリントに適用するには、サーバーに登録する必要があります。**
**プロファイルを登録すると、プリント時にプリントオプションから選択できます。**

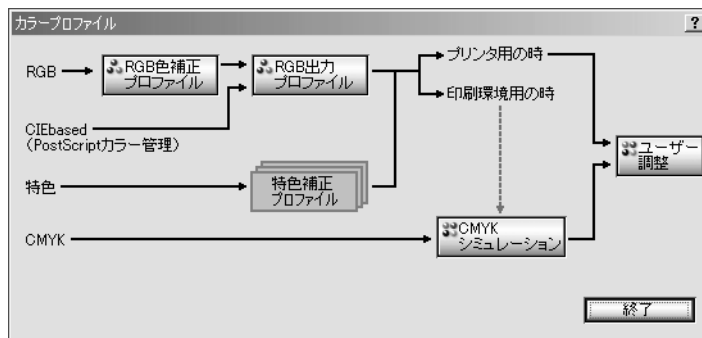


操作手順

**1**  **ボタンをクリックします。**

［カラープロファイル］ダイアログボックスが表示されます。

補足

［カラー調整］メニューから［カラープロファイルの割り当て］を選択しても、［カラープロファイル］ダイアログボックスを表示できます。

**2** **［RGB 出力プロファイル］をクリックします。**

［RGB 出力プロファイル・割り当て］ダイアログボックスが表示されます。

**3 ［接続プリンタ］から、ICC プロファイルを設定するプリンターを選択し、ユーザー 1 ～ 10 に割り当てる ICC プロファイル名を選択します。**

デフォルトでは、すべてに［標準］が設定されています。

**4 ［OK］ をクリックします。**

**割り当てたプロファイルをプリントに適用するときは、プリントオプションの［カラー］タブの［RGB 出力プロファイル］で、ユーザー1～10を選択してください。**

# 2.5 CMYKプロファイルを作成する

**CMYKプロファイルの作成には、以下の2通りの方法があります。**

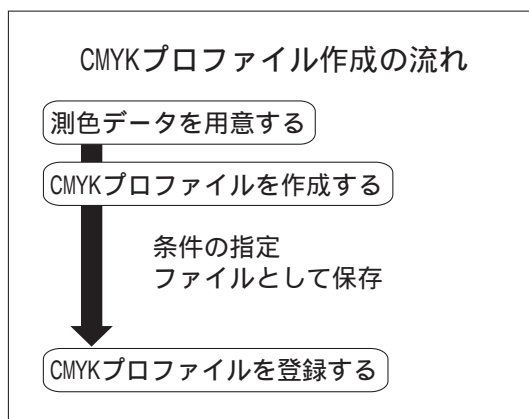
- **GretagMacbeth社の測色器「Spectrolino/SpectroScan」と、測色用ソフトウエア「SpectroChart」または「SpectroChart Lite」を使用する方法**
- **GretagMacbeth社の測色器「i1」と、測色用ソフトウエア「eye-one_Reader」を使用する方法**

**作成には、ICC(International Color Consortium)プロファイルも使用できます。**

補足

以降、とくに断らないかぎり、SpectroChartと記載した場合はSpectroChartとSpectroChart Liteの両方を表します。

参照

GretagMacbeth社の製品については、同製品の取扱説明書を参照してください。

## 2.5.1 測色データの作成

**CMYKプロファイルの作成には、サーバーで作成した印刷およびプリンターの測色データを使用します。また、各測色データの代わりに、ICCプロファイルを使用することもできます。**
**ここでは、サーバーで測色データを作成する場合の手順について説明します。**

注記

CMYKプロファイルの作成にICCプロファイルを使用すると、作業時間を短縮できます。また、より厳密な印刷シミュレーションを行う場合は、測色データを作成することをお勧めします。

操作手順

**1** **次の場所から、パッチデータをコピーします。**

D:\Fuji Xerox\Print Server Series\bin\CMYKProfiler\チャートフォルダ

**■「Spectrolino/SpectroScan」を使用する場合**

- **CMYK_Gretag.eps**

**■「i1」を使用する場合**

- **CMYK_eye-one_1.eps**
- **CMYK_eye-one_2.eps**
- **CMYK_eye-one_3.eps**

**2** **必要に応じてパッチデータにイメージを追加し、測色チャートを作成します。**

測色チャートには、肌色を含むイメージ、特に注目したいハイライトカラーを含むイメージや通常取り扱うイメージのうち代表的なものなどを、パッチと一緒にレイアウトしておくことをお勧めします。

**3** **印刷会社や印刷工場など、プリンターでシミュレーションしたい印刷環境に、手順 2 で作成した測色チャートを提供し、実際に印刷してもらいます。**

注記

印刷された各パッチに汚れや色ムラがないことを確認し、汚れなどがあった場合は、再度印刷してもらってください。

**4** **入手した印刷物を測色します。**

**■「Spectrolino/SpectroScan」を使用する場合**

**左上のパッチから順に横へ測色します。**

**■「i1」を使用する場合**

**1 枚目（1/3）の左上のパッチから順に横へ測色します。1 枚目の測色が終わったら、2 枚目（2/3）、3 枚目（3/3）と測色してください。**

**できあがったプロファイルは、印刷プロファイルとして使用します。**

**5　次の場所にあるパッチデータを、クライアントから Illustrator などの CMYK を扱えるアプリケーションでサーバーにプリントします。**

D:\Fuji Xerox\Print Server Series\bin\CMYKProfiler\ チャートフォルダ

**■「Spectrolino/SpectroScan」を使用する場合**

- **DPCG835_Gretag.eps**

**■「i1」を使用する場合**

- **DPCG835_eye-one_1.eps**
- **DPCG835_eye-one_2.eps**
- **DPCG835_eye-one_3.eps**

注記

パッチデータのプリント時、プリントオプションの項目を次のとおりに設定してください。
・CMYK 色補正：オフ
・ユーザー調整：しない

補足

［ジョブ読み込み］機能を使用してプリントできます。その場合、「CMYK_Gretag.eps」をプリントするときは、［ジョブ編集］の［グラフィックス］タブで、［プリント方向］を［横］を指定してください。［ジョブ読み込み］機能については、「6.1.4 ジョブメニュー」の「■ジョブ読み込み」を参照してください。

**6　プリント結果を測色器を使って測色します。**

**■「Spectrolino/SpectroScan」と「SpectroChart」または「SpectroChart Lite」を使用する場合**

**左上のパッチから順に横へ測色します。**

**■「i1」と「eye-one_Reader」を使用する場合**

**1 枚目（1/3）の左上のパッチから順に横へ測色します。1 枚目の測色が終わったら、2 枚目（2/3）、3 枚目（3/3）と測色してください。**

**できあがったプロファイルは、プリンタープロファイルとして使用します。**

**「Spectrolino/SpectroScan」での測色時の注意**

- 測色の仕方は、GretagMacbeth 社の測色器「Spectrolino/SpectroScan」に付属の取扱説明書を参照してください。
- 書き出しフォーマットは、CIE-Lab を選択してください。
  測色時の設定は、次のとおりです。
  ・観測光源　：D50
  ・観測視野　：2°
  ・フィルター：No
  ・白色基準　：Abs
- ファイルフォーマット形式は、IT8 を選択してください。
- フィルターは付けないでください。 U （フィルターなし）を選択してください。また、測色時の写りを防ぐため、測色対象と同じ用紙を下に敷いて測色してください。
- パッチデータは、右下の白パッチまでの、すべてを測色してください。
- 読み込み用の CSV ファイルは、D:\Fuji Xerox\Print Server Series\bin\CMYKProfiler\SpectroChart 用にあるものを使用してください。

**「i1」での測色時の注意**

- 測色の仕方は、「付録 L eye-one_Reader について」を参照してください。
- 測色パッチパターンは、「PrintServer Series 1188 Chart」を選択してください。
- 測色データ形式は、「三刺激値（CIELAB)」を選択してください。
- 測色方式は、「ストリップ測色」、または「ダブルストリップ測色」をお勧めします。なお、測色するときは、左上のパッチが右上にくるように用紙をたてにして、上から下に向かって「i1」をスライドさせて測色すると作業が楽にできます。
- 測色時の裏写りを防ぐため、測色対象の下に同じサイズの用紙を数枚下に敷いて測色してください。

**引き続き、「2.5.2 CMYK プロファイルの作成」に進んでください。**

## 2.5.2 CMYK プロファイルの作成

操作手順

**1** **［カラー調整］メニューから［CMYK プロファイルの読み込み］を選択します。**
［CMYK プロファイル］ダイアログボックスが表示されます。

**2** **［接続プリンタ］からプリンターを選択し、作成する CMYK プロファイルの条件を指定します。**
**指定できる条件には、次の項目があります。**

**■印刷プロファイル設定**

**［ICC プロファイルを指定］と［Gretag 測色データファイルを指定］があります。「2.5.1 測色データの作成」で作成したデータを使用する場合は、［Gretag 測色データファイルを指定］を選択します。デフォルトは、［ICC プロファイルを指定］です。**
**どちらかを選択し、プロファイル名を入力します。**

**■プリンタプロファイル設定**

**［初期設定のプロファイルを使用］、［ICC プロファイルを指定］、［Gretag 測色データファイルを指定］があります。**
**［初期設定のプロファイルを使用］を選択した場合は、プリンターのデフォルトのプロファイルが使用されます。**
**［ICC プロファイルを指定］を選択した場合は、以下から選択します。デフォルトは［K 版保存方式］です。**

- **K 版保存方式**
  Gretag 測色データファイルを指定した場合と同様に印刷の墨版をできるだけ保存したカラープロファイルを作成するモードです。プリンタ ICC プロファイルの墨版生成規則は適用されません。
- **パーセプチャル**
  相対的な色域にもとづき、プリンタ ICC プロファイルの Perceptual タグを使用して印刷 ICC プロファイルと合成します。プリンタ ICC プロファイルの墨版生成規則は適用されますが、印刷の墨版は保存されません。
- **サチュレーション**
  相対的な色域にもとづき、プリンタ ICC プロファイルの Saturation タグを使用して印刷 ICC プロファイルと合成します。プリンタ ICC プロファイルの墨版生成規則は適用されますが、印刷の墨版は保存されません。
- **相対カラリメトリック**
  相対的な色域にもとづき、プリンタ ICC プロファイルの Colorimetric タグを使用して印刷 ICC プロファイルと合成します。プリンタ ICC プロファイルの墨版生成規則は適用されますが、印刷の墨版は保存されません。
- **絶対カラリメトリック**
  絶対的な色域にもとづき、プリンタ ICC プロファイルの Colorimetric タグを使用して印刷 ICC プロファイルと合成します。プリンタ ICC プロファイルの墨版生成規則は適用されますが、印刷の墨版は保存されません。

**「2.5.1 測色データの作成」で作成したデータを使用する場合は、［Gretag 測色データファイルを指定］を選択します。**
**デフォルトは［初期設定のプロファイルを使用］です。［Gretag 測色データファイルを指定］を選択した場合は、プロファイル名を入力します。**

**■紙地色補正方法**

**紙地色補正とは、用紙の違いによって再現される色が変わる現象を調整する方法のことです。**
**［相対ベース］と［絶対ベース］があります。［相対ベース］を選択すると、印刷物とプリンターで使用する用紙の紙地色を基準に調整されます。それぞれの基準に従って、カラー画像の全体的なバランスを取りながら処理されます。**
**［絶対ベース］を選択すると、印刷物の色をそのまま再現するように調整されます。デフォルトは［相対ベース］です。**

**■印刷 K 単色保証**

**印刷原稿に含まれる墨（K）単色のデータを、プリンターの K 単色で再現します。［する］と［しない］があります。［しない］を選択すると、色トナーが混じる場合があります。デフォルトは［する］です。**

**■印刷 K100% 再現保証**

**印刷原稿に含まれる K100%のデータを、プリンターの K100%で再現します。［する］と［しない］があります。［しない］を選択すると、K100%にならない場合があります。デフォルトは［する］です。**

**3** **［プロファイル出力設定］に、作成するプロファイル名を入力し、［OK］をクリックします。**

CMYK プロファイルの作成が始まり、［進行状況］ダイアログボックスが表示されます。

**4** **処理の完了を知らせるダイアログボックスが表示されたら、［終了］をクリックします。**



## 2.5.3 CMYK プロファイルの登録

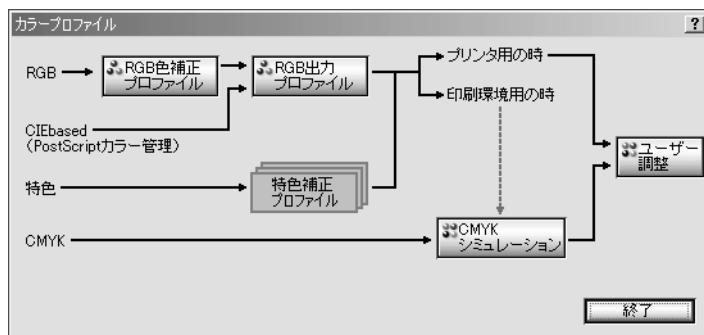
**作成した CMYK プロファイルをプリントに適用するには、サーバーに登録する必要があります。**
**プロファイルを登録すると、プリント時に指定するプリントオプションの［カラー］タブにある［CMYK シミュレーション］で、プロファイルを選択できます。**

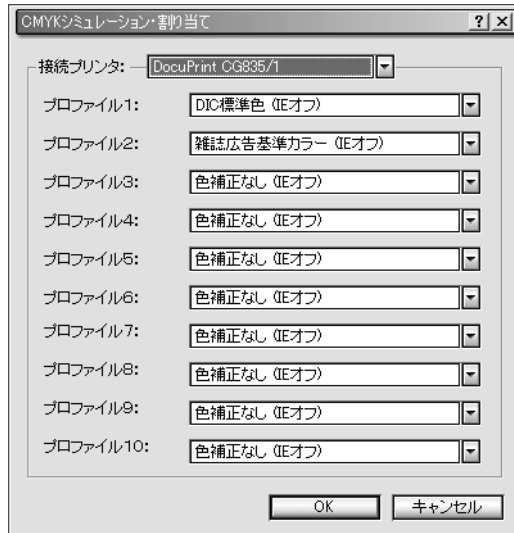
操作手順

**1**  **ボタンをクリックします。**

［カラープロファイル］ダイアログボックスが表示されます。

補足

［カラー調整］メニューから［カラープロファイルの割り当て］を選択しても、［カラープロファイル］ダイアログボックスを表示できます。

**2** **［CMYK シミュレーション］を選択します。**

［CMYK シミュレーション・割り当て］ダイアログボックスが表示されます。

**3** **［接続プリンタ］から、カラープロファイルを設定するプリンターを選択して、［プロファイル］の1～10で、割り当てるカラープロファイル名を選択します。**

デフォルトでは、上記画面のとおりにプロファイルが割り当てられています。カラープロファイルの種類については、「2.6 用意されているカラープロファイルの種類」を参照してください。

**4** **［OK］をクリックします。**

**作成したカラープロファイルをプリントに適用するときは、プリントオプションの［カラー］タブで、［CMYK 色補正］をオンにして［CMYK シミュレーション］でプロファイルを選択する必要があります。**
**このときにキャリブレーション結果を反映させたい場合は、［カラー調整］メニューから［キャリブレーション方法の選択］を選択し、［通常プロファイル］でキャリブレーション方法を指定する必要があります。**

# 2.6 用意されているカラープロファイルの種類

通常プロファイルとして、次のカラープロファイルを用意しています。

■TypeD

日本で使用されている代表的な印刷物のインク色に近づくように補正します。これにより、標準的オフセット・プロセス印刷における印刷物の色に近づくように補正できます。

■TypeD（IE オフ）

［TypeD］の IE オフのカラープロファイルです。

■DIC 標準色

印刷物の色の標準化のために大日本インキ化学工業株式会社が定めた規格です。標準的なオフセット・プロセス印刷で、印刷物の色を近似的にシミュレーションできるプロファイルです。

■DIC 標準色（IE オフ）

［DIC 標準色］の IE オフのカラープロファイルです。

■JapanColor2001（アート紙）

社団法人日本印刷学会発行の、「Japan Color 色再現印刷 2001」のアート紙（ISO 規格用紙タイプ 1）印刷がシミュレーションできるプロファイルです。

■JapanColor2001（コート紙）

社団法人日本印刷学会発行の、「Japan Color 色再現印刷 2001」のコート紙（ISO 規格用紙タイプ 3）印刷がシミュレーションできるプロファイルです。

■JapanColor2001（マット紙）

社団法人日本印刷学会発行の、「Japan Color 色再現印刷 2001」のマットコート紙（ISO 規格用紙タイプ 2）印刷がシミュレーションできるプロファイルです。

■JapanColor2001（上質紙）

社団法人日本印刷学会発行の、「Japan Color 色再現印刷 2001」の上質紙（ISO 規格用紙タイプ 4）印刷がシミュレーションできるプロファイルです。

■JapanColor2001（上質紙 IE オン）

［JapanColor2001（上質紙）］の IE オンのカラープロファイルです。

［JapanColor2001（上質紙）］を使用した場合、黒文字が薄く再現されることがあります。［JapanColor2001（上質紙 IE オン）］を使用すると、黒文字を濃く、くっきり見せることができます。

■雑誌広告基準カラー

雑誌広告基準カラー（JMPA カラー）がシミュレーションできるプロファイルです。

■雑誌広告基準カラー（IE オフ）

［雑誌広告基準カラー］の IE オフのカラープロファイルです。

**■東洋インキ標準色 ver.2.0**

**「東洋インキ標準色 ver.2.0」とは、印刷物の標準化のために東洋インキ製造株式会社が定めた規格です。「東洋インキ標準色 ver.2.0」の印刷条件は、次のとおりです。**

**インキ　：TK ハイユニティ**
**イメージセッター　：Creo Dolev 800**
**印刷機　：三菱ダイヤ 304 型**
**用紙　：パールコート 104.7g/m$^2$（三菱製紙）**
**スクリーン　：175 線 / インチ スクエアドット**

**■色補正なし**

**■色補正なし（IE オフ）**

補足

- IE とは、Image Enhancement の略で、文字の輪郭などをくっきりさせる機能です。K100%の濃度が低い印刷環境をシミュレーションする CMYK プロファイルの場合、黒のグラデーションで、99 ～ 100%の部分に段差が目立ってしまうことがあります。このような場合には IE オフのプロファイル使用してください。ただし、Image Enhancement 機能は無効になります。Image Enhancement については、「6.2.6 画質タブ」の「■ Image Enhancement」を参照してください。
- プリンターの状態によっては、IE がオンのとき、グラデーションなどがきれいにプリントされない場合があります。この場合は、IE オフのカラープロファイルを選択してください。

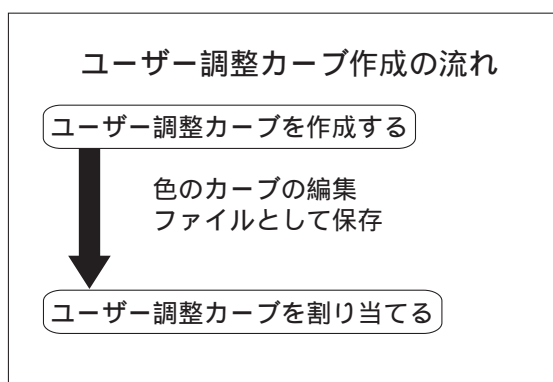
参照

[JapanColor2001（上質紙 IE オン）] を使用するには、サーバーにプロファイルを割り当てる必要があります。また、プロファイル名に（1）～（10）が付いているプロファイルには、サーバーで割り当てたプロファイル名が表示されます。プロファイルの割り当てについては、「2.5.3 CMYK プロファイルの登録」を参照してください。

# 2.7 ユーザー調整カーブを作成する

**ユーザー調整カーブのプロファイルを作成する手順について説明します。**

## ユーザー調整カーブについて

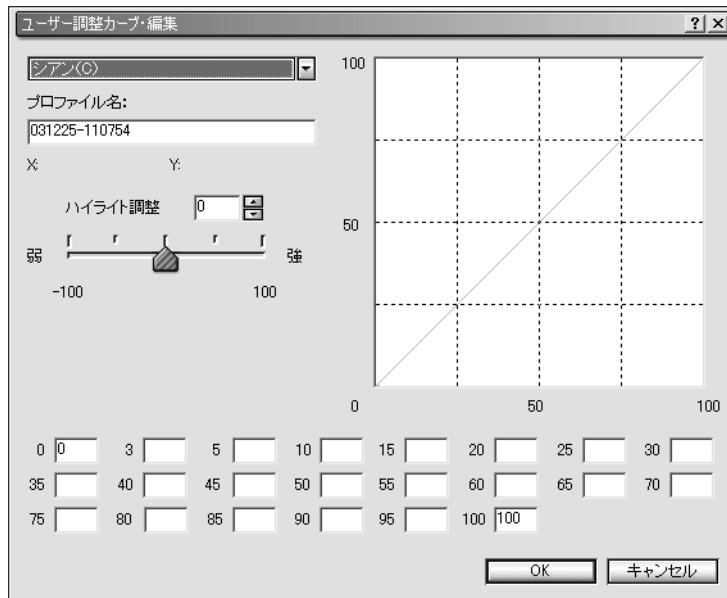
**ユーザー調整カーブは、CMYK それぞれの色の濃度を自由に調整できる機能です。キャリブレーション機能と分離されているので、たとえば「シアンが全体的に濃いめ」といったプロファイルを作成しておけば、キャリブレーションデータとの組み合わせによって、さまざまな色の変化を付けることができます。**
**作成したプロファイルは、ユーザー調整 1 ～ 10 に割り当てます。**

## 2.7.1 ユーザー調整カーブの作成

操作手順

**1 ［カラー調整］メニューから［ユーザー調整カーブ］を選択します。**

［ユーザー調整カーブ］ダイアログボックスが表示されます。

## 2 ［新規作成］をクリックします。

［ユーザー調整カーブ・編集］ダイアログボックスが表示されます。

## 3 編集する色の曲線を選択します。

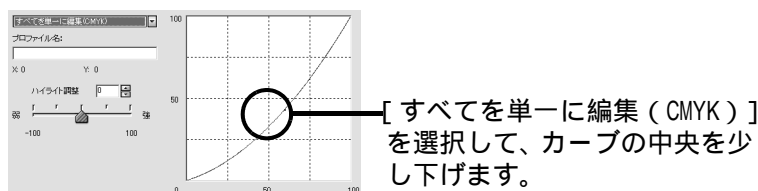
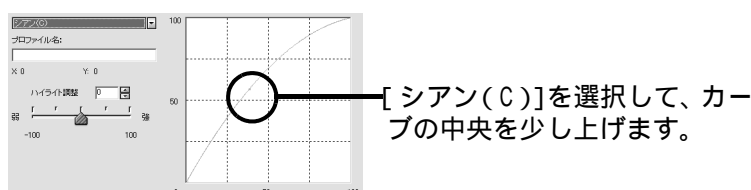
［シアン（C)］、［マゼンタ（M)］、［イエロー（Y)］、［ブラック（K)］、［すべてを単一に編集（CMYK)］、［すべてを表示（CMYK)］から選択できます。

［すべてを表示（CMYK)］は、すべてのカーブを確認するときに選択します。ただし、編集はできません。

## 4 曲線上の点をマウスでドラッグ、または数値を入力して編集します。

**グラフの点をマウスでドラッグして編集した場合、自動的にスムージング処理がされます。**

**数値は、0、3、5 ～ 100%までの 5%きざみの横軸に対して、縦軸の数値を入力できます。数値を入力すると、コントロールポイントが作成されます。**

**■設定例 1: 明るくしたいとき**

**■設定例 2：青みを強くしたいとき**

**5** **必要に応じて、[ハイライト調整]のスライダーを動かして調整します。**

スライダーの調整は、-100 ～ 100 の範囲で調整できます。ただし、スライダーによる調整はグラフには反映されません。

**6** **[プロファイル名]に新しいプロファイルの名前を入力し、[OK]をクリックします。**

補足

ファイル名のデフォルトは、「YYMMDD-HHMMSS」です。

[ユーザー調整カーブ]ダイアログボックスに戻ります。ダイアログボックスを閉じるときは、[終了]をクリックします。

**引き続き、「2.7.2 ユーザー調整カーブの割り当て」に進んでください。**



### ユーザー調整カーブのコピー

**ユーザー調整カーブをコピーしたいときは、[カラー調整]メニューから[ユーザー調整カーブ]を選択し、表示されたダイアログボックスでコピーしたいプロファイルを選択して、[複製]をクリックします。**

### ユーザー調整カーブの更新

**ユーザー調整カーブを更新したいときは、[カラー調整]メニューから[ユーザー調整カーブ]を選択し、表示されたダイアログボックスで更新したいプロファイルを選択し、[更新]をクリックします。**

参照

以降の操作については、「2.7.1 ユーザー調整カーブの作成」の手順 2 以降と同じです。手順 2 以降を参照してください。

### ユーザー調整カーブの名前変更

**ユーザー調整カーブの名前を変更したいときは、[カラー調整]メニューから[ユーザー調整カーブ]を選択して、名前を変更したいプロファイルを選択し[名前変更]をクリックします。表示されたダイアログボックスで新しい名前を入力し、[OK]をクリックします。**

### ユーザー調整カーブの削除

**ユーザー調整カーブを削除したいときは、[カラー調整]メニューから[ユーザー調整カーブ]を選択し、表示されたダイアログボックスで削除するプロファイルを選択し、[削除]をクリックします。確認のためのダイアログボックスで[はい]をクリックします。**

補足

標準ファイルは削除できません。また、削除されたユーザー調整カーブが割り当てられている場合、その割り当ては自動的に[無調整]に変更されます。

## 2.7.2　ユーザー調整カーブの割り当て

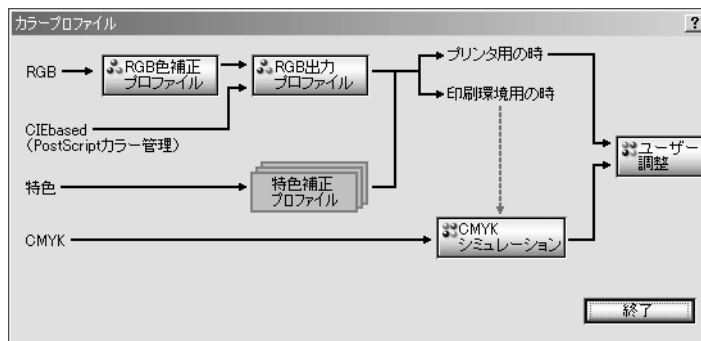
**作成したユーザー調整カーブのプロファイルをプリントに適用するには、プロファイルを割り当てる必要があります。**

操作手順

**1**　**ボタンをクリックします。**

［カラープロファイル］ダイアログボックスが表示されます。

補足

［カラー調整］メニューから［カラープロファイルの割り当て］を選択しても、［カラープロファイル］ダイアログボックスを表示できます。

**2**　**［ユーザー調整］をクリックします。**

［ユーザー調整カーブ・割り当て］ダイアログボックスが表示されます。

**3** **［接続プリンタ］から、ユーザー調整カーブのプロファイルを設定するプリンターを選択します。［ユーザー調整］の 1 ～ 10 のどれかのユーザー調整で、登録するユーザー調整カーブのプロファイル名を選択します。**

デフォルトは、すべてのユーザー調整に［無調整］が設定されています。

**4** **［OK］をクリックします。**

［カラープロファイル］ダイアログボックスに戻ります。ダイアログボックスを閉じるときは、［終了］をクリックします。

**作成したカラープロファイルをプリントに反映するときは、プリントオプションの［カラー］タブにある［ユーザー調整カーブ］で、プロファイルを選択する必要があります。**

# 2.8 スキャナーの使い方と調整

**スキャナーの調整を実施すると、自動キャリブレーションのときに、より正確なデータを取得することができます。**
**スキャナーの調整や自動キャリブレーションを行うためには、スキャナーでキャリブレーション用シートをスキャンする必要があります。また、クライアントでスキャンした場合は、その画像ファイルを DropPrint2 を使ってサーバーにアップロードする必要があります。**
**クライアントでスキャンする場合は「2.8.1 シートのスキャンとサーバーへのアップロード」、サーバーでスキャンする場合は「2.8.2 スキャナ調整ファイルの作成」を参照してください。**

参照
自動キャリブレーションについては、「2.3 キャリブレーションで色を補正する」を参照してください。



## 2.8.1 シートのスキャンとサーバーへのアップロード

### スキャンの仕方

**ここでは、Print Server Series に接続された DocuColor 1255 の例で、Macintosh 上の Photoshop からシートをスキャンする手順を説明します。**
**スキャナーの調整を行う場合は、Gray Scale Target シートをスキャンします。**
**自動キャリブレーションを行う場合は、プリンターから出力したキャリブレーションシートをスキャンします。**

補足
DocuColor 1255 でイメージをスキャンするには、スキャナーアプリケーションのインストールと設定が必要です。ここでは、イメージをスキャンするための準備作業はすべて完了していることを前提に説明します。イメージをスキャンするためのセットアップや操作についての詳細は、使用される機械に付属のマニュアルを参照してください。

注記
Gray Scale Target は、サーバーのプロセッサーに同梱されています。
Gray Scale Target を扱うときは、端を持ち、表面を汚さないようにしてください。

操作手順

**1** **DocuColor 1255 の ServerManager で、使用するスキャナ調整ファイルを［標準］に設定します。**

ServerManager の［カラー調整］メニューから［スキャナ調整］を選択して、［選択］をクリックし、表示されたダイアログボックスで［標準］を選択してください。

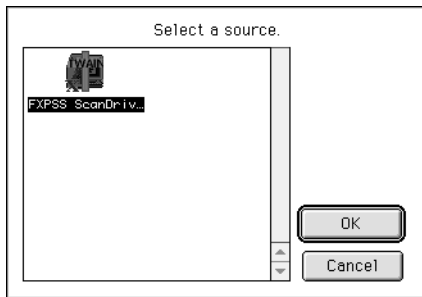
参照
DocuColor 1255 の ServerManager の操作については、使用される機械に付属のマニュアルを参照してください。

**2** **スキャンするシートを、DocuColor 1255のコピーガラスの上にセットします。このとき、シートはおもて面を下にして、上部（天）をコピーガラスの左側に、左辺をコピーガラス奥の辺に合わせて置いてください。**

注記

キャリブレーションシートをスキャンする場合は、シートの上に白紙を5枚以上重ねて置いてください。

**3** **Photoshopの［ファイル］メニューから、［読み込み］→［TWAIN対応機器の選択］を選択します。**

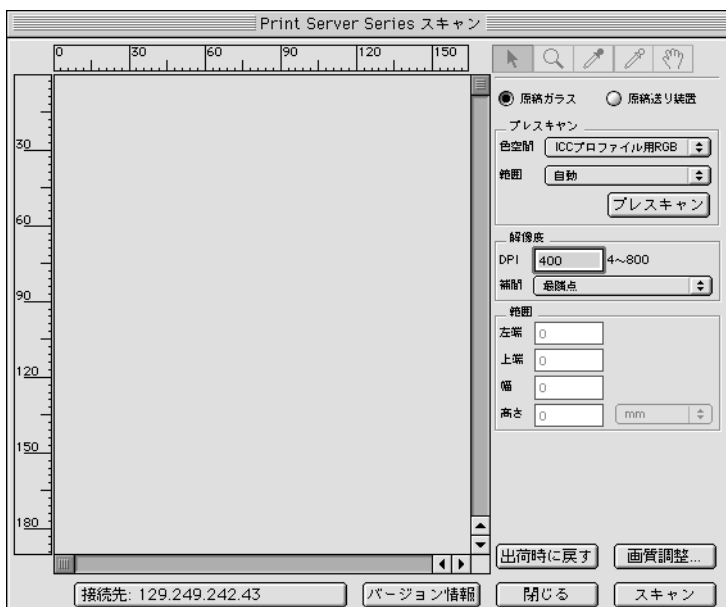
**スキャナーを選択し、［OK］をクリックします。**

**4** **［ファイル］メニューから、［読み込み］→［TWAIN 対応機器からの入力］を選択します。**

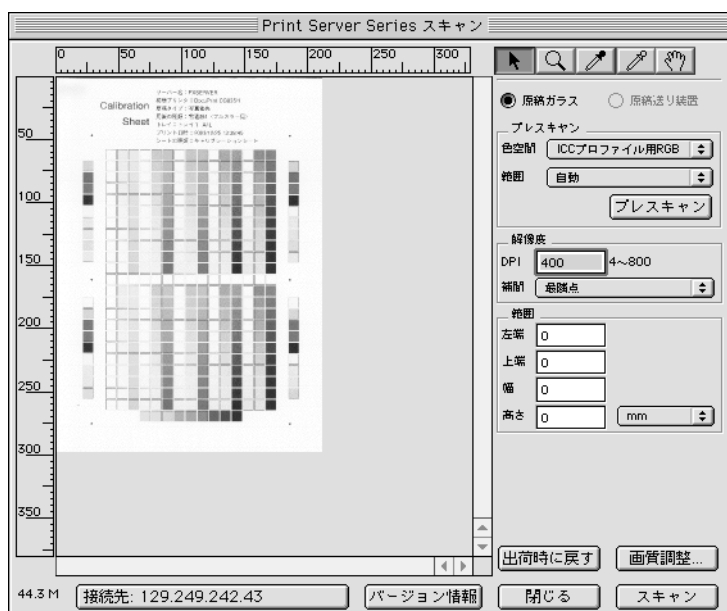
［Print Server Series スキャン］ダイアログボックスが表示されます。

**5** **次の項目を設定します。**

- **色空間：ICCプロファイル用RGB**
- **解像度 -DPI:400**

補足

［画質調整］ボタンやその他の項目は、変更する必要はありません。

## 6 ［プレスキャン］をクリックします。

しばらくすると、プレビューイメージが表示されます。
正しく読み込まれているかどうかを確認してください。

## 7 Gray Scale Target をスキャンした場合は、シートの大きさに合わせてマウスでドラッグして、取り込む範囲を指定することもできます。

## 8 ［スキャン］をクリックします。

原稿が読み込まれ、アプリケーションのウィンドウにスキャンしたイメージデータが表示されます。

## 9 Photoshop で［ファイル］→［別名で保存］を選択します。任意のファイル名を付けて、TIFF 形式で保存します。

TIFF オプションでは、［バイトデータの順序］を［IBM PC］、［LZW 圧縮］のチェックボックスはオフにします。
ファイル名には、拡張子（.tif）を付けてください。

**これで、キャリブレーション用画像ファイルの準備は完了です。引き続き、保存したファイルをサーバーへアップロードします。**

## サーバーへのアップロード

**サーバーに画像ファイルを送信するには、DropPrint2 を使います。**
**DropPrint2 の起動方法は、Windows と Macintosh で異なります。**

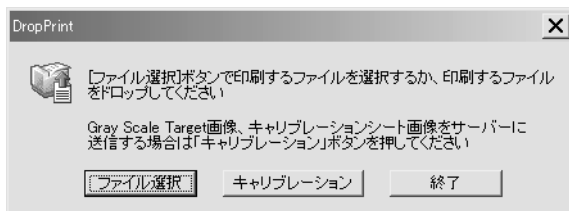
補足
クライアントコンピューターに DropPrint2 がインストールされていない場合は、「7.8 DropPrint2 など、その他のインストール」を参照して、インストールしてください。

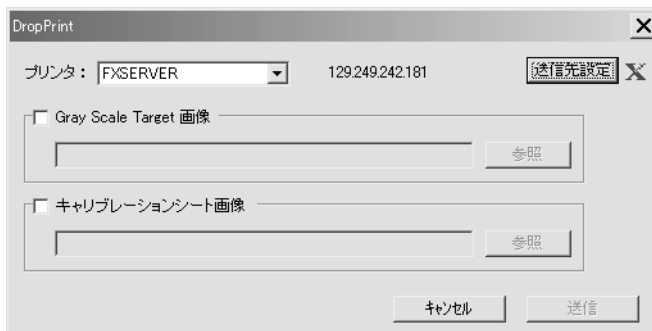


### Windows の場合

操作手順

**1 ［スタート］→［プログラム］→［Fuji Xerox］→［Print Server Series］→［DropPrint2］を選択します。**

DropPrint2 の起動ダイアログボックスが表示されます。

**2 ［キャリブレーション］をクリックしします。**

画像を選択するダイアログボックスが表示されます。

補足
［プリンタ］が選択できない場合は、［送信先設定］ボタンをクリックして、送信先にサーバーを登録する必要があります。手順の詳細は、「4.3 DropPrint2 を使ってプリントする」を参照してください。

**3 サーバーにアップロードする画像のチェックボックスをオンにし、［参照］をクリックしてサーバーに送信するファイル名を指定します。**

**4 ［送信］をクリックします。**

指定した画像が、サーバーに送信されます。

DropPrint2 を終了する場合は、起動ダイアログボックスで［終了］をクリックします。

## Macintosh の場合

操作手順

**1** **クライアントの［Print Server Series］フォルダ内の［DropPrint2］フォルダをダブルクリックします。**

［Print Server Series］フォルダは、インストール時に作成されたフォルダです。
［DropPrint2］フォルダの内容が表示されます。

**2** **［FXPSS DropPrint2］をダブルクリックします。**

DropPrint2 が起動します。

**3** **［ファイル］メニューから［キャリブレーション］を選択します。**

画像ファイルを選択するダイアログボックスが表示されます。

補足
［プリンタ］が選択できない場合は、［送信先設定］ボタンをクリックして、送信先にサーバーを登録する必要があります。手順の詳細は、「4.3 DropPrint2 を使ってプリントする」を参照してください。

**4** **サーバーにアップロードする画像のチェックボックスをオンにし、［参照］をクリックしてサーバーに送信するファイル名を指定します。**

**5** **［送信］をクリックします。**

指定した画像が、サーバーに送信されます。

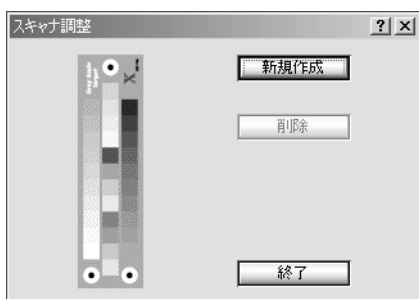
DropPrint2 を終了する場合は、［ファイル］メニューから［終了］を選択します。<Command>+<Q> キーでも終了できます。

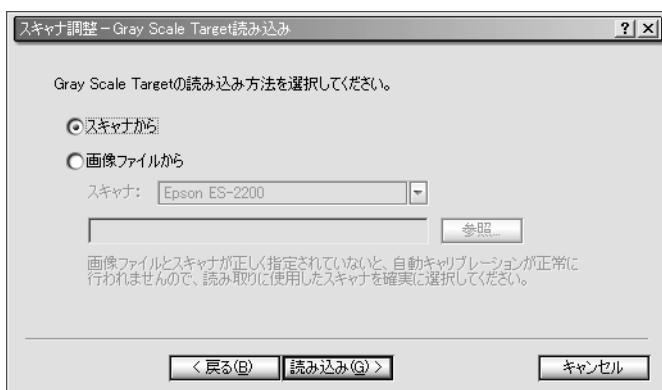
## 2.8.2　スキャナ調整ファイルの作成

**スキャナーで読み込んだ、Gray Scale Target の画像データから、スキャナーを調整するためのファイルを新規に作成する手順について説明します。**

操作手順

**1　ServerManager の［カラー調整］メニューから、［スキャナ調整］を選択します。**

［スキャナ調整］ダイアログボックスが表示されます。

**2　［新規作成］をクリックします。**

［スキャナ調整 -Gray Scale Target 読み込み］ダイアログボックスが表示されます。

**3　サーバーに接続したスキャナーから読み込む場合は、［スキャナから］を選択します。**

**クライアントコンピューターに接続されたスキャナーで、スキャンした画像ファイルを読み込む場合は、［画像ファイルから］を選択し、［スキャナ］から調整するスキャナー名を選択して［参照］をクリックして Gray Scale Target の画像ファイルを指定します。**

補足

- ［スキャナから］は、［サーバーの環境設定］の［スキャン］タブで、［スキャナを使う］がオンになっている場合に選択できます。
- DropPrint2 を使ってサーバーに送信された画像ファイルは、「D:\FujiXerox\Print Server Series\cpsi\ColorProfile\Calibration\DPCG835_1\AdjustScanner」フォルダに保存されています。シートのスキャンとアップロード方法については、「2.8.1 シートのスキャンとサーバーへのアップロード」を参照してください。

## 4 ［読み込み］をクリックします。

注記
スキャナーで Gray Scale Target をスキャンしたときに、シートの置き方がずれていると、「Gray Scale Target が正しい位置に置かれていません。正しい位置に置いてください」というメッセージが表示されます。この場合は Gray Scale Target の位置を確認し、再度シートのスキャンからやり直してください。

画像ファイルの読み込みが完了すると、［スキャナ調整 - 保存］ダイアログボックスが表示されます。

## 5 スキャナ調整ファイルのファイル名を入力し、［OK］をクリックします。

補足
ファイル名のデフォルトは、「YYMMDD-HHMMSS」です。

［スキャナ調整］ダイアログボックスに戻ります。ダイアログボックスを閉じるときは、［終了］をクリックします。

### スキャナ調整ファイルの削除

**スキャナ調整ファイルを削除したい場合は、［カラー調整］メニューから［スキャナ調整］を選択して、［削除］をクリックします。**
**表示された［スキャナ調整 - 削除］ダイアログボックスで、削除するスキャナ調整ファイルを選択し、［削除］をクリックします。確認のためのダイアログボックスで、［はい］をクリックします。**

補足
スキャナ調整ファイルのうち、少なくとも最新から 2 番めまでのスキャナ調整ファイルはバックアップとして残しておいてください。

# 2.9 色調整のヒント

入力、表示、そして出力にいたるまで、一貫して正確な色を保持することは簡単なことではありません。色と印刷についての知識を学ぶことも必要になるでしょう。
ここでは、色調整を成功させるためのヒントをいくつか用意しました。期待どおりのプリント結果が得られなかったときや、ワークフローを見直すときの参考にしてください。

## 印刷会社との打ち合わせ

プロセス校正や印刷物のような CMYK 出力の場合は、紙質やインク、印刷方法、環境要素もあいまって、色再現の領域が変化します。また、印刷機ごとに、使用すべきスクリーン線数や角度、網点などの設定は異なります。印刷会社と十分に打ち合わせをしてください。

## ICC プロファイルと、その他のプロファイル

必ずしも ICC プロファイルを使う必要はありませんが、使用するとカラー管理が簡単になります。より厳密なカラーシミュレーションを行う場合は、測色データを作成することをお勧めします。

## ユーザー調整カーブの活用

ユーザー調整カーブは、キャリブレーション機能と分離されているうえ、CMYK それぞれの色の濃度を調整できます。カーブを操作するだけで、明るさや色調を自由に変えることができます。ユーザー調整カーブを活用してください。

## 入力機器と出力機器の補正

モニター、スキャナー、およびプリンターの性能は、時間が経つと変化します。デバイスのキャリブレーションは、色の調整において重要なプロセスのひとつです。アプリケーションの操作を始める前に、必ず行ってください。

## アプリケーションとプリントオプションの設定

プリントオプションの項目に、設定忘れはありませんか？ また、アプリケーションの RGB、CMYK、および ICC プロファイル設定情報に、誤りはありませんか？ 付属のマニュアルを参照して、もう一度確認してください。

## 測色をするときの注意

測色器のキャリブレーションや測色方法は、カラーシミュレーションの精度に大きく影響します。「測色時の注意」をお読みのうえ、正しくご利用ください。

## 色パッチの確認

印刷された各パッチに、汚れや色ムラがないことを確認します。汚れなどがあった場合は、印刷会社に再度印刷してもらってください。

3章

# いろいろな機能の利用

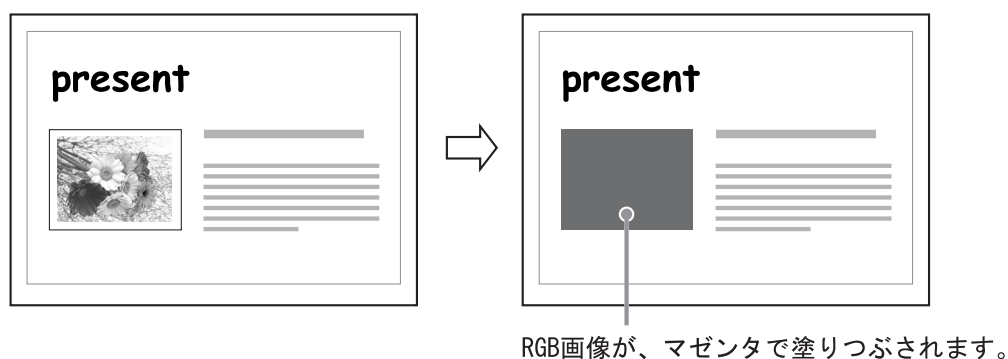


この章では、Print Server Series でできる、いろいろな機能の操作手順について説明します。サーバーを使いこなすために、お役立てください。

# 3.1 印刷前に画像の確認をする

## ■この機能でできること

**ドキュメントのオブジェクトに、オーバープリントが設定されていたり、RGB 画像や、印刷で再現されにくい細線などが使用されていたりするとき、それを指定色で区別してプリントできます。また、ディスプレイでは確認できないオーバープリントやトラッピング、色分版も、印刷と同じ出力形態でプリントできます。**

■[RGB画像警告]を設定した場合

参照

警告色や対象とするアプリケーションを変更できます。「付録 C 画像に対する警告値とメモ書きの設定」を参照してください。

操作手順

### 1 ServerManager にあるジョブまたはクライアントのドキュメントから、プリントオプションダイアログボックスを開きます。

以下は、ServerManager で［ジョブ編集］ダイアログボックスの［画質］タブを表示した画面です。

## 2 項目を設定します。

■2 色印刷シミュレーション

使用する色版（C、M、Y、K）の指定と、置き換える特色名を指定します。
この機能を使うと、チラシなどで使用される特色を用いた 2 色印刷をシミュレーションできます。特色の指定方法については、「6.2.6 画質タブ」を参照してください。

■RGB 画像警告

色分版出力などで問題の発生する RGB および CIE 画像を、警告色でプリントして警告します。RGB イメージや RGB オブジェクトなどの RGB 画像をマゼンタで、CIE 画像はシアンの警告色でプリントします。[カラーモード] が [グレースケール（K）] の場合には、RGB 画像警告機能は無効になります。デフォルトは、「オフ」です。

補足

CIE 画像とは、CIE 色空間で色を記述した画像のことです。たとえば、Photoshop でポストスクリプトカラー管理機能をオンにすることによって、RGB 画像は自動的に CIE 画像に変換されます。また、CMYK 画像はカラープロファイルを埋め込んだ形で CIE 画像に変換されます。

コンポジットプリンターへの出力で、RGB の PostScript コードを出力するアプリケーションは、分版出力を行うとき RGB 画像を白黒画像で出力してしまいます。このため、コンポジットプリンターへの出力ではカラーでプリントされても、オフセット印刷などのための分版出力では白黒で印刷されてしまう場合があります。
また、Photoshop でポストスクリプトカラー管理をオンにして作成した CMYK 画像（CIE 画像：カラープロファイルが埋め込まれている）は、コンポジットプリンターへの出力では埋め込まれたカラープロファイルが適用されますが、分版出力ではカラープロファイルが適用されず、色再現に差違が生じてしまう場合があります。
この機能を使用すれば、オフセット印刷（分版出力）を行うとコンポジットプリンターとは異なる結果になってしまうような画像を事前に検出できます。

■色分版の合成

各色の版を合成するスタイルを選択します。
PageMaker、Illustrator、FreeHand、QuarkXPress、または InDesign など、いくつかのレイアウトアプリケーションで提供されている色分版機能はフィルム出力するイメージセッター用なので、それぞれのページは 1 枚以上（通常 4 枚）のグレースケールのページに変換されてプリントされます。色分版の合成機能を持たないプリンターでこのようなページをプリントすると、オリジナルの 1 ページごとに使われている色数と同じ枚数がグレースケールでプリントされます。
この機能を使うと、これらのページを 1 枚のカラーページに合成してプリントできます。この機能で作成した色校正出力は、フィルムから作成した色校正出力の代わりになります。オーバープリントを指定したオブジェクトを正しい色でプリントするので、トラッピングの結果も確認できます。
対応している特色は、DIC、TOYO、PANTONE です。

■ヘアライン警告

任意の幅より細いオブジェクトを、抽出、消去、または警告色でプリントします。この機能を使うと、オフセット印刷で消えてしまったり、かすれてしまったりする可能性のある線幅のオブジェクトを確認できます。

■オーバープリント警告

オーバープリントまたはトラッピングが指定されているオブジェクトを、再現、抽出または警告色でプリントします。グレースケールモードでも指定できます。グレースケールモードで警告色を指定した場合は、K70%でプリントされます。
コンポジット出力でプリントしてオーバープリントやトラッピングを確認する場合、オーバープリントなどの指定は、ディスプレイでもプリント結果でもノックアウトで表示またはプリントされるので、設定を見落としがちです。
この機能を使うと、印刷前にオーバープリントが指定されている部分を検知できます。
また、再現機能では、コンポジットプリントでも、アプリケーションで指定したオーバープリントやトラッピングを検出してシミュレーションすることができます。

### 3 ［プリント］をクリックします。

プリントが始まります。

# 3.2 カラーパッチやコメントをつける

## ■この機能でできること

**カラーパッチやプリントオプションの設定情報、およびコメントなどを、用紙の左下角にプリントする機能です。**
**カラーパッチを一緒にプリントすると、プリンターや色補正パラメーターなどの状態を確認するのに便利です。**
**［カスタム］では、カンプ番号を付けることができます。複数部のプリント出力を行い、自分と先方、あるいは複数部署で校正するような場合に、編集や修正によるバージョンの不整合が発生しないようにこの番号で確認できます。**
**［オプションメモ］を選択すると、RGB 色補正、ユーザー調整、CMYK シミュレーション、コンポジット特色補正などのデフォルトを変更した場合に、設定値や使用したプロファイル名などがプリントされます。**

注記

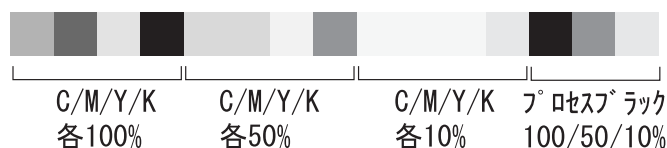
**<［カスタム］でプリントできる番号について>**

- 複数部数の設定および複数ページのドキュメントは、すべてのページに同じ番号がプリントされます。
- プリントされる番号は、RIP 処理のたびに、またキャンセル、エラー、および Windows からのフォントのダウンロードのときに、カウントアップします。

参照

- プリントされるプリントオプション情報の項目については、「6.2.5　出力指定タブ」の「■メモ書き」を参照してください。
- パッチのサイズや使用するフォントなどを変更できます。「付録 C 画像に対する警告値とメモ書きの設定」を参照してください。

用紙の左下角にプリントされます。

■カラーパッチ（1×1cm、計15パッチ）

操作手順

**1 ServerManager にあるジョブまたはクライアントのドキュメントからプリントオプションダイアログボックスを開きます。**

以下は、ServerManager で［ジョブ編集］ダイアログボックスの［出力指定］タブを表示した画面です。

**2 ［メモ書き］からメモの種類を選択します。**
**［コメント］を選択した場合は、31 バイト以内でコメントを入力します。**

**3 コメントとドキュメントの重ね方を指定します。**

［上書き］チェックボックスをオンにすると、ドキュメントの上にメモを重ねてプリントします。オフにすると、メモの上にドキュメントを重ねてプリントします。

**4 ［プリント］をクリックします。**

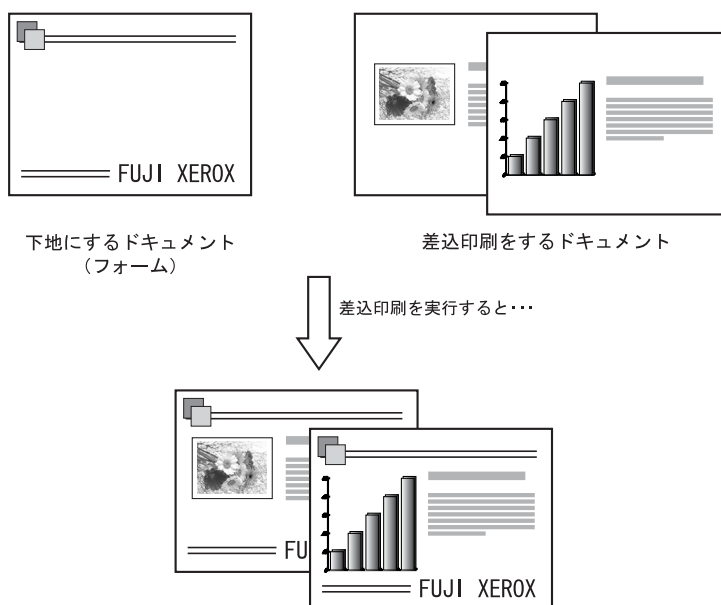
プリントが始まります。

# 3.3 フォームページと重ねてプリントする（差込印刷）

## ■この機能でできること

**差込印刷とは、1 つのドキュメントをフォームとして使い、ほかのドキュメントの内容を重ねてプリントする機能です。フォーム用のドキュメントを 1 つだけ作成すれば、その他のページにはイメージを貼り付ける必要がないので、ファイルサイズを気にせずに作業ができます。また、フォーム用ドキュメントの RIP 処理が 1 回で済むので、複数ページのときのプリント処理が速くなります。**

注記

- 下地にするドキュメントと、下地の上に合成するドキュメントのイメージが重なる場合、下地になるほうは上のドキュメントのイメージに上書きされてしまうので、プリントされません。
- ServerManager の保持リストで複数のジョブを選択した場合は、［差込印刷］を選択できません。
- 複数ページのジョブも、フォームとして登録できます。フォームの最終ページまで使用されたら、先頭ページに戻ります。また、［ジョブ編集］ダイアログボックスで、あらかじめページ範囲を指定しておけば、指定したページだけをフォームとして使うこともできます。
- 差込印刷は、フォーム用のドキュメントと重ねるドキュメントの［原稿タイプ］が同じ場合にできます。異なる場合は、エラージョブとなります。また、［原稿タイプ］が［文字 / 写真（写真優先）］、または［文字 / 写真（文字優先）］の場合、重ねるドキュメントの白データ部分はフォーム用のオブジェクトに従って処理されます。白データ以外の部分は重ねるドキュメントのオブジェクトに従って処理されます。

**差込印刷ができるジョブの条件は、次のとおりです。**

### ■ファイルフォーマット

- **PostScript**
- **PDF**

### ■用紙サイズ

**次の用紙サイズのジョブは、差込印刷できません。**

- **A3x2**
- **A2L**
- **B4x2**
- **B3L**
- **A5 ブックレット**
- **A4 ブックレット**
- **B5 ブックレット**
- **8.5x11 ブックレット**

### ■登録件数

**フォームとして、100 件まで登録できます。**

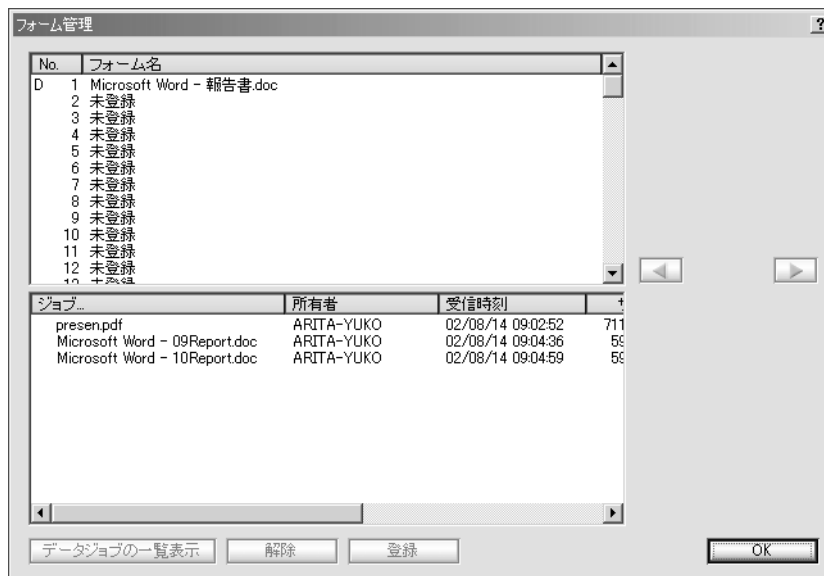
**ServerManager で、新規にフォームを登録してから差込印刷をする手順について説明します。**

操作手順

**1** **下地としてフォームに登録するジョブと、その上に重ねるジョブを、ServerManager の保持ジョブに保存します。**

**2** **［ツール］メニューから［フォーム管理］を選択します。**

［フォーム管理］ダイアログボックスが表示されます。

上段は、フォームとして登録済みのジョブのリストです。
下段は、ServerManager に保存されている、未登録のジョブのリストです。グレー表示されているのは、エラーリストにあるジョブです。

補足

上段のリストからフォームを選んでダブルクリックすると、［ジョブ情報］ダイアログボックスが表示され、ジョブについての情報が確認できます。

## 3 ［フォーム管理］ダイアログボックスの下段のリストから、フォームとして登録するジョブを選択し、［登録］をクリックします。

一般ユーザーモードで、セキュリティープリントの指定がされているジョブを選択した場合は、表示されたダイアログボックスでパスワードを入力します。

［フォーム登録］ダイアログボックスが表示されます。

補足

ジョブを上段の登録したい番号にドロップしても、フォームとして登録できます。

## 4 フォーム番号を指定し、フォーム名を確認して［OK］をクリックします。

［フォーム登録］ダイアログボックスが閉じます。

## 5 ［フォーム管理］ダイアログボックスで、［OK］をクリックします。

［フォーム管理］ダイアログボックスが閉じます。

## 6 RIP 処理済みデータの作成が必要な場合は、RIP 処理済みデータを作成するダイアログボックスが表示されるので、［はい］をクリックします。

［いいえ］をクリックすると、RIP 処理済みデータは作成されません。

RIP 処理済みデータを持たないフォームを使ってクライアントから差込印刷をすると、ジョブがエラーになります。

注記

一般ユーザーモードの場合は、指定したジョブが RIP 処理済みデータを持っていなくても作成するためのダイアログボックスは表示されません。

**手順 7 以降では、差込印刷をプリント指示する手順を説明します。**

いろいろな機能の利用

3

## 7 ServerManager の保持リストから、フォームの上に重ねるジョブを選択し、［ジョブ］メニューから［差込印刷］を選択します。

一般ユーザーモードで、セキュリティープリントの指定がされているジョブを選択した場合は、表示されたダイアログボックスでパスワードを入力します。

［フォーム指定］ダイアログボックスが表示されます。
［フォームジョブ一覧］には、フォームとして登録済みのジョブが表示されます。

フォーム指定

データジョブ
ジョブ名: Microsoft Word - 09Report.doc
ファイル名: Microsoft Word - 09Report.doc
所有者: ARITA-YUKO
用紙サイズ: A4L
ページ数: 2
受信日時: 2002年8月14日 9:04:36
ファイルタイプ: PostScript
ファイルサイズ: 59.0 KB

□バックグラウンド消去

フォームジョブ一覧

| No. | フォーム名 |
|---|---|
| D 1 | Microsoft Word - 報告書.doc |

プリント　選択解除　OK　キャンセル

**注記**

- 次のジョブはグレーで表示され、フォームとして使用できません。
  - ・上に合成するジョブと、用紙サイズ、プリンターモード、または画質モードの設定が異なる
  - ・プリントできないエラージョブ
- セキュリティープリントの指定がされているジョブをフォームとして使用する場合は、上に合成するジョブもセキュリティープリントの指定がされていて、同じパスワードが設定されていないと、差込印刷のジョブはエラーになります。

## 8 ［フォームジョブ一覧］から、使用するフォームを選択します。フォームの上に重ねるドキュメントを PowerPoint などのアプリケーションで作成した場合、白色の背景が下地のイメージを塗りつぶすことを防ぐため、［バックグラウンド消去］チェックボックスをオンにします。

## 9 ［プリント］をクリックします。

差込印刷が始まります。

### フォーム登録の解除

フォームとしての登録を解除したい場合は、[ツール] メニューから [フォーム管理] を選択し、表示された [フォーム管理] ダイアログボックス内の上段のリストから解除するジョブを選択して、[解除] をクリックします。
RIP 処理済みデータの削除を確認するダイアログボックスが表示された場合は、[はい] をクリックします。
登録が解除され、登録されていたフォーム番号が「未登録」に戻ります。

### クライアントのプリントオプションから差込印刷を設定する場合

クライアントからも、プリントオプションを使って差込印刷ができます。

参照
詳細は、「6.2.5 出力指定タブ」の「■差込印刷」を参照してください。

**■フォームの登録**

使用したいフォームがサーバーに登録されていない場合は、フォームにするドキュメントのプリントオプションで次の項目を選択してから、ジョブをサーバーへ送信します。

- [差込印刷] の [フォームとして登録]
- [フォーム番号] で登録したい番号とフォーム名の入力
- 上記で指定した番号が登録済みのとき、新しく登録したフォームに変更する場合は、[強制上書き] をオン

**■データの差込印刷**

フォームの登録が済んだら、その上に重ねるドキュメントのプリントオプションで、次の項目を選択してプリント指示をします。

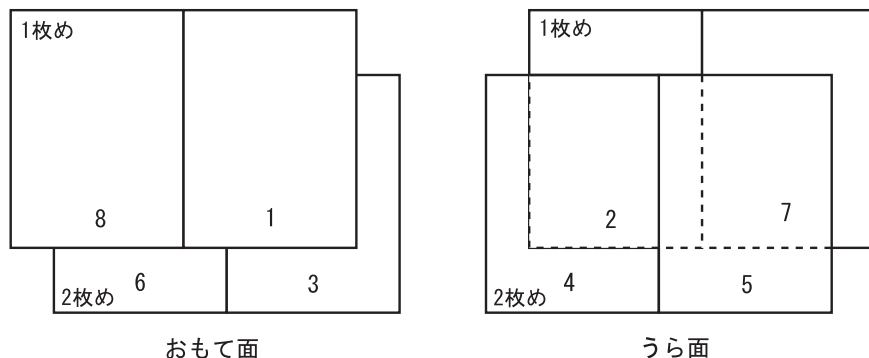
- [差込印刷] の [フォームを使う]
- 使用するフォームの番号
- 必要に応じて、[バックグラウンド消去] をオン

# 3.4 面付けプリントで小冊子を作成する（小冊子作成）

## ■この機能でできること

**小冊子作成を使うと、複数ページのドキュメントをプリントし、まとめて中央で 2 つ折りにしてとじたとき、小冊子の形になるようにプリントできます。プリントするときには、ページ番号が順番に並ぶように自動的に調整しながら、両面印刷されます。**

注記
- ServerManager で小冊子作成ができるのは、保持リストにあるジョブだけです。
- 中綴じ以外のとじ方には、対応していません。
- 小冊子作成をするには、プリンターにオプションの両面印刷モジュールが装着されている必要があります。

**例）A4 サイズ 8 ページ分のドキュメントを、左とじで A3 にプリントした場合**

**小冊子作成ができるジョブの用紙サイズと、プリントされる用紙サイズは、次のとおりです。**

### ■用紙サイズ

**用紙サイズは、ジョブの 1 ページのサイズです。**
**小冊子作成ができる用紙サイズは、次のとおりです。**

- **A5L**
- **A5**
- **A4L**
- **A4**
- **B5L**
- **B5**
- **8.5x11L**
- **8.5x11**
- **A5 ブックレット**
- **A4 ブックレット**
- **B5 ブックレット**
- **8.5x11 ブックレット**

補足

**<ブックレットサイズについて>**
クライアントのプリンタードライバーからブックレット専用の用紙サイズを指定すると、のどあき部分（ページの余白）にもイメージをプリントできます。A4 など定型サイズの用紙を指定した場合は、のどあき部分に 8㎜ の余白が付きます。

### ■プリントされる用紙サイズ

**プリントされる用紙サイズは、もとのサイズの 2 倍の大きさになります。**
**たとえば、A4 サイズのジョブは、A3 サイズでプリントされます。**

注記

A5L/A5/A5 ブックレットサイズのジョブを小冊子作成する場合は、トレイに A4 用紙をセットしてください。A4L 用紙では、正しく印刷されません。

操作手順

**1** ServerManager の保持リストから、小冊子作成をするジョブを選択します。

**2** ［ジョブ］メニューの［小冊子作成］を選択します。

一般ユーザーモードで、セキュリティープリントの指定がされているジョブを選択した場合は、表示されたダイアログボックスでパスワードを入力します。

［小冊子作成］ダイアログボックスが表示されます。

**3** 必要に応じて各項目を設定します。

| 項目 | 設定 |
|---|---|
| 部数 | 1 ～ 999 の範囲で、1 部刻みに指定します。 |
| ソートする（一部ごと） | 複数部数プリントするときに、部単位でまとめてプリントする場合は、チェックボックスをオンにします。 |
| とじ方 | とじ方を指定します。<br>小冊子の状態にしたときに、ページを開く方向をどちら側にするかを指定します。<br>右とじ / 上とじ　たて向き原稿の場合は右側をとじるように、よこ向き原稿の場合は上側をとじるようにプリントされます。<br>左とじ / 下とじ　たて向き原稿の場合は左側をとじるように、よこ向き原稿の場合は下側をとじるようにプリントされます。 |
| 出力範囲 | プリントする用紙の範囲を指定します。<br>［1 枚目のみ］、［2 枚目以降］は、表紙だけ厚紙などにする場合に使用します。<br>すべて　すべての用紙をプリントします。<br>1 枚目のみ　小冊子になったときの 1 枚目の用紙だけをプリントします。たとえば、8 ページの原稿の場合、1、2、7、8 ページが印字された用紙をプリントします。<br>2 枚目以降　小冊子になったときの 2 枚目以降の用紙をプリントします。たとえば、8 ページの原稿の場合、3、4、5、6 ページが印字された用紙をプリントします。 |

| 項目 | 設定 |
|---|---|
| 用紙トレイ | **プリントに使用する用紙トレイを選択します。**<br>補足<br>手差しトレイから自動両面できない場合は、［手差しのおもて面 / うら面］で［おもて面のみ］を選択しておもて面をプリントします。そのあと、プリントされた用紙のうら面を上にして用紙をセットし、［うら面］を選択してうら面をプリントします。 |
| 用紙種類 | **手差しトレイからプリントする場合に、プリントする用紙の種類を選択します。** |
| 手差しのおもて面/うら面指定 | **手差しトレイからプリントする場合に、プリント面を指定します。**<br>**自動両面**　**手差しトレイから自動両面プリントができる場合に指定します。自動両面プリントできない用紙種類の場合は、[おもて面のみ]、または［うら面のみ］を指定して、片面ずつプリントしてください。**<br>補足<br>自動両面プリントができない用紙種類に［自動両面］を指定した場合は、［おもて面のみ］と同じ動作になります。<br>**おもて面のみ**　**小冊子になったときのおもて面だけをプリントします。たとえば、8 ページの原稿の場合、1、8 ページが印字された用紙と 3、6 ページが印字された用紙をプリントします。**<br>**うら面のみ**　**小冊子になったときのうら面だけをプリントします。たとえば、8 ページの原稿の場合、2、7 ページが印字された用紙と 4、5 ページが印字された用紙をプリントします。** |

## 4 ［OK］をクリックします。

1 枚の用紙の両面に、それぞれ 2 ページずつプリントされます。

プリントされた用紙を重ね合わせて中央で 2 つ折りにすると、正しいページ順序になり、そのまま小冊子のようにとじることができます。

補足

小冊子作成時に表示されるプリント枚数は、実際にプリントされる枚数を表しています。

### クライアントのプリントオプションから小冊子作成を設定する場合

**クライアントからも、プリントオプションを使って小冊子作成ができます。**

参照

詳細は、「6.2.4 排出指定タブ」の「■小冊子作成」を参照してください。

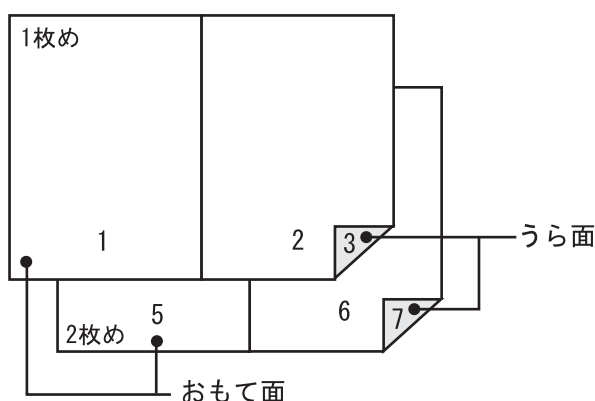
# 3.5 1 枚の用紙に 2 ページ分を割り付ける（2 アップ）

## ■この機能でできること

**ServerManager で 2 アップを指定すると、複数ページのドキュメントを 1 枚の用紙に 2 ページずつ割り付けてプリントします。両面印刷を指定した場合は、原稿の向きに関わらず、プリントされる用紙に対して、「短辺とじ」になります。**

注記

- 2 アップができるのは、ServerManager の保持リストにあるジョブだけです。
- 2 アップで、両面印刷を指定するには、プリンターにオプションの両面印刷モジュールが装着されている必要があります。

**例）A4 サイズ 8 ページ分のドキュメントを、A3 に両面でプリントした場合**

**2 アップができるジョブの用紙サイズと、プリントされる用紙サイズは、次のとおりです。**

### ■用紙サイズ

**用紙サイズは、ジョブの 1 ページのサイズです。**
**2 アップができる用紙サイズは、次のとおりです。**

- **A5**
- **A5L**
- **8.5x11**
- **8.5x11L**
- **B5**
- **B5L**
- **A4**
- **A4L**

### ■プリントされる用紙サイズ

**プリントされる用紙サイズは、もとのサイズの 2 倍の大きさになります。**
**たとえば、A4 サイズのジョブは、A3 サイズでプリントされます。**

注記

A5L/A5 サイズのジョブを 2 アップで印刷する場合は、トレイに A4 用紙をセットしてください。A4L 用紙では、正しく印刷されません。

操作手順

**1** **ServerManager の保持リストから、2 アップ印刷をするジョブを選択します。**

**2** **［ジョブ］メニューの［2 アップ］を選択します。**

一般ユーザーモードで、セキュリティープリントの指定がされているジョブを選択した場合は、表示されたダイアログボックスでパスワードを入力します。

［2 アップ印刷］ダイアログボックスが表示されます。

**3** **［用紙トレイ］を指定します。**

**4** **両面印刷をする場合は、チェックボックスをオンにします。**

**5** **［OK］をクリックします。**

1 枚の用紙に、2 ページずつプリントされます。

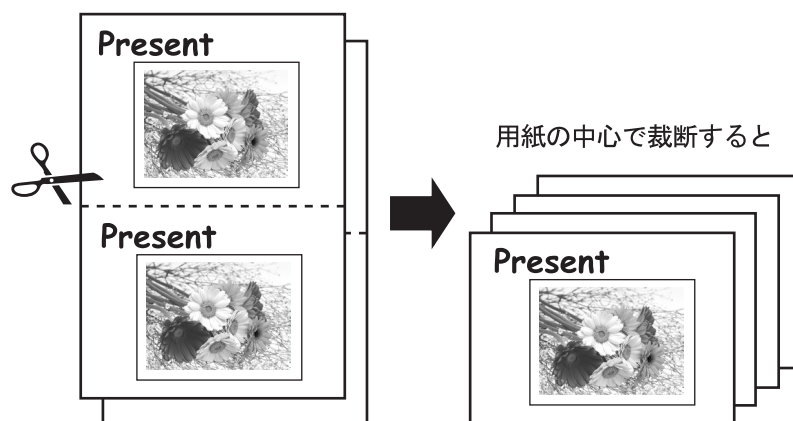
補足

2 アップ印刷時に表示されるプリント枚数は、実際にプリントされる枚数を表しています。

# 3.6 同じ画像を 1 枚の用紙に 2 枚繰り返してプリントする（ダブルプリント）

■この機能でできること

**ServerManager でダブルプリントを指定すると、複数ページのドキュメントを 1 枚の用紙に 2 枚ずつ繰り返してプリントします。プリント後に、中心で用紙を裁断すれば、1 枚の用紙から 2 枚のドキュメントを作成できます。**
**また、両面印刷を指定した場合は、プリントされる用紙に対して、「短辺とじ」にされるため、用紙を裁断すると、たて向き原稿、よこ向き原稿ともに、「長辺とじ」になります。**

注記
- ダブルプリントができるのは、ServerManager の保持リストにあるジョブだけです。
- クライアントからは指示できません。
- ダブルプリントで、両面印刷を指定するには、プリンターにオプションの両面印刷モジュールが装着されている必要があります。

**ダブルプリントができるジョブの用紙サイズと、プリントされる用紙サイズは、次のとおりです。**

■用紙サイズ

**用紙サイズは、ジョブの 1 ページのサイズです。**
**ダブルプリントができる用紙サイズは、次のとおりです。**

- A5
- A5L
- 8.5x11
- 8.5x11L
- B5
- B5L
- A4
- A4L

■プリントされる用紙サイズ

**プリントされる用紙サイズは、もとのサイズの 2 倍の大きさになります。**
**たとえば、A4 サイズのジョブは、A3 サイズでプリントされます。**

注記
A5L/A5 サイズのジョブを小冊子作成する場合は、トレイに A4 用紙をセットしてください。A4L 用紙では、正しく印刷されません。

操作手順

**1** **ServerManager の保持リストから、ダブルプリントをするジョブを選択します。**

**2** **［ジョブ］メニューの［ダブルプリント］を選択します。**

一般ユーザーモードで、セキュリティープリントの指定がされているジョブを選択した場合は、表示されたダイアログボックスでパスワードを入力します。

［ダブルプリント］ダイアログボックスが表示されます。

**3** **［用紙トレイ］を指定します。**

**4** **両面印刷をする場合は、チェックボックスをオンにします。**

**5** **［OK］をクリックします。**

1 枚の用紙に、同じページを 2 枚ずつ繰り返してプリントされます。

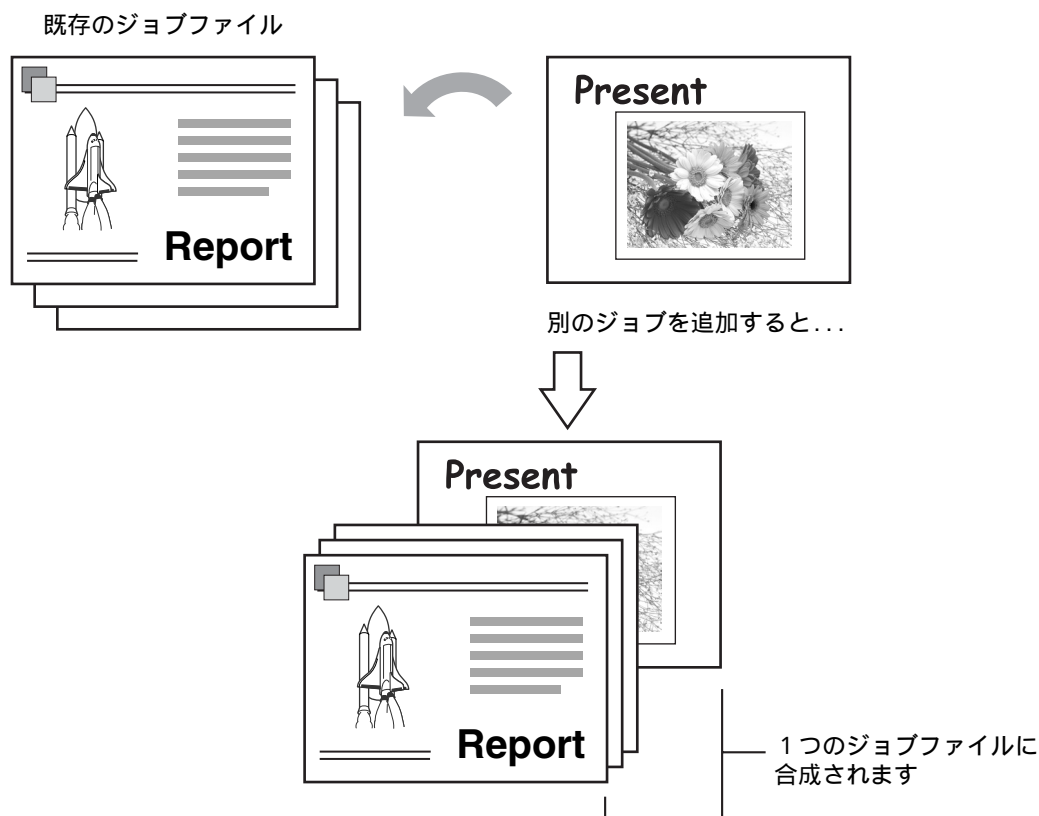
補足

ダブルプリント時に表示されるプリント枚数は、実際にプリントされる枚数を表しています。

# 3.7 ジョブを連結する（ジョブ連結）

## ■この機能でできること

**ジョブ連結を使うと、Illustrator など、1 ページしか作成できないジョブを複数まとめて 1 ジョブとして両面印刷したりできます。**
**ServerManager でそれぞれのジョブを連結し、連結順の変更、ジョブの追加 / 解除、それぞれのジョブのプレビューなどができます。また、プリントオプションが連結したジョブとそれぞれのジョブに対して設定できます。**
**連結したジョブは保存されるので、再プリントも可能です。**

注記
- ジョブ連結ができるのは、ServerManager の保持リスト、またはエラーリストにあるジョブだけです。クライアントからは指示できません。
- ジョブ連結は、管理者モードでのみ操作可能です。

操作手順

**1** **ServerManager の保持リスト、またはエラーリストから、1 つ以上のジョブ連結をするジョブを選択します。**

## 2 ［ジョブ］メニューの［ジョブ連結の作成］を選択します。

［ジョブ連結の編集］ダイアログボックスが表示されます。

## 3 各項目を設定します。

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| 名称 | ジョブ連結名を指定します。<br>デフォルトは、［ジョブ］メニューの［ジョブ連結の作成］を選択した日時から、「YYMMDDHHMM- リストの先頭のジョブ名」になります。31 バイトまで入力できます。 |
| ジョブ数 | 連結されるジョブの数が表示されます。 |
| ［個々のジョブの追加 / 解除］ボタン | ボタンをクリックすると、［個々のジョブの追加 / 解除］ダイアログボックスが表示されます。ジョブの追加 / 解除ができます。<br>詳しくは、後述の「●●● 個々のジョブの追加 / 解除ダイアログボックス」を参照してください。 |
| ジョブリスト | ジョブ連結の個々のジョブが一覧で表示されます。<br>表示されている順番で、ジョブが連結（プリント）されます。<br>ドラッグ＆ドロップで順番の入れ替えができます。 |
| 出力プリンタ | プリンターを 2 台接続している場合に、出力するプリンターを選択します。 |
| ［ページ］タブ<br>［カラー］タブ<br>［排出指定］タブ<br>［画質］タブ | ジョブ連結で指定できるプリントオプションを設定します。<br>プリントオプションについては、後述の「●●● ジョブ連結のプリントオプションについて」を参照してください。 |

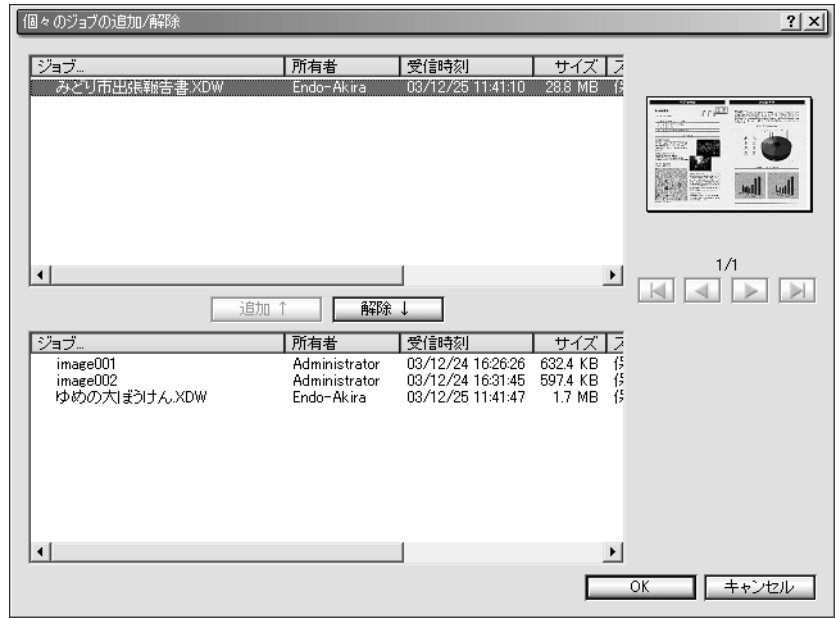
**4** **［プリント］をクリックすると、設定した内容で連結ジョブがプリントされます。**
**［OK］をクリックすると、設定した内容が保存されます。**

保存された連結ジョブは、［ジョブ連結の印刷］ダイアログボックスで確認できます。

［ジョブ連結の印刷］ダイアログボックスについては、後述の「ジョブ連結の印刷ダイアログボックス」を参照してください。



## 個々のジョブの追加 / 解除ダイアログボックス

**［個々のジョブの追加 / 解除］ダイアログボックスで設定できる項目は、以下のとおりです。**

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| 上側のジョブリスト | ジョブ連結の個々のジョブが一覧で表示されます。<br>表示されている順番で、ジョブが連結（プリント）されます。<br>ドラッグ＆ドロップで、順番の入れ替えと下側のリストに移動して連結の解除ができます。 |
| 下側のジョブリスト | 保持リスト、エラーリストのジョブが一覧で表示されます。<br>上側のリストにドラッグ＆ドロップして連結ジョブへの追加ができます。<br>補足<br>すでにジョブ連結として使用されているジョブは表示されません。 |

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| ［追加↑］ボタン | **下側のジョブリストからジョブを選択して、［追加↑］ボタンをクリックすると、連結ジョブの最後尾に選択したジョブが追加されます。**<br>補足<br>同じジョブをジョブ連結で 2 回以上使うことはできません。この場合は、ジョブを複製してください。 |
| ［解除↓］ボタン | **上側のジョブリストからジョブを選択して、［解除↓］ボタンをクリックすると、ジョブの連結を解除して下側のジョブリストの最後尾に選択したジョブが移動します。** |

## ジョブ連結のプリントオプションについて

**ジョブ連結に対してプリントオプションの設定と変更が可能です。**
**ジョブ連結の新規作成時には、ジョブ連結で設定可能なプリントオプションのデフォルト値として、先頭のジョブの設定値が使用されます。**

参照
プリントオプションで設定できる項目の説明は、「6.2 プリントオプション」を参照してください。

**また、プリントオプションには、ジョブ連結として保持し、RIP 処理済みデータを作成するときに、個々のジョブに一時的に適用するもの、個々のジョブの設定を使用するもの、無視するものがあります。**

| タブ名 | プリントオプション | 適用 | 備考 |
|---|---|---|---|
| | 出力先プリンタ | ○ | |
| ページ | 部数 | ○ | |
| | ページ範囲 | ○ | ［全ページ］、［奇数ページ］、［偶数ページ］から選択可能。新規作成時は、［全ページ］がデフォルトです。 |
| | | ◎ | 個々のジョブの［ページ範囲］の設定に従ってジョブ連結のページ数が決定し、それに対してページ範囲の指定が可能。 |
| | 用紙サイズ / イメージサイズの変更 | ○ | 個々のジョブ共通に用紙サイズを変更する場合。新規作成時は、[しない] がデフォルトです。 |
| | | ◎ | ジョブ連結に対して、[用紙サイズ / イメージサイズの変更］が［しない］の場合、個々のジョブの設定が有効になります。 |
| | 用紙の中心にプリント | ○ | 個々のジョブ共通に用紙サイズを変更する場合。新規作成時は、[しない] がデフォルトです。 |
| | | ◎ | ジョブ連結に対して、[用紙サイズ / イメージサイズの変更］が［しない］の場合、個々のジョブの設定が有効になります。 |
| | 用紙サイズに合わせる | ○ | 個々のジョブ共通に用紙サイズを変更する場合。新規作成時は、[しない] がデフォルトです。 |
| | | ◎ | ジョブ連結に対して、[用紙サイズ / イメージサイズの変更］が［しない］の場合、個々のジョブの設定が有効になります。 |
| | 用紙トレイ | ○ | |
| | 用紙種類 | ○ | |
| | 手差し手動両面 | ○ | |

| タブ名 | プリントオプション | 適用 | 備考 |
|---|---|---|---|
| カラー | カラーモード | ○ | |
| | プリンタモード | ○ | |
| | RGB 色補正 | ◎ | ［出力先プリンタ］で指定したプリンタに割り当てられているプロファイルが使用されます。 |
| | RGB ホワイトポイント | ◎ | |
| | RGB ガンマ補正 | ◎ | |
| | RGB 出力プロファイル | ◎ | ［出力先プリンタ］で指定したプリンタに割り当てられているプロファイルが使用されます。 |
| | RGB 出力インテント | ◎ | |
| | CMYK 色補正 | ◎ | |
| | CMYKシミュレーション | ◎ | ［出力先プリンタ］で指定したプリンタに割り当てられているプロファイルが使用されます。 |
| | ユーザー調整 | ○ | |
| | コンポジット特色補正 | ◎ | |
| 排出指定 | ソートする（一部ごと） | ○ | |
| | 両面印刷 | ○ | |
| | 排出先 | ○ | |
| | 最終ページから印刷 | ○ | |
| | 小冊子作成 | ● | ［しない］が設定されます。 |
| 出力指定 | スプールオプション | ● | ［プリント終了後、保存する］が設定されます。 |
| | 受信を優先する | − | |
| | RIP 済みデータの保存 | ● | ジョブ連結用に別に保存されます。 |
| | TIFF ファイルで保存 | ● | ［しない］が設定されます。 |
| | 差込印刷 | ● | ［しない］が設定されます。 |
| | メモ書き | ◎ | |

| タブ名 | プリントオプション | 適用 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 画質 | 色分版の合成 | ◎ | |
| | スムージング | ◎ | |
| | K オーバープリント | ◎ | |
| | RGB 黒を K に置換 | ◎ | |
| | RGB グレーを K に置換 | ◎ | |
| | 原稿タイプ | ○ | |
| | グレースケールの自動検出 | ○ | |
| | 画質モード | ○ | |
| | RGB 画像警告 | ◎ | |
| | ヘアライン警告 | ◎ | |
| | オーバープリント警告 | ◎ | |
| | 2 色印刷シミュレーション | ◎ | |
| | トラッピングの自動処理 | ◎ | |
| | Image Enhancement | ○ | |
| グラフィックス | プリント方向 | ◎ | |
| | 用紙サイズ | ○ | |
| | 用紙の中心にプリント | ○ | |
| | 用紙サイズに合わせる | ○ | |
| | 白黒反転 | ◎ | |
| | 解像度 | ◎ | |
| | イメージのタイトル | ◎ | |
| ユーザー情報 | ユーザー名 / アカウント / コメント / セキュリティプリント | ● | |

○：ジョブ連結として保持し、RIP 処理済みデータを作成するときに、個々のジョブに一時的に適用するもの
◎：個々のジョブの設定を使用するもの
●：無視するもの
－：無関係なもの

### ジョブ連結の印刷ダイアログボックス

[ジョブ連結の印刷]ダイアログボックスで設定できる項目は、以下のとおりです。

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| 連結ジョブリスト | 作成済みのジョブ連結が一覧で表示されます。 |
| ジョブ数 | 作成済みのジョブ連結の数が表示されます。 |
| [編集] ボタン | リストからジョブ連結を選択して、[編集] ボタンをクリックすると、[ジョブ連結の編集] ダイアログボックスが表示されます。ジョブ連結の編集ができます。 |
| [複製] ボタン | リストからジョブ連結を選択して、[複製] ボタンをクリックすると、選択したジョブ連結を複製します。<br>複製されたジョブ連結名は、「<元のジョブ名>のコピー _n」(n は連番）になります。 |
| [プリント] ボタン | リストからジョブ連結を選択して、[プリント] ボタンをクリックすると、選択したジョブ連結をプリントします。 |
| [RIP済みデータの削除]ボタン | リストからジョブ連結を選択して、[RIP 済みデータの削除] ボタンをクリックすると、選択したジョブ連結の RIP 処理済みデータを削除します。 |
| [削除] ボタン | リストからジョブ連結を選択して、[削除] ボタンをクリックすると、選択したジョブ連結を削除します。<br>表示される削除の確認ダイアログボックスの [個々のジョブも一緒に削除する] チェックボックスをオンにすると、削除するジョブ連結を構成している個々のジョブも保持リスト、エラーリストから削除します。 |
| [保存] ボタン | リストからジョブ連結を選択して、[保存] ボタンをクリックすると、フォルダーを選択するダイアログボックスが表示され、選択したジョブ連結を保存できます。保存されるファイルの拡張子は、「.jsf」です。<br>複数のジョブ連結を補損する場合に、同じファイル名がある場合は、ファイル名の後ろに「_n」(n は連番）を付けて保存します。保存時には、「ファイルを圧縮する」をチェックすることで、保存ファイルを圧縮して保存することもできます。<br>ジョブ連結の保存時には、設定してあるジョブ連結の設定情報も含まれます。 |
| [読み込み] ボタン | [読み込み] ボタンをクリックすると、ファイルを選択するダイアログを表示され、保存したジョブ連結を読み込むことができます。ファイルは複数選択できます。読み込んだジョブ連結の個々のジョブは、保持ジョブに保存されます。 |

# 3.8 FTP を使ってプリントする

## ■この機能でできること

**FTP を使用して、サーバーにプリントできます。デフォルトの ftp フォルダのほかに、サブフォルダを 20 まで設定できます。**

補足

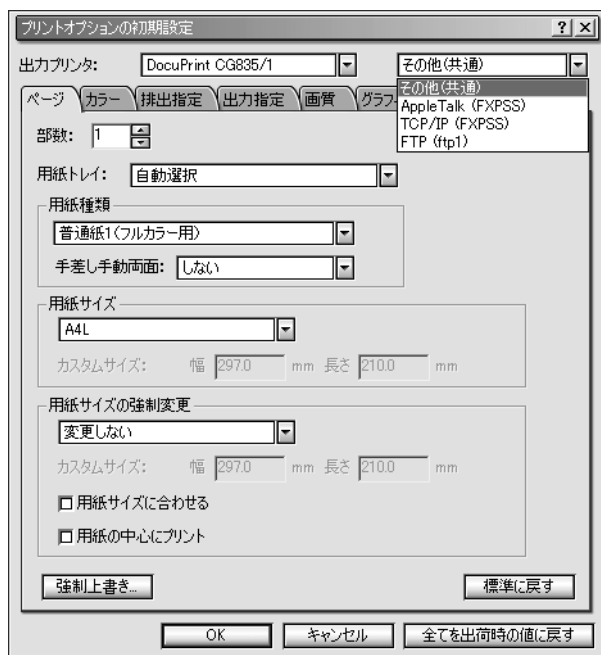
- サーバーにFTP接続するときの、ユーザー名、パスワードについては、システム管理者に確認してください。
- 本機能を使用するには、あらかじめサーバーOS側にユーザーを登録しておく必要があります。「anonymous」で使用する場合は、「付録 N.3 FTP の匿名アクセスについて」を参照してください。

### ■ファイルフォーマット

**プリントできるファイルフォーマットは、次のとおりです。**

- **PostScript**
- **EPS**
- **TIFF**
- **PDF**
- **SunRaster**
- **XWD**

### ■プリントオプション

**FTP サーバーに送信したドキュメントに対するプリントオプションは、ServerManager の［プリントオプションの初期設定］での設定項目が適用されます。［プリントオプションの初期設定］では、フォルダごとに設定できます。**

補足

プルダウンメニューに FTP フォルダが表示されない場合は、［サーバーの環境設定］ダイアログボックスの［ネットワーク］タブで［FTP プリント］のチェックボックスがオンになっているかどうかと、サブフォルダが設定されているかどうかを確認してください。［サーバーの環境設定］ダイアログボックスおよび FTP フォルダの設定については、「5.2.3 TCP/IP ネットワークで使用する場合」を参照してください。

### ■転送モード

**ドキュメントを送信するときの転送モードは、Binary（バイナリー）です。**

### ■データを格納するディレクトリ

**デフォルトの FTP ファイルを格納するディレクトリは、「/folder1」です。**
**サブフォルダのディレクトリは、「/folder1/xxxxx（サブフォルダ名）」です。**

# 3.9 両面印刷のずれを微調整する

## ■この機能でできること

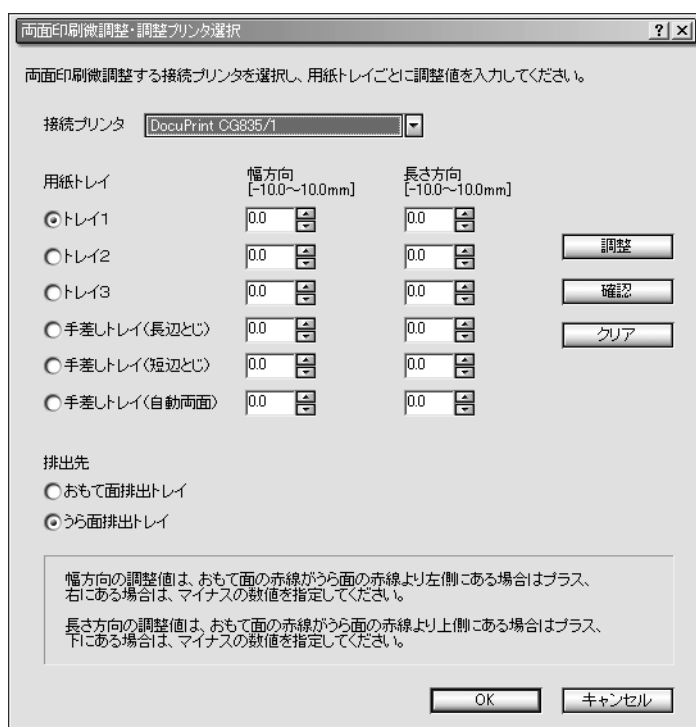
**両面印刷で表と裏の位置がずれる場合、ずれ幅を調整することで、サーバーからプリンターを微調整できます。**

注記

- 調整後に保存されている値は、トレイごとに１つです。
- 片面だけの位置の調整は、弊社のテレフォンセンターまたは販売店に連絡してください。

参照

両面印刷ができる用紙については、『取扱説明書（本体管理 / コピー編）または（本体管理編）』を参照してください。

## 3.9.1 両面印刷微調整

**ここでは、A4 用紙がセットされているトレイを例に説明します。**

操作手順

**1 ［FX_ServerManager］ウィンドウの［ツール］メニューから、［両面印刷微調整］を選択します。**

［両面印刷微調整・調整プリンタ選択］ダイアログボックスが表示され、現在の調整値が表示されます。現在の調整値でずれを確認する場合は、［確認］をクリックすると確認用シートが印刷されます。

調整値を直接入力することもできます。調整値をクリアする場合は、目的のトレイを選択して［クリア］をクリックするか、「0」を入力します。

両面印刷微調整・調整プリンタ選択

両面印刷微調整する接続プリンタを選択し、用紙トレイごとに調整値を入力してください。

接続プリンタ DocuPrint CG835/1

| 用紙トレイ | 幅方向 [-10.0～10.0mm] | 長さ方向 [-10.0～10.0mm] |
|---|---|---|
| トレイ1 | 0.0 | 0.0 |
| トレイ2 | 0.0 | 0.0 |
| トレイ3 | 0.0 | 0.0 |
| 手差しトレイ(長辺とじ) | 0.0 | 0.0 |
| 手差しトレイ(短辺とじ) | 0.0 | 0.0 |
| 手差しトレイ(自動両面) | 0.0 | 0.0 |

調整　確認　クリア

排出先

おもて面排出トレイ

うら面排出トレイ

幅方向の調整値は、おもて面の赤線がうら面の赤線より左側にある場合はプラス、右にある場合は、マイナスの数値を指定してください。

長さ方向の調整値は、おもて面の赤線がうら面の赤線より上側にある場合はプラス、下にある場合は、マイナスの数値を指定してください。

OK　キャンセル

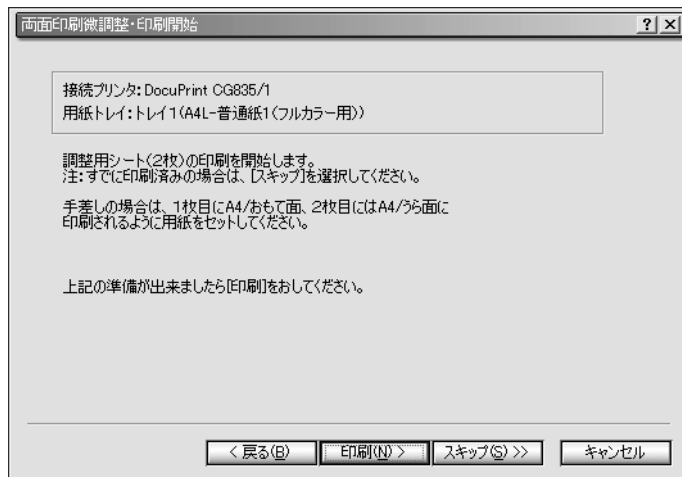
補足

**<手差しトレイを調整する場合>**

- 用紙は方向にセットしてください。
- 長辺とじ（表と裏が同じ方向を上にして印字する）と短辺とじ（表と裏の上下の方向を逆にして、プリント方向を 180 度回転して印字する）では、調整方向が異なるので別々に調整する必要があります。目的の項目を選択してください。
- ［手差しトレイ（長辺とじ）］の調整値は、用紙をに方向セットした場合の長辺とじと方向にセットした場合の短辺とじで使用されます。
  ［手差しトレイ（短辺とじ）］の調整値は、用紙をに方向セットした場合の短辺とじと方向にセットした場合の長辺とじで使用されます。



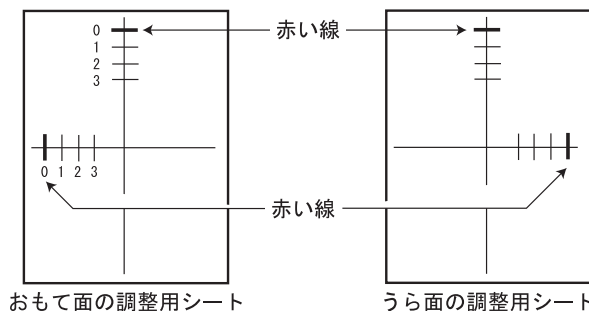
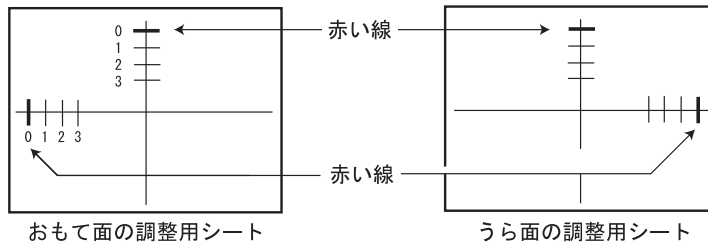
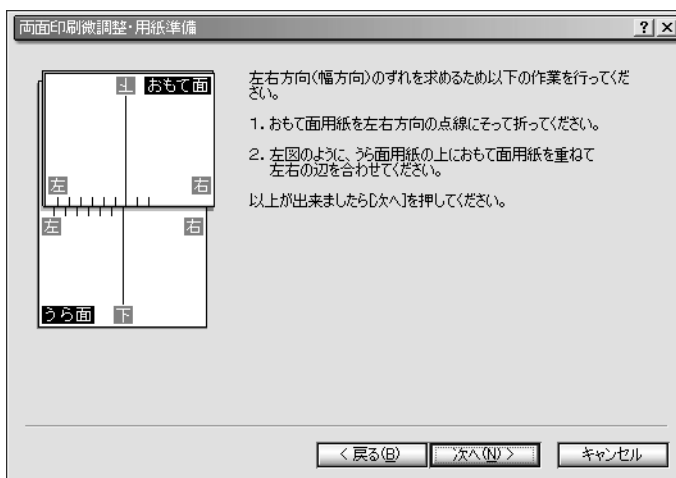
## 2 ［接続プリンタ］と、A4 用紙がセットされている［用紙トレイ］、［排出先］を選択し、［調整］をクリックします。

［両面印刷微調整・印刷開始］ダイアログボックスが表示されます。

## 3 指定した用紙トレイに用紙がセットしてあるかを確認し、［印刷］をクリックします。

補足

手差しトレイを調整する場合、用紙は方向にセットしてください。

調整用シートがプリントされます。

**■A4の用紙を選択した場合の調整用シート**

■A4□の用紙を選択した場合の調整用シート

調整用シートのプリントが終了すると、左右方向のずれ幅を求めるためのダイアログボックスが表示されます。

**4 ダイアログボックスのイラストのように、2 枚のシートを重ねます。**

**① おもて面用のシートを、印刷面を外側にして左右方向の線に沿って折ります。**

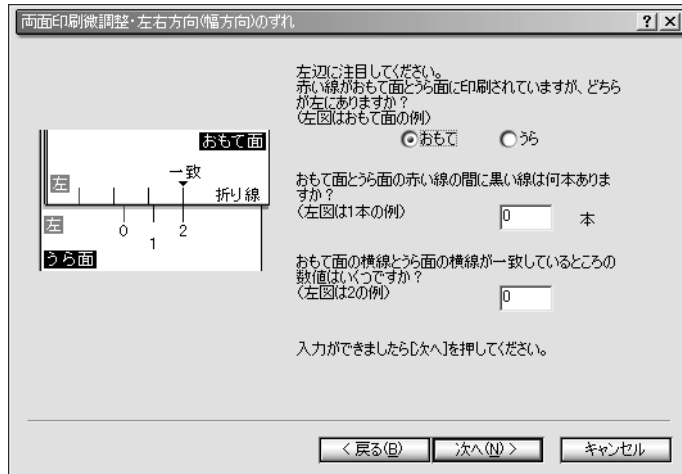
上側と右側に赤い線がプリントされているほうが、おもて面用のシートです。
上側と左側に赤い線と数字がプリントされているほうが、うら面用のシートです。

**② うら面用のシートの印刷面を表にして置き、その上に 2 枚めのシートを重ねます。**

シートの上下方向を間違えないように注意してください。

**③ 両方のシートの左右方向の線を合わせてから、用紙の左右の辺をぴったりそろえます。**

## 5 ［次へ］をクリックします。

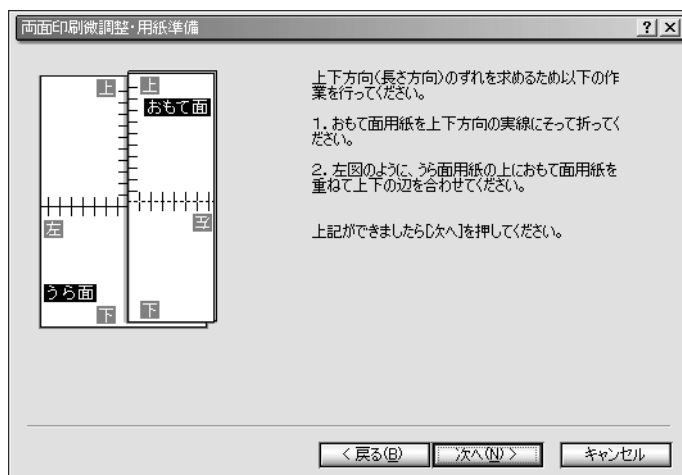
左右方向のずれを調整するためのダイアログボックスが表示されます。

## 6 ダイアログボックスのイラストのように、次の順で両方のシートの位置や本数を確認して、結果を入力します。

① 両方のシートの赤い線の位置を確認し、相手より左にあるほうをオンにします。

② おもて面用のシートとうら面用のシートの赤い線の間に目盛りが何本あるかを確認し、本数を入力します。

③ 両方の目盛りが一致しているところを確認し、その位置の番号を入力します。

## 7 ［次へ］をクリックします。

上下方向のずれ幅を求めるためのダイアログボックスが表示されます。

## 8 ダイアログボックスのイラストのように、今度は用紙の上辺をそろえて、2 枚のシートを重ねます。

**① おもて面用のシートを、印刷面を外側にして上下方向の線に沿って折ります。**

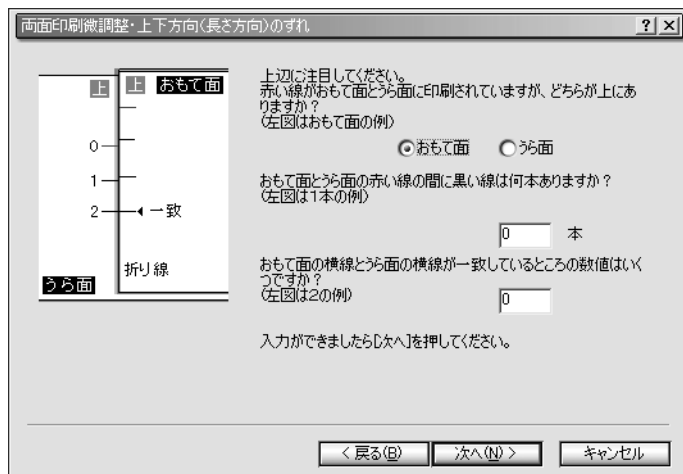
上側と右側に赤い線がプリントされているほうが、おもて面用のシートです。
上側と左側に赤い線と数字がプリントされているほうが、うら面用のシートです。

**② うら面用のシートの印刷面を表にして置き、その上に 2 枚めのシートを重ねます。**

シートの上下方向を間違えないように注意してください。

**③ 両方のシートの上下方向の線を合わせてから、用紙の上下の辺をぴったりそろえます。**

## 9 ［次へ］をクリックします。

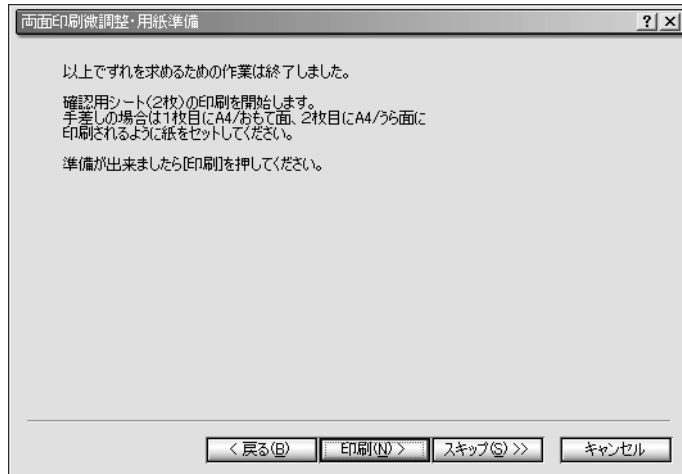
上下方向のずれを調整するためのダイアログボックスが表示されます。

## 10 手順 6 と同じように、両方のシートの線の位置や本数を確認して、結果を入力します。

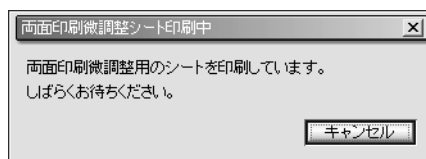
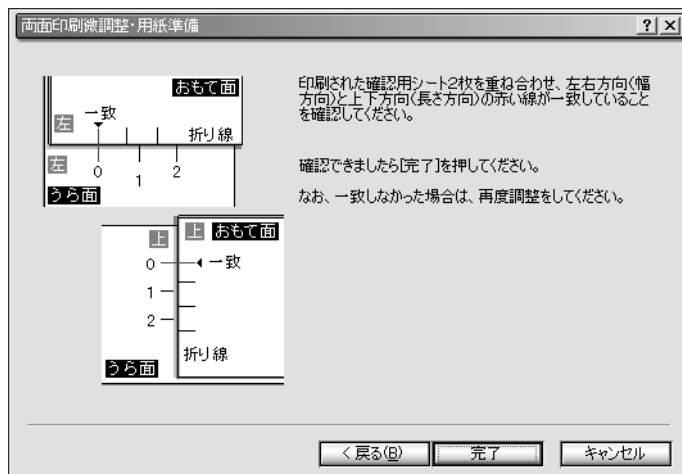
**① 両方のシートの赤い線の位置を確認し、相手より上にあるほうをオンにします。**

**② おもて面用のシートとうら面用のシートの赤い線の間に目盛りが何本あるかを確認し、本数を入力します。**

**③ 両方の目盛りが一致しているところを確認し、その位置の番号を入力します。**

## 11 ［次へ］をクリックします。

調整が終了したことを知らせるダイアログボックスが表示されます。

## 12 指定した用紙トレイに用紙がセットされていることを確認し、［印刷］をクリックします。

確認用シートのプリントが開始します。

プリントが終了すると、調整結果を確認するダイアログボックスが表示されます。

## 13 プリントされた確認用シート 2 枚を合わせて、左右方向、上下方向の赤い線が一致しているかを確認します。

補足

左右方向の合わせ方は手順 4、上下方向の合わせ方は手順 8 を参照してください。

## 14 赤い線が一致している場合、［完了］をクリックして調整を終了します。

赤い線が一致していない場合は、［戻る］をクリックして調整をやり直します。

# 3.10 サーバーでイメージをスキャンする

**サーバーからの指示でイメージをスキャニングして保存する方法を説明します。スキャンしたデータは、「TIFF」フォルダーに保存されます。**

補足
スキャナーを使用している間は、プリント処理が停止します。



## 3.10.1 スキャニングでできること

### スキャナーアプリケーションの特長

- **スキャンサイズと画質の調整が可能**
- **プレビューイメージの確認が可能（原稿をガラス面に置いたスキャン時）**
- **イメージを連続して読み取り可能（原稿送り装置を装着時）**

注記
スキャン用紙サイズが異なると、連続スキャンはできません。

### スキャンできる原稿サイズ

**読み取り原稿サイズ、最大解像度、および色空間は、次のとおりです。**

| 項目 | 設定 |
|---|---|
| 読み取り<br>原稿サイズ | 原稿ガラスの場合　：A3プラス（310㎜×437㎜）、B4、A4、B5、A4横、B5横<br>原稿送り装置の場合：A3、B4、A4、B5、A4横、B5横<br><br>補足<br>「A4横」、「B5横」は、スキャナー本体に記載されている「A4□」、「B5□」と同じ方向を表します。 |
| 最大解像度 | 800dpi |
| 色空間 | RGBカラー（各色8ビット）、グレースケール（8ビット）、モノクロ2階調 |

### 使用できるスキャナー

- **EPSON ES-8500**

補足
［サーバーの環境設定］の［スキャン］タブで、［スキャナを使う］チェックボックスがオンになっていることと、機種が正しく選択されていることを確認してください。

## スキャンの仕方

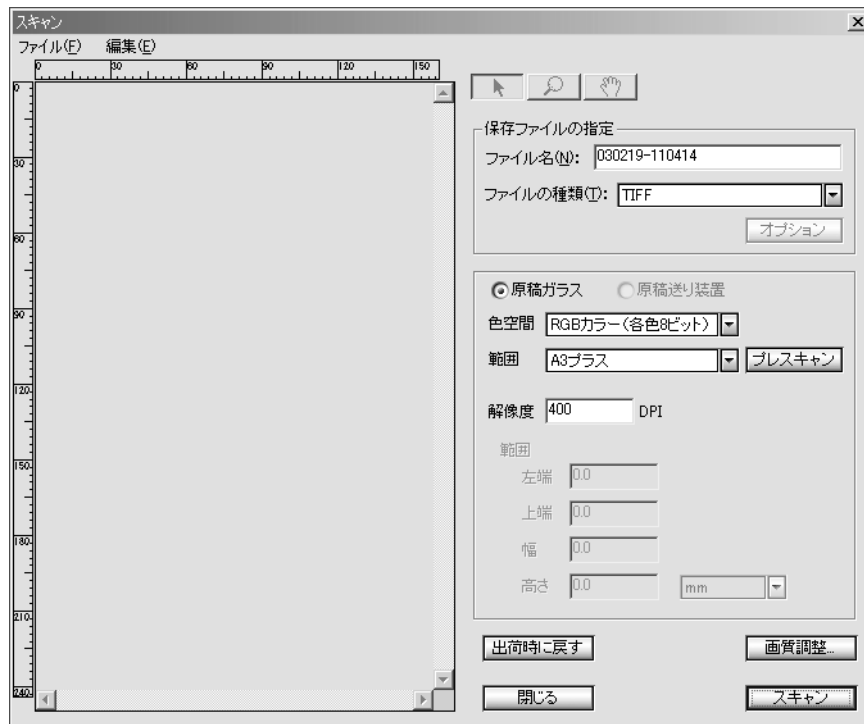
**ここでは、Windows で原稿を 1 枚ずつガラス面にセットする操作を例にとって説明します。**

操作手順

### 1 [FX_ServerManager] ウィンドウの ボタンをクリックします。

[スキャン] ダイアログボックスが表示されます。

補足

[サービス] メニューから [スキャン] を選択しても、[スキャン] ダイアログボックスを表示できます。

参照

[スキャン] ダイアログボックスの各項目については、「6.4 スキャナーアプリケーション」を参照してください。

### 2 スキャンする面を下に向けて、原稿セットします。

原稿送り装置を使用したスキャンでは、原稿を原稿送り装置にセットします。

補足

原稿のセット方法については、スキャナーの取扱説明書を参照してください。

## 3 ［保存ファイルの指定］で、［ファイル名］と［ファイルの種類］を指定します。

保存先は、「TIFF」フォルダーになります。

［ファイルの種類］で［JPEG］または［PDF（マルチページ）］を選択して、［オプション］をクリックすると、フォーマットを指定するダイアログボックスが表示されます。必要に応じて項目を設定して、［OK］をクリックします。
なお、表示されるダイアログボックスは、ファイルフォーマットによって異なります。ファイルフォーマットについては、以降の、「●●● ファイルフォーマットの種類」を参照してください。

## 4 ダイアログボックス内に表示されている原稿の置き場所で、［原稿ガラス］を選択します。

### 必要に応じて、各項目を設定します。

補足

**原稿送り装置を使用する場合**

- 原稿送り装置を使用したスキャンでは、［原稿送り装置］を選択します。
- 原稿送り装置を使用したスキャンでは、手順 5 のプレビューイメージが表示されません。手順 6 に進んでください。

## 5 ［プレスキャン］をクリックします。

プレスキャンの処理を開始します。しばらくすると、プレビューイメージが表示されます。

**6** **必要に応じて、取り込む範囲を指定します。**

参照

範囲の指定については、「6.4 スキャナーアプリケーション」を参照してください。原稿送り装置を使用する場合は、範囲の指定はできません。

**7** **［スキャン］をクリックします。**

スキャン中は、以下のようなプレビュー画面が表示されます。

**設定した内容で、スキャンを実行したイメージが保存されます。**

## ファイルフォーマットの種類

**ファイルフォーマットは、ページ数とファイルの種類によって異なります。**

### 複数ページのファイル名

**原稿送り装置を使用して複数ページの原稿をスキャンした場合のファイル名は、保存するファイルフォーマットによって異なります。**

**■TIFF、JPEG の場合**

**TIFF、JPEG を指定した場合、［ファイル名］に入力したファイル名のあとに、2,3…のように連番を付けて保存されます。**
**既存のファイルに同じファイル名がある場合、上書きするかどうかを確認するためのダイアログボックスが表示されます。**

**■TIFF（マルチページ）、PDF（マルチページ）の場合**

**複数ページの原稿を 1 つのファイルにして保存されます。**
**読み取った原稿は、読み取った順番で 1 ページめから保存されます。**

## ファイルの種類

**［保存ファイルの指定］の［ファイルの種類］で、［JPEG］、または［PDF（マルチページ）］を選択した場合は、［オプション］をクリックするとファイルのフォーマットが指定できます。**

### ■JPEG フォーマットの場合

**［JPEG］を選択すると、［JPEG オプション］ダイアログボックスが表示されます。**

- **JPEG 品質**

  次の 4 つの項目から選択できます。デフォルトは、［標準］です。

  **・低品質（高圧縮率）・標準　・高品質　・最高品質（低圧縮率）**

補足

［色空間］が［モノクロ 2 階調］の場合、エラーメッセージが表示されます。別のフォーマットを選択し直してください。

### ■PDF フォーマットの場合

**［PDF（マルチページ)］を選択すると、［PDF オプション］ダイアログボックスが表示されます。**

- **二値画像の圧縮**

  3 つの項目から選択できます。デフォルトは、［なし］です。

  **・なし　・CCITT Group3　・CCITT Group4**

- **階調画像の圧縮**

  2 つの項目から選択できます。デフォルトは、［なし］です。

  **・なし　・JPEG**

- **JPEG 画質**

  ［階調画像の圧縮］で［JPEG］を選択した場合、圧縮率を指定できます。デフォルトは、［標準］です。

  **・低品質（高圧縮率）・標準　・高品質　・最高品質（低圧縮率）**

- **エンコード**

  エンコードを選択してファイルを保存できます。デフォルトは、［Binary］です。

  **・ASCII　・Binary**

# 3.11 クライアントでイメージをスキャンする

**クライアントからの指示でイメージをスキャニングして保存する方法を説明します。**

注記
- DocuPrint CG835に接続されたスキャナーでスキャンする場合は、EPSON ES-8500が接続されている必要があります。
- スキャナーとして使用できるのは、1つのサーバーに対して、クライアントは1つに限定されます。

## 3.11.1 スキャニングでできること

### スキャナーアプリケーションの特長

- **スキャンサイズと画質の調整が可能**
- **プレビューイメージの確認が可能（原稿をガラス面に置いたスキャン時）**
- **イメージを連続して読み取り可能（原稿送り装置を装着時）**

注記
スキャン用紙サイズが異なると、連続スキャンはできません。

### スキャンできる原稿サイズ

**読み取り原稿サイズ、最大解像度、および色空間は、次のとおりです。**

| 項目 | 設定 |
|---|---|
| 読み取り原稿サイズ | 原稿ガラスの場合　：A3プラス(310mm×437mm)、B4、A4、B5、A4横、B5横<br>原稿送り装置の場合：A3、B4、A4、B5、A4横、B5横<br>補足<br>「A4横」、「B5横」は、スキャナー本体に記載されている「A4□」、「B5□」と同じ方向を表します。 |
| 最大解像度 | 800dpi |
| 色空間 | RGBカラー（各色8ビット）、RGBカラー（各色14ビット）、グレースケール（8ビット）、グレースケール（14ビット）、モノクロ2階調<br>注記<br>［RGBカラー（各色14ビット）］は、アプリケーションによっては対応していないものもあります。 |

### スキャナーアプリケーションの種類

**イメージの取り込みには、次のアプリケーションを使用できます。**
- **ScanUtility2**
- **TWAIN対応アプリケーション**

**ScanUtility2は、大量のイメージの取り込みに適しています。ファイルフォーマットを指定しながら、簡単にイメージを取り込めます。**
**また、TWAIN対応アプリケーションは、1枚ずつイメージを確認しながら画像編集をしたいときなどに適しています。**
**TWAIN対応アプリケーションとして、次の市販のソフトウエアがあります。**

■Macintosh

- Adoobe Photoshop4.0J 以降

■Windows 95/98/Me、Windows NT 4.0、Windows 2000/XP

- Adobe Photoshop4.0J 以降
- DocuWorks3.1 以降
- e.Typist バイリンガル 98（OCR 対応）
- 読ん de!! ココ V5 以降（OCR 対応）
- Microsoft Imaging（Windows Me、Windows NT 4.0/2000 のみ）



## スキャン時接続タイムアウトの設定

**クライアントのスキャナーアプリケーションが異常終了した場合に、指定した時間でサーバーとクライアントとの接続を解除するように設定できます。**

操作手順

**1** **［FX_ServerManager］ウィンドウの［ツール］メニューで［サーバーの環境設定］を選択します。**

［環境設定］ダイアログボックスが表示されます。

**2** **［スキャン］タブを選択します。**

**3** **［スキャン時接続タイムアウト］をオンにして、サーバーとの接続を解除するまでの時間を入力します。**

参照

項目の詳細については、「5.3.1 ServerManager の環境設定」の「スキャンタブ」を参照してください。

## スキャン処理の中止

**スキャン実行中に、何らかの原因によって、クライアント側でスキャナーアプリケーションのダイアログボックスが動作しなくなった場合は、サーバーから強制的に中止できます。**
**また、クライアントとの接続を強制的に解除することもできます。**

操作手順

**1** **［FX_ServerManager］ウィンドウの［ツール］メニューから、［スキャン処理の停止］を選択します。**

スキャン処理が中止されます。

## 3.11.2 ScanUtility2 を使用したイメージの取り込み

**ScanUtility2 は、ファイルフォーマットを指定しながらイメージを取り込めるので、大量のイメージをスキャンするときに適しています。**

参照

スキャナーアプリケーションのインストールについては、「7.8 DropPrint2 など、その他のインストール」を参照してください。

**Windows と Macintosh では、起動の手順が異なります。**

### Windows からの起動方法

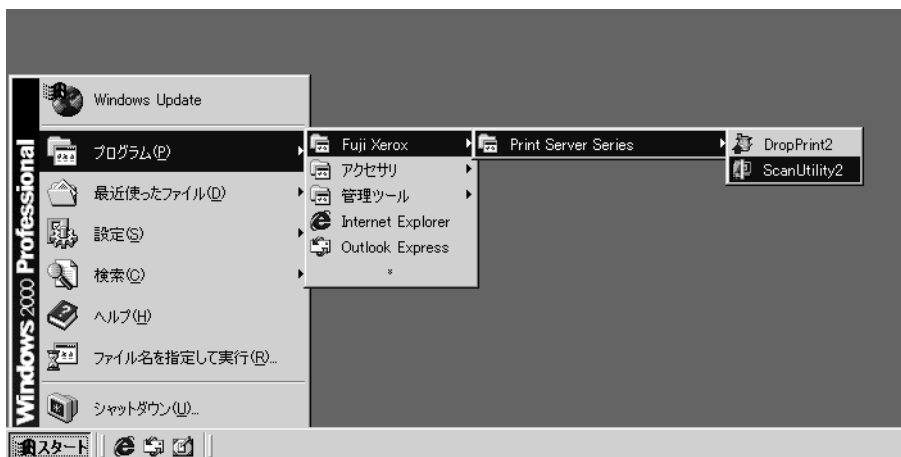
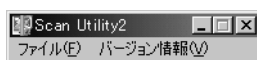
操作手順

**1 スキャンする面を下に向けて、原稿セットします。**

原稿送り装置を使用したスキャンでは、原稿を原稿送り装置にセットします。

補足

原稿のセット方法については、スキャナーの取扱説明書を参照してください。

**2 [スタート] → [プログラム] → [Fuji Xerox] → [Print Server Series] → [ScanUtility2] を選択します。**

スキャナーアプリケーションが起動し、デスクトップに［Scan Utility2］ウィンドウが表示されます。

### 3 [Scan Utility2] ウィンドウの［ファイル］メニューから［スキャン］を選択します。

［FXPSS_DPCG835 スキャン］ダイアログボックスが表示されます。

参照

- ［FXPSS_DPCG835 スキャン］ダイアログボックスの各項目については、「6.4 スキャナーアプリケーション」を参照してください。
- スキャン方法については、「●●● スキャンの仕方」を参照してください。

## ●●● Macintosh からの起動方法

操作手順

### 1 [Print Server Series] フォルダ内の［ScanUtility2］フォルダをダブルクリックします。

［Print Server Series］フォルダは、インストール時に作成されたフォルダです。

［ScanUtility2］フォルダの内容が表示されます。

## 2 ［FXPSS ScanUtility2］をダブルクリックします。

スキャナーアプリケーションが起動し、［FXPSS DPCG835 スキャン］ダイアログボックスが表示されます。

参照

- ［FXPSS DPCG835 スキャン］ダイアログボックスの各項目については、「6.4 スキャナーアプリケーション」を参照してください。
- スキャン方法については、「●●● スキャンの仕方」を参照してください。

## スキャンの仕方

**スキャンの仕方は、Windows と Macintosh で共通です。**
**ここでは、Windows で原稿を 1 枚ずつガラス面にセットする操作を例にとって説明します。**

操作手順

**1** **[FXPSS_DPCG835 スキャン] ダイアログボックス内の左下にある、[接続先] を確認します。[接続先] が空白の場合、または接続先を変更する場合は、接続先ボタンをクリックします。]**

接続先ボタン

[ホスト選択] ダイアログボックスが表示されます。

**2** **[サーバーアドレス] にサーバーの IP アドレス（または名前）を入力し、[OK] をクリックします。**

[接続先] に、サーバーの IP アドレスが表示されます。

**3** **ダイアログボックス内の右上に表示されている原稿の置き場所で、[原稿ガラス] を選択します。**
**必要に応じて、各項目を設定します。**

補足

**原稿送り装置を使用する場合**

- 原稿送り装置を使用したスキャンでは、[原稿送り装置] を選択します。
- 原稿送り装置を使用したスキャンでは、手順 4 のプレビューイメージが表示されません。手順 6 に進んでください。

## 4 ［プレスキャン］をクリックします。

プレスキャンの処理を開始します。しばらくすると、プレビューイメージが表示されます。

## 5 必要に応じて、取り込む範囲を指定します。

参照

範囲の指定については、「6.4 スキャナーアプリケーション」を参照してください。原稿送り装置を使用する場合は、範囲の指定はできません。

## 6 ［スキャン］をクリックします。

サーバーがクライアントからのスキャン指示を受け取ったあと、ダイアログボックスが表示されます。

**■Windows の場合**

■Macintosh の場合

**7** **保存する場所、[ファイル名]（Windows の場合）、[名前]（Macintosh の場合）、[ファイルの種類]（Windows の場合）、[タイプ]（Macintosh の場合）を指定して、[保存] をクリックします。**

[ファイルの種類]（Windows の場合）、[タイプ]（Macintosh の場合）で [JPEG] または [PDF（マルチページ）] を選択して、[保存オプションを指定する] チェックボックスがオンの場合は、フォーマットを指定するダイアログボックスが表示されます。項目を設定して、[OK] をクリックします。
なお、表示されるダイアログボックスは、ファイルフォーマットによって異なります。ファイルフォーマットについては、以降の、「ファイルフォーマットの種類」を参照してください。

[保存オプションを指定する] チェックボックスがオフの場合は、[環境設定] ダイアログボックスで設定したファイルフォーマットで保存されます。[環境設定] ダイアログボックスについては、「6.4 スキャナーアプリケーション」を参照してください。

**設定した内容で、スキャンを実行したイメージが保存されます。**

## ファイルフォーマットの種類

**ファイルフォーマットは、ページ数とファイルの種類によって異なります。**

### 複数ページのファイル名

**原稿送り装置を使用して複数ページの原稿をスキャンした場合のファイル名は、保存するファイルフォーマットによって異なります。**

**■TIFF、JPEG の場合**

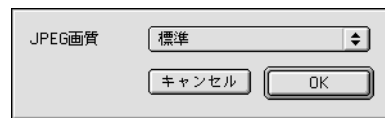
**TIFF、JPEG を指定した場合、[ファイル名] に入力したファイル名のあとに、2,3…のように連番を付けて保存されます。**
**既存のファイルに同じファイル名がある場合、上書きするかどうかを確認するためのダイアログボックスが表示されます。**

**■TIFF（マルチページ）、PDF（マルチページ）の場合**

**複数ページの原稿を 1 つのファイルにして保存されます。**
**読み取った原稿は、読み取った順番で 1 ページめから保存されます。**

## ファイルの種類

**スキャンを指示したあとに表示されるダイアログボックスの［ファイルの種類］（Windows の場合）、［タイプ］（Macintosh の場合）では、［保存オプションを指定する］チェックボックスをオンにした場合、選択したファイルフォーマットによって、次に表示されるダイアログボックスが異なります。**

### ■JPEG フォーマットの場合

**［JPEG］を選択すると、［JPEG オプション］ダイアログボックスが表示されます。**

**＜ Windows の場合＞**

**＜ Macintosh の場合＞**

- **JPEG 品質（Windows）/JPEG 画質（Macintosh）**

  次の 4 つの項目から選択できます。デフォルトは、［標準］です。

  **・低品質（高圧縮率）・標準　・高品質　・最高品質（低圧縮率）**

補足

［色空間］が［モノクロ 2 階調］の場合、Windows では、エラーメッセージが表示されます。別のフォーマットを選択し直してください。Macintosh では、TIFF に変換する確認ダイアログボックスが表示されます。

### ■PDF フォーマットの場合

**［PDF（マルチページ）］を選択すると、［PDF オプション］ダイアログボックスが表示されます。**

**＜ Windows の場合＞**

**＜ Macintosh の場合＞**

- **二値画像の圧縮**

  3 つの項目から選択できます。デフォルトは、［なし］です。

  **・なし　・CCITT Group3　・CCITT Group4**

- **階調画像の圧縮**

  2 つの項目から選択できます。デフォルトは、［なし］です。

  **・なし　・JPEG**

- **JPEG 画質**

  ［階調画像の圧縮］で［JPEG］を選択した場合、圧縮率を指定できます。デフォルトは、［標準］です。

  **・低品質（高圧縮率）・標準　・高品質　・最高品質（低圧縮率）**

- **エンコード**

  エンコードを選択してファイルを保存できます。デフォルトは、［Binary］です。

  **・ASCII　・Binary**

# 3.11.3 市販のTWAIN対応アプリケーションを使用したイメージの取り込み

**TWAIN 対応アプリケーションは、ウィンドウ内で 1 枚ずつイメージを確認できるので、画像編集をしたいときに適しています。**

参照

スキャナーアプリケーションのインストールについては、「7.8 DropPrint2 など、その他のインストール」を参照してください。

**Windows と Macintosh では、スキャナーを選択する手順、およびアプリケーションを起動する手順が異なります。**

補足

ファイルメニューの項目は、アプリケーションによって異なる場合があります。



## Windows からの起動方法

操作手順

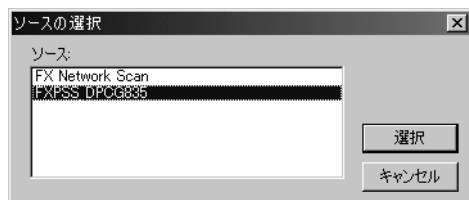
### 1 スキャンする面を下に向けて、原稿セットします。

原稿送り装置を使用したスキャンでは、原稿を原稿送り装置にセットします。

補足

原稿のセット方法については、スキャナーの取扱説明書を参照してください。

### 2 TWAIN 対応アプリケーションを起動し、[ファイル] メニューから [スキャナの選択] を選択します。

ソースを選択するためのダイアログボックスが表示されます。

補足

複数の TWAIN ソースを使用している場合は、アプリケーションでサーバーの TWAIN ソースを選択します。

### 3 リストから、スキャナーとして使用するプリンターを選択し、[選択] をクリックします。

プリンターが決定し、ダイアログボックスが閉じます。

## 4 ［ファイル］メニューから［スキャン開始］を選択します。

［FXPSS_DPCG835 スキャン］ダイアログボックスが表示されます。

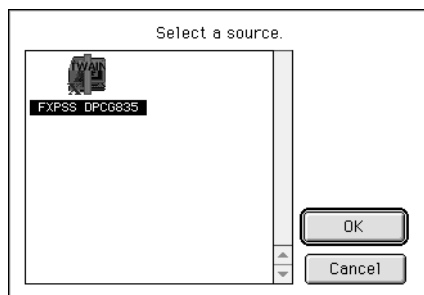
参照

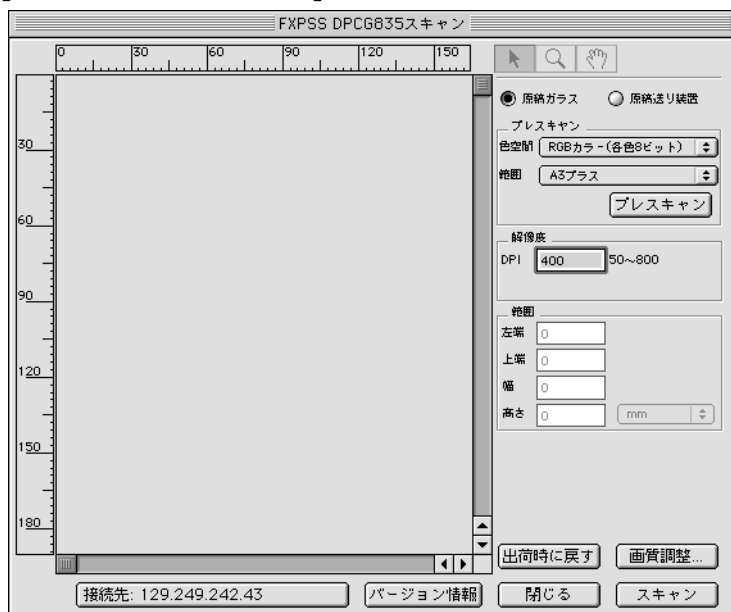
- ［FXPSS_DPCG835 スキャン］ダイアログボックスの各項目については、「6.4 スキャナーアプリケーション」を参照してください。
- スキャン方法については、「 スキャンの仕方」を参照してください。

### Macintosh からの起動方法

操作手順

## 1 TWAIN 対応アプリケーションを起動し、［ファイル］メニューの［読み込み］から、［TWAIN 対応機器の選択］を選択します。

## 2 スキャナーとして使用するプリンターを選択し、[OK] をクリックします。

## 3 ［ファイル］メニューの［読み込み］から、［TWAIN 対応機器からの入力］を選択します。

［FXPSS DPCG835 スキャン］ダイアログボックスが表示されます。

参照

- ［FXPSS DPCG835 スキャン］ダイアログボックスの各項目については、「6.4 スキャナーアプリケーション」を参照してください。
- スキャン方法については、「 スキャンの仕方」を参照してください。

## スキャンの仕方

**スキャンの仕方は、Windows と Macintosh で共通です。**
**ここでは、Windows で原稿を 1 枚ずつガラス面にセットする操作を例にとって説明します。**

操作手順

### 1 ［FXPSS_DPCG835 スキャン］ダイアログボックス内の左下にある、［接続先］を確認します。［接続先］が空白の場合、または接続先を変更する場合は、接続先ボタンをクリックします。］

［ホスト選択］ダイアログボックスが表示されます。

### 2 ［サーバーアドレス］にサーバーの IP アドレス（または名前）を入力し、［OK］をクリックします。

［接続先］に、サーバーの IP アドレスが表示されます。

### 3 ダイアログボックス内の右上に表示されている原稿の置き場所で、「原稿ガラス」を選択します。
### 必要に応じて、各項目を設定します。

補足

**原稿送り装置を使用する場合**

- 原稿送り装置を使用したスキャンでは、「原稿送り装置」を選択します。
- 原稿送り装置を使用したスキャンでは、手順 4 のプレビューイメージが表示されません。手順 6 に進んでください。

## 4 ［プレスキャン］をクリックします。

プレスキャンの処理を開始します。しばらくすると、プレビューイメージが表示されます。

## 5 必要に応じて、取り込む範囲を指定します。

参照

範囲の指定については、「6.4 スキャナーアプリケーション」を参照してください。

## 6 ［スキャン］をクリックします。

スキャン処理が開始され、クライアントから指定されたイメージデータが、クライアントのアプリケーションに転送されます。

# 3.12 ドキュメントにセキュリティーをかける

## ■この機能でできること

**セキュリティープリントとは、ドキュメントにパスワードを設定し、ServerManager や WebManager 上での第三者によるジョブの操作を制限する機能です。機密性の高いドキュメントをプリントする場合に利用できます。**
**セキュリティープリントを指定したドキュメントは、ログオフ時、および一般ユーザーモードでは、ServerManager 上で選択してもプレビュー表示されません。**

**また、一般ユーザーモードの場合は、そのドキュメントに対して操作をしようとすると、次のようなダイアログボックスが表示されます。ドキュメントに設定されているパスワードを入力する必要があります。**

補足
ServerManager に管理者ログインしている場合は、プレビュー表示されます。また、パスワードを入力せずに操作できます。

**ドキュメントにパスワードを設定する手順を説明します。**

操作手順

**1** **ServerManager にあるジョブまたはクライアントのドキュメントから、プリントオプションダイアログボックスを開きます。**

以下は、ServerManager で［ジョブ編集］ダイアログボックスの［ユーザー情報］タブを表示した画面です。

**2** **［セキュリティプリント］チェックボックスをオンにし、パスワードを 5 ～ 31 文字の範囲で入力します。**

補足

パスワードとして入力できる文字は、0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z、記号、スペースです。

**3** **［プリント］をクリックします。**

セキュリティープリントを指定したジョブは、［スプールオプション］の設定にかかわらず、保持リストに表示されます。

**セキュリティプリントが設定されているドキュメントをプリントするには、保持リストのジョブを選択して、プリント指示をする必要があります。**

参照

プリント指示の方法は、「1.3.4 プリントの指示」を参照してください。

いろいろな機能の利用

3

# 4章

# さらに便利に使うために



**この章では、知っていると、さらに便利にサーバーを使える機能について説明します。**

# 4.1 プリント結果をプレビューで確認する

**プリントオプションで［TIFF ファイルに保存］を設定して保存した TIFF データは、サーバーと接続しているクライアントのコンピューターから、次のことができます。**

- **TIFF データの取得**
- **TIFF データの一覧表示**
- **サーバー内に保存されている TIFF データの削除**

**取得した TIFF データを、プレビュー用イメージとして利用すれば、プリント結果を確認できます。**



## 4.1.1 TIFF データの取得（Windows の場合）

**Windows 95/98/Me、Windows NT 4.0、Windows 2000/XP が搭載されたコンピューターから、Microsoftネットワーク共有機能を使用してTIFFデータを取得します。**

補足

共有設定については、「N.2　TIFF フォルダーの共有について」を参照してください。

操作手順

**1　プリントオプションで［TIFF ファイルで保存］を設定してから、印刷を指示します。**

印刷されずに、プリント結果が TIFF ファイルとしてサーバーに保存されます。

参照

TIFF ファイルの保存の仕方については、「6.2.5 出力指定タブ」の「■ TIFF ファイルで保存」を参照してください。

**2　クライアントのデスクトップにある、［ネットワークコンピューター］アイコンをダブルクリックします。**

**3　サーバーがあるドメインをダブルクリックします。**

［Tiff］フォルダが表示されます。

補足

TIFF データが保存されているディレクトリについては、システム管理者に確認してください。

**4　［Tiff］フォルダをダブルクリックします。**

保存されている TIFF データが表示されます。

**5　アプリケーションを使って TIFF データを開き、イメージを確認します。必要に応じて、［Tiff］フォルダ内の TIFF データを、コピーまたは削除します。**

## 4.1.2　TIFF データの取得（Macintosh の場合）

### ■操作の前に

- Macintosh クライアントから TIFF データを取得するには、ServerPreview2 をインストールする必要があります。
- ServerPreview2 を使うと、TIFF データ以外にも、次のデータを取得できます。
  - PostScript
  - EPS
  - PDF
  - JPEG

補足

ServerPreview2 のインストールについては、「7.8 DropPrint2 など、その他のインストール」の「7.8.2 Macintosh の場合」を参照してください。

操作手順

**1　プリントオプションで［TIFF ファイルに保存］を設定してから、サーバーにデータを送信します。**

参照

TIFF ファイルの保存の仕方については、「6.2.5 出力指定タブ」の「■ TIFF ファイルで保存」を参照してください。

**2　クライアントの［Print Server Series］フォルダ内の［Preview2］フォルダを開きます。**

［Print Server Series］フォルダは、インストール時に作成されたフォルダです。

［Preview2］フォルダの内容が表示されます。

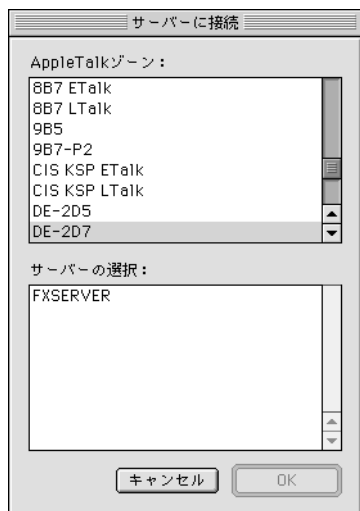
**3　［FXPSS ServerPreview2］アイコンをダブルクリックします。**

ServerPreview2 が起動します。

**4　［ファイル］メニューから［新規］を選択します。**

［サーバーに接続］ダイアログボックスが表示されます。

**5** **［AppleTalk ゾーン］から、サーバーが属している AppleTalk ゾーンを選択します。**

［サーバーの選択］に、サーバー名が表示されます。

**6** **［サーバーの選択］から、データが格納されているサーバーを選択し、［OK］をクリックします。**

［情報の取得中］ダイアログボックスが表示され、しばらくすると、サーバー内のファイルが表示されます。

## 7 ダウンロードするデータを選択し、［操作］メニューから［ダウンロード］を選択します。

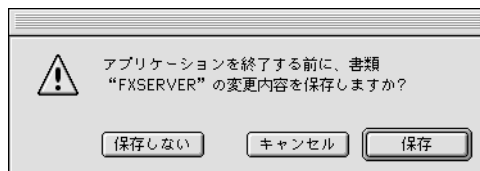
ダウンロード先を指定するダイアログボックスが表示されます。

補足
データのダウンロードは、［操作］メニューから［ダウンロード］を選択する以外に、サーバー内のフォルダから直接デスクトップにドラッグ＆ドロップする方法もあります。

## 8 データを保存するフォルダを選択し、［選択］をクリックします。

［画像転送中］ダイアログボックスが表示され、指定したフォルダ内にデータがダウンロードされます。

## 9 ［ファイル］メニューから［終了］を選択します。

変更した内容を保存するかどうか確認するダイアロボックスが表示されます。

## 10 保存する場合は、［保存］をクリックします。表示されたダイアログボックスで保存先と名前を設定し、［保存］をクリックします。

保存先にデスクトップを指定した場合は、デスクトップにアイコンが作成されます。
このアイコンをダブルクリックすると、自動的に ServerPreview2 を起動し、サーバー内のファイルが表示されます。

# 4.2 PostScript ファイルを作成する

**■この機能でできること**

**サーバーにドキュメントをプリントする代わりに、PostScript フォーマットにして、ディスクファイルとして保存できます。**
**作成した PostScript ファイルの用途は、次のとおりです。**

- **ディスク上でのドキュメントファイルの作成**
- **ドキュメントを作成したアプリケーションがインストールされていないコンピューターからのプリント**
- **プリントに関する問題点の診断**

補足
多くのアプリケーションでは、［印刷］ダイアログボックスに、［ファイルへ出力］チェックボックスが用意されています。PostScript ファイルの作成方法については、アプリケーションの説明書を参照してください。

## 4.2.1 Windows の場合

### Windows95/98/Me の場合

**Windows 95/98/Me で PostScript ファイルを作成する手順について、Windows 98 の画面を例にとって説明します。**

操作手順

**1 ［スタート］→［設定］→［プリンタ］を選択します。**
**表示された［プリンタ］ウィンドウから、Print Server Series のプリンターを選択します。**

**2 プリンターの、プロパティダイアログボックスを開き、［PostScript］タブを選択します。**

［PostScript］タブが表示されます。

**3** **［PostScript 出力形式］メニューから、［PostScript（エラーが軽減するよう最適化）-ADSC］、または［カプセル化された PostScript（EPS 形式）］を選択します。**

- **PostScript ファイルを作成する場合は、［PostScript（エラーが軽減するよう最適化）-ADSC］を選択します。サービスビューローにファイルを渡すときなど、PostScript 言語のフォーマットのファイルであれば、そのファイルを作成したアプリケーションがサービスビューロー側になくてもプリントできます。**
- **EPS ファイルを作成する場合は、［カプセル化された PostScript（EPS 形式）］を選択します。EPS ファイルは単独ではプリントできませんが、ほかのファイルに取り込めばプリントできます。ワープロのアプリケーションでは、EPS のグラフィックファイルを取り込めるものもあります。**

**4** **［OK］をクリックします。**

**5** **アプリケーションの［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。**

**6** **［印刷］ダイアログボックスで、［ファイルへ出力］チェックボックスをオンにします。**

**7** **印刷範囲などを指定して、［OK］をクリックします。**

［ファイルへ出力］ダイアログボックスが開きます。作成する PostScript ファイルや EPS ファイルに付ける名前を指定します。

**8** **保存先とファイル名を指定して、［OK］をクリックします。**

ファイルが作成されます。

### Windows NT 4.0、Windows 2000/XP の場合

**Windows NT 4.0 および Windows 2000/XP で、PostScript ファイルを作成する手順について、Windows NT 4.0 の画面を例にとって説明します。**

操作手順

**1** **アプリケーションの［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。**

［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

## 2 プリンターに Print Server Series を選択し、[プロパティ] をクリックします。

ドキュメントのプロパティダイアログボックスが表示されます。

Windows 2000/XP の場合は、[レイアウト] タブ、または [用紙 / 品質] タブの [詳細設定] をクリックします。

## 3 画面をスクロールして、[PostScript オプション] の [PostScript 出力オプション] をクリックします。

PostScript 出力形式が表示されます。

## 4 [PostScript 出力オプションの設定の変更] から、[エラーが軽減するよう最適化] か、または [カプセル化された PostScript (EPS 形式)] を選択します。

参照

[PostScript 出力オプションの設定の変更] については、前述の「●●● Windows95/98/Me の場合」を参照してください。

## 5 [OK] をクリックします。

## 6 [印刷] ダイアログボックスで [ファイルへ出力] チェックボックスをオンにし、印刷範囲や印刷部数を指定して、[OK] をクリックします。

[ファイルへ出力] ダイアログボックスが表示されます。

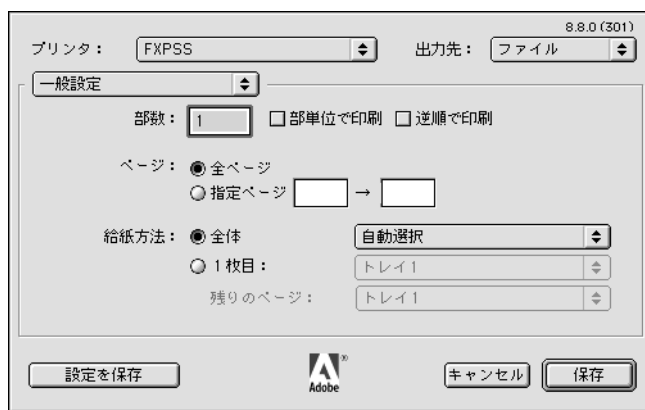
## 7 保存先とファイル名を指定して、[OK] をクリックします。

ファイルが作成されます。

## 4.2.2 Macintosh の場合

操作手順

**1** **アプリケーションの［ファイル］メニューから、［プリント］を選択します。**

プリントダイアログボックスが表示されます。

**2** **［出力先］から［ファイル］を選択して、［保存］をクリックします。**

**3** **表示されたダイアログボックスに、保存先とファイル名を入力して、［保存］をクリックします。**

ファイルが作成されます。

# 4.3 DropPrint2を使ってプリントする

## ■この機能でできること

**DropPrint2 とは、ドキュメントを作成したアプリケーションを開かずにジョブをサーバーに送信してプリントするための、クライアントで使うソフトウエアです。**
**ドキュメントを作成したアプリケーションがなくても、DropPrint2 を使用すればプリントできます。また、プリントオプションの設定が同じジョブが複数ある場合は、ジョブごとにプリントの指示をしなくても 1 回の指示でプリントできるので、時間が短縮できます。**
**DropPrint2 を使用してプリントできるファイルフォーマットは、次のとおりです。**

- **PostScript**
- **EPS**
- **PDF**
- **TIFF**
- **SunRaster**
- **XWD**

**また DropPrint2 では、キャリブレーションで色を調整するために、クライアントコンピューターに接続されたスキャナーでスキャンしたGray Scale Targetやキャリブレーションシートの画像を、サーバーにアップロードすることもできます。**

参照

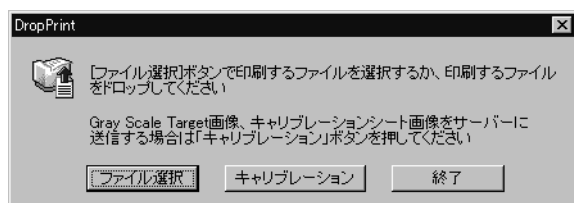
- DropPrint2 のインストールについては、「7.8 DropPrint2 など、その他のインストール」を参照してください。
- DropPrint2 を使って、Gray Scale Target やキャリブレーションシート画像をサーバーにアップロードする方法については、「2.8 スキャナーの使い方と調整」を参照してください。

**以下に、DropPrint2 を使って、ファイルをプリントする手順を説明します。**
**Windows と Macintosh では、起動の手順が異なります。**

### Windows からの起動方法

操作手順

**1 [スタート] → [プログラム] → [Fuji Xerox] → [Print Server Series] → [DropPrint2] を選択します。**

DropPrint2 の起動ダイアログボックスが表示されます。

**2 [ファイル選択] をクリックして、表示された [開く] ダイアログボックスからプリントするドキュメントを選択するか、プリントするファイルを DropPrint2 の起動ダイアログボックスにドロップします。**

［DropPrint］ダイアログボックスが表示されます。

**3　［プリンタ］が選択できない場合は、送信先にサーバーを登録する必要があります。**
**［送信先設定］をクリックし、表示された［送信先設定］ダイアログボックスで［追加］をクリックします。**

［送信先追加］ダイアログボックスが表示されます。

**4　［送信先名称］と［サーバーアドレス］を入力し、［設定］をクリックして、［送信先設定］ダイアログボックスの［閉じる］をクリックします。**

［送信先名称］には、送信先を表示するときの名前を入力します。［DropPrint］ダイアログボックスの［プリンタ］の項目に、ここで入力した名前が表示されます。［サーバーアドレス］には、サーバーの IP アドレスを入力します。

プロキシサーバーを使う場合は、［プロキシを使う］チェックボックスをオンにし、プロキシの項目を設定します。

**注記**

プロキシサーバーは、HTTP1.0 以降をサポートしている必要があります。

## 5 必要に応じて、プリントオプションを設定します。

参照
プリントオプションの詳細については、「6.2 プリントオプション」を参照してください。

## 6 ［プリント］をクリックします。

設定した内容で、ドキュメントがサーバーに送信されます。
DropPrint2 を終了したいときは、起動ダイアログボックスで［終了］をクリックします。



### 複数のドキュメントをプリントする場合

**複数のドキュメントをまとめてプリントする場合は、前述の「Windows からの起動方法」の手順 2 で開いた［ファイルを開く］ダイアログボックスで、<Ctrl> キー（Macintosh の場合は <Shift> キー）を押しながらファイルを選択します。または、複数のドキュメントを選択してから DropPrint2 の起動ダイアログボックス（Macintosh の場合は［DropPrint2］フォルダの［FXPSS DropPrint2］）にドロップします。**
**複数のドキュメントを指定すると、［DropPrint］ダイアログボックスに、［以降のファイルを同じ設定でプリント］チェックボックスが表示されます。**

#### ■［以降のファイルを同じ設定でプリント］をオフにした場合

**送信するドキュメントの数だけ、繰り返しダイアログボックスが表示されます。それぞれのドキュメントのファイルタイプに応じて、設定できる項目が異なります。**

補足
［ファイル］、［タイプ］には、最後に選択したドキュメントのファイル名とファイルタイプが表示されます。

#### ■［以降のファイルを同じ設定でプリント］をオンにした場合

**最初に設定した内容で、選択したすべてのドキュメントがサーバーに送信されます。ドキュメント数に相当する分のダイアログボックスは表示されません。**

補足
［ファイル］には、「-」が表示されます。［タイプ］には、ドキュメントのファイルタイプが表示されます。ただし、異なるファイルタイプのドキュメントを同時に複数選択した場合は、「-」が表示されます。

## Macintosh からの起動方法

**Macintosh で、DropPrint2 を使用して、新規に送信先を登録してからドキュメントをプリントする手順について説明します。
ここでは、例として Macintosh の Classic モードの場合で説明します。**

操作手順

### 1 クライアントの［Print Server Series］フォルダ内の［DropPrint2］フォルダをダブルクリックします。

［Print Server Series］フォルダは、インストール時に作成されたフォルダです。
［DropPrint2］フォルダの内容が表示されます。

### 2 ［FXPSS DropPrint2］をダブルクリックします。

DropPrint2 が起動します。

### 3 ［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

ドキュメントを選択するダイアログボックスが表示されます。

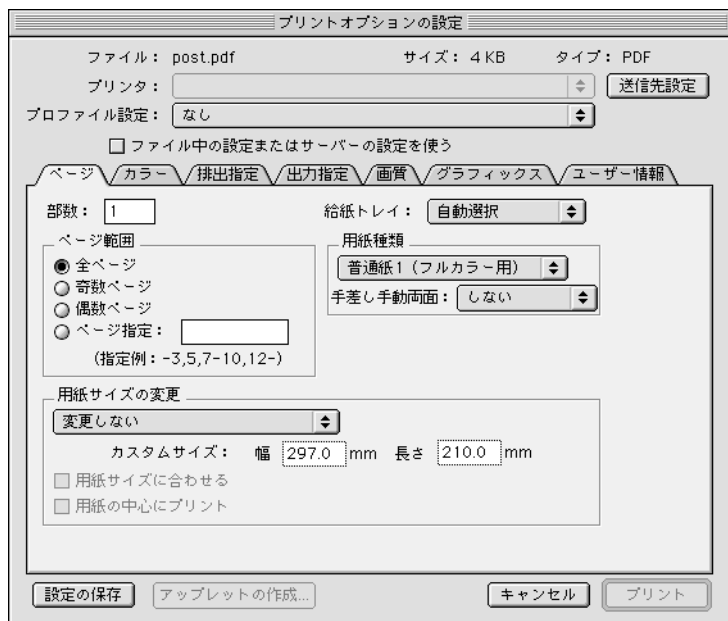
さらに便利に使うために

4

**4** **ファイルを選択し、［開く］をクリックします。**

［プリントオプションの設定］ダイアログボックスが表示されます。

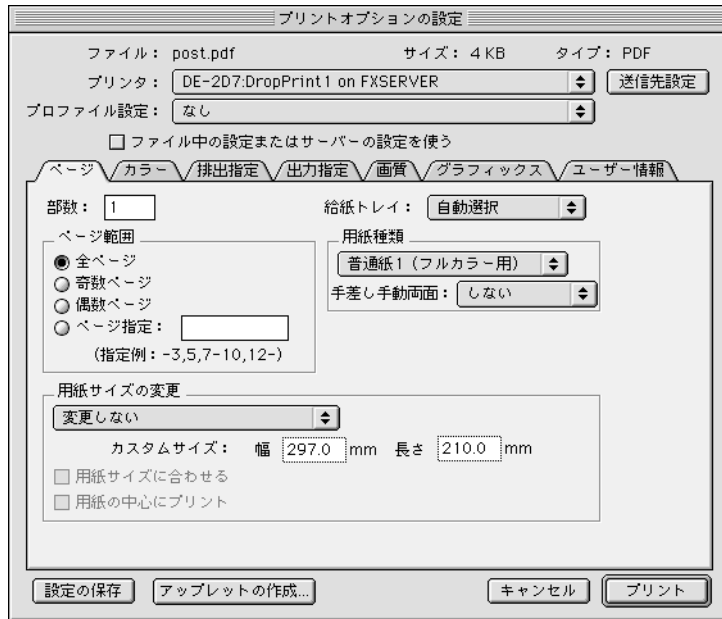
補足

ドキュメントのファイルタイプは自動的に判別されます。［プリントオプションの設定］ダイアログボックスでは、設定できない項目はグレー表示になっています。

**5** **［プリンタ］がグレー表示になっている場合は、送信先にサーバーを登録する必要があります。**
**［送信先設定］をクリックし、表示された［送信先設定］ダイアログボックスの［AppleTalk ゾーン］から、使用するネットワークゾーンを選択します。**

**6** **表示されたプリンターリストから使用するサーバーを選択し、［送信先に追加］をクリックして［設定］をクリックします。**

補足

- ［送信先に追加］は、プリンターリスト内でサーバーを選択している場合にだけ、クリックできます。
- リスト内の項目は、ドラッグすることで順番を変更できます。

［プリントオプションの設定］ダイアログボックスの［プリンタ］が表示されます。

## 7 必要に応じて、プリントオプションを設定します。

参照

プリントオプションの詳細については、「6.2 プリントオプション」を参照してください。

## 8 ［プリント］をクリックします。

設定した内容で、ドキュメントがサーバーに送信されます。
DropPrint2 を終了する場合は、［ファイル］メニューから［終了］を選択します。
<Command>+<Q> キーでも終了できます。

# 4.4 Web ブラウザーでジョブを管理する

## ■この機能でできること

**WebManager とは、サーバーを TCP/IP 環境で接続している場合に、ネットワーク上のコンピューターの Web ブラウザーを利用して、サーバーの状態を確認したり、ジョブの設定を変更したりするためのソフトウエアです。**
**WebManager ウィンドウについての詳細は、「6.6 WebManager」を参照してください。**

補足
Macintosh では、TCP/IP 環境のない場合でも、StatusMonitor を使用してジョブを確認できます。StatusMonitor については、「4.5 StatusMonitor でジョブを管理する（Macintosh のみ）」を参照してください。

## 4.4.1 WebManager でできること

### クライントからできる主な機能

**■ジョブを確認・操作する**

**サーバーに送信したジョブの設定を確認したり、サーバーに保存したジョブを削除したりできます。「Administrator」でログインすると、ほかのジョブに対する操作もできます。また、プリント履歴を CSV ファイル形式でダウンロードできます。**

**■サーバーやプリンターの状態を確認する**

**サーバーの状態、プリンターにセットされている用紙サイズや用紙の残量、およびトナー量などを確認できます。**
**また、ユーザー調整カーブ、キャリブレーションデータ、およびカラープロファイルの設定情報なども確認できます。**

**■WebManager からドキュメントをプリントする**

**WebManager 画面からドキュメント（PostScript、EPS、TIFF、PDF、SunRaster、XWD）を指定してサーバーに送信し、プリントできます。**

**■プリンタードライバーなどをダウンロードする**

**クライアントで使用するプリンタードライバー、各種アプリケーションなどをダウンロードできます。**

### 対応ブラウザー

**サーバーとの接続には、Web ブラウザーを利用します。**
**クライアントのコンピューターにWebブラウザーがあれば、新しくアプリケーションをインストールしたり、ネットワークを設置したりする必要はありません。**

注記
サーバーに、同時に接続できるクライアント数は、最大 10 件です。

■Windows の場合

Windows 95/98/Me、Windows NT 4.0、Windows 2000/XP を使用する場合のブラウザーのバージョンは、次のとおりです。

- Internet Explorer5.0 以降
- Netscape Communicator4.6 以降

■Macintosh の場合

Macintosh を使用する場合のブラウザーのバージョンは、次のとおりです。

- Internet Explorer5.0 以降
- Netscape Communicator4.5 以降

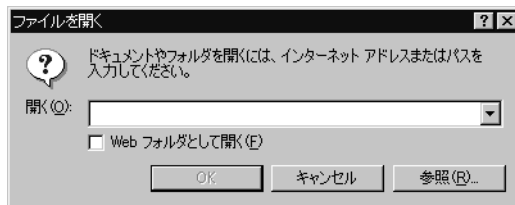
## WebManager の表示

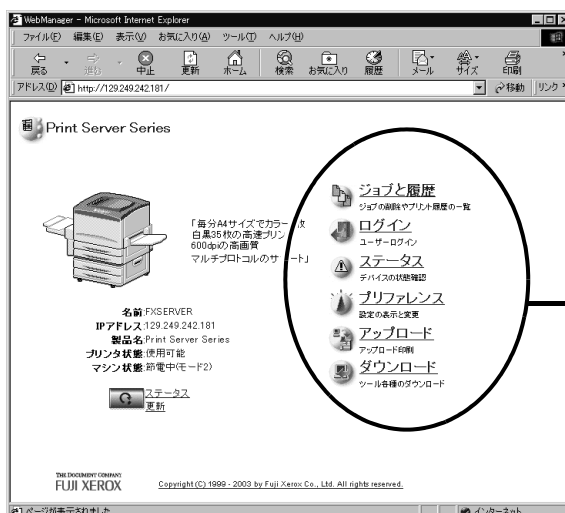
Internet Explorerを起動して、WebManagerを表示する手順について説明します。

操作手順

**1** Internet Explorer を起動します。

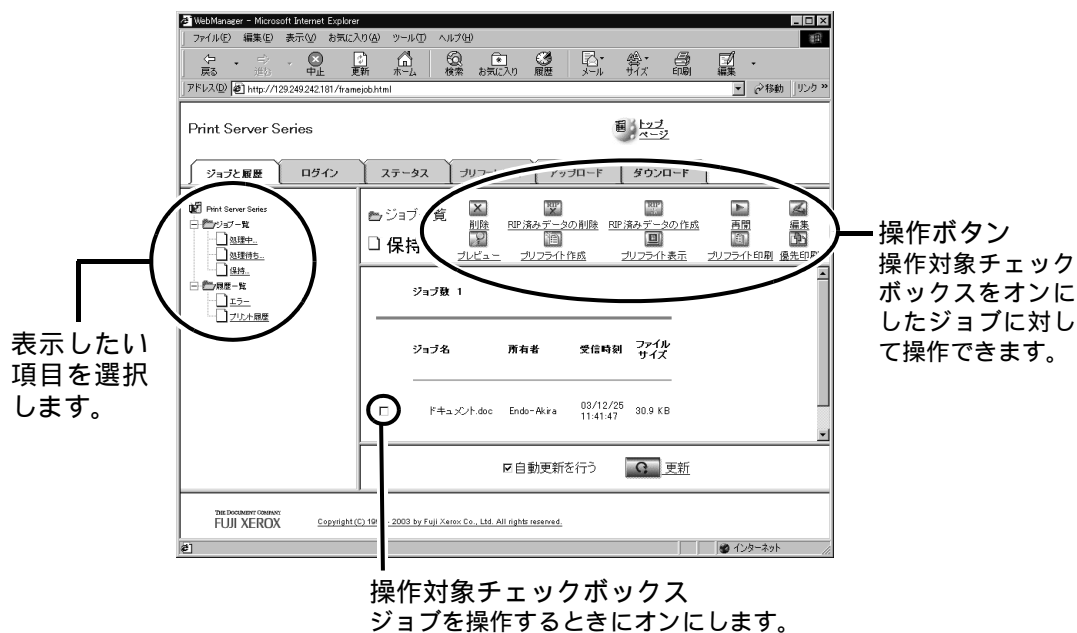
**2** [ファイル] メニューの [開く] を選択します。

[ファイルを開く] ダイアログボックスが表示されます。

**3** [開く] にサーバーの IP アドレスを入力し、[OK] をクリックします。

WebManager が表示されます。

## 4.4.2 ジョブを確認・操作する

**サーバーに送信したジョブは、[ジョブと履歴] タブで確認および操作ができます。**

注記

セキュリティープリントの設定がされているジョブは、ジョブの操作はできません。

操作手順

**1 左側フレームから、表示したい項目を選択します。**

右側フレームに、選択した項目が表示されます。

**2 ジョブの状態を確認します。**
**操作したいジョブがある場合は、ジョブの前に付いている操作対象チェックボックスをオンにします。**

**3 操作ボタンをクリックします。**
**表示されたダイアログボックスの指示に従って、項目を設定します。**

### WebManager へのログイン

**ServerManager の [ユーザー管理] で [Web セキュリティ] が [ジョブのオーナーのみ可] に設定されている場合、ジョブの操作を行うには、WebManager にジョブの所有者でログインする必要があります。**

**また、次のような場合には、WebManager に「Administrator」でログインする必要があります。**

- **ServerManager の［ユーザー管理］で、［Web セキュリティ］が［全て操作不可］に設定されている場合**
- **ServerManager の［ユーザー管理］で、［Web セキュリティ］が［ジョブのオーナーのみ操作可］に設定されており、WebManager で、ほかの人が所有するジョブに対して操作したい場合**

注記

セキュリティープリントの設定がされているジョブは、［Web セキュリティ］の設定にかかわらず、ジョブの操作はできません。

参照

［ユーザー管理］については、「5.3.2 ユーザーの管理」を参照してください。

**WebManager へのログインは、［ログイン］タブで行います。**
**［ログイン］をクリックし、表示されたログイン画面にユーザー名とパスワードを入力して、［ログイン］をクリックします。**

**「ログインに成功しました。」というメッセージが表示され、ログインが終了したことを知らせます。**

注記

［ユーザー名］と［パスワード］は、大文字と小文字を区別します。

補足

ユーザーレベルは、ユーザー名、パスワードの入力状況に応じて、［ログイン］をクリックしたときに決定されます。

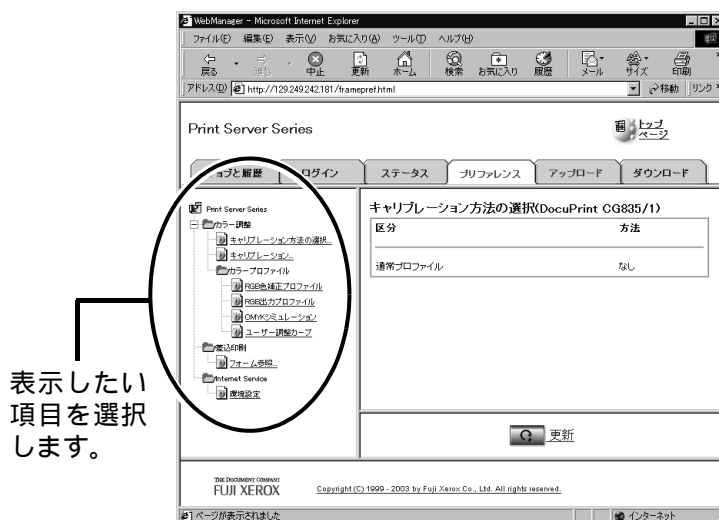
## 4.4.3　サーバーやプリンターの状態を確認する

**サーバーの状態、用紙トレイにセットされている用紙サイズや用紙の残量、およびトナー量などが、［ステータス］タブで確認できます。**

補足

WebManager のトップページでプリンターの絵をクリックしても、この画面を表示できます。

## 4.4.4　サーバーの設定を確認する

**ServerManager で設定した、キャリブレーションデータやカラープロファイルなどの設定内容を、［プリファレンス］タブで確認できます。**

## 4.4.5 WebManager 画面からプリントする

**クライアントのコンピューターにあるドキュメントを、［アップロード］タブから指定してサーバーに送信し、プリントできます。**
**WebManager からサーバーに送信できるファイルは、次のとおりです。**

- **PostScript**
- **EPS**
- **TIFF**
- **PDF**
- **SunRaster**
- **XWD**



操作手順

**1 ［アップロード］タブをクリックし、［出力プリンタ］から使用するプリンターを選択します。**

**2 必要に応じて、プリントオプションを設定します。**

プリントオプションを設定する必要がなく、サーバーの［プリントオプションの初期設定］に設定してある値でプリントする場合は、［一般］の［ファイル中の設定またはサーバーの設定を使う］チェックボックスをオンにします。

参照

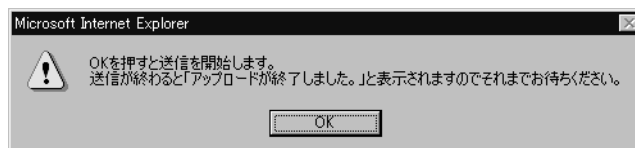
プリントオプションの詳細については、「6.2 プリントオプション」を参照してください。

**3 ［アップロード］タブの、ウィンドウ内の右上または右下にある［次へ］をクリックします。**

アップロードするファイル名を指定する画面が表示されます。

**4** **[アップロードするファイル] に、送信するドキュメント名を入力、または [参照] をクリックしてドキュメントを指定します。**

**5** **[アップロード] タブの、ウィンドウ内の右上または右下にある [送信] をクリックします。**

送信を確認するためのダイアログボックスが表示されます。

**6** **[OK] をクリックします。**

サーバーにドキュメントが送信され、処理待ちリストに表示されます。

## 4.4.6 プリンタードライバーなどをダウンロードする

**クライアントのコンピューターで使用するプリンタードライバーなど各種アプリケーションや、サーバーの CMYK シミュレーションの割り当て情報などを、［ダウンロード］タブから入手できます。**

### クライアントソフトウエアのダウンロード

**必要なソフトウエアを、WebManager を使ってダウンロードできます。**

参照

ソフトウエアのダウンロードについては、「第 7 章 クライアントソフトウエアのインストール」を参照してください。

### プロファイル設定のダウンロード

**プロファイルの設定をダウンロードすると、ServerManager で設定した CMYK シミュレーションの割り当て情報などを、クライアントのプリンタードライバーの設定画面に表示できます。**
**サーバーの設定情報が知りたいとき、サーバーまで確認に行かずに済みます。**

**ダウンロードできる設定情報は、次のとおりです。**

- **RGB 色補正プロファイル**
- **RGB 出力プロファイル**
- **CMYKシミュレーション**
- **ユーザー調整カーブ**
- **フォーム管理**

## Windows の場合

操作手順

**1 ［共通］をクリックします。**

［共通］に、［プロファイル設定のダウンロード］が表示されます。

**2 ［プロファイル設定のダウンロード］をクリックします。**

［「プロファイル設定」の利用方法］が表示されます。

**3 プロファイル設定のダウンロード方法は、使用しているブラウザーによって異なります。**

**■Netscape Communicator の場合**

**［プロファイル設定（DocuPrint CG835/1）］をクリックすると、［名前を付けて保存］ダイアログボックスが表示されます。**

**■Internet Explorer の場合**

**［プロファイル設定（DocuPrint CG835/1）］をクリックすると、［ファイルのダウンロード］ダイアログボックスが表示されます。［このプログラムをディスクに保存する］を指定して［OK］をクリックすると、［名前を付けて保存］ダイアログボックスが表示されます。**

**4 ［Print Server Series 設定］フォルダを選択して、［OK］をクリックします。**

ダウンロードしたファイルが、［Print Server Series 設定］フォルダに保存されます。

補足

［Print Server Series 設定］フォルダは、次の場所にあります。「×」は、ドライブ名です。
Windows 95/98/Me/XP の場合 × :\Windows\Print Server Series 設定 \
Windows 2000 の場合 × :\WINNT\Print Server Series 設定 \

注記

ファイル名の拡張子が「.txt」になっている場合は、「.cps」に変更してください。

## Macintosh の場合

操作手順

**1 ［共通］をクリックします。**

［共通］に、［プロファイル設定のダウンロード］が表示されます。

**2 ［プロファイル設定のダウンロード］をクリックします。**

［「プロファイル設定」の利用方法］が表示されます。

**3 プロファイル設定のダウンロード方法は、使用しているブラウザーによって異なります。**

**■Netscape Communicator の場合**

**① ［プロファイル設定（DocuPrint CG835/1)］をクリックします。**

操作を確認するダイアログボックスが表示されます。

**② ［保存する］をクリックします。**

ファイルを保存するダイアログボックスが表示されます。

**③ 保存先とファイル名を指定し、［保存］をクリックします。**

補足

［Print Server Series 設定］フォルダは、次の場所にあります。
ハードディスク：システムフォルダ：初期設定：Print Server Series 設定

**■Internet Explorer の場合**

**①［プロファイル設定（DocuPrint CG835/1)］をクリックします。**

［ダウンロードマネージャ］にファイル名が表示されます。

**②ファイルをドラッグして、［Print Serer Series 設定］フォルダにドロップします。**

［Print Server Series 設定］フォルダにファイルが移動します。

補足

［Print Server Series 設定］フォルダは、次の場所にあります。
ハードディスク：システムフォルダ：初期設定：Print Server Series 設定

## ICC プロファイルについて

注記

ICC プロファイルは、デバイスの色に関する特性を記述したファイルです。
**ICC プロファイルの利用方法については、ICC プロファイルを使用するアプリケーションの操作説明書に従ってください。**

**WebManagerからダウンロードできるICCプロファイルの名前は、次のとおりです。**
**Windows の場合**
- **プリンター用　：FX83PD22.icm**

**Macintosh の場合**
- **プリンター用　：FX DocuPrint CG835 Server PS J2**

**ダウンロードした ICC プロファイルは、クライアントにインストールする必要があります。**
**通常は、次のディレクトリにコピーします。**

**■Windows 95/98/Me の場合**

**例）　× :\Windows\System\Color**

**■Windows NT 4.0、Windows 2000 の場合**

**例）　× :\Winnt\system32\spool\drivers\color**

**■Windows XP の場合**

**例）　× :\Windows\system32\spool\drivers\color**

補足

例として表示している「×」は、ドライブ名です。

**■Macintosh の場合**

**例）　ハードディスク : システムフォルダ :ColorSync 特性**

注記

Macintosh の場合、ColorSync のバージョンによって、フォルダの名前が異なることがあります。

**ICC プロファイルを使用してプリントする場合は、Photoshop などのアプリケーションでサーバー用の ICC プロファイルを選択してください。**

# 4.5 StatusMonitor でジョブを管理する（Macintosh のみ）

## ■この機能でできること

**StatusMonitor とは、AppleTalk プロトコルを使用して Macintosh からサーバーやジョブの状態を確認するためのソフトウエアです。**
**StatusMonitor ウィンドウについての詳細は、「6.7 StatusMonitor」を参照してください。**

補足
TCP/IP 環境がある場合は、ネットワーク上のコンピューターの Web ブラウザーを利用して、WebManager が利用できます。WebManager については、「4.4 Web ブラウザーでジョブを管理する」を参照してください。

### 接続について

- **1 台のサーバーにつき、同時に 10 クライアントまで接続できます。**
- **1 クライアントから、同時に 4 台までのサーバーに接続できます。**

### クライントからできる主な機能

**■ジョブを確認・操作する**

**サーバーに送信したジョブを確認したり、サーバーに保存したジョブを削除したりできます。**

**■サーバーやプリンターの状態を確認する**

**サーバーの状態、プリンターにセットされている用紙サイズや用紙の残量、およびトナー量などを確認できます。**

参照
StatusMonitor のインストールについては、「7.8 DropPrint2 など、その他のインストール」を参照してください。

## 4.5.1 サーバーに接続する

**サーバーへの接続方法はに、以下の 3 通りがあります。**

- **アプリケーションアイコンから起動する**
- **StatusMonitor の［ファイル］メニューから起動する**
- **接続設定ファイルを開いて起動する**

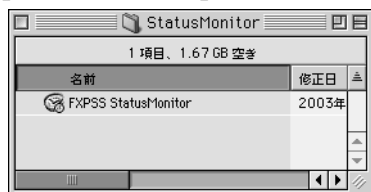
**それぞれの起動方法について説明します。**
**ここでは、例として Macintosh の Classic モードの場合で説明します。**

## アプリケーションアイコンから接続する

操作手順

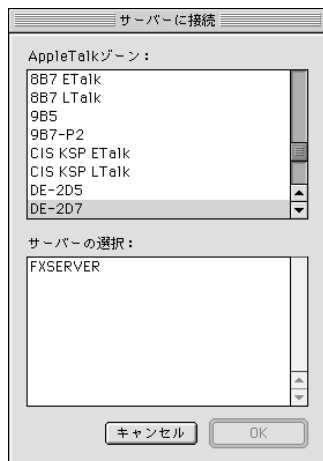
### 1 ［Print Server Series］フォルダ内の［StatusMonitor］フォルダをダブルクリックします。

［Print Server Series］フォルダは、インストール時に作成されたフォルダです。

［StatusMonitor］フォルダの内容が表示されます。

### 2 ［FXPSS StatusMonitor］をダブルクリックします。

StatusMonitor が起動し、［セレクタ］で選択されているプリンターに接続を開始します。

［セレクタ］で DocuPrint CG835 が選択されている場合は、StatusMonitor のウィンドウが表示されます。

［セレクタ］で DocuPrint CG835 以外が選択されている場合は、［サーバーに接続］ダイアログボックスが表示されます。なお、選択されているプリンターが Print Server Series 以外の場合は、［サーバーに接続］ダイアログボックスの表示に時間がかかることがあります。DocuPrint CG835 を選択して、［OK］をクリックしてください。

接続できると、StatusMonitor のウィンドウが表示されます。

参照

StatusMonitor のウィンドウの各項目については、「6.7 StatusMonitor」を参照してください。

### StatusMonitor の［ファイル］メニューから接続する

**［ファイル］メニューからは、［新規］、［接続ファイルを開く］、［最近使ったサーバー］の 3 つのコマンドが使用できます。**

**■新規**

**［新規］を選択すると、新規にサーバーに接続できます。**
**［サーバーに接続］ダイアログボックスが表示されるので、接続したいサーバーを選択して、［OK］をクリックします。**

補足

新規に接続した場合は、ログオフ状態で StatusMonitor ウィンドウが表示されます。

**■接続ファイルを開く**

**［接続ファイルを開く］を選択すると、接続設定ファイルを選択するダイアログボックスが表示されるので、接続設定ファイルを選択して、［OK］をクリックします。**
**ファイルの設定内容で、StatusMonitor ウィンドウが表示されます。**

参照

接続設定ファイルについては、「4.5.3 StatusMonitor を終了する」を参照してください。

**■最近使ったサーバー**

**［最近使ったサーバー］には、接続設定ファイルを保存したサーバーのうち、最新の 10 個が表示されます。**
**サーバーを選択すると、該当する接続設定ファイルが開き、その設定内容で、StatusMonitor ウィンドウが表示されます。**

参照

接続設定ファイルについては、「4.5.3 StatusMonitor を終了する」を参照してください。

### 接続設定ファイルを開いて接続する

操作手順

**1　接続設定ファイルをダブルクリックします。**

StatusMonitor が起動し、接続設定ファイルに保存された内容で StatusMonitor ウィンドウが表示されます。

参照

接続設定ファイルについては、「4.5.3 StatusMonitor を終了する」を参照してください。

## 4.5.2　StatusMonitor のウィンドウ

**StatusMonitor は、次の 2 つのウィンドウから構成されています。**

**①StatusMonitor ウィンドウ**
**クライアントから送信・保存されたジョブが表示されます。ジョブの状態には、処理中、処理待、保持、およびエラーの 4 つがあります。**

補足
［FXPSS StatusMonitor］をダブルクリックして起動した場合や［ファイル］メニューから［新規］を選択して接続した場合は、StatusMonitor ウィンドウは、「処理中」「処理待」が表示されています。表示するウィンドウの設定については、「6.7 StatusMonitor」を参照してください。

**②マシン状態ウィンドウ**
**サーバーの状態、プリンターのトレイ情報、トナー量などが表示されます。**

### ログインモードの表示

**ログインモードで StatusMonitor を起動した場合は、［StatusMonitor］ウィンドウ上部に［ログイン］と表示されます。ログインモードでは、ジョブの削除、優先印刷などの操作ができます。**

参照
ログインモード、およびログインの操作方法、ジョブの操作方法については、「6.7 StatusMonitor」を参照してください。



## 4.5.3 StatusMonitor を終了する

操作手順

**1 ［ファイル］メニューから［終了］を選択します。**

以下のようなダイアログボックスが表示されます。

［保存］をクリックすると、ウィンドウの状態やログインパスワードをファイルに保存できます。手順 2 に進みます。

設定を保存しない場合は、［保存しない］をクリックします。StatusMonitor が終了します。

**2** **［名前］を指定し、ログインモードの場合は、必要に応じて［ログインパスワードを保存する］チェックボックスをオンにします。**

［ログインパスワードを保存する］チェックボックスをオンにすると、作成される接続設定ファイルにログインパスワードが保存できます。
次回からは作成されたファイルを開くだけで、保存された設定で StatusMonitor ウィンドウが表示されます。

**3** **［保存］をクリックします。**

指定した場所に、接続設定ファイルが保存されます。

## 接続設定ファイルに保存される内容

- **接続するサーバー名**
- **ログインパスワード（［ログインパスワードを保存する］チェックボックスをオンにした場合）**
- **保持、エラーキューの表示 / 非表示**
- **StatusMonitor ウィンドウの位置とサイズ**
- **各リストの大きさ**

# 4.6 PDF ファイルを送受信する（PDF 配信）

**PDF 配信機能を使用してファイルの送受信ができます。**
**サーバーに直接接続されたスキャナーで文書をスキャンして、同時に PDF ファイルに変換します。その PDF ファイルをメールに添付して DocuPrint CG835 に送信できます。**
**送信できるファイルは、PDF だけです。**

**受信したファイルは、プリント、プリントして保存、プリントしないで保存の 3 つの処理方法があります。**
**受信できるファイルは、PDF、PS、EPS、TIFF です。**

**メールの送受信には、SMTP 送信、POP3 受信を使用します。**

注記

- PDF ファイルを送信するには、EPSON ES-8500 が接続されている必要があります。メール受信は、スキャナーが接続されていなくても可能です。
- メールの送信の対象は、DocuPrint CG835 だけですが、メール受信は、クライアント PC からのメールも可能です。
- 送信を開始すると、他のジョブのプリント処理は一時停止状態になります。送信が終了すると、プリント処理が再開されます。

参照

PDF ファイルの処理方法については、「4.6.1 環境設定」を参照してください。

## 4.6.1 環境設定

**PDF 配信機能を使用するためには、メール送受信の環境設定が必要です。**
**設定の前に、次の項目をシステム管理者やネットワーク管理者に依頼 / 確認してください。**

- **サーバー本体のメールアドレスの登録**
- **POP3 ユーザー名**
- **POP3 ユーザーパスワード**
- **POP3 サーバーアドレス**
- **SMTP サーバーアドレス**

操作手順

## 1 スキャナーの電源が入っていることを確認します。

## 2 [FX_ServerManager] ウィンドウの ボタンをクリックします。

PDF 配信アプリケーションが起動し、[PDF 配信] ダイアログボックスが表示されます。
初めて PDF 配信アプリケーションを起動したときは、確認のダイアログボックスが表示されるので、[OK] をクリックして手順 2 に進んでください。

補足
[サービス] メニューから [PDF 配信] を選択しても、PDF 配信アプリケーションを起動できます。

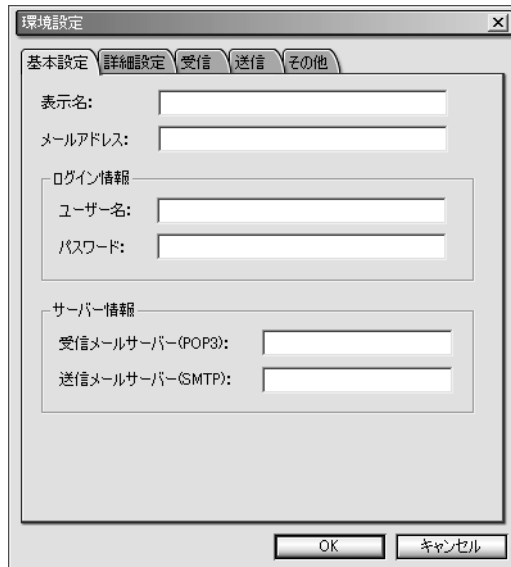
## 3 [ツール] メニューから [環境設定] を選択します。

[パスワード確認] ダイアログボックスが表示されます。

## 4 管理者パスワードを入力して、[OK] をクリックします。

［環境設定］ダイアログボックスが表示されます。

参照

管理者パスワードについては、「5.1.3 サーバーの起動と停止」を参照してください。

## 5 目的のタブを選択して、環境を設定します。

**［環境設定］ダイアログボックスには、次の 5 つのタブがあります。詳細は、後述の各タブの説明を参照してください。**

- **基本設定**
- **詳細設定**
- **受信**
- **送信**
- **その他**

注記

はじめに、［基本設定］タブのすべての項目を設定しないと、他のタブの設定はできません。

**また、［環境設定］ダイアログボックスの［基本設定］タブ以外のタブに、次の共通項目があります。**

**■［標準に戻す］ボタン**

**選択したタブで設定できる項目を、初期値に戻します。**

## 6 [OK] をクリックします。

### 基本設定タブ

**［基本設定］タブで設定できる項目は、次のとおりです。**

補足
あらかじめ、SMTP サーバーと POP3 サーバーの設定を確認しておいてください。

**■表示名**

**PDF 配信アプリケーションに表示する DocuPrint CG835 の名前を 31 バイト以内で入力します。**

**■メールアドレス**

**DocuPrint CG835 のメールアドレスを 255 バイト以内で入力します。**

**■ログイン情報**

**ログインに関する情報を設定します。**

- **ユーザー名**

  POP3 サーバーへのログインユーザー名を 64 バイト以内で入力します。

- **パスワード**

  POP3 サーバーへのログインパスワードを 64 バイト以内で入力します。

**■サーバー情報**

**送受信サーバーの設定をします。**

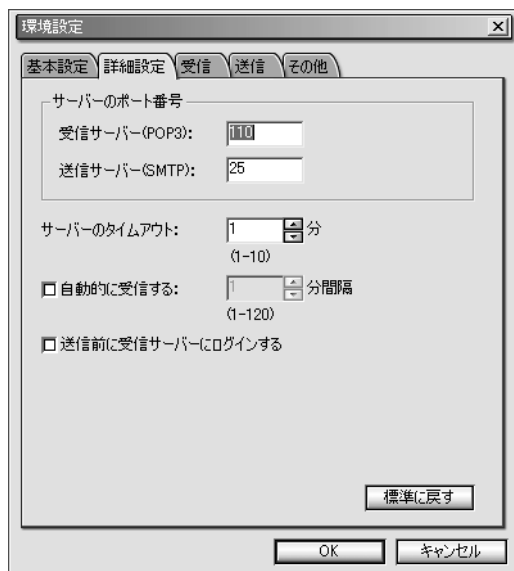
- **受信メールサーバー（POP3）**

  POP3 サーバーアドレスを IP アドレス（xxx.xxx.xxx.xxx 形式）、または DNS 名で 128 バイト以内で入力します。

- **送信メールサーバー（SMTP）**

  SMTP サーバーアドレスを IP アドレス（xxx.xxx.xxx.xxx 形式）、または DNS 名で 128 バイト以内で入力します。

### 詳細設定タブ

［詳細設定］タブで設定できる項目は、次のとおりです。

■サーバーのポート番号

- **受信サーバー（POP3）**

  POP3 サーバーのポート番号を 0 ～ 9999 の範囲で入力します。デフォルトは、［110］です。

- **送信サーバー（SMTP）**

  SMTP サーバーのポート番号を 0 ～ 9999 の範囲で入力します。デフォルトは、［25］です。

■サーバーのタイムアウト

POP3/SMTP サーバーへの接続タイムアウト時間を設定します。
指定した時間で POP3/SMTP サーバーとの接続を解除します。1 ～ 10 分の範囲で 1 分刻みに指定できます。デフォルトは、［1］分です。

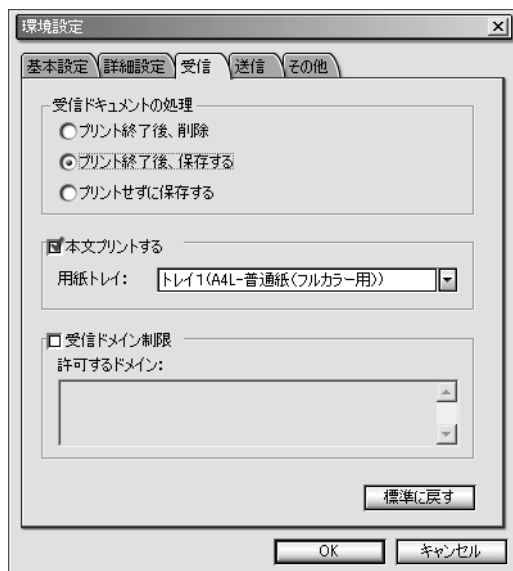
■自動的に受信する

チェックボックスをオンにした場合、自動的に受信処理をします。デフォルトは、「オフ」です。
自動受信する場合は、POP3 サーバーへのメール確認間隔を設定します。1 ～ 120 分の範囲で 1 分刻みに指定できます。デフォルトは、［1］分です。
オフの場合は手動受信となり、［FX_ServerManager］ウィンドウの［メール受信］をクリックしたときに受信されます。

■送信時に受信サーバーにログインする

チェックボックスをオンにした場合、「POP Before SMTP」機能を使ってユーザー認証を行います。デフォルトは、「オフ」です。

### 受信タブ

［受信］タブで設定できる項目は、次のとおりです。

**■受信ドキュメントの処理**

**受信ドキュメント（PDF ファイル）の処理について指定します。次の項目から選択できます。デフォルトは、［プリント終了後、保存する］です。**

- **プリント終了後、削除**
  プリントしたあと、ファイルを削除します。
- **プリント終了後、保存する**
  プリントしたあと、サーバーの保持リストにファイルを保存します。
- **プリントせずに保存する**
  プリントしないで、サーバーの保持リストにファイルを保存します。

**■本文プリントする**

**チェックボックスをオンにした場合、メール本文をプリントします。デフォルトは、「オン」です。プリントする場合は、［用紙トレイ］で本文プリント用の用紙トレイを選択します。**
**「オフ」にした場合、本文はプリントされませんが、［通信状況］ダイアログボックスで本文が確認できます。**

補足

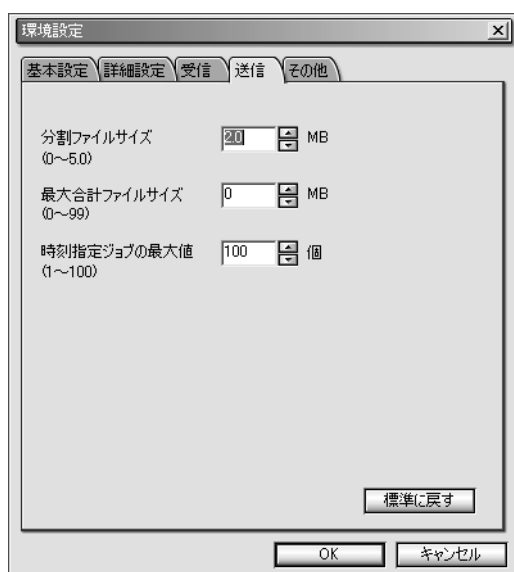
- ジョブの処理方法は、［受信ドキュメントの処理］の設定が適用されます。
- ［通信状況］ダイアログボックスについては、「4.6.4 通信状況を確認する」を参照してください。

■受信ドメイン制限

チェックボックスをオンにした場合、受信を許可するドメインを制限できます。許可されたドメイン以外のメールは、受信拒否されます。デフォルトは、「オフ」です。
受信ドメインを制限する場合は、［許可するドメイン］にドメイン名を入力します。ドメインごとの文字数は 128 バイト以内で、ドメインとドメインの間は改行またはカンマ「,」を入力します。最大 50 ドメインまで設定できます。
受信拒否されたメールは、［通信状況］ダイアログボックスの［受信状況］タブに「受信エラー（201）」と表示されます。そこで、送信元のメールアドレスも確認できます。

注記
受信拒否されたメールは、POP3 サーバーから削除されます。

## 送信タブ

［送信］タブで設定できる項目は、次のとおりです。

■分割ファイルサイズ

お使いの環境で送信メールのサイズ制限がある場合に、制限に合わせて PDF ファイルを分割して複数のメールとして送信できます。その場合の 1 ファイルあたりのサイズが設定できます。分割して送信されたファイルは、送信先で自動的に合成されます。
0 ～ 5.0MB の範囲で 0.1MB 刻みに指定できます。［0］MB に設定すると分割されません。デフォルトは、［2.0］MB です。

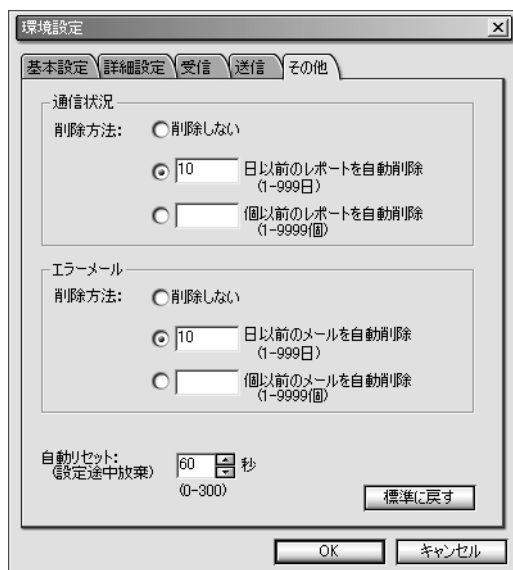
■最大合計ファイルサイズ

お使いの環境で送信メールのサイズ制限がある場合に、制限に合わせて送信できるファイルの合計サイズを設定します。合計サイズを超える場合は、エラーメッセージが表示され、送信が中止されます。
0 ～ 99MB の範囲で 1MB 刻みに指定できます。［0］MB に設定すると送信は制限されません。デフォルトは、［0］MB です。

■時刻指定ジョブの最大値

時刻を指定してメールを送信できるジョブの数を設定します。1 ～ 100 個の範囲で 1 個刻みに指定できます。デフォルトは、［100］個です。最大値を超える場合は、スキャン / 送信はできません。

## その他タブ

［その他］タブで設定できる項目は、次のとおりです。

■通信状況

［通信状況］ダイアログボックスの［送信状況］タブと［受信状況］タブに表示される通信レポートの削除方法を設定します。デフォルトは、［10］日以前のレポートを自動削除です。

- **削除しない**

  レポートを削除しません。

- **xx 日以前のレポートを自動削除**

  指定した日数以前のレポートを自動的に削除します。1 ～ 999 日の範囲で、1 日刻みに指定できます。

- **xx 個以前のレポートを自動削除**

  指定した個数以前のレポートを自動的に削除します。1 ～ 9999 個の範囲で、1 個刻みに指定できます。

■エラーメール

エラーメールの削除方法を設定します。デフォルトは、［10］日以前のメールを自動削除です。

- **削除しない**

  メールを削除しません。

- **xx 日以前のメールを自動削除**

  指定した日数以前のメールを自動的に削除します。1 ～ 999 日の範囲で、1 日刻みに指定できます。

- **xx 個以前のメールを自動削除**

  指定した個数以前のメールを自動的に削除します。1 ～ 9999 個の範囲で、1 個刻みに指定できます。

■自動リセット（設定途中放棄）

PDF 配信アプリケーションを起動後、または読み取り終了後から、一定時間ユーザーからの操作がない場合に、アプリケーションを自動的に終了させる時間を設定します。
ただし、PDF 配信アプリケーションから開いたダイアログボックスが表示されている場合は、自動リセットは働きません。
0 ～ 300 秒の範囲で 1 秒刻みに指定できます。［0］秒に設定するとアプリケーションは終了しません。デフォルトは、［60］秒です。

## 4.6.2　PDF ファイルを送信する

**PDF ファイルをメールに添付して送信する方法について説明します。**

**注記**

以下の場合は、メール送信できません。

- スキャナーが EPSON ES-8500 以外の場合
- スキャナーの電源がオフの場合
- スキャナーがクライアントからのスキャンで使用中の場合



### 操作手順

**1　スキャンする面を下に向けて、原稿セットします。**

原稿送り装置を使用したスキャンでは、原稿を原稿送り装置にセットします。

**補足**

原稿のセット方法については、スキャナーの取扱説明書を参照してください。

**2　［FX_ServerManager］ウィンドウの　ボタンをクリックします。**

PDF 配信アプリケーションが起動し、［PDF 配信］ダイアログボックスが表示されます。

**補足**

［サービス］メニューから［PDF 配信］を選択しても、PDF 配信アプリケーションを起動できます。

## 3 ［送信先］を設定します。

［送信先］は、宛先、グループ合わせて 100 件まで指定できます。

宛先を直接入力する場合は、メールアドレスごとの文字数は 128 バイト以内で、メールアドレスとメールアドレスの間はカンマ「,」、改行、またはタブで区切ります。

アドレス帳を使用する場合は、［アドレス帳］をクリックして、［アドレス帳］ダイアログボックスで指定します。

参照

アドレス帳については、「4.6.7 送信先の指定について」を参照してください。

## 4 ［件名］を 1 ～ 31 バイト以内で指定します。

デフォルトは、［PDF 配信］ダイアログボックスを表示したときの日時になります。

## 5 目的のタブを選択して、環境を設定します。

**［PDF 配信］ダイアログボックスには、次の 3 つのタブがあります。詳細は、後述の各タブの説明を参照してください。**

- **基本設定**
- **画質調整**
- **ファイル形式**

**また、［PDF 配信］ダイアログボックス内には、次の共通項目があります。**

**■［通信状況］ボタン**

**［通信状況］ダイアログボックスが表示され、送受信の状態が確認できます。**

**■［全てを標準に戻す］ボタン**

**［送信先］と［PDF 配信］ダイアログボックスに表示されるすべてのタブの設定を、初期値に戻します。**

**■［終了］ボタン**

**PDF 配信アプリケーションを終了します。**

## 6 ［送信］をクリックします。

読み取りが開始します。
［読み込み中］ダイアログボックスが表示され、プレビューイメージが表示されます。
［中止］をクリックすると、読み取りと送信がキャンセルされます。

読み取ったドキュメントを PDF ファイルに変換し、メールに添付して送信されます。

［通信状況］ボタンをクリックすると、［通信状況］ダイアログボックスが表示され、通信の状況が確認できます。

参照

通信状況については、「4.6.4 通信状況を確認する」を参照してください。

## 基本設定タブ

［基本設定］タブで設定できる項目は、次のとおりです。

入力先を［原稿ガラス］、［原稿送り装置］から選択します。デフォルトは、［原稿ガラス］です。

注記
スキャナーに原稿送り装置が装着されていない場合は、［原稿送り装置］は選択できません。

■カラーモード

カラーモードには、次の項目があります。デフォルトは、［RGB カラー（各色8bit)］です。

- RGB カラー（各色 8bit）
- グレースケール（8bit）
- モノクロ 2 階調

■読み取りサイズ

スキャンする原稿サイズを指定します。
「A4 横」、「B5 横」は、スキャナー本体に記載されている「A4□」、「B5□」と同じ方向を表します。
<［原稿ガラス］の場合>
デフォルトは、［A3 プラス］です。

- A3 プラス
- A3
- B4
- A4
- B5
- A4 横
- B5 横

補足
A3 プラスのサイズは、310 × 437mm です。

**<［原稿送り装置］の場合>**
**デフォルトは、［A3］です。**

- **A3**
- **B4**
- **A4**
- **B5**
- **A4 横**
- **B5 横**

注記
原稿送り装置では、［A3 プラス］は選択できません。

**■両面**

**スキャナーに原稿送り装置が装着されていて、［原稿送り装置］が選択されているときに、両面に印刷してある原稿を両面ともスキャンする場合は、チェックボックスをオンにします。デフォルトは、「オフ」です。**

**■読み取り解像度**

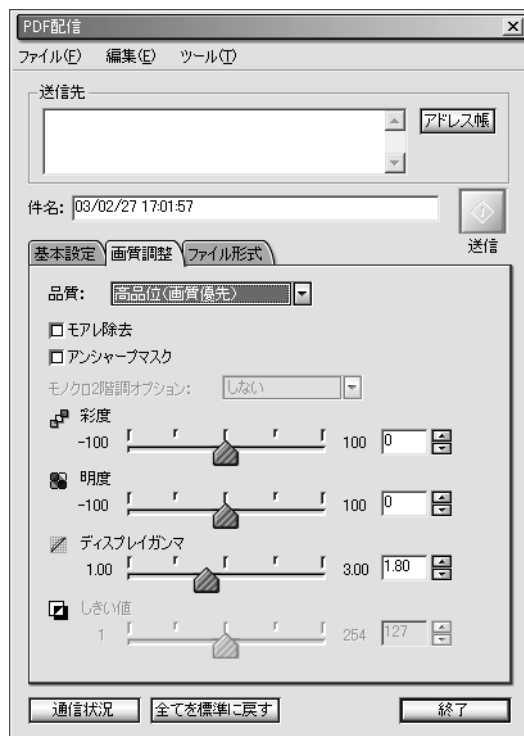
**読み取りの解像度を指定します。**
**50 ～ 400dpi までの値を入力できます。デフォルトは、［100］dpi です。**

注記
解像度を高く設定すると、ファイルサイズが大きくなります。

**■時刻指定通信**

**時刻を指定してメールを送信する場合は、チェックボックスをオンにして、時間を 24 時間表示で指定します。**
**時刻指定通信ジョブは、送信キューに入ります。送信キューについては、「4.6.5 送信ジョブを管理する」を参照してください。**

## 画質調整タブ

**［画質調整］タブで設定できる項目は、次のとおりです。**
**［基本設定］タブの［カラーモード］の指定などによって、各項目は選択 / 非選択の状態になります。**

**■品質**

**読み取り品質を指定します。**
**品質には、次の項目があります。デフォルトは、［高品位（画質優先)］です。**

- **高品位（画質優先）**
  画質を優先してスキャンするときに指定します。
- **ドラフト（速度優先）**
  速度を優先してスキャンするときに指定します。

**■アンシャープマスク**

**アンシャープマスクフィルターをかけるときは、チェックボックスをオンにします。デフォルトは、「オフ」です。**

**■モアレ除去**

**モアレ除去フィルターをかけるときは、チェックボックスをオンにします。デフォルトは、「オフ」です。**

**■モノクロ 2 階調オプション**

**［基本設定］タブの［カラーモード］で［モノクロ 2 階調］を選択したときに、オプションを選択します。**
**［しない］、［TET］、［AAS］から選択します。デフォルトは、［しない］です。**

- **しない**

  オプションを使用しないでスキャンします。

- **TET**

  画像の濃淡を判断するしきい値（白黒の境）を自動調整する機能です。文字と背景の色とのコントラストが低い原稿でも、文字と背景を自動識別して文字を鮮明に読み取ります。

- **AAS**

  文字と画像が混在している原稿の文字部分はモノクロ、画像部分は擬似中間処理をする機能です。文字と写真などの画像が混在するモノクロ原稿を読み取るときに、文字領域と写真領域を自動識別して読み取ります。

**■彩度**

**色の鮮やかさの度合いを指定します。**
**-100 ～ 100 までの整数を入力するか、スライドバーで指定します。**
**デフォルトは、［0］です。**

**■明度**

**色の明暗の度合いを指定します。**
**-100 ～ 100 までの整数を入力するか、スライドバーで指定します。**
**デフォルトは、［0］です。**

**■ディスプレイガンマ**

**イメージのコントラスト（色調）を指定します。**
**明るくしたり、暗くしたりできます。**
**通常は、人間の目の感覚に近い「1.8」に設定することをお勧めします。**
**1.00 ～ 3.00 までの値を入力するか、スライドバーで指定します。**
**デフォルトは、［1.80］です。**

**■しきい値**

**白黒 2 値判別の濃度を入力します。**
**1 ～ 254 までの整数を入力するか、スライドバーで指定します。**
**デフォルトは、［127］です。**

## ファイル形式タブ

［ファイル形式］タブで設定できる項目は、次のとおりです。

■2 値画像の圧縮

3 つの項目から選択できます。デフォルトは、［なし］です。

• なし • CCITT Group3 • CCITT Group4

■階調画像の圧縮

2 つの項目から選択できます。デフォルトは、［JPEG］です。

• なし • JPEG

■JPEG 画質

［階調画像の圧縮］で［JPEG］を選択した場合、圧縮率を指定できます。デフォルトは、［標準］です。

• 低品質（高圧縮率） • 標準 • 高品質
• 最高品質（低圧縮率）

■エンコード

エンコードを選択してファイルを保存できます。デフォルトは、［Binary］です。

• ASCII • Binary

## 4.6.3 PDF ファイルを受信する

**［環境設定］ダイアログボックスの［詳細設定］タブで［自動的に受信する］チェックボックスが「オン」に設定されいる場合は、自動的に受信します。**
**受信できる添付ファイルは、PDF、PS、EPS、TIFF です。**
**クライアント PC からのメールも受信できます。**
**ここでは、手動で受信する方法を説明します。**

注記

- 添付ファイルが PDF、PS、EPS、TIFF 以外の場合は、受信メールと添付ファイルは削除されます。この場合、通信状況と通信レポートには、通信エラーとして記録されます。
- 添付ファイルが複数ある場合は、すべてプリントされます。ただし、未対応のファイルはプリントされません。
- DocuPrint CG835から分割して送信されたメールは、DocuPrint CG835側で受信時に合成されますが、クライアント PC から分割して送信されたメールは、DocuPrint CG835 側では合成されません。
- 受信したメールが転送メールの場合、エラーメールになることがあります。

参照

- ［環境設定］ダイアログボックスについては、「4.6.1 環境設定」を参照してください。
- メール本文を印刷するかどうかを設定できます。詳しくは、「4.6.1 環境設定」の「受信タブ」を参照してください。

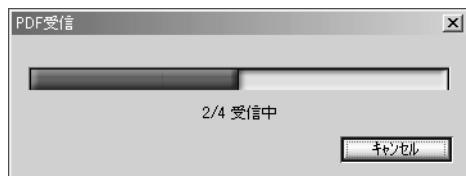


操作手順

**1 ［FX_ServerManager］ウィンドウの ボタンをクリックします。**

［PDF 受信］ダイアログボックスが表示され、受信が開始します。

補足

［サービス］メニューから［メール受信］を選択しても、［PDF 受信］ダイアログボックスが表示できます。

受信が終了した順に、メールから添付ファイルが取り出されます。

添付ファイルは、［環境設定］ダイアログボックスの［受信］タブにある［受信ドキュメントの処理］の設定に従って処理されます。プリントする設定の場合は、ServerManager のプリントオプションの初期設定が適用されます。ただし、プリントされる用紙サイズは、後述の「プリントされる用紙サイズについて」のようになります。

参照

- ［環境設定］ダイアログボックスについては、「4.6.1 環境設定」を参照してください。
- ServerManager のプリントオプションの初期設定については、「5.3.6 プリントオプションの初期設定」を参照してください。

### プリントされる用紙サイズについて

**■DocuPrint CG835 から受信した場合**

**受信ジョブに指定された用紙サイズがセットされている場合**

- **指定された用紙サイズにプリントする。**

**受信ジョブに指定された用紙サイズがセットされていない場合は、以下の優先順位でプリントされます。**

- **受信ジョブの用紙サイズよりも大きいサイズの中で最小の用紙サイズを選択し、等倍で用紙の中心にプリントする。**
- **受信ジョブの用紙サイズよりも小さいサイズの中で最大の用紙サイズを選択し、用紙サイズに合わせて縮小してプリントする。**

**■クライアント PC から受信した場合**

**受信ジョブに指定された用紙サイズがセットされている場合**

- **指定された用紙サイズにプリントする。**

**受信ジョブに指定された用紙サイズがセットされていない場合**

- **エラージョブになります。**

補足

クライアント PC からのジョブで用紙サイズの指定がない場合は、FTP プリントの初期設定の値でプリントされます。FTP プリントの初期設定については、「3.8 FTP を使ってプリントする」を参照してください。

### メール本文プリントのフォーマットについて

**以下の項目が印字されます。**

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| 差出人 | 表示名と実アドレスが表示されます。 |
| 送信日時 | yy/mm/dd hh:mm:ss と表示されます。 |
| 宛先 | すべての宛先の表示名と実アドレス表示されます。<br>複数の宛先がある場合は、「;」で区切って表示されます。 |
| 件名 | 件名が表示されます。 |
| メール本文 | メール本文が表示されます。 |
| 添付ファイル | 添付ファイルがある場合は、ファイルフォーマットを示すアイコンとファイル名が表示されます。 |

## 4.6.4　通信状況を確認する

**送受信の結果を確認できます。**
**画面上で通信状況とプロパティの確認、通信状況の送信レポートと受信レポートとしてのプリント、保存（CSV 形式）ができます。**

参照
確認、プリント、保存できる内容については、「通信状況で確認できる項目」を参照してください。

さらに便利に使うために
4

操作手順

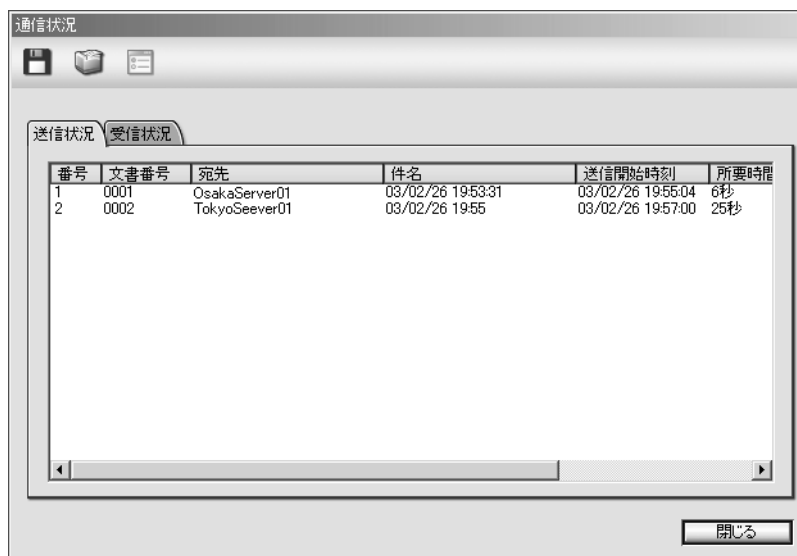
### 1 ［FX_ServerManager］ウィンドウの ボタンをクリックします。

PDF 配信アプリケーションが起動し、［PDF 配信］ダイアログボックスが表示されます。

補足
［サービス］メニューから［PDF 配信］を選択しても、PDF 配信アプリケーションを起動できます。

### 2 ［通信状況］ボタンをクリックします。

［通信状況］ダイアログボックスが表示されます。

補足
［ファイル］メニューから［通信状況］を選択しても、［通信状況］ダイアログボックスが表示できます。

**3** 目的に応じて、[送信状況] タブ、[受信状況] タブを選択して、内容を確認します。

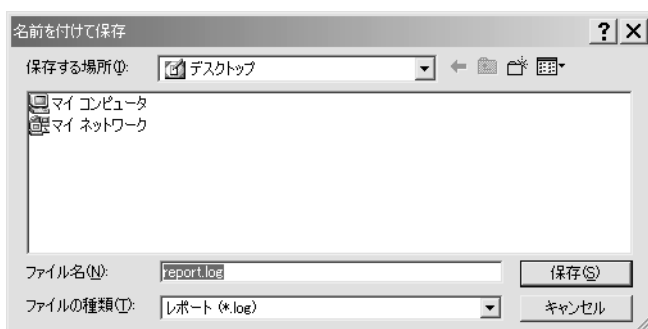
**4** 必要に応じて、保存、プリント、プロパティの確認をします。

**5** 確認が終了したら、[閉じる] をクリックします。

### ファイルとして保存する

操作手順

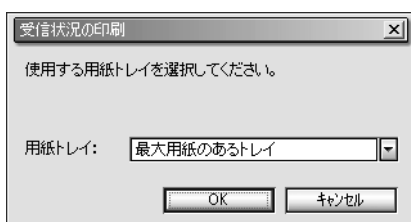
**1** ジョブを選択して をクリックします。

複数のジョブが選択できます。
ファイル保存のダイアログボックスが表示されます。

**2** 保存する場所、[ファイル名] を指定して、[保存] をクリックします。
通信状況が CSV 形式のファイルで保存されます。

### プリントする

操作手順

**1** ジョブを選択して をクリックします。

複数のジョブが選択できます。
用紙トレイを選択するダイアログボックスが表示されます。

**2** **［用紙トレイ］からプリントする用紙トレイを選択して、［OK］をクリックします。**

レポートがプリントされます。

## 通信状況で確認できる項目

■送信

| 項目 | 説明 | |
|---|---|---|
| 番号 | 送信状況の通し番号（1 ～ 9999）が表示されます。 | |
| 文書番号 | 送受信ドキュメントの通し番号が表示されます。<br>宛先が複数の場合は、同一の文書番号の行を宛先の数だけ表示します。宛先がグループの場合は、同一の文書番号の行をグループ内の宛先の数だけ表示します。 | |
| 宛先 | 宛先が表示されます。 | |
| 件名 | 件名が表示されます。 | |
| 送信開始時刻 | 送信開始時刻が表示されます。<br>送信待ちの場合は、空欄になります。 | |
| 所要時間 | 送信開始から送信終了までの時間が表示されます。<br>送信待ち、送信中の場合は、空欄になります。 | |
| ページ数 / 個数 | 添付したファイルのページ数（DocuPrint CG835 から受信した場合）、個数（クライアント PC から受信した場合）が表示されます。 | |
| 通信結果<br>※通信結果は、状態の変化に応じて表示が変わります。 | 送信待ち | 送信待ち状態 |
| | 送信中 | 送信開始から送信終了までの状態 |
| | 送信済み | 送信終了状態 |
| | 取り消し | 送信待ち、または送信中に処理を停止した状態 |
| | 送信エラー（XXX） | 送信中にエラーが発生した場合に、エラーの内容を（XXX）で表示します。 |

■受信

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| 番号 | 受信状況の通し番号（1 ～ 9999）が表示されます。 |
| 文書番号 | 送受信ドキュメントの通し番号が表示されます。 |
| 送信元 | 送信元の名前（メールヘッダーの From フィールドを使用）が表示されます。 |
| 件名 | 件名が表示されます。 |
| 受信開始時刻 | 受信開始時刻が表示されます。 |
| 所要時間 | 受信開始から受信終了までの時間が表示されます。<br>プリント処理時間は含まれません。 |
| ページ数 | 添付された PDF ファイルのページ数が表示されます。 |

| 項目 | 説明 | |
|---|---|---|
| 通信結果 | 受信済み | 受信終了状態 |
| | 受信中 | 受信開始から受信終了までの状態 |
| | プリント済み | プリント終了状態 |
| | プリント<br>キャンセル | ServerManager でジョブがキャンセルされた状態 |
| | プリントエラー | ServerManager でジョブがエラーになった状態 |
| | 受信エラー<br>（XXX） | 受信中にエラーが発生した場合に、エラーの内容を（XXX）で表示します。 |

参照

送信エラーと受信エラーのコードについては､「8.2 エラージョブメッセージ一覧」の「メール送信時エラー」と「メール受信時エラー」を参照してください。

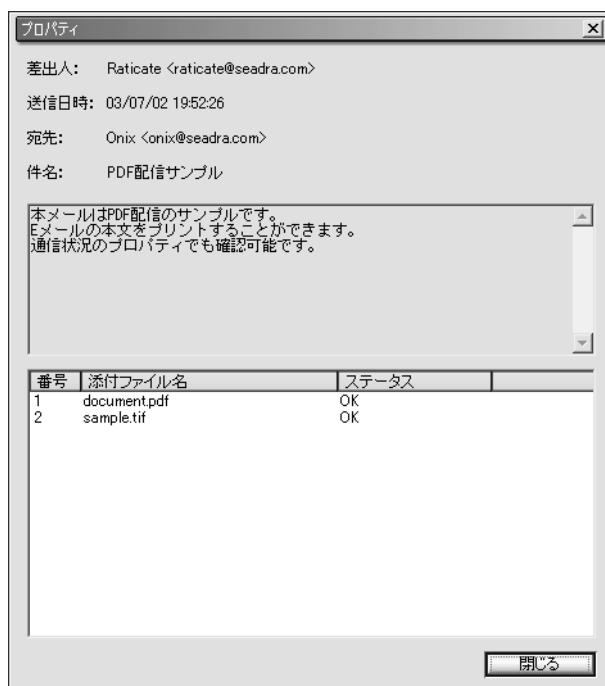
## プロパティを確認する

**受信メールのヘッダー情報と本文、添付ファイルの名前とステータスが確認できます。**

操作手順

### 1 ジョブを選択して をクリックします。

選択できるジョブは、ひとつだけです。

［プロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

## 2 内容を確認したら、［閉じる］をクリックします。

### プロパティで確認できる項目

| 項目 | | 説明 |
|---|---|---|
| メール情報 | 差出人 | 表示名と実アドレス表示されます。 |
| | 送信日時 | yy/mm/dd hh:mm:ss 表示されます。 |
| | 宛先 | すべての宛先の表示名と実アドレス表示されます。<br>複数の宛先がある場合は、「;」で区切って表示されます。 |
| | 件名 | 件名が表示されます。 |
| | メール本文 | メール本文が 512 バイト以内で表示されます。<br>対応フォーマット以外は、空欄になります。 |
| 添付ファイル情報 | 番号 | ファイルの番号が表示されます。 |
| | 添付ファイル名 | 添付ファイルの名前が表示されます。 |
| | ステータス | 添付ファイルのサポート状態が表示されます。<br>OK　サポートファイル<br>未サポート　未サポートファイル<br>未サポートエンコード　未サポートのエンコード |

## 4.6.5 送信ジョブを管理する

時刻指定で送信したジョブの確認ができます。
指定した時刻を待たずに送信することや、ジョブの送信の取り消しができます。

操作手順

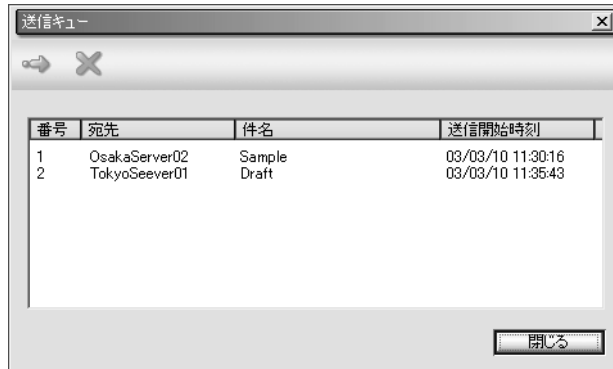
### 1 ［FX_ServerManager］ウィンドウの ボタンをクリックします。

PDF 配信アプリケーションが起動し、［PDF 配信］ダイアログボックスが表示されます。

補足

［サービス］メニューから［PDF 配信］を選択しても、PDF 配信アプリケーションを起動できます。

## 2 ［ファイル］メニューから、［送信キューの管理］を選択します。

［送信キュー］ダイアログボックスが表示されます。

**■確認できる項目**

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| 番号 | 送信待ちジョブの通し番号（1 ～ 9999）が表示されます。 |
| 宛先 | 宛先が表示されます。<br>複数の宛先がある場合は、「,」で区切って表示されます。 |
| 件名 | 件名が表示されます。 |
| 送信開始時刻 | 送信開始時刻が表示されます。 |

## 3 指定した時刻を待たずに、ジョブをただちに送信する場合は、ジョブを選択して をクリックします。

**ジョブの送信を取り消す場合は、ジョブを選択して をクリックします。**

補足

- 複数のジョブが選択できます。
- 送信を取り消す場合は、ダイアログボックスが表示されるので、［はい］をクリックします。

## 4 確認が終了したら、［閉じる］をクリックします。

## 4.6.6 エラーメールを確認する

**エラーメールは、以下の場所に保存されます。**
**D:\Fuji Xerox\Print Server Series\Work\Mail\Error Mail**

**エラーメールの確認方法について説明します。**



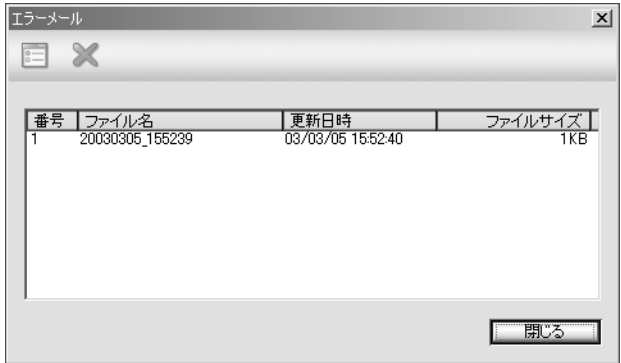
操作手順

**1 ［FX_ServerManager］ウィンドウの ボタンをクリックします。**

PDF 配信アプリケーションが起動し、［PDF 配信］ダイアログボックスが表示されます。

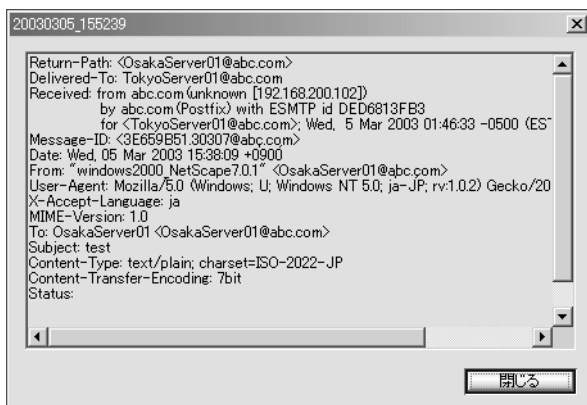
補足
［サービス］メニューから［PDF 配信］を選択しても、PDF 配信アプリケーションを起動できます。

**2 ［ファイル］メニューから、［エラーメール］を選択します。**

［エラーメール］ダイアログボックスが表示されます。

**■確認できる項目**

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| 番号 | エラーメールの通し番号（1 ～ 9999）が表示されます。 |
| ファイル名 | 保存されたエラーメールのファイル名が表示されます。 |
| 更新日時 | エラーメールを受信した日時が表示されます。 |
| ファイルサイズ | エラーメールのファイルサイズが表示されます。 |

**3** **エラーメールの内容を確認する場合は、エラーメールを選択してダブルクリックするか、 をクリックします。**

選択できるエラーメールは、ひとつだけです。
選択したエラーメールの内容が表示されます。

注記
日本語などの 2 バイト文字列は、正しく表示されません。

**エラーメールを削除する場合は、エラーメールを選択して をクリックします。**

複数のエラーメールが選択できます。

**4** **確認が終了したら、［閉じる］をクリックします。**

補足
エラーメールを手動で削除する場合は、以下の場所のファイルを削除してください。
D:\Fuji Xerox\Print Server Series\Work\Mail\Error Mail

# 4.6.7 送信先の指定について

**ここでは、送信先の指定方法とアドレス帳の作成方法について説明します。**

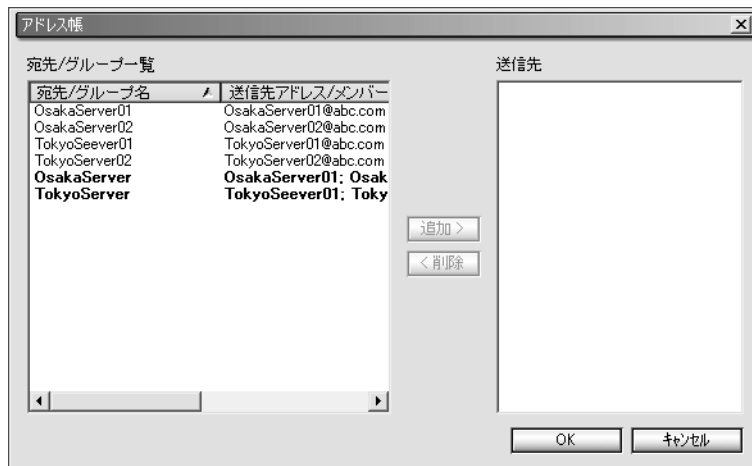
## 送信先の指定方法

**［PDF］配信ダイアログボックスの［送信先］の指定方法について説明します。**

**■直接入力する場合**

**キーボードを使って、アドレスを指定します。**
**メールアドレスごとの文字数は 128 バイト以内で、メールアドレスとメールアドレスの間はカンマ「,」、改行、またはタブで区切ります。**
**グループ名は直接入力して指定できません。**

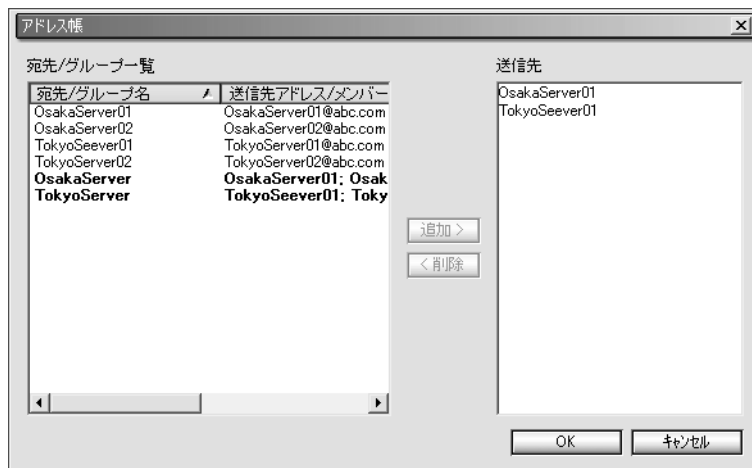
■アドレス帳を使う場合

**アドレス帳を使用する場合は、［アドレス帳］をクリックして、［アドレス帳］ダイアログボックスで指定します。**

操作手順

**1 ［宛先 / グループ一覧］から指定する宛先、またはグループ名を選択して、［追加］をクリックします。**

複数の宛先、またはグループ名が選択できます。

［送信先］に選択した宛先、またはグループ名が表示されます。［PDF 配信］ダイアログボックスの［送信先］に直接入力した送信先もここに表示されます。

［送信先］の宛先、またはグループ名を削除する場合は、宛先、またはグループ名を選択して、［削除］をクリックします。複数の宛先、またはグループ名が選択できます。

**2 送信先の指定が終了したら、［OK］をクリックします。**

■宛先 / グループ一覧に表示される項目

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| 宛先 / グループ名 | 宛先名、グループ名の順に表示されます。<br>グループ名は、ボールド文字で表示されます。 |
| 送信先アドレス / グループメンバー | 送信先のメールアドレスが表示されます。<br>グループメンバーのアドレスは、「;」で区切って表示されます。 |
| コメント | アドレス帳で指定したコメントが表示されます。 |

## アドレス帳の作成方法

アドレス帳には、以下の内容が登録できます。

■宛先

- 宛先名（表示名）
- 送信先アドレス
- コメント

■グループリスト

- グループ名（表示名）
- グループメンバー（複数の宛先名）
- コメント



操作手順

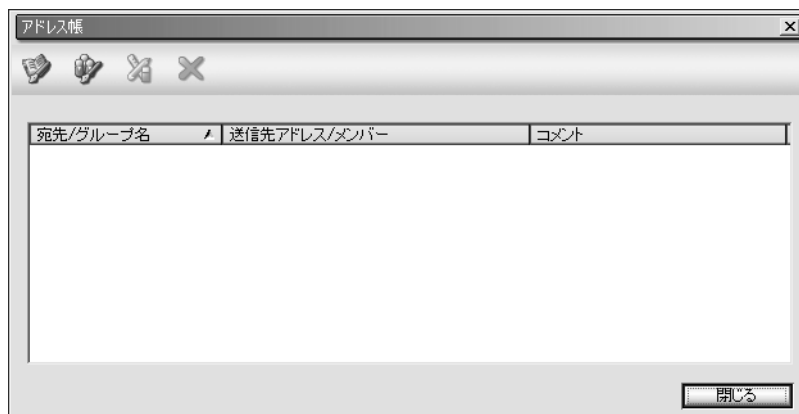
### 1 ［FX_ServerManager］ウィンドウの ボタンをクリックします。

PDF 配信アプリケーションが起動し、［PDF 配信］ダイアログボックスが表示されます。

補足

［サービス］メニューから［PDF 配信］を選択しても、PDF 配信アプリケーションを起動できます。

### 2 ［ツール］メニューから、［アドレス帳］を選択します。

［アドレス帳］ダイアログボックスが表示されます。

**3** **宛先、またはグループを登録します。**

**■宛先を登録する場合**

**①**  **をクリックします。**

［宛先登録］ダイアログボックスが表示されます。

**②［宛先名］を 31 バイト以内で指定します。**

**③［アドレス］を 128 バイト以内で指定します。**

補足

［宛先名］、［アドレス］は、指定できるバイト数を超えるとビープ音が鳴ります。

**④必要に応じて、［コメント］を 128 バイト以内で指定します。**

**⑤［OK］をクリックします。**

**■グループを登録する場合**

**ひとつのグループに登録できるメンバーは 100 以内です。**
**グループを登録する場合は、あらかじめ宛先登録をしておく必要があります。**

**① をクリックします。**

［グループ登録］ダイアログボックスが表示されます。

**②［グループ名］を 31 バイト以内で指定します。**

### ③［メンバー編集］をクリックします。

［メンバー編集］ダイアログボックスが表示されます。

### ④［宛先一覧］から指定する宛先を選択して、［追加］をクリックします。

複数の宛先が選択できます。

［メンバー一覧］に選択した宛先が表示されます。

［送信先］の宛先を削除する場合は、宛先を選択して、［削除］をクリックします。

**■宛先一覧に表示される項目**

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| 宛先名 | 宛先名が表示されます。 |
| 送信先アドレス | 送信先のメールアドレスが表示されます。 |
| コメント | アドレス帳で指定したコメントが表示されます。 |

### ⑤［OK］をクリックします。

［メンバー編集］ダイアログボックスが閉じます。

［グループ登録］ダイアログボックスの［グループメンバー］に追加した宛先が表示されます。

### ⑥必要に応じて、［コメント］を 128 バイト以内で指定します。

### ⑦［OK］をクリックします。

## アドレス帳の編集方法

**登録した宛先やグループの編集と削除ができます。**

操作手順

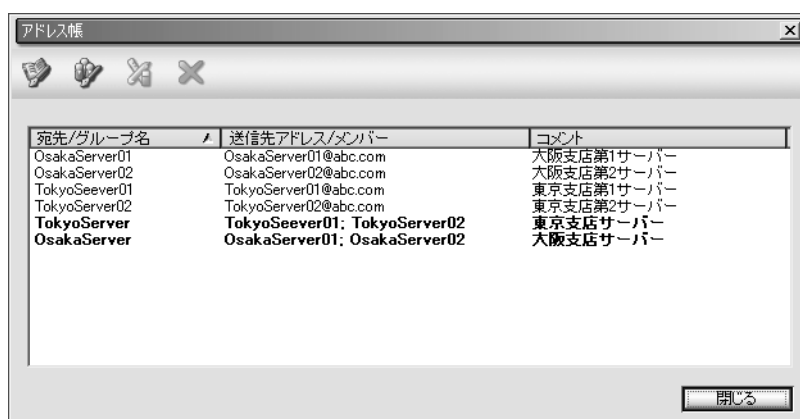
### 1 ［FX_ServerManager］ウィンドウの ボタンをクリックします。

PDF 配信アプリケーションが起動し、［PDF 配信］ダイアログボックスが表示されます。

補足

［サービス］メニューから［PDF 配信］を選択しても、PDF 配信アプリケーションを起動できます。

### 2 ［ツール］メニューから、［アドレス帳］を選択します。

［アドレス帳］ダイアログボックスが表示されます。

### 3 編集、または削除する宛先、またはグループを選択します。

グループはボールド文字で表示されます。

**■編集する場合**

**① をクリックします。**

［宛先編集］、または［グループ編集］ダイアログボックスが表示されます。

**＜［宛先編集］ダイアログボックス＞**

さらに便利に使うために

4

**＜［グループ編集］ダイアログボックス＞**

**②項目を編集します。**

参照

編集の仕方は、アドレス帳の作成方法と同様です。「アドレス帳の作成方法」を参照してください。

**■削除する場合**

**① をクリックします。**

確認のダイアログボックスが表示されます。

**②［はい］をクリックします。**

選択した宛先、またはグループが削除されます。

# 4.6.8 アドレス帳の読み込みと保存

**アドレス帳の読み込みと保存ができます。**

## アドレス帳の読み込み

操作手順

**1 ［FX_ServerManager］ウィンドウの ボタンをクリックします。**

PDF 配信アプリケーションが起動し、［PDF 配信］ダイアログボックスが表示されます。

補足

［サービス］メニューから［PDF 配信］を選択しても、PDF 配信アプリケーションを起動できます。

**2** **［ファイル］メニューから、［アドレス帳の読み込み］を選択します。**

［ファイルを開く］ダイアログボックスが表示されます。

**3** **読み込むアドレス帳を選択して、［開く］をクリックします。**

アドレス帳が読み込まれます。

### アドレス帳の保存

**アドレス帳は、CSV 形式で保存されます。**



操作手順

**1** **［FX_ServerManager］ウィンドウの ボタンをクリックします。**

PDF 配信アプリケーションが起動し、［PDF 配信］ダイアログボックスが表示されます。

補足

［サービス］メニューから［PDF 配信］を選択しても、PDF 配信アプリケーションを起動できます。

**2** **［ファイル］メニューから、［アドレス帳を名前を付けて保存］を選択します。**

［名前を付けて保存］ダイアログボックスが表示されます。

**3** **［保存する場所］と［ファイル名］を指定して、［保存］をクリックします。**

アドレス帳が保存されます。

# ネットワーク設定と サーバーの管理（管理者向け）



この章では、サーバー管理者向けに、サーバーのセットアップからサーバーの管理までを説明します。

# 5.1 サーバーのセットアップ

はじめてサーバーを起動するときは、次のとおりにセットアップを行ってください。

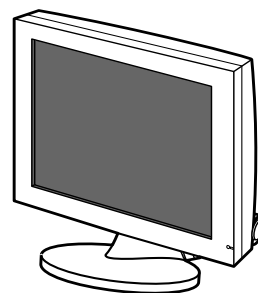
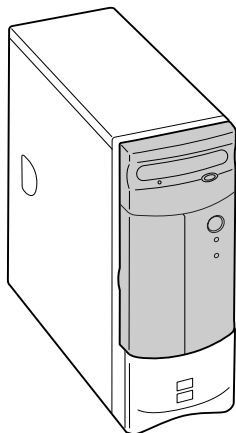
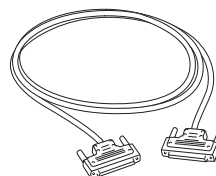
## 5.1.1 同梱品の確認

サーバーのセットアップに必要なものが、すべてそろっていることを確認します。

### ■ディスプレイ

（AC アダプター、電源コード、アナログ信号ケーブルを含む）

### ■プロセッサー

- プロセッサー本体

- ソフトウエアCD-ROM 1枚
- リカバリー CD-ROM 2枚

- キーボード
- マウス
- マウスパット
- 電源コード
- インターフェイスケーブル

- 工具（プラスドライバー）
- Gray Scale Target シート
- 取扱説明書（本書）

### ■オプション製品

増設ハードディスク、512MB 追加メモリータイプ 2、Gigabit Ether カード、インターフェイスケーブル（6m）

### ■そのほかに用意するもの

イーサネットケーブル（使用環境に合ったケーブルを用意してください。）

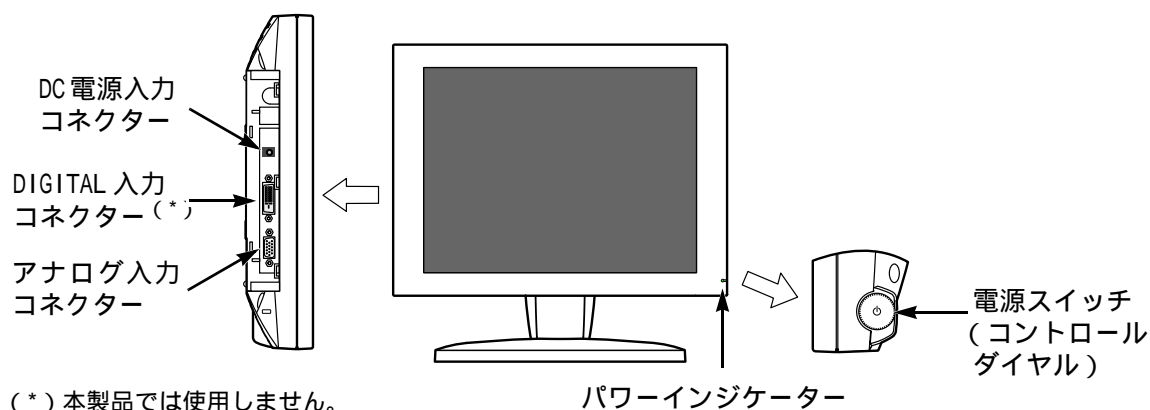
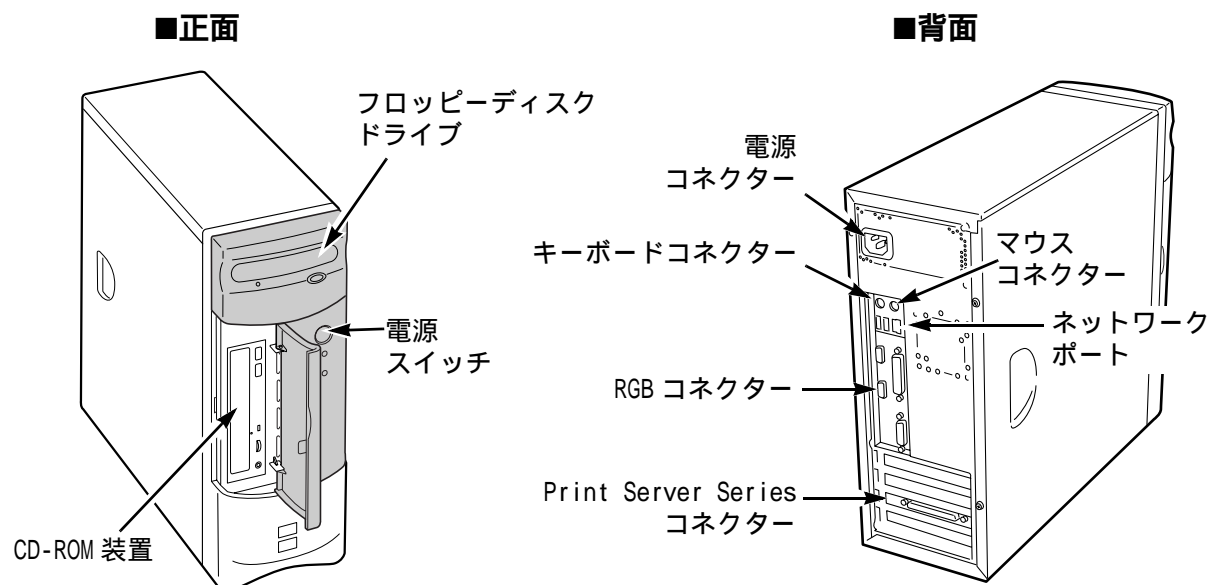
## 5.1.2　各部の名称と設置手順



### ディスプレイ

（*）本製品では使用しません。

### プロセッサー本体

■正面　■背面

**以下に、サーバーを設置場所に移動してプリンターと接続するまでの手順を説明します。**
**また、ここではプリンターの設置は済んでいることを前提に説明します。プリンターの設置手順については、プリンター同梱の『取扱説明書（プリンター編）』を参照してください。**

注記
オプション製品を購入された場合は、先にプロセッサー本体に取り付けてください。取り付け方については、「付録 B　オプション製品について」を参照してください。

操作手順

**1** プリンターに電源が入っている場合は、電源を切ります。

**2** プロセッサーおよびディスプレイを、設置する場所に移動します。

サーバーとプリンターを接続するインターフェイスケーブル（同梱品）は 2.8m なので、プリンターから 2.8m 以内の場所に設置する必要があります。

補足

オプションのインターフェイスケーブル（6m）を使用することもできます。

注記

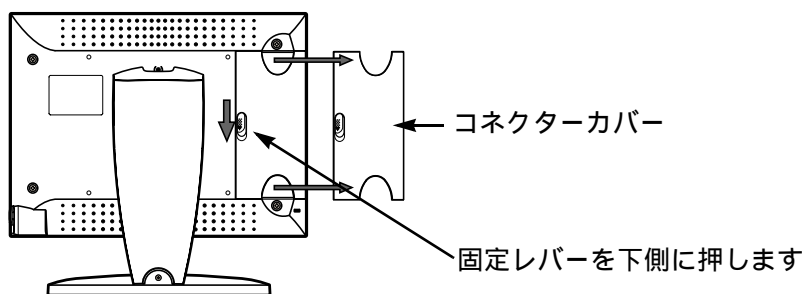
ディスプレイを持つときは、背面のケーブルカバー上部を持たないでください。ケーブルカバーが外れて、機械が落下するおそれがあります。

**3** キーボード、マウスなども使用する場所に移動します。

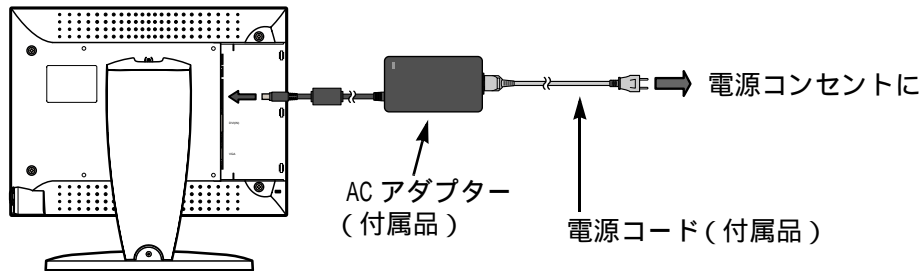
**4** キーボードをプロセッサー背面のキーボードコネクターに接続します。

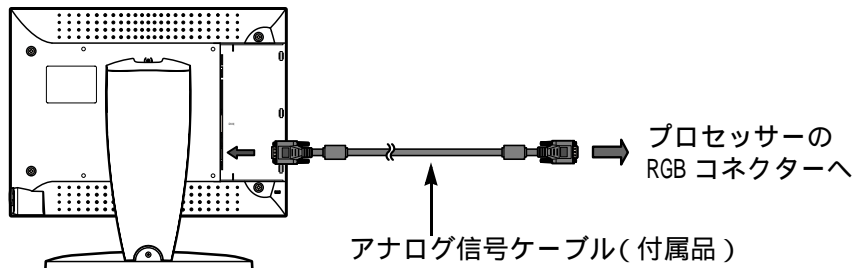
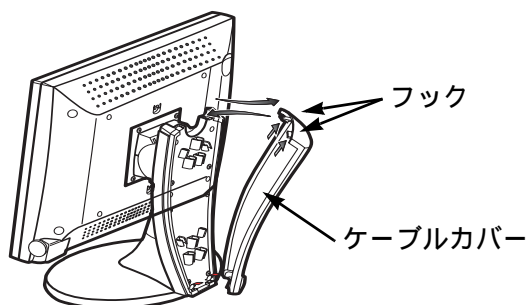
**5** マウスをプロセッサー背面のマウスコネクターに接続します。

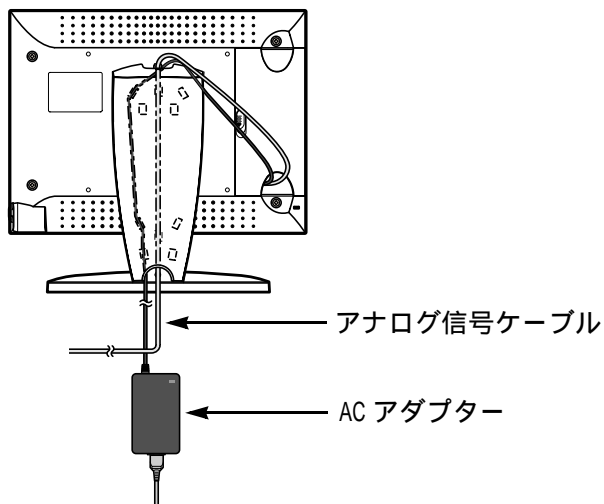
**6** 電源コードをプロセッサー背面のソケットに接続し、電源プラグをコンセントに差してアース線を接続します。

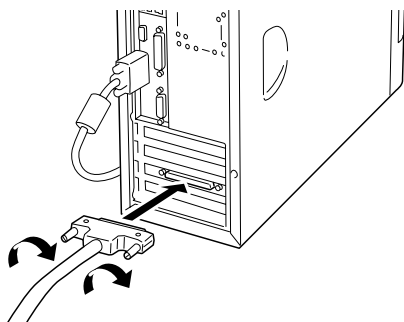
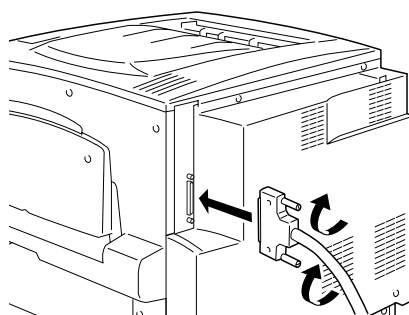
**7** ディスプレイ背面の固定レバーを下に押し、コネクターカバーを図の矢印方向にすべらせて、取り外します。

**8** **付属のACアダプターのDCプラグをディプレイプレイのDC電源入力コネクターに接続します。付属の電源コードをACアダプターのインレットに接続し、電源コードのプラグをコンセントに接続します。**

注記

ACアダプターは必ず付属のものを使用してください。

**9** **プロセッサー背面のRGBコネクターと、ディスプレイのアナログコネクター「VGA」を、付属の信号ケーブルで接続します。**

接続後、ケーブルが抜けないようにネジを締めます。

**10** **ディプレイ背面のケーブルカバーを取り外します。カバー上部のフックを持ち上げながら、ケーブルカバーをゆっくりとスタンドから外してください。**

**11** **図のように、ケーブルホルダーにケーブルを通して固定します。ケーブルカバーとコネクターカバーを取り付けます。**

補足
ケーブルのまとめ方は自由です。使用状況に合わせてケーブルを整理してください。

**12** **プリンターとプロセッサーをインターフェイスケーブルで接続します。**

一方の端をプロセッサー背面のプリンターインターフェイスに接続し、もう一方をプリンター本体背面の Print Server Series インターフェイスコネクターに接続します。接続後、ケーブルが抜けないようにネジを締めます。

**13** **イーサネットに接続するケーブルを、プロセッサー背面のネットワークポートに接続して、サーバーをネットワークに接続します。**

**以上で、サーバーの設置は終了です。**

# 5.1.3　サーバーの起動と停止

**Print Server Series のサーバーソフトは、Windows 2000 上のサービスとして動作します。**
**このサービスは、Windows 2000 起動時に自動的に起動するように設定されているので、通常は Windows 2000 が起動した時点でプリントできます。**
**ここでは、はじめてサーバーを立ち上げて ServerManager を起動するときの手順と、停止の手順について説明します。**

補足
ServerManager を起動しなくてもサーバーを停止しないかぎり、クライアントからのプリント、および WebManager などは処理されます。

## サーバーの起動

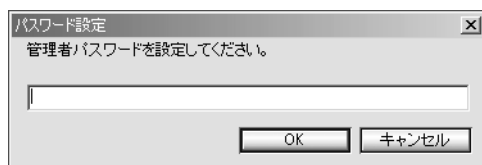
操作手順

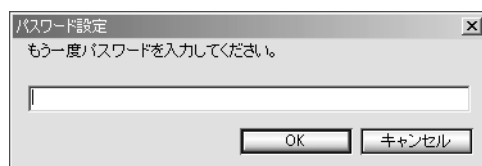
**1　プリンター本体の電源を入れます。**

**2　サーバーのディスプレイ、プロセッサーの順に電源を入れます。**

サーバーが起動し、Windows 2000 に自動ログインします。続いて、ServerManager が自動起動します。

補足
Administrator のパスワード設定については、「5.2.1 サーバーの環境設定」の「Windows 2000 のアカウント管理」を参照してください。

はじめて ServerManager を起動した場合だけ、［パスワード設定］ダイアログボックスが表示されます。2 度めからは、このウィンドウは表示されないで、ServerManager のウィンドウが表示されます。手順 6 に進んでください。

**3　管理者パスワードを入力し、［OK］をクリックします。**

確認のため、パスワードの再入力を促すダイアログボックスが表示されます。

補足

ここで設定したパスワードは、ServerManager に管理者でログインするときに必要になり、ServerManager の［ユーザー管理］に表示される「Administrator」のパスワードとして設定されます。

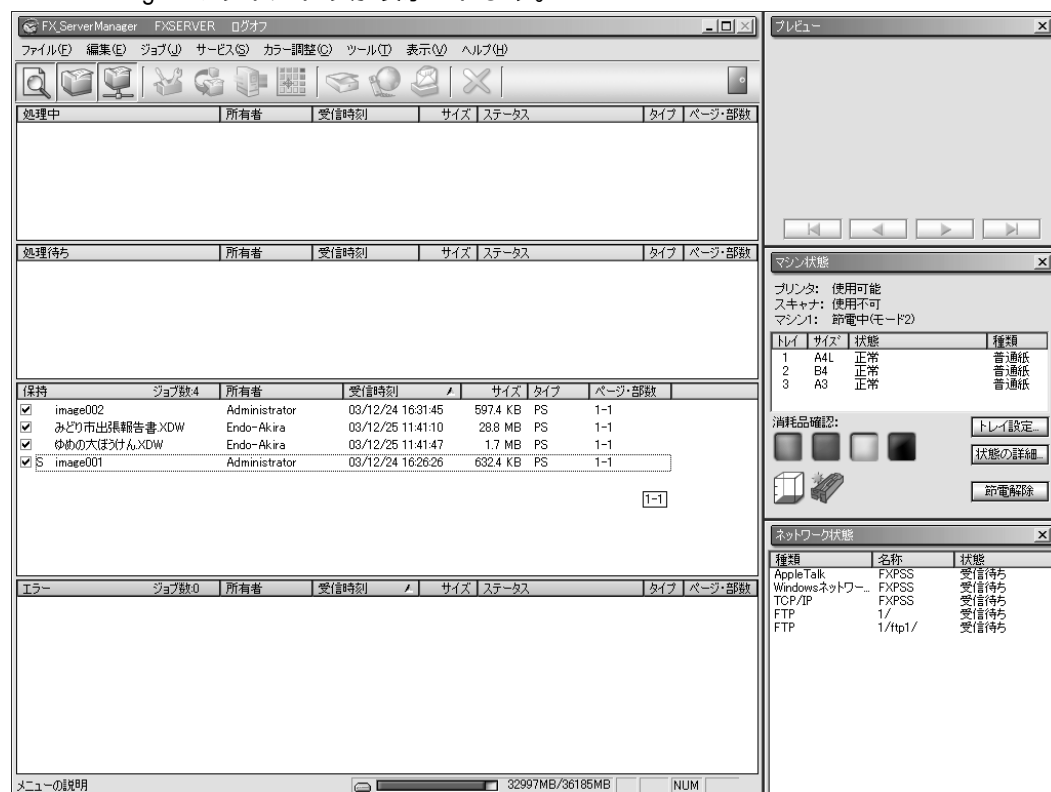
参照

ユーザー管理については、「5.3.2 ユーザーの管理」を参照してください。

## 4 同じパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

パスワードが設定され、次のダイアログボックスが表示されます。

## 5 ［OK］をクリックします。

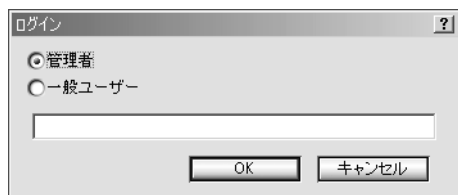
ServerManager のウィンドウが表示されます。

デフォルトでは、ログオフ状態になっています。

ログオフ状態でも、ジョブの参照とステータスの確認はできますが、ジョブの操作や設定をするには、ServerManager にログインする必要があります。

## 6 ボタンをクリックします。

［ログイン］ダイアログボックスが表示されます。

補足

［ファイル］メニューから［ログイン］を選択しても、［ログイン］ダイアログボックスを表示できます。

## 7 ［管理者］をオンにして、手順3で設定した管理者パスワードを入力します。

補足

- システムの運用に影響するようなServerManagerの設定や、セキュリティープリントの設定がされているジョブを操作する場合は、管理者でログインする必要があります。
- ServerManager起動時に自動ログインするように設定することもできます。
- 一般ユーザーのパスワードは、工場出荷時は「aaaaa」と設定されています。ServerManagerの［ユーザー管理］に表示される「Users」のパスワードと同じです。

参照

- ユーザー管理については、「5.3.2 ユーザーの管理」を参照してください。
- 自動ログインの設定については、「5.3.5 ログインモードの設定」を参照してください。

## 8 ［OK］をクリックします。

ServerManagerが管理者モードになります。

**以上で、ServerManagerが起動し、サーバーの管理操作ができます。**

**サーバーの設置後、はじめてServerManagerを起動したときは、サーバーとプリンターが正しく動作することを確認するために、スタートアップページをプリントしてください。**

### スタートアップページのプリント方法

①［FX_ServerManager］ウィンドウの［ファイル］メニューから［スタートアップページの印刷］を選択します。

②表示された［スタートアップページの印刷］ダイアログボックスで［OK］をクリックします。

スタートアップページが印刷されます。

**出力されたスタートアップページで、プリンターが正しく印字できるかどうか、また、オプション製品が正しく設置できているかどうか（オプション製品購入時）を確認してください。**

参照

スタートアップページの詳細については、「5.4.3 スタートアップページのプリント」を参照してください。

## サーバーの停止

操作手順

**1** **サーバーのプロセッサーの電源スイッチを1回軽く押します。**

自動的にWindowsがシャットダウンし、プロセッサーの電源が切れます。

**2** **ディスプレイの電源スイッチを約2秒以上押し続けて、電源を切ります。**

**3** **プリンター本体の電源を切ります。**

**以上で、サーバーが停止します。**
**ディスプレイからのシャットダウンもできます。下の手順を参照してください。**

### ディスプレイからのシャットダウン方法

①［ファイル］メニューから［終了］を選択します。

ServerManagerが終了します。

補足

ServerManagerは、管理者でログインしている場合だけ終了できます。
一般ユーザーでログインしている場合や、ログインしていない状態（ログオフの状態）では、［ファイル］メニューから［終了］を選択できません。

②必要なデータなどを保存して、Windows 2000上の操作を終了し、［スタート］→［シャットダウン］を選択します。

［Windowsのシャットダウン］ダイアログボックスが表示されます。

③［シャットダウン］が選択されていることを確認し、［OK］をクリックします。

④Windows 2000 のデータ処理が終わり、サーバーのプロセッサーの電源が切れたら、ディスプレイの電源を切ります。

⑤プリンター本体の電源を切ります。

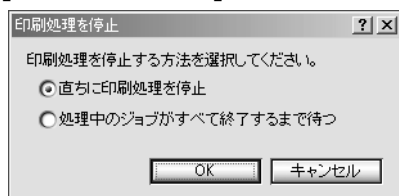
注記
サーバーが何らかの障害によって、ディスプレイからの操作が何もできなくなった場合や、プロセッサーの電源スイッチを押しても電源が切れない場合は、プロセッサーの電源スイッチを約 4 秒以上、押し続けてください。強制的に電源を切ることができます。

## 5.1.4 印刷処理の強制停止と再開

**プリンターの印刷処理を強制的に停止、または停止した印刷処理を再開できます。印刷処理の停止 / 再開は、メニューの選択によって切り替わります。**
**印刷処理を再開すると、通常の印刷処理が開始します。**

操作手順

**1** **[ツール]メニューから[印刷処理を停止]を選択します。**

[印刷処理を停止]ダイアログボックスが表示されます。

**■直ちに印刷処理を停止**

**処理中のジョブを含めて、すべてのプリント動作を今すぐに停止します。**
**デフォルトは、[直ちに印刷処理を停止]です。**

**■処理中のジョブがすべて終了するまで待つ**

**処理中のジョブのプリントが終了したあとに、プリント動作を停止します。**

**2** **印刷処理を停止する方法を選択し、[OK]をクリックします。**

印刷処理を再開する場合は、[ツール]メニューから[印刷処理を再開]を選択します。

## 5.1.5 セットアップ時の障害対応



サーバーのセットアップや接続のときに発生するおそれがある、代表的な障害について対処方法を説明します。

| 状況 | 対処方法 |
|---|---|
| サーバーを設置してケーブル類の接続を終了したあと、電源スイッチを押しても立ち上がらない。 | • サーバーに電源ケーブルが正しく接続されていること、および電源プラグが使用できるコンセントに接続されていることを確認します。<br>• すべてのケーブルが接続されていることを確認します。接続が正しいときには、動作が確認できている、ほかのキーボードやケーブルがあれば、それをサーバーのものと交換してみてください。 |
| サーバーが立ち上がっているようだが、ディスプレイに何も表示されない。 | • ディスプレイの電源コードが接続されていること、および電源プラグが使用できるコンセントに接続されていることを確認します。<br>• ディスプレイケーブルの両端が正しく接続されていることを確認します。<br>• ディスプレイの電源が入っている（パワーインジケーター（前面のグリーンのランプ）が点灯している）ことを確認します。<br>• 接続できる、ほかのディスプレイがあれば、サーバーのものと交換してみてください。 |
| サーバーは立ち上がるが、キーボードとマウスが機能しない。 | • キーボードとマウスが正しく接続され、すべてのケーブルが接続されていることを確認します。接続が正しいときには、動作が確認できている、ほかのキーボードやケーブルがあれば、それをサーバーのものと交換してみてください。<br>• マウスが接続されている場合、動作が確認できている、ほかのマウスがあれば、サーバーのものと交換してみてください。 |

# 5.2 ネットワーク環境の設定

**サーバーのセットアップが済んだら、ネットワーク環境の設定をします。**
**また、システムを再インストールするときにも、ネットワーク環境の設定が必要です。**

## 5.2.1 サーバーの環境設定

**サーバーを使用するためには、TCP/IP アドレスの設定と、Windows 2000 のアカウントの設定が必要です。**

### TCP/IP の設定

**■操作の前に**

**TCP/IP の設定を始める前に、次の点を確認してください。**

- **サーバーの IP アドレスが、静的である（動的割り当てでない）こと**
- **有効なアドレス情報（IP アドレス、サブネットマスク番号など）を、ネットワーク管理者から入手済みであること**

操作手順

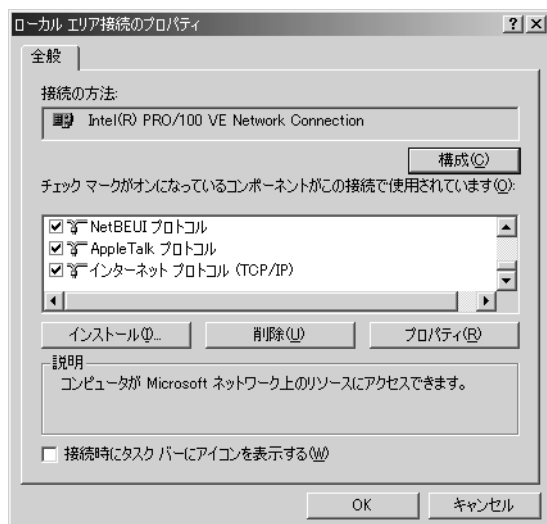
**1 ［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］を選択します。**

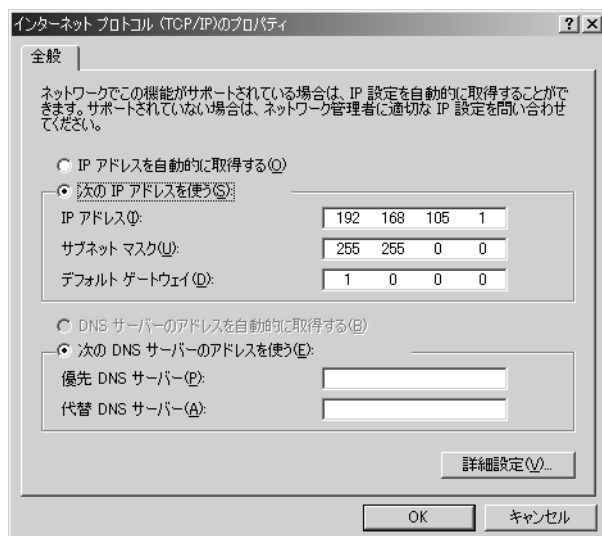
［コントロールパネル］ウィンドウが表示されます。

**2 ［ネットワークとダイアルアップ接続］をダブルクリックし、［ローカルエリア接続］をダブルクリックします。**

［ローカルエリア接続状態］ダイアログボックスが表示されます。

**3** **［プロパティ］をクリックします。**

［ローカルエリア接続のプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

**4** **コンポーネントの［インターネットプロトコル（TCP/IP)］をダブルクリックします。**

［インターネットプロトコル（ TCP/IP）のプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

**5** **［次の IP アドレスを使う］を選択し、［IP アドレス］にサーバーの IP アドレスを入力します。**

**6** **必要に応じて、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、および DNS のアドレスを設定し、［OK］をクリックします。**

補足

工場出荷時は、IP アドレスは「192.168.105.1」、サブネットマスクは「255.255.0.0」、デフォルトゲートウェイは「1.0.0.0」に設定されています。

**7** **［ローカルエリア接続のプロパティ］ダイアログボックスで［OK］をクリックします。**

**以上で、サーバーで TCP/IP が有効になります。**

### Windows 2000 のアカウント管理

**サーバー管理への不正アクセスを防止するために、「Administrator」のパスワードを設定します。パスワードを設定すると、サーバーの起動時に Windows 2000 のログインダイアログボックスで、パスワードの入力が必要になります。**

操作手順

**1** **［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］を選択します。**

［コントロールパネル］ウィンドウが表示されます。

**2** **［ユーザーとパスワード］をダブルクリックします。**

［ユーザーとパスワード］ダイアログボックスが表示されます。

**3** **<Ctrl> キーと <Alt> キーを同時に押しながら、<Delete> キーを押します。**

［Windows のセキュリティ］ダイアログボックスが表示されます。

**4** **［パスワードの変更］をクリックします。**

［パスワードの変更］ダイアログボックスが表示されます。

**5** **［新しいパスワード］に、「Administrator」アカウントのパスワードを入力します。確認のため、［新しいパスワードの確認入力］に同じパスワードを入力し、［OK］をクリックします。**

補足
工場出荷時の Asministrator のパスワードは「printserver_v5.1」に設定されています。

**6** **［Windows のセキュリティ］ダイアログボックスで、［キャンセル］をクリックします。［ユーザーとパスワード］ダイアログボックスで、［OK］をクリックします。**

**以上で、「Administrator」パスワードが有効になります。**
**引き続き、お使いになるネットワークの環境を設定してください。**

## 5.2.2 Microsoft Windows Network で使用する場合

**サーバーが、Windows 95/98/Me、Windows NT 4.0、Windows 2000/XP クライアントから Microsoft Windows Network 経由でプリントジョブを受信するためには、次の設定が必要です。**

### ServerManager の設定

操作手順

**1** **［スタート］→［プログラム］→［Fuji Xerox］→［Print Server Series］→［Server Manager］を選択します。**
ServerManager のウィンドウが表示されます。

**2** **ボタンをクリックし、表示された［ログイン］ダイアログボックスから、管理者でログインします。**

## 3 ボタンをクリックします。

［サーバーの環境設定］ダイアログボックスが表示されます。

補足

［ツール］メニューの［サーバーの環境設定］を選択しても、［サーバーの環境設定］ダイアログボックスを表示できます。

## 4 ［ネットワーク］タブを選択します。

［ネットワーク］タブが表示されます。

**5 ［Windows ネットワーク］の［プロパティ］をクリックします。**

プロパティダイアログボックスが表示されます。

**6 ［共有］タブを選択します。**

［共有］タブが表示されます。

**7 ［共有する］を選択し、［共有名］を入力します。**

注記

プリンターを複数使用している場合は、異なる［共有名］を付けてください。

補足

［共有名］は、Microsoft Windows Network で使用されます。

**8 プロパティダイアログボックスの［OK］をクリックします。**

**9 ［サーバーの環境設定］ダイアログボックスの［OK］をクリックします。**

ServerManager の［ネットワーク状態］ウィンドウに、「Windows ネットワーク」が表示されていることを確認します。

**以上で、Microsoft Windows Network 経由で、クライアントからのジョブを受信できます。**

## 5.2.3　TCP/IP ネットワークで使用する場合

**サーバーが、TCP/IP クライアントからの LPR/LPD プリントジョブ、および FTP プリントジョブを受信するためには、次の設定が必要です。**

### ServerManager の設定

操作手順

**1** **［スタート］→［プログラム］→［Fuji Xerox］→［Print Server Series］→［Server Manager］を選択します。**

ServerManager のウィンドウが表示されます。

**2** **ボタンをクリックし、表示された［ログイン］ダイアログボックスから、管理者でログインします。**

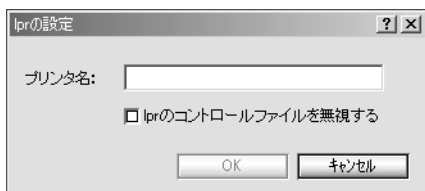
**3** **ボタンをクリックし、［サーバーの環境設定］ダイアログボックスで［ネットワーク］タブを選択します。**

［ネットワーク］タブが表示されます。

補足

［ツール］メニューの［サーバーの環境設定］を選択しても、［サーバーの環境設定］ダイアログボックスを表示できます。

## 4 [TCP/IP] のチェックボックスをオンにして、[追加] をクリックします。

［lpr の設定］ダイアログボックスが表示されます。

## 5 lpr からプリントするときに使用するプリンター名を入力し、[OK] をクリックします。

補足

- ここで設定したプリンター名が、クライアントから lpr 出力をするときの、リモートプリンター名になります。
- プリンター名には「FXPSS」をお勧めします。なお、空白文字の入力は、受け付けられません。
- 設定できるプリンターは、最大 20 です。

注記

同一ネットワーク内でプリンターを複数使用している場合は、異なるプリンター名を付けてください。

**■lpr のコントロールファイルを無視する**

**lpr のプリントジョブを受信するときに、コントロールファイルを無視する場合は、チェックボックスをオンにします。データファイルを受信しながら RIP 処理をしたいときも、チェックボックスをオンにします。**

補足

- チェックボックスをオンにすると、PostScript ファイル内の記述から所有者名およびジョブファイル名が入手され、ServerManager 上やプリント履歴に表示されます。
- UNIX システムから lpr でプリントした場合には、プリントジョブデータのうちデータファイルが先に送られ、次にコントロールファイルが送られます。サーバーではデータファイルとコントロールファイルの両方を受信してから RIP 処理を開始しますが、チェックボックスをオンにすると、コントロールファイルを待たずに、RIP 処理を行います。
  PostScript/PDF/EPS/TIFF ファイルをプリントする場合には、コントロールファイルはプリント時に必要ありません。
- SunRaster/XWD をプリントする場合には、lpr コマンドの Class オプションで用紙サイズなどを指定できるので、チェックボックスをオンにすると、Class オプションで指定したオプションが無視されます。

## 6 FTP プリントをする場合は、［サーバーの環境設定］ダイアログボックスの［FTP プリント］チェックボックスをオンにして［追加］をクリックします。

**7** **表示された［FTP サブフォルダの設定］ダイアログボックスで、サブフォルダ名を設定し、［OK］をクリックします。**

補足
- サブフォルダは、作業用 FTP フォルダ「ftp\folder1」の下に作成されます。
- 設定できるサブフォルダは、最大 20 です。

**8** **［サーバーの環境設定］ダイアログボックスの［OK］をクリックします。**

ServerManager の［ネットワーク状態］ウィンドウに、「TCP/IP」および「FTP」が表示されていることを確認します。

**以上で、TCP/IP クライアントからのジョブを受信できます。**

## 5.2.4 AppleTalk で使用する場合

**サーバーが、Macintosh クライアントからのプリントジョブを受信するためには、次の設定が必要です。**

### AppleTalk の設定

操作手順

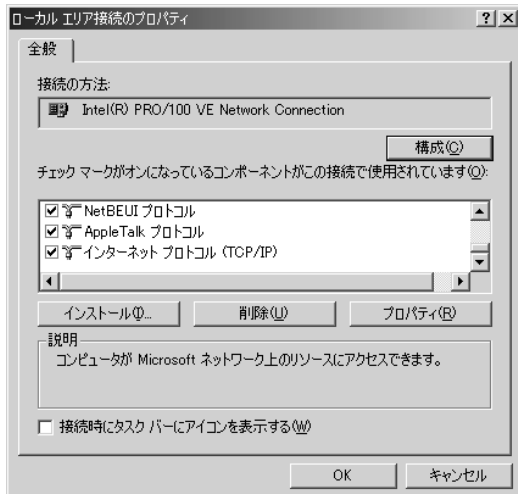
**1** **［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］を選択します。**

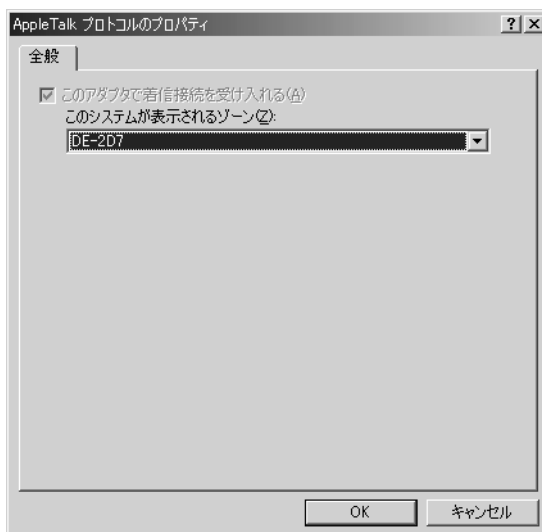
［コントロールパネル］ウィンドウが表示されます。

**2** **［ネットワークとダイアルアップ接続］アイコンをダブルクリックし、［ローカルエリア接続］アイコンをダブルクリックします。**

［ローカルエリア接続状態］ダイアログボックスが表示されます。

### 3 ［プロパティ］をクリックします。

［ローカルエリア接続のプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

### 4 コンポーネントの［AppleTalk プロトコル］をダブルクリックします。

［AppleTalk プロトコルのプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

### 5 ［このシステムが表示されるゾーン］を設定します。

### 6 ［OK］をクリックします。

**以上で、サーバーが所属する AppleTalk のゾーンが設定されます。**

## ServerManager の設定

操作手順

**1** **［スタート］→［プログラム］→［Fuji Xerox］→［Print Server Series］→［Server Manager］を選択します。**

ServerManager のウィンドウが表示されます。

**2** **ボタンをクリックし、表示された［ログイン］ダイアログボックスから、管理者でログインします。**

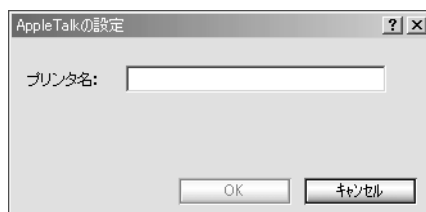
**3** **ボタンをクリックし、［サーバーの環境設定］ダイアログボックスで［ネットワーク］タブを選択します。**

［ネットワーク］タブが表示されます。

補足

［ツール］メニューの［サーバーの環境設定］を選択しても、［サーバーの環境設定］ダイアログボックスを表示できます。

**4** **［AppleTalk］のチェックボックスをオンにして、［追加］をクリックします。**

［AppleTalk の設定］ダイアログボックスが表示されます。

**5** **AppleTalk からプリントするときに使用するプリンター名を入力し、[OK] をクリックします。**

補足
- プリンター名には「FXPSS」をお勧めします。
- 設定できるプリンターは、最大 20 です。

注記
同一ゾーン内でプリンターを複数使用している場合は、異なるプリンター名を付けてください。

**6** **[サーバーの環境設定] ダイアログボックスの [OK] をクリックします。**

ServerManager の［ネットワーク状態］ウィンドウに、「AppleTalk」が表示されていることを確認します。

**以上で、Macintosh クライアントからのジョブを受信できます。**

## 5.2.5 NetWare で使用する場合

**サーバーが、クライアントコンピューターから IPX ネットワーク経由で、プリントジョブを受信するためには、次の設定が必要です。**

### Novell NetWare サーバーの設定

**Novell NetWare からサーバーにプリントする場合には、あらかじめ NetWare サーバーにプリント待ち行列とプリントサーバーを設定します。**
**Print Server Seriesでは次のバージョンのNetWareサーバーに対応しています。**

- **Novell NetWare 5**
- **Novell intraNetWare 4.11J**
- **Novell NetWare 4.1J**
- **Novell NetWare 3.2J**
- **Novell NetWare 3.12J**

**サーバーにプリントできるように、Novell NetWare サーバーをセットアップするときは、Novell NetWare サーバーに接続されたクライアントから、PCONSOLE や NWADMIN を使用して、サーバー用のプリントサーバーとプリントキューを作成します。お使いの使用環境に合う項を参照して、設定してください。**

注記
以降の手順では、プリントサーバー名やプリンター名、プリントキュー名に、それぞれ「FXPSS」、「FXPSS_P」、「FXPSS_Q」を推奨していますが、同一ネットワーク内で複数のプリンターを使用している場合は、プリンターごとに異なる名前を付けてください。

### ■Novell NetWare 5の設定（ディレクトリサービスの場合）

キューベースのプリントサービスの設定について説明します。Print Server Seriesは、NDPSには対応していません。

操作手順

1. Novell NetWareに接続されているNovell NetWareクライアントから、Administrator またはそれに相当するユーザーとして、Novell NetWareサーバーにログインします。
2. Novell NetWareクライアントで、SYSボリュームをマップしてSYS\PUBLICのNWADMN32.EXEを起動します。
3. ［ツール］メニューから、［プリントサービスのクイックセットアップ(非NDPS)］を選択します。
4. ［プリントサーバ名］に、このプリントサーバーオブジェクトの名前を入力します。「FXPSS」という名前をお勧めします。
5. ［プリンタ］の［名前］に、このプリンターオブジェクトの名前を入力します。「FXPSS_P」という名前をお勧めします。
6. ［プリンタ］の［タイプ］に［その他 / 不明］を選択し、［バナータイプ］に［ポストスクリプト］を選択します。
7. ［プリントキュー］の［名前］に、新しいプリントキューオブジェクトの名前を入力します。「FXPSS_Q」という名前をお勧めします。
8. ［ボリューム］に、物理的なキューを作成するボリュームのフルネームを入力します。または、［参照］をクリックして、使用できるボリュームから選択します。
9. ［作成］を選択します。

以上で、サーバーでNetWareの設定を行う準備が終了しました。
NWADMN32 コマンドに関する詳しい説明、または特定の用途に合わせて手動でプリントオブジェクトを作成、設定したい場合は、Novell NetWare の説明書を参照してください。

### ■Novell intraNetWare 4.11J の設定（ディレクトリサービスの場合）

操作手順

1. Novell NetWare に接続されている Novell NetWare クライアントから、Administrator またはそれに相当するユーザーとして、Novell NetWare サーバーにログインします。
2. Novell NetWare クライアントで、SYS ボリュームをマップして SYS\PUBLIC の PCONSOLE.EXE を起動します。
3. ［プリンタ］を選択し、<Enter> キーを押してプリンターのリストを表示します。
4. <Insert> キーを押して Print Server Series 用プリンターに名前を入力します。「FXPSS_P」という名前をお勧めします。
5. <Enter> キーを押してプリンターを作成したあと、作成したプリンターを選択して <Enter> キーを押します。
6. プリンターの環境設定で、［プリンタタイプ］に［その他 / 不明］を選択し、［バナータイプ］に［ポストスクリプト］を選択し、<F10>（保存）キーを押します。
7. <Esc> キーを押して、次にプリントサーバーを選択したあと、<Enter> キーを押します。
8. <Insert> キーを押して、Print Server Series 用プリントサーバーに名前を入力します。「FXPSS」という名前をお勧めします。
9. <Enter> キーを押してプリントサーバーを作成したあと、作成したプリントサーバーを選択して <Enter> キーを押します。
10. ［プリンタ］を選択し、<Enter> キーを押してサービスプリンターのリストを表示します。
11. <Insert> キーを押し、手順 4 で作成したプリンターをリストから選択して <Enter> キーを押します。
12. <Esc> キーを 3 回押して、［プリントキュー］を選択し、<Enter> キーを押します。

**13** <Insert> キーを押し、Print Server Series 用プリントキューに名前を入力します。「FXPSS_Q」という名前をお勧めします。

**14** <Enter> キーを押してプリンターを作成したあと、ボリューム名を指定します。

**15** 作成したプリントキューを選択して <Enter> キーを押します。[プリントサーバ] を選択し、<Enter> キーを押します。

**16** <Insert> キーを押し、手順 8 で作成したプリントサーバーをリストから選択し、<Enter> キーを押します。

**17** <Esc> キーを 1 回押して [ユーザー] を選択し、<Enter> キーを押します。プリントキューユーザーのリストを確認、または追加します。

**18** <Esc> キーを 4 回押してウィンドウを閉じ、<Enter> キーを押して PCONSOLE を終了します。

注記

PCONSOLE の [コンテキストの変更] で、コンテキストをデフォルトのコンテキストから変更しないでください。プリンター / サーバー / キューは、それらを作成する NetWare サーバーの、デフォルトのコンテキストに作成しないと、サーバーから NetWare サーバーに接続できません。

以上で、サーバーで NetWare の設定を行う準備が終了しました。PCONSOLE コマンドに関する詳しい説明は、Novell NetWare の説明書を参照してください。

### ■Novell NetWare 4.1J の設定（ディレクトリサービスの場合）

操作手順

**1** Novell NetWare サーバーに接続されている Novell NetWare クライアントから、administrator またはそれに相当するユーザーとして Novell NetWare サーバーにログインします。

**2** Novell NetWare クライアントで、SYS ボリュームをマップして SYS\PUBLIC の PCONSOLE.EXE を起動します。

**3** [プリントサーバ] を選択し、<Enter> キーを押してプリントサーバーのリストを表示します。

**4** <Insert> キーを押して、Print Server Series 用プリントサーバーに名前を入力します。「FXPSS」という名前をお勧めします。

**5** <Enter> キーを押してプリントサーバーを作成したあと、<Esc> キーを押してプリントサーバーウィンドウを閉じます。

**6** ［プリントキュー］を選択し、<Enter> キーを押してプリントキューのリストを表示します。

**7** <Insert> キーを押し、Print Server Series 用プリントキューに名前を入力します。「FXPSS_Q」という名前をお勧めします。

**8** <Enter> キーを押します。

**9** プリントボリュームを入力するために <Insert> キーを押します。オブジェクトクラスウィンドウで、プリントキューを割り当てるボリュームを選択して、<Enter> キーを押します。

これでプリントキューの作成は終了です。

**10** 「FXPSS_Q」が選択されていることを確認し、<Enter> キーを押します。

**11** ［プリントサーバ］を選択し、<Enter> キーを押して、プリントサーバーのリストを表示します。リストには何も表示されません。

**12** <Insert> キーを押して、オブジェクトクラスウィンドウで使用できるプリントサーバーのリストを表示します。

**13** 手順 4 で作成したプリントサーバー「FXPSS」を選択して、プリントサーバーにコピーするために <Enter> キーを押します。

**14** <Esc> キーを 4 回押してウィンドウを閉じ、<Enter> キーを押して PCONSOLE を終了します。

以上で、サーバーで NetWare の設定を行う準備が終了しました。PCONSOLE コマンドに関する詳しい説明は、Novell NetWare の説明書を参照してください。

### ■Novell NetWare 4.1J の設定（バインダリーサービスの場合）

操作手順

**1** Novell NetWareサーバーに接続されているNovell NetWareクライアントから、SUPERVISOR またはスーパーバイザー権があるユーザーとしてNovell NetWare サーバーにログインします。

**2** Novell NetWare クライアントで、SYS ボリュームをマップしてSYS\PUBLIC の PCONSOLE.EXE を起動します。

**3** [プリントサーバ］を選択し、<Enter> キーを押してプリントサーバーのリストを表示します。

DS モードに関するメッセージが表示されますが、無視して <Enter> キーを押してください。

**4** <Insert> キーを押して、Print Server Series 用プリントサーバーに名前を入力します。「FXPSS」という名前をお勧めします。

**5** <Enter> キーを押してプリントサーバーを作成したあと、<Esc> キーを押してプリントサーバーウィンドウを閉じます。

**6** [プリントキュー情報] を選択し、<Enter> キーを押してプリントキューのリストを表示します。

**7** <Insert> キーを押し、Print Server Series 用プリントキューに名前を入力します。「FXPSS_Q」という名前をお勧めします。

**8** <Enter> キーを押してプリントキューを作成します。

**9** [FXPSS_Q］が選択されていることを確認し、<Enter> キーを押します。

**10** [プリントサーバ］を選択し、<Enter> キーを押してプリントサーバーのリストを表示します。リストには何も表示されません。

**11** <Insert> キーを押して、プリントサーバー候補ウィンドウで、使用できるプリントサーバーのリストを表示します。

**12** 手順 4 で作成したプリントサーバー「FXPSS」を選択して、プリントサーバーにコピーするために <Enter> キーを押します。

**13** <Esc> キーを 4 回押してウィンドウを閉じ、<Enter> キーを押してPCONSOLE を終了します。

以上で、サーバーで NetWare の設定を行う準備が終了しました。PCONSOLE コマンドに関する詳しい説明は、Novell NetWare の説明書を参照してください。

### ■Novell NetWare 3.12J/3.2J の設定（バインダリーサービスの場合）

操作手順

1. Novell NetWare サーバーに接続されている Novell NetWare クライアントから、SUPERVISOR、またはスーパーバイザー権があるユーザーとして Novell NetWare サーバーにログインします。
2. Novell NetWare クライアントで、SYS ボリュームをマップして SYS\PUBLIC の PCONSOLE.EXE を起動します。
3. ［プリントサーバ情報］を選択し、<Enter> キーを押してプリントサーバーのリストを表示します。
4. <Insert> キーを押して、Print Server Series 用プリントサーバーに名前を入力します。「FXPSS」という名前をお勧めします。
5. <Enter> キーを押してプリントサーバーを作成したあと、<Esc> キーを押してプリントサーバーウィンドウを閉じます。
6. ［プリントキュー情報］を選択し、<Enter> キーを押してプリントキューのリストを表示します。
7. <Insert> キーを押し、Print Server Series 用プリントキューに名前を入力します。「FXPSS_Q」という名前をお勧めします。
8. <Enter> キーを押してプリントキューを作成します。
9. ［FXPSS_Q］が選択されていることを確認し、<Enter> キーを押します。
10. ［キューサーバ］を選択し、<Enter> キーを押してキューサーバーリストを表示します。リストには何も表示されません。
11. <Insert> キーを押して、［キューサーバ候補］ウィンドウで、使用できるプリントサーバーのリストを表示します。
12. 手順 4 で作成したプリントサーバー「FXPSS」を選択して、プリントキューにコピーするために <Enter> キーを押します。
13. <Esc> キーを 4 回押してウィンドウを閉じ、<Enter> キーを押して PCONSOLE を終了します。

以上で、サーバーで NetWare の設定を行う準備が終了しました。PCONSOLE コマンドに関する詳しい説明は、Novell NetWare の説明書を参照してください。

### Novell Netware Client のインストール

**サーバーに、Novell Netware Clientをインストールする手順について説明します。**

補足

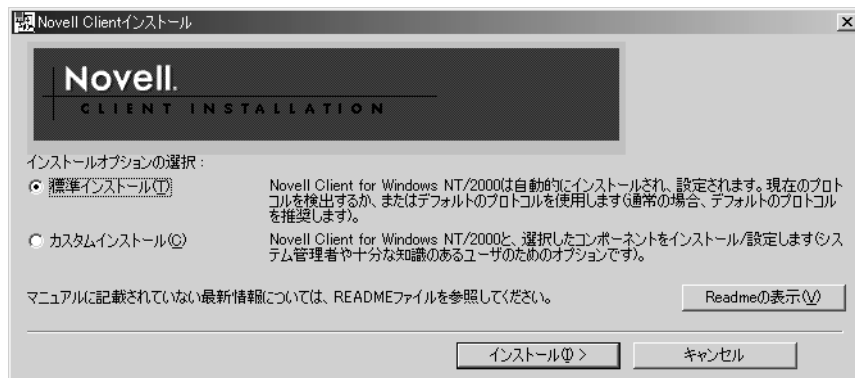
Novell Netware Client がインストールされていない場合、ServerManager の［サーバーの環境設定］ダイアログボックスの［ネットワーク］タブで表示される［NetWare］は、選択できません。

操作手順

**1 デスクトップにある［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックし、D ドライブのアイコンをダブルクリックします。**

**2 D ドライブ内の「Novell」フォルダを開き、「i386」フォルダをダブルクリックします。**

**3 SETUPNW.exe アイコンをダブルクリックします。**

［Novell Client インストール］ダイアログボックスが表示されます。

**4 ［標準インストール］を選択し、［インストール］をクリックします。**

インストールが開始されます。

インストールが完了すると、［インストール完了］ダイアログボックスが表示されます。

**5 ［再起動］をクリックします。**

**以上で、Novell Netware Client のインストールは終了です。**

## ServerManager での設定

操作手順

**1** **［スタート］→［プログラム］→［Fuji Xerox］→［Print Server Series］→［Server Manager］を選択します。**

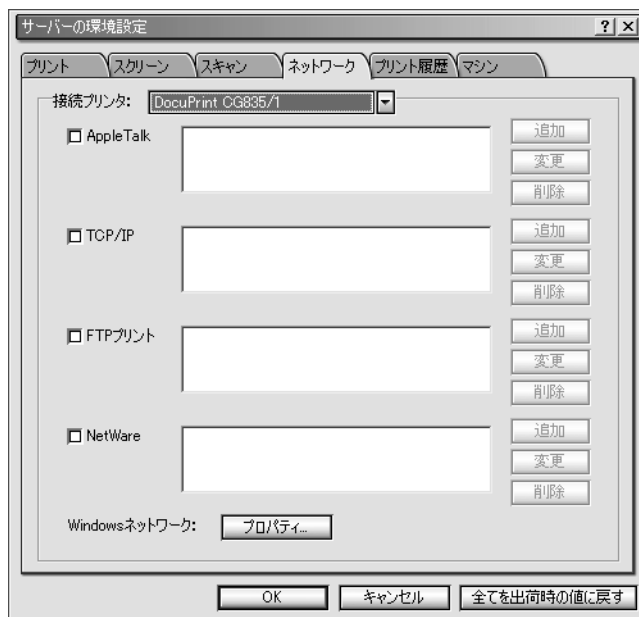
ServerManager のウィンドウが表示されます。

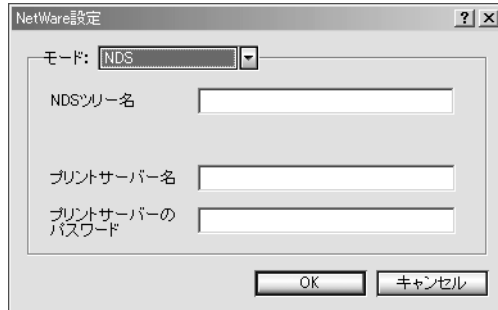
**2** **ボタンをクリックし、表示された［ログイン］ダイアログボックスから、管理者でログインします。**

**3** **ボタンをクリックし、［サーバーの環境設定］ダイアログボックスで［ネットワーク］タブを選択します。**

［ネットワーク］タブが表示されます。

補足

［ツール］メニューの［サーバーの環境設定］を選択しても、［サーバーの環境設定］ダイアログボックスを表示できます。

## 4 ［NetWare］のチェックボックスをオンにして、［追加］をクリックします。

［NetWare 設定］ダイアログボックスが表示されます。

## 5 モードを選択して、プリンターを設定します。

ディレクトリーサービスの場合は、［モード］メニューで［NDS］を選択し、NDS ツリー名を入力します。

バインダリーサービスの場合は、［モード］メニューで［Bindery］を選択し、NetWare キュー名と NetWare サーバー名を入力します。

## 6 プリントサーバー名とプリントサーバーのパスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。

## 7 ［NetWare 設定］ダイアログボックスの［OK］をクリックします。

## 8 ［サーバーの環境設定］ダイアログボックスの［OK］をクリックします。

ServerManager の［ネットワーク状態］ウィンドウに、「NetWare」が表示されていることを確認します。

**以上で、NetWare サーバーからのジョブを受信できます。**

# 5.3 サーバーの環境設定と管理

ServerManager で設定できることと参照先は、次のとおりです。

| ServerManager で設定できること | 参照先 |
|---|---|
| ServerManager の環境をカスタマイズする | 214 |
| WebManager を利用するユーザーを登録する | 225 |
| 作業用フォルダの場所を指定する | 227 |
| キャリブレーションデータなどの設定情報をバックアップする | 230 |
| ServerManager を起動時に自動ログインするように設定する<br>特別な機能は、管理者にだけ設定できるようにする | 232 |
| プリンターごとに、プリントオプションのデフォルト値を設定する | 233 |
| 原稿タイプごとにトナー濃度を補正する | 237 |
| 用紙の種類ごとに転写電圧を調整する | 242 |
| 白黒原稿の連続プリント速度を調整する | 243 |

## 5.3.1 ServerManager の環境設定

ServerManager の環境を、サーバー管理者が使いやすいようにカスタマイズできます。
設定手順の流れは次のとおりです。

操作手順

**1 [FX_ServerManager] ウィンドウの ボタンをクリックします。**

[サーバーの環境設定] ダイアログボックスが表示されます。

補足

[ツール] メニューの [サーバーの環境設定] を選択しても、[サーバーの環境設定] ダイアログボックスを表示できます。

**2 目的のタブを選択して、環境を設定します。**

**[サーバーの環境設定] ダイアログボックスには、次の 6 つのタブがあります。詳細は、後述の各タブの説明を参照してください。**

- プリント
- スクリーン
- スキャン
- ネットワーク
- プリント履歴
- マシン

また、［サーバーの環境設定］ダイアログボックス内には、次の共通項目があります。

■［標準に戻す］ボタン

選択したタブで設定できる項目を、初期値に戻します。

■［全てを出荷時の値に戻す］ボタン

［環境設定］ダイアログボックスに表示されるすべてのタブの設定を、初期値に戻します。

**3** ［OK］をクリックします。

## プリントタブ

［プリント］タブで設定できる項目は、次のとおりです。

■受信ジョブを即座に印刷しない

チェックボックスをオンにした場合、受信したすべてのジョブを、スプールオプションの指定に関係なく保持リストに入れます。RIP 処理もしません。
デフォルトは、「オフ」です。

■TIFF として保存するファイルを圧縮

チェックボックスをオンにした場合、TIFF ファイルを圧縮します。圧縮して保存するとファイルサイズが小さくなるので、ハードディスクの容量を節約できます。
デフォルトは、「オン」です。

ネットワーク設定とサーバーの管理（管理者向け）

5

■EPS を PostScript として扱う

**チェックボックスをオンにした場合、ファイルタイプが EPS のジョブも PostScript として処理します。**
**デフォルトは、「オフ」です。**

補足

チェックボックスをオンにすると、以下の機能が無効になります。

- タイトルのプリント
- %%BoundingBOX を参照しての座標系の調整
- showpage がない場合の出力

■ページ指定のプリントを高速化

**チェックボックスをオンにした場合、プリント範囲として指定されたページだけを RIP 処理してプリントします。**
**デフォルトは、「オン」です。**

補足

Windows NT 4.0 の AdobePS プリンタードライバーで、PostScript 出力オプションの［印刷処理が速くなるように最適化］が設定されているジョブの場合は、無効になります。

■RIP 後のデータをイメージとして保存

**チェックボックスをオンにした場合、プリントオプションで［RIP 済みデータの保存］を選択しているジョブは、RIP 処理済みのデータを保存します。RIP 処理済みデータを保存しておくと、再プリント時に RIP 処理をする必要がなくなります。**
**デフォルトは、「オフ」です。**

注記

プリント時に表示されるプリントオプションの［RIP 済みデータの保存］をオンにする場合は、この［サーバーの環境設定］の［RIP 後のデータをイメージとして保存］もオンにする必要があります。

■用紙の代用を行う

**指定された用紙サイズが用紙トレイにないときに、ほかのサイズの用紙で代用してプリントするかどうかを設定します。チェックボックスをオンにすると、レター用紙が用紙トレイにないときは A4 用紙で、A4 用紙が用紙トレイにない場合はレター用紙で代用します。また、11x17 用紙が用紙トレイにないときは A3 用紙で、A3 用紙が用紙トレイにないときは 11x17 用紙で代用します。**
**デフォルトは、「オン」です。**

注記

この機能は指定された用紙サイズのトレイが装着されていない、またはセットされていない場合にだけ有効です。指定された用紙サイズのトレイが存在し、用紙がない（用紙切れ）場合には、この機能は働きません。

**■PostScript エラー**

**PostScript エラーが発生したときの処理について指定します。次の項目から選択できます。**

**•ジョブを停止する　•ジョブを継続する　•エラーシートを出力する**

**デフォルトは、[エラーシートを出力する]です。エラーシートには、次の項目がプリントされます。**

**•ユーザー名　•ドキュメント名　•日時　•PostScript エラー内容**

補足

- 次のジョブで PostScript エラーが発生した場合も、プリントの対象になります。
  ・スタートアップページ　・フォント一覧の印刷　・プリント履歴の印刷
  ・プリフライトレポートの印刷
- 次の項目を設定したジョブについては、エラーシートをプリントしません。
  ・プリントオプションの[TIFF ファイルで保存]
  ・ServerManager または WebManager の[プリフライトレポート作成]
  ・ServerManager または WebManager の[RIP 済みデータの作成]
- 用紙切れでエラーシートがプリントされなかった場合は、用紙切れのエラーにはなりません。

**■分割出力時のとじしろ量**

**A3x2 の用紙サイズのジョブを A3 サイズに、また B4x2 の用紙サイズのジョブを B4 サイズに分割してプリントするときの、とじしろの量を指定します。**
**0 ～ 200 の間で 1㎜ 単位で指定できます。デフォルトは[0]㎜ です。**

補足

**<分割出力とは>**
用紙サイズとして A3x2 または B4x2 を選択した場合、1 ページ分のイメージが、A3 または B4 用紙 2 枚に分割されてプリントされます。設定については、「6.2.2 ページタブ」の「■用紙サイズ / イメージサイズの変更(または用紙サイズ)」を参照してください。

**■プレビュー保存**

**プレビュー用データの保存方法を指定します。次の項目から選択できます。**
**デフォルトは、[1 ページ目のみ保存する]です。**

**•しない　•1 ページ目のみ保存する　•全ページ保存する**

**■プレビュー画像の解像度**

**プレビュー用データの解像度を指定します。次の項目から選択できます。**
**デフォルトは、[低解像度]です。**

**•低解像度(300pixel)　•中解像度(900pixel)　•高解像度(1500pixel)**

**[高解像度]の解像度は、以下の設定ファイルを編集することで変更できます。**

・D:\Fuji Xerox\Print Server Series\bin\FX_RIP.ini

**ファイル内の[Setting セクション]にある、以下の項目の下線部分(nnn)にある数値を編集します。**

・PreviewSize=nnn

注記

解像度を高く設定すると、プリント時間が遅くなる場合があります。

■エラージョブを自動削除する

チェックボックスをオンにした場合、指定した日数を経過したエラージョブをリストから削除します。
チェックボックスのデフォルトは「オフ」、指定日数のデフォルトは［7］です。
たとえば、10 日にエラーが発生して、そのジョブがエラージョブリストに入ると、デフォルト設定の場合、17 日にエラージョブが削除されることになります。
指定日数には、0 〜 999 が入力できます。

以降の項目は、プリンターに関する設定です。

■給紙トレイを自動的に切りかえる

この機能は、給紙トレイに［自動選択］が指定されている場合にだけ有効です。
チェックボックスをオンにした場合、プリント中に用紙切れが発生したときに同じサイズや種類のトレイがあれば、そのトレイから給紙をして、プリントを継続します。
チェックボックスをオフにした場合は、用紙切れが発生すると、［エラーのタイムアウト］の設定に従います。
デフォルトは、「オン」です。

■カバーページを印刷する

チェックボックスをオンにした場合、ジョブの最後にそのジョブの情報を記述したカバーページをプリントします。
プリント時に給紙する用紙トレイを、次の項目から選択できます。
- ジョブと同じトレイ
- トレイ 1 〜 3

デフォルトは、「オフ」です。トレイのデフォルトは、［ジョブと同じトレイ］です。

補足

［トレイ 2］、［トレイ 3］は、オプションのトレイモジュールが装着されている場合に表示されます。

■エラーのタイムアウト

チェックボックスをオンにした場合、次のエラーが発生したときに、指定した時間が経過すると、そのジョブをエラーとします。
- プリント開始時、またはプリント中の用紙切れ
- 手差しトレイ使用時の用紙サイズ違い

また、ジョブに対して［プリント中止］の操作をした場合もエラーになります。
タイムアウトの時間には、1 〜 60 までの値を入力できます。単位は、「分」です。
デフォルトは、「オン」です。時間設定のデフォルトは、［5］分です。

■プリフライトレポートの用紙トレイ

プリフライトレポートのプリント時に給紙する用紙トレイを、次の項目から選択できます。
- トレイ 1 〜 3

デフォルトは、「トレイ 1」です。

補足

［トレイ 2］、［トレイ 3］は、オプションのトレイモジュールが装着されている場合に表示されます。

### スクリーンタブ

［スクリーン］タブで設定できる項目は、次のとおりです。

**■アプリケーション設定**

**オンにした場合、QuarkXPressなどのアプリケーションで指定したスクリーン設定が適用されます。**
**デフォルトは、「オン」です。**

補足
ジョブにアプリケーションからのスクリーン設定がない場合は、スクリーン線数として 85 線を使用します。

**■線数のエミュレート**

**プリンターのスクリーン線数を参照してグラデーションのなめらかさを判定するようなPostScriptコードに対して、グラデーションのなめらかさを調整できます。**
**デフォルトは、［60］です。**
**スクリーンの線数（線 / インチ）を、1 ～ 600 の間で指定します。150 または 200 に設定するとグラデーション部分が細かく描画されますが、プリント処理速度が若干遅くなることがあります。数値が低いほど粗くプリントされますが、**
**特定のアプリケーション、または特定のアプリケーションで作成した EPS ファイルによっては、数値が低いほど細かくプリントされる場合もあります（例：FreeHand3.1）。**

注記
この設定は、連続階調モードでのプリントに有効です。

**■カスタム**

**チェックボックスをオンにすると、カスタムスクリーンを設定できます。**
**この項目は、アプリケーションのスクリーン方式よりも優先されます。**
**デフォルトは、「オフ」です。**

■スクリーン線数

スクリーン線数を、1 〜 600 の間で指定します。デフォルトは、[85] です。

■角度

各カラーパスのスクリーンの角度を設定します。
ドットが対照的なパターンを形成するように、スクリーンの位置を決めます。
スクリーンの角度が悪いと、最終出力にモアレが発生します。

■[線形]、[楕円形]、[円形]、[菱形] ボタン

ドットの形を自由に設定できます。
スクリーン関数は、[線形]、[楕円形]、[円形]、[菱形] ボタンをクリックすると自動的に対応します。
デフォルトは、「幾何形状円形ドット」です。

補足
スクリーン関数は、ボタン以外に、テキストボックスに直接入力する方法もあります。

## スキャンタブ

[スキャン] タブで設定できる項目は、次のとおりです。

■スキャナを使う

スキャナーをサーバーに接続して使用する場合に、チェックボックスをオンにします。

注記
自動キャリブレーション、スキャナー調整をサーバーに接続されたスキャナーで行う場合は、チェックボックスがオンになっている必要があります。

■スキャナの機種を選択

［スキャナを使う］チェックボックスがオンの場合に、使用するスキャナーを次の項目から選択します。

- EPSON ES-8500
- EPSON ES-2200

注記

PDF 配信の送信機能、サーバーでのスキャン機能、クライアントからのネットワークスキャン機能を使用するには、［EPSON ES-8500］が選択されている必要があります。

■スキャン時接続タイムアウト

クライアントからのネットワークスキャンの設定です。
［スキャナを使う］チェックボックスがオンの場合に、チェックボックスをオンにすると、クライアントのスキャナーアプリケーションが異常終了した場合に、指定した時間で接続を解除するように設定できます。
チェックボックスがオフの場合、接続を解除しません。デフォルトは、「オン」です。タイムアウト時間は、1 〜 60 分の範囲で 1 分刻みに指定できます。デフォルトは、［10］分です。

注記

この項目は、［スキャナの機種を選択］で［EPSON ES-8500］が選択されている場合に設定できます。

## ネットワークタブ

［ネットワーク］タブで設定できる項目は、次のとおりです。

■接続プリンタ

どのプリンターに対する設定をするか選択します。

ネットワーク設定と サーバーの管理（管理者向け）

5

**■AppleTalk　■TCP/IP　■FTP プリント　■NetWare**

**各クライアントからのジョブを受信するために必要な、サーバーの設定をします。**

補足

Novell Netware Client がインストールされていない場合、[サーバーの環境設定] ダイアログボックスの [ネットワーク] タブで表示される [NetWare] は、選択できません。

参照

設定方法については、次を参照してください。
「5.2.3 TCP/IP ネットワークで使用する場合」
「5.2.4 AppleTalk で使用する場合」
「5.2.5 NetWare で使用する場合」

**各ネットワークの項目に共通するボタンについて説明します。**

- **[追加] ボタン**
  各ネットワークのダイアログボックスが表示されます。
- **[変更] ボタン**
  リストの項目を選択している場合に選択できます。設定内容を変更します。
- **[削除] ボタン**
  リストの項目を選択している場合に選択できます。選択項目を削除します。
  誤って削除した場合は、[サーバーの環境設定] ダイアログボックスを [キャンセル] で終了するとダイアログボックスを開いたときの状態に戻すことができます。

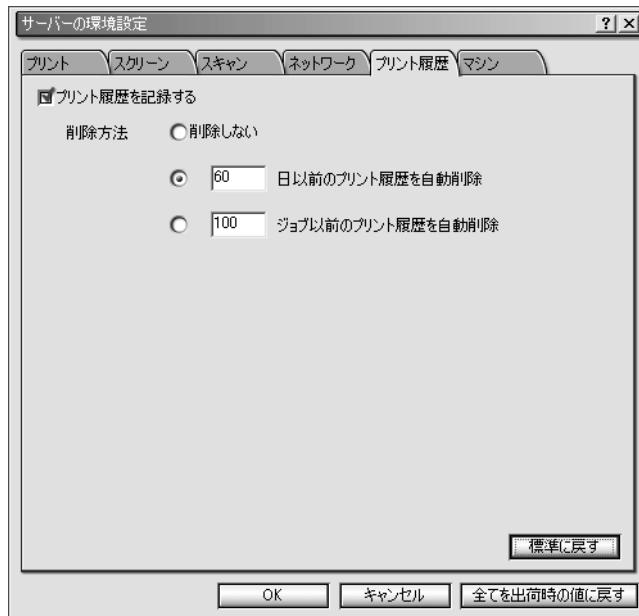
**■Windows ネットワーク**

**Windows クライアントからジョブを受信するために必要な、サーバーの設定をします。**
**[プロパティ] をクリックすると、サーバーに接続されているプリンターのプロパティダイアログボックスが表示されます。**
**Microsoft Windows Network でプリンターを共有して使用する場合、[共有] タブで設定します。**

参照

プリンターを共有する方法については、「5.2.2 Microsoft Windows Network で使用する場合」を参照してください。

### プリント履歴タブ

［プリント履歴］タブで設定できる項目は、次のとおりです。

■プリント履歴を記録する

オンにした場合、プリント履歴を記録します。

■削除方法

［プリント履歴を記録する］をオンにした場合は、記録したプリント履歴の削除方法を指定します。

- 削除しない
- ［××］日以前のプリント履歴を自動削除

  指定した日数を経過した場合、記録したプリント履歴を自動的に削除します。デフォルトは［60］です。
- ［××］ジョブ以前のプリント履歴を自動削除

  指定したジョブ数を超えた場合、記録したプリント履歴を自動的に削除します。デフォルトは［100］です。

デフォルトは、［60］日以前のプリント履歴を自動削除です。

## マシンタブ

［マシン］タブで設定できる項目は、次のとおりです。

■接続プリンタ

どのプリンターに対する設定をするか選択します。

■節電モード 1 への移行タイマー

節電モード 1 に移行するまでの時間を、0 〜 120 までの 1 分単位で設定します。節電モード 1 は、プリンター本体のはたらきを部分的に抑えることによって、プリンターを使用していないときの消費電力を節約します。印刷処理終了後、ここで設定した時間が過ぎてもプリンターが使用されないと、節電モード 1 に切り替わります。時間を 0 に設定した場合は、節電モード 1 に移行しません。
デフォルトは、［15］分です。

補足

設定時間を待たずに、手動で節電モードに移行したい場合は、マシン状態ウィンドウの［節電］ボタンをクリックします。マシン状態ウィンドウについては、「6.1.1 ServerManager のウィンドウ」を参照してください。

■節電モード 2 への移行タイマー

節電モード 1 から節電モード 2 に移行するまでの時間を、0 〜 120 までの 1 分単位で設定します。
節電モード 2 は、プリンター本体のはたらきを部分的に休止することによって、節電モード 1 よりも、さらにプリンターを使用していないときの消費電力を節約します。節電モード 1 に移行後、ここで設定した時間が過ぎてもプリンターが使用されないと、節電モード 2 に切り替わります。時間を 0 に設定した場合は、節電モード 2 に移行しません。
デフォルトは、［15］分です。

■警告音 / 正常終了音を鳴らす

**チェックボックスをオンにすると、プリンターに異常が発生したときや印刷処理が正常に終了したときに、音を鳴らして知らせます。**
**デフォルトは、「オン」です。**

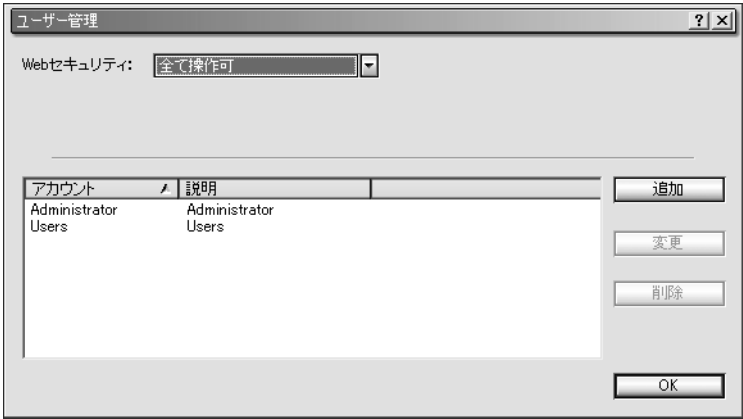
## 5.3.2 ユーザーの管理

### ■ユーザー管理とは

**WebManager を利用するユーザーは、ServerManager で登録する必要があります。また、ServerManager にログインするための管理者、および一般ユーザーのパスワードを変更できます。**

操作手順

**1 [FX_ServerManager] ウィンドウの [ツール] メニューから、[ユーザー管理] を選択します。**

[ユーザー管理] ダイアログボックスが表示されます。
リストには、Administrator、Users、登録済みのユーザーが表示されています。

注記

- アカウントに登録されている Administrator と Users は特別なユーザーで、ServerManager にログインする場合や特別メニューを実行する場合の管理者、および一般ユーザーパスワードにも使用されています。
- 管理者、および一般ユーザーのパスワードを変更する場合は、後述の「登録したユーザーを変更 / 削除する」を参照してください。

■Web セキュリティ

**WebManager でのジョブに対する操作を制限できます。**
**次の項目から選択できます。デフォルトは、[全て操作可] です。ここでの設定は、Administrator以外の登録されているユーザーすべてに対して制限されます。**

- **全て操作不可**
  ジョブに対する操作は一切できません。
- **ジョブのオーナーのみ操作可**
  自分のジョブに対してだけ操作できます。
- **全て操作可**
  自分のジョブだけでなく、ほかのジョブに対しても操作できます。ジョブの移動などもできます。

## 2 [追加] をクリックします。

[ユーザー編集] ダイアログボックスが表示されます。

## 3 各項目を設定します。

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| アカウント | **登録するユーザーのアカウント名を設定します。**<br>**ユーザー名は、WebManager にログインするときに使用します。**<br>**[Web セキュリティ] で、[ジョブのオーナーのみ操作可] を選択しているときは、ジョブの操作は WebManager にログインしている場合だけできます。**<br><br>注記<br>• 入力する文字は、大文字と小文字が区別されます。<br>• Windows 95/98/Me からプリントした場合、ユーザー名はすべて大文字で扱われます。[アカウント] は大文字で登録してください。 |
| パスワード | **登録するユーザーのパスワードを設定します。**<br>**パスワードは、WebManager のログインに利用します。** |
| パスワード確認 | **[パスワード] と同じパスワードを入力します。** |
| 説明 | **必要に応じて入力します。入力した内容は、[ユーザー管理] ダイアログボックスに表示されます。** |

## 4 [OK] をクリックします。

[ユーザー管理] ダイアログボックスに戻ります。

複数のユーザーを登録する場合は、登録する人数分だけ手順 2 ～ 3 を繰り返します。

## 5 [ユーザー管理] ダイアログボックスで [OK] をクリックします。

ダイアログボックスが閉じます。

### 登録したユーザーを変更 / 削除する

注記
ユーザー名は変更できません。また、Administrator と Users は削除できません。

補足
Users のパスワードは、工場出荷時には「aaaaa」が設定されています。

操作手順

**1** **[FX_ServerManager] ウィンドウの [ツール] メニューから、[ユーザー管理] を選択します。**
[ユーザー管理] ダイアログボックスが表示されます。

**2** **リストから変更または削除するユーザーを選択し、[変更] または [削除] をクリックします。**

**3** **ユーザーを変更する場合は、表示されたダイアログボックスで [パスワード]、[パスワード確認]、[説明] を設定し、[OK] をクリックします。**

## 5.3.3 作業用フォルダの場所の設定

### ■作業用フォルダとは

**作業用フォルダには、次の種類があります。各フォルダの場所を変更できます。**

**■TIFF 保存フォルダ**

**プリントジョブの TIFF イメージを保存するフォルダです。**
**プリントオプションで [TIFF ファイルに保存] を指定してプリントすると、作成された TIFF ファイルが格納されます。**

補足
TIFF 保存フォルダを使うには、共有の設定が必要です。設定については、「付録 N.2 TIFF フォルダーの共有について」を参照してください。

**■FTP フォルダ**

**FTP プリントで送信したジョブを格納するフォルダです。**
**ServerManager の [サーバーの環境設定] で [FTP プリント] を使用する設定になっている場合は、このフォルダの下に「folder1」が作成され、さらにこのフォルダの下にサブフォルダが作成されます。**
**サブフォルダで、ジョブの受信が完了すると、プリント処理が開始されます。**

**■スプールフォルダ**

**プリントジョブのスプール用のフォルダです。**

補足
TIFF 保存フォルダおよびスプールフォルダの、変更前の作業用フォルダの内容は、変更後の作業用フォルダに自動的にコピーされます。

**■メールボックス**

**PDF 配信の送受信メールのスプール用フォルダです。**

補足

メールボックスフォルダの、変更前の作業用フォルダの内容は、変更後の作業用フォルダに自動的にコピーされます。

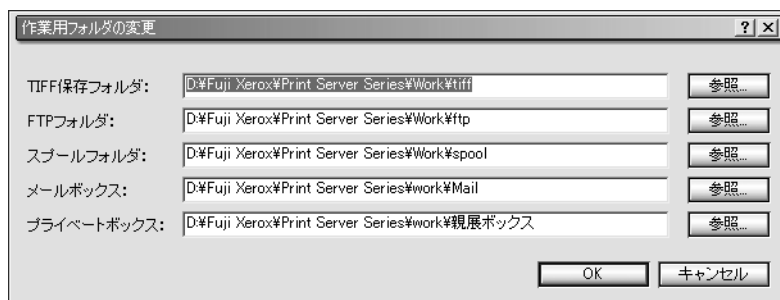
**■プライベートボックス**

**このフォルダは、システムが一時的に使用します。**

操作手順

**1 [FX_ServerManager］ウィンドウの［ファイル］→［特別］→［作業用フォルダ設定］を選択します。**

［パスワード確認］ダイアログボックスが表示された場合は、管理者用パスワードを入力し、[OK］をクリックします。

［作業用フォルダの変更］ダイアログボックスが表示されます。

**2 変更先のディレクトリを指定し、[OK］をクリックします。**

［作業用フォルダ変更］の確認ダイアログボックスが表示されます。

**3 [OK］をクリックします。**

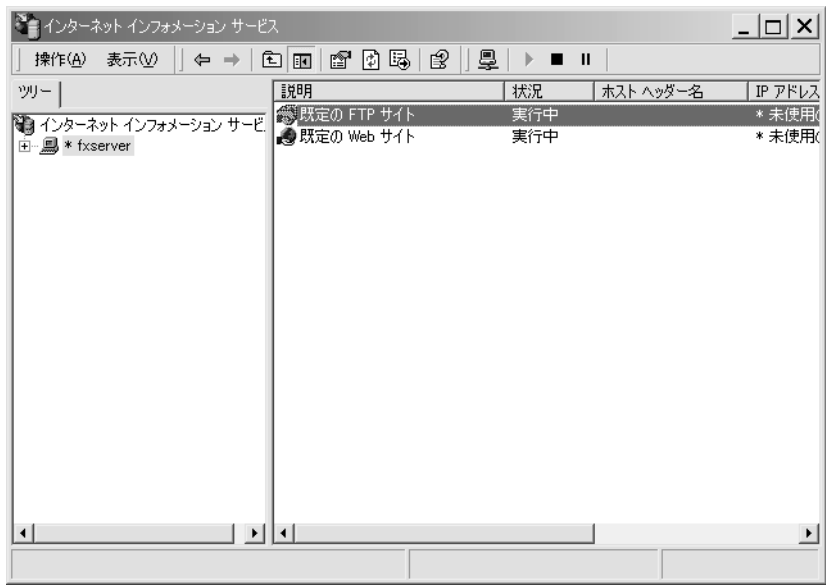
作業用フォルダが、指定された場所に変更されます。
FTP フォルダを変更した場合は、引き続き、FTP サービスのディレクトリを変更します。

**4 ［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］を選択します。**

［コントロールパネル］ウィンドウが表示されます。

**5** **［管理ツール］→［インターネットサービスマネージャ］の順にダブルクリックします。**

［インターネットインフォメーションサービス］ダイアログボックスが表示されます。

**6** **左側の［ツリー］から Print Server Series に設定したホスト名（工場出荷時は fxserver）を選択し、右側から［既定の FTP サイト］を選択し、［操作］メニューから［プロパティ］を選択します。**

［既定の FTP サイトのプロパティ］が表示されます。

**7** **［ホームディレクトリ］タブをクリックします。**

［ホームディレクトリ］タブが表示されます。

**8** **［FTP サイトのディレクトリ］を手順 2 で設定した［FTP フォルダ］に変更し、［OK］をクリックします。**

## 5.3.4 設定情報のバックアップ

### ■この機能でできること

**サーバーの設定情報をバックアップしておくと、万一トラブルが起きたとき、復旧作業の時間を短縮できます。**
**安全のため、システムのバックアップを作成することをお勧めします。**
**設定情報をバックアップすると、次の情報が 1 つのファイルにまとめられます。**

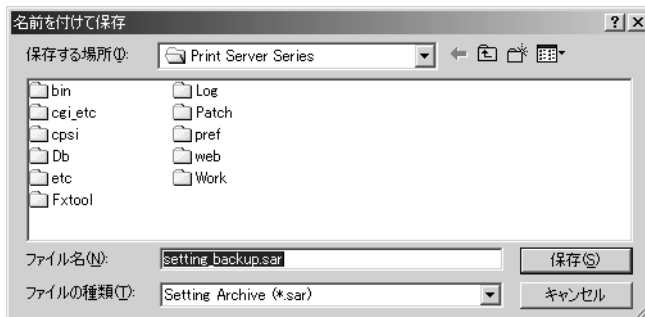
- **ServerManager の［ツール］メニューで設定した、環境設定などの情報**
- **キャリブレーションデータと割り当て情報**
- **次のカラープロファイルデータと割り当て情報**
  - ・RGB 色補正プロファイル
  - ・RGB 出力プロファイル
  - ・CMYK シミュレーションプロファイル
  - ・ユーザー調整カーブ

## 設定情報をバックアップする

操作手順

**1** **［FX_ServerManager］ウィンドウの［ファイル］→［特別］→［設定のバックアップの作成］を選択します。**

［パスワード確認］ダイアログボックスが表示された場合は、管理者用パスワードを入力し、［OK］をクリックします。

設定情報をバックアップするディレクトリとファイル名を指定するための、［名前を付けて保存］ダイアログボックスが表示されます。

**2** **保存するディレクトリとファイル名を指定して、［保存］をクリックします。**

ファイルの拡張子は、「.sar」です。

保存したファイルは、サーバーの HDD や FD にバックアップしてください。

## 設定情報のバックアップを復元する

**バックアップした設定情報を復元する場合は、［FX_ServerManager］ウィンドウの［ファイル］→［特別］→［設定のバックアップの復帰］を選択します。表示された［ファイルを開く］ダイアログボックスで、復元するディレクトリとファイル名を指定して、［開く］をクリックします。**

# 5.3.5　ログインモードの設定

### ■この機能でできること

**ServerManager を起動したときに、選択したモードで自動的にログインするように設定できます。**
**また、システムの運用に影響する ServerManager の操作（[特別] メニュー）について、管理者だけが可能なように設定できます。**

補足

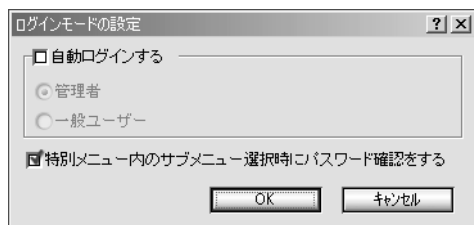
ServerManager に管理者、および一般ユーザーでログインしているときは、[FX_ServerManager] ウィンドウの左上のサーバー名横に、「管理者モード」および「一般ユーザーモード」と表示されます。ログインしていないときは、「ログオフ」と表示されます。

## ServerManager 起動時に自動ログインする

操作手順

**1**　**[FX_ServerManager] ウィンドウの [ファイル] → [特別] → [ログインモードの設定] を選択します。**

[パスワード確認] ダイアログボックスが表示された場合は、管理者用パスワードを入力し、[OK] をクリックします。

[ログインモードの設定] ダイアログボックスが表示されます。

**2**　**ServerManager を起動時に自動ログインする場合は、[自動ログインする] をオンにし、ログインするモードを選択します。**

**3**　**[特別] メニューの項目を選択したときに管理者用パスワードを要求しないようにするには、[特別メニュー内のサブメニュー選択時にパスワード確認をする] をオンにします。**

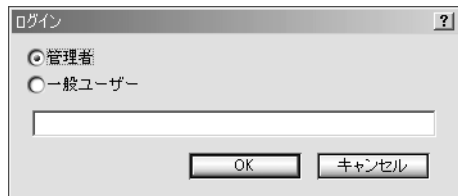
**4**　**[OK] をクリックします。**

### 手動でログイン / ログオフするには

ServerManager を終了させないでログオフする場合は、

（管理者モードのとき）、（一般ユーザーモードのとき）ボタン、または［ファイル］メニューの［ログオフ］を選択します。ログオフを確認ダイアログボックスが表示されるので、［OK］をクリックします。

ログオフ状態からログインする場合は、

ボタン、または［ファイル］メニューの［ログイン］を選択します。
［ログイン］ダイアログボックスが表示されるので、［管理者］または［一般ユーザー］をオンにして、そのパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

補足

管理者パスワードは、サーバーのセットアップ時に設定したパスワードです。
また、この管理者および一般ユーザーパスワードは、ServerManager の［ユーザー管理］に表示される、［Administrator］および［Users］のパスワードと同じです。

参照

ユーザー管理については、「5.3.2 ユーザーの管理」を参照してください。

## 5.3.6　プリントオプションの初期設定

### ■この機能でできること

プリンターごとにプリントオプションのデフォルト値を設定できます。
デフォルト値は、次のジョブまたは項目に適用されます。

- PDF/SunRaster/XWD/TIFF/EPS ファイル
- プリンタードライバーを使用しないで作成した PostScript ファイル
- ジョブ編集で、［すべての項目にプリントオプションの初期設定を適用］をオンに設定したジョブ
- 特別なプリンタードライバー（特別な PPD やシステムなど）からプリントする場合で、機能の設定が省略された項目

## プリントオプションの初期設定の設定手順

操作手順

### 1 ［FX_ServerManager］ウィンドウの ボタンをクリックします。

［プリントオプションの初期設定］ダイアログボックスが表示されます。

補足

［ツール］メニューから［プリントオプションの初期設定］を選択しても、［プリントオプションの初期設定］ダイアログボックスを表示できます。

### 2 ［出力プリンタ］からプリンターを選択します。

［サーバーの環境設定］ダイアログボックスの［ネットワーク］タブで、TCP/IP（lpr）やAppleTalk、FTP フォルダが設定されている場合は、選択できる項目が［出力プリンタ］横のプルダウンメニューに表示されます。設定する項目を選択します。NetWare、Windows ネットワーク、DropPrint2、WebManager からのプリントの場合は、［その他（共通）］で設定した項目が適用されます。

### 3 各タブの項目を設定します。

**［プリントオプションの初期設定］ダイアログボックスには、次の 7 つのタブがあります。**

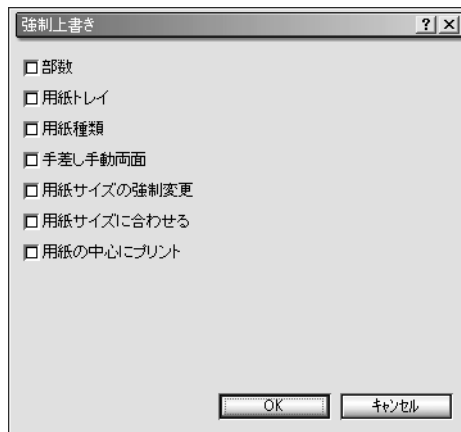
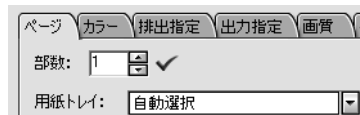
- **ページ**
- **カラー**
- **排出指定**
- **出力指定**
- **画質**
- **グラフィックス**
- **ユーザー**

参照

各項目の説明については、「6.2 プリントオプション」を参照してください。

また、[プリントオプションの初期設定]ダイアログボックスの各タブには、次の共通項目があります。

■[強制上書き]ボタン

[強制上書き]ダイアログボックスが表示されます。項目のチェックボックスをオンにすると、クライアントからの指定が無視され、プリントオプションの初期設定が適用されます。

各項目のチェックボックスをオンにすると、[プリントオプションの初期設定]ダイアログボックスの項目の右側に、チェックマークが表示されます。

注記

[強制上書き]の指定は、次の項目よりも優先されます。

- プリンタードライバー、DropPrint2、および WebManager からのプリント
- DropPrint2 および WebManager の[ファイル中の設定またはサーバーの設定を使う]
- ServerManager および WebManager の[ジョブの読み込み]で読み込んだ、プリントオプションの設定を含む PostScript ファイル

■[標準に戻す]ボタン

選択したタブで設定できる項目を工場出荷時の値に戻します。

■[全てを出荷時の値に戻す]ボタン

出力プリンターおよび出力プロトコルごとに、すべてのタブの設定を工場出荷時の値に戻します。

**4** [OK]をクリックします。

## プリントオプションの初期設定固有のページタブ

注記

**[ページ]タブの項目に対する注意事項**

- [用紙サイズの強制変更]で[変更しない]以外を指定した場合は、プリンタードライバーのプリントオプションで設定した用紙サイズは無視され、[プリントオプションの初期設定]で設定した用紙サイズで RIP 処理されます。
- [用紙サイズ]は、プリントオプションで用紙サイズを指定していない場合にだけ適用されます。
- [用紙サイズに合わせる]、[用紙の中心にプリント]は、[用紙サイズ / イメージサイズの変更]で[変更しない]以外を指定した場合にだけ有効です。
- A2L/B3L の用紙サイズを指定してプリントした場合、A3x2/B4x2 の用紙サイズに比べて RIP 処理に時間がかかります。

**■用紙サイズ**

**用紙サイズを選択します。**
**用紙サイズには、次の項目があります。デフォルトは、[A4L]です。**

- A5L
- A5
- A4L
- A4
- A3
- B5L
- B5
- B4
- 8.5x11L
- 8.5x11
- 8.5x13
- 8.5x14
- 11x17
- 12x18
- SRA3
- 328x453
- 13x18
- はがき
- 往復はがき L
- 往復はがき
- 4 連はがき L
- 4 連はがき
- 洋形 2 号
- 洋形 3 号
- 洋形 4 号
- 洋長 3 号
- カスタムサイズ

**■用紙サイズの強制変更**

**用紙サイズを変更するときに指定します。デフォルトは、[変更しない]です。**

# 5.3.7 濃度ムラ補正

### ■この機能でできること

**プリント時に用紙内で濃度のムラがないように補正します。原稿タイプごとに、補正することができます。**
**濃度ムラは、プリンターの設置場所の環境の影響を受け、時間経過とともに変わる可能性があります。規則的に補正を行えば、濃度ムラの日々の変化に対処できます。**
**補正方法には、次の 2 とおりがあります。**

**■目視**

**「TargetSheetA」と「ReferenceSheet」の 2 枚の評価用シートをプリントします。目視によって、「TargetSheetA」に近い濃度のパッチを「ReferenceSheeet」から選択します。**

**■濃度計**

**「TargetSheetA」と「TargetSheetB」の 2 枚の評価用シートをプリントします。お持ちの濃度計を使って、各 TargetSheet に印刷されているパッチの濃度を測ります。**

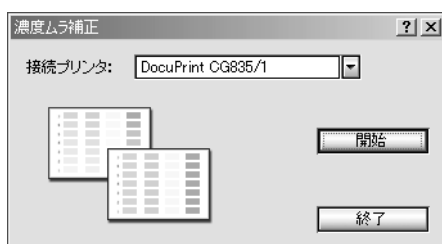
## 目視による濃度ムラ補正手順の流れ

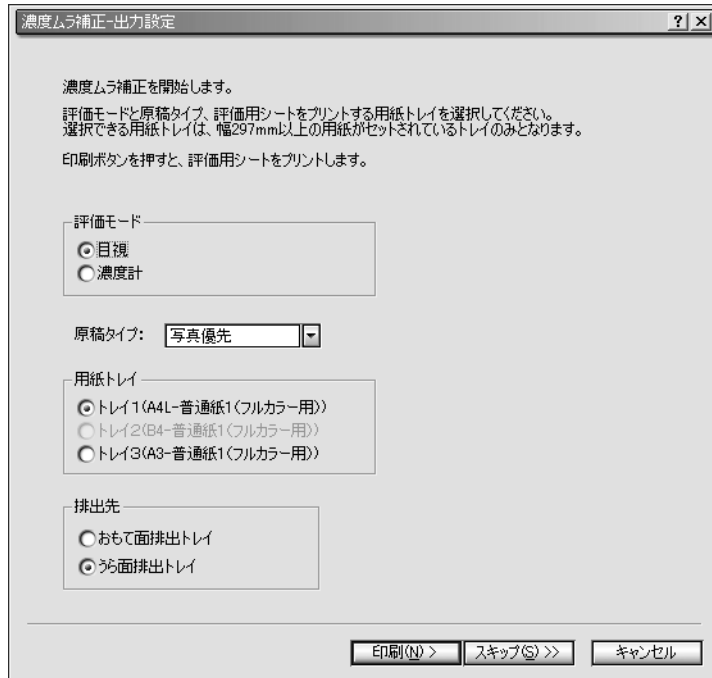
**以下に、目視による濃度ムラ補正の手順を説明します。**
**濃度計を使用する場合は、後述の「濃度計による濃度ムラ補正」を参考にしたうえで、濃度ムラ補正を行ってください。**

補足
評価用シートをプリントするため、用紙トレイに A4 サイズ以上の用紙をあらかじめセットしておきます。

操作手順

**1 [FX_ServerManager] ウィンドウの [ツール] メニューから、[濃度ムラ補正] を選択します。**

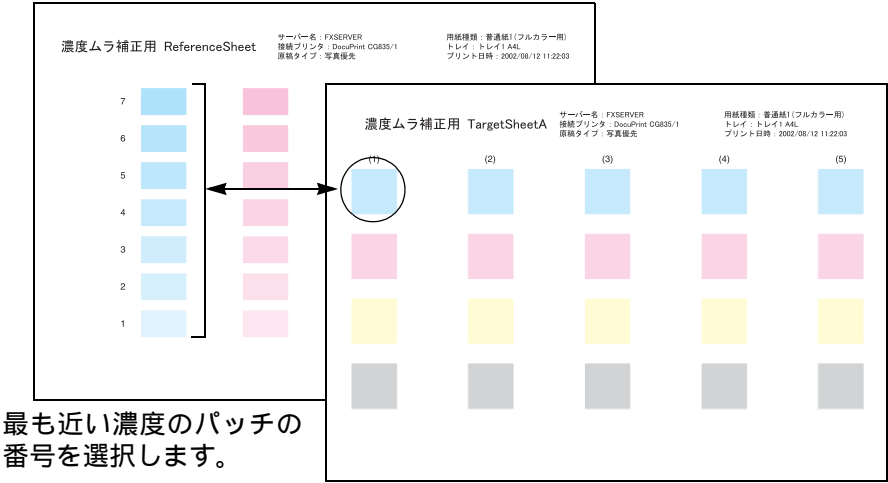
[濃度ムラ補正] ダイアログボックスが表示されます。

**2** **［接続プリンタ］からプリンターを選択し、［開始］をクリックします。**

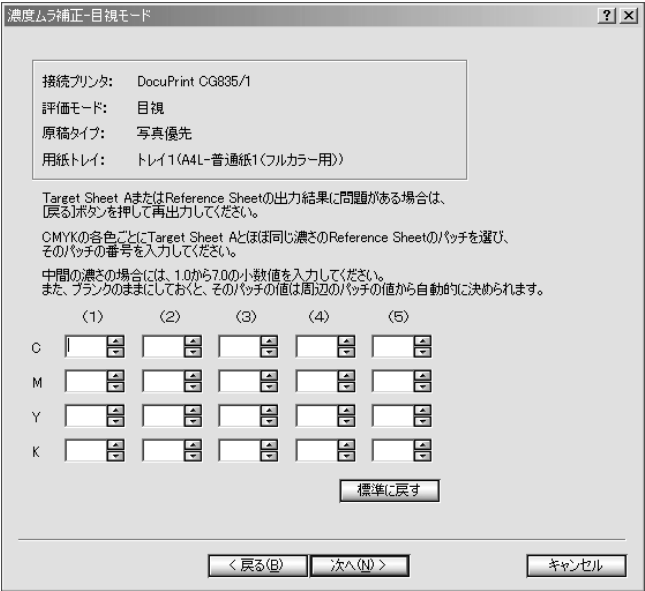
［濃度ムラ補正 - 出力設定］ダイアログボックスが表示されます。

**3** **［評価モード］と評価する［原稿タイプ］、評価用シートをプリントする［用紙トレイ］と［排出先］を設定し、［印刷］をクリックします。**

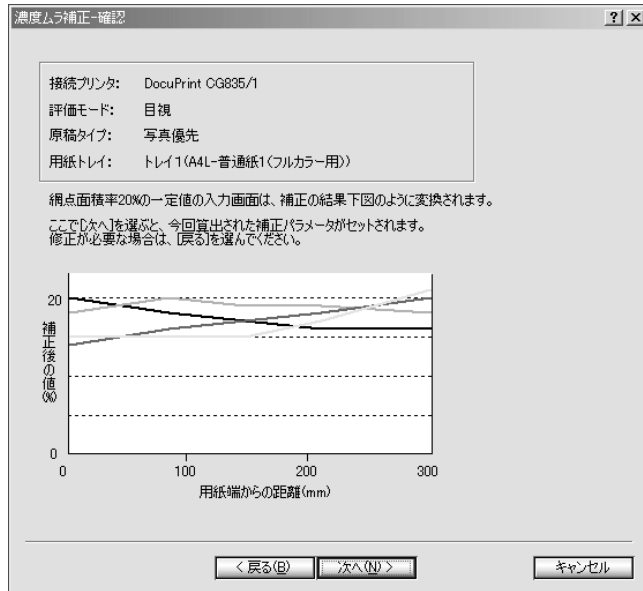
補足

プリントオプションで、［原稿タイプ］から［文字 / 写真（写真優先）］を選択した場合は、［写真優先］に割り当てられた補正値が使用され、［文字 / 写真（文字優先）］を選択した場合は、［文字優先］に割り当てられた補正値が使用されます。

しばらくすると、はじめにマシン調整シートがプリントされ、続いて評価用シートがプリントされます。

**4** **プリントされた「TargetSheetA」の、(1) から (5) までの C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）、K（ブラック）それぞれのパッチについて、「ReferenceSheet」の 1 ～ 7 の中から、最も近い濃度のパッチの番号を選択します。**

**5** **選択したパッチの番号を、［濃度ムラ補正 - 目視モード］ダイアログボックスに入力します。**

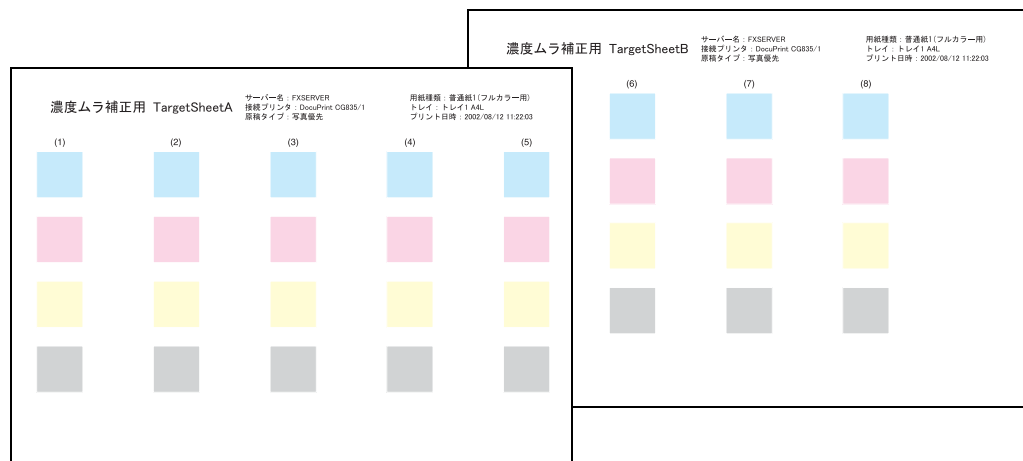
目視の場合、ブランクのままにしておくと、そのパッチの値は周辺のパッチの値から自動的に決められます。

**6** **［次へ］をクリックします。**

［濃度ムラ補正 - 確認］ダイアログボックスが表示されます。

**7** **測定した値をもとに補正を行う場合は、［次へ］をクリックします。**

［濃度ムラ補正 - 完了］ダイアログボックスが表示されます。

**8** **［OK］をクリックし、［濃度ムラ補正］ダイアログボックスで［終了］をクリックします。**

## 濃度計による濃度ムラ補正

評価用モードで［濃度計］を選択すると、マシン調整シートがプリントされたあと、評価用シートとして、「TargetSheetA」と「TargetSheetB」の 2 枚がプリントされます。
(1) 〜 (8) までの C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）、K（ブラック）それぞれのパッチを、色空間を Status-A の濃度に設定して測定します。

測定結果を、「目視による濃度ムラ補正手順の流れ」の手順 5 と同様に、［濃度ムラ補正 - 濃度計モード］に入力します。濃度計の場合は、ブランクの箇所がないように、すべての項目を入力してください。

［濃度ムラ補正 - 確認］ダイアログボックスに進みます。

# 5.3.8 転写電圧調整

## ■この機能でできること

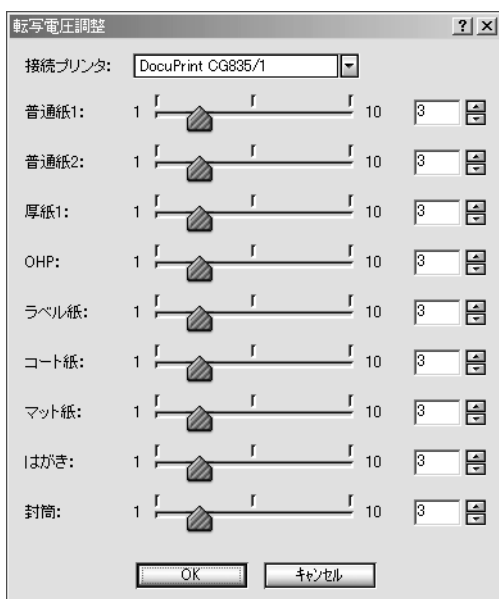
**転写電圧調整機能は、多種・多様な用紙に対応するための機能です。標準紙に出力した場合と比べて印字が薄かったり、かすれたりする場合、使用される用紙に合わせて転写電圧を調整することによって、最適な印字結果を得ることができます。**
**用紙の種類ごとに 1 〜 10 までの値を指定できます。下の図を参考にして、値を調整し、プリント結果を確認してみてください。デフォルトは、すべての用紙について［3］が設定されています。**

| 転写電圧の設定 | 使用している用紙 | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 薄い | ツルツル | 低い |
| ↑ | ↑ | ↑ | ↑ |
| 3 | 厚さ | 表面性 | 抵抗（電気） |
| ↓ | ↓ | ↓ | ↓ |
| 10 | 厚い | 粗い | 高い |

注記
転写電圧調整機能は、用紙の保存状態や用紙の種類によっては、最適な印字結果を得られない場合もあります。

操作手順

**1** **［FX_ServerManager］ウィンドウの［ツール］メニューから、［転写電圧調整］を選択します。**

［転写電圧調整］ダイアログボックスが表示されます。

**2** **[接続プリンタ] からプリンターを選択し、用紙の種類ごとに転写電圧を調整し、[OK] をクリックします。**

## 5.3.9 用紙間隔調整

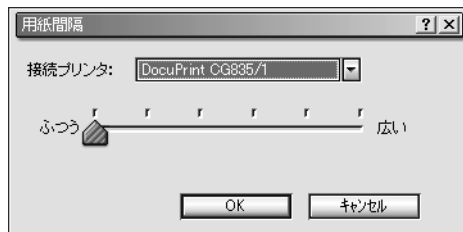
### ■この機能でできること

**白黒原稿を連続プリントするときのプリント速度を設定できます。**
**お使いの用紙によっては、白黒原稿を連続プリントしたときに、定着不良などの画質トラブルが発生することがあります。その場合に、用紙間隔調整を実施してください。**
**[ふつう] ～ [広い] の間で、6 段階（35 ページ / 分、32 ページ / 分、30 ページ / 分、28 ページ / 分、26 ページ / 分、20 ページ / 分）に設定できます。**

補足
この設定は、白黒原稿だけで、カラー原稿の連続プリント時には適用されません。

操作手順

**1** **[FX_ServerManager] ウィンドウの [ツール] メニューから、[用紙間隔] を選択します。**

[用紙間隔] ダイアログボックスが表示されます。

**2** **[接続プリンタ] からプリンターを選択して、用紙間隔を調整し、[OK] をクリックします。**

# 5.4 サーバーで確認できる情報

ServerManager で確認できる情報と参照先は、次のとおりです。

| 確認できる情報 | 参照先 |
|---|---|
| プリント履歴を表示、保存、およびプリントする | 244 |
| フォント情報を確認する。フォントをバックアップする | 247 |
| 設定情報が記載された、スタートアップページをプリントする | 252 |

## 5.4.1 プリント履歴の確認

### ■この機能でできること

**プリントジョブの履歴を表示したり、印刷したりできます。また、表計算アプリケーションで編集できる CSV 形式のファイルに保存できます。プリンターを共有している場合、部門やユーザーごとにプリント履歴の確認ができるので、管理がしやすくなります。**

**印刷例）**

Print Server Series
プリント履歴レポート

サーバー名:FXSERVER
日時:2003/02/21 15:51:31
ページ:1

注記

プリント履歴を記録するためには、［ツール］メニューの［サーバーの環境設定］で、［プリント履歴］タブの［プリント履歴を記録する］がオンになっていることを確認してください。

補足

- プリント履歴には、エラージョブとしてサーバーから自動削除されたジョブも含みます。
- 次の項目が設定されたジョブは、プリント履歴に記録されません。
  - ・プリントオプションの［TIFF ファイルで保存］
  - ・ServerManager および WebManager の［プリフライトレポートの作成］
  - ・ServerManager および WebManager の［RIP 済みデータの作成］

参照

プリント履歴の削除方法については、「5.3.1 ServerManager の環境設定」の「●●● プリント履歴タブ」を参照してください。

### ■プリント履歴の内容

**ジョブごとに、次の項目を確認できます。**

| | | | |
|---|---|---|---|
| •所有者 | •ドキュメント名 | •アカウント | •ステータス |
| •受信開始日時 | •RIP 開始時刻 | •RIP 経過時間 | •印刷経過時間 |
| •カラーモード | •用紙種類 | •用紙サイズ | •両面印刷 |
| •画質モード | •部数 | •ドキュメントページ数 | |
| •カラーページ数 | •グレーページ数 | •カバーページ | •出力プリンタ |
| •コメント | •エラー | | |

補足

- 「所有者」、「アカウント」、および「コメント」には、ドキュメント送信時に表示されるプリントオプションの［ユーザー情報］タブで設定した項目が表示されます。
- 「エラー」の内容は、［ジョブ編集］ダイアログボックスに表示される［ステータス］と同じ内容です。
- 「用紙サイズ」は、出力した用紙サイズになります。たとえば、ジョブの用紙サイズに A2L を指定した場合は A3 に、A4 サイズの小冊子作成をした場合は A3 になります。
- 「グレーページ数」には、PostScript エラーシートを含みます。

## プリント履歴を表示 / 保存 / 印刷する

操作手順

**1** **［FX_ServerManager］ウィンドウの［ファイル］メニューから［プリント履歴の表示］/［プリント履歴の保存］/［プリント履歴の印刷］を選択します。**

条件を指定するダイアログボックスが表示されます。次の画面は［プリント履歴の印刷］です。

## 2 条件を指定します。

**■ソート方法**

**次の指定ができます。デフォルトは、［日付順］です。**

- **日付順**
- **所有者ごと**
- **アカウントごと**

補足

［日付順］の日時は、プリント用紙の排出が終了した日時になります。また、エラージョブとしてサーバーから自動削除されたジョブについては、削除が終了した日時になります。

**■範囲**

**次の指定ができます。デフォルトは、［全て］です。**

- **全て**
  プリントしたジョブすべてのプリント履歴を表示 / 保存 / プリントします。
- **前回の印刷・保存以降**
  前回の保存以降のプリント履歴を表示 / 保存 / プリントします。
- **期間指定**
  期間を指定してプリント履歴を表示 / 保存 / プリントします。
  期間指定の西暦は、4 桁の数値を入力します。

## 3 ［用紙トレイ］、［排出先］を設定して、［OK］をクリックします。

プリント履歴を印刷する場合は、プリント履歴のジョブが ServerManager の処理待ちリストに表示されます。

プリント履歴を表示する場合は、［プリント履歴］ダイアログボックスが表示されます。ダイアログボックスを閉じるときは、［OK］をクリックします。

## 4 プリント履歴を保存する場合は、表示されたファイル名を指定するダイアログボックスで［保存する場所］、［ファイル名］、および［ファイルの種類］を指定し、［保存］をクリックします。

指定したディレクトリに、プリント履歴が保存されます。

## 5.4.2 フォント情報の確認とバックアップ

### ■この機能でできること

サーバーにインストールされているすべてのフォント情報に関して、次の項目を確認および実行できます。

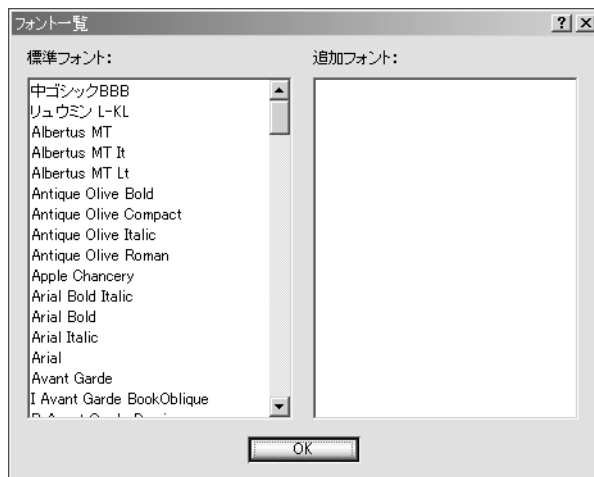
- フォント一覧の表示およびプリント
- フォントのバックアップおよびバックアップしたフォントの復元
- フォントディスクの作成、変更、および削除
- フォントのダウンロードの開始および終了

安全のため、フォントのバックアップを作成することをお勧めします。万一トラブルが起きたときに、復旧作業の時間を短縮できます。

### フォント一覧を表示する

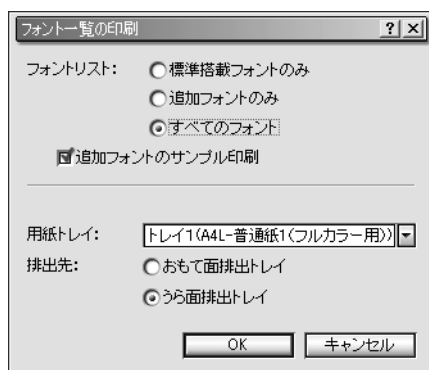
操作手順

**1 [FX_ServerManager] ウィンドウの［ファイル］メニューから［フォント一覧の表示］を選択します。**

［フォント一覧］ダイアログボックスが表示されます。

## フォント一覧を印刷する

操作手順

**1** **[FX_ServerManager］ウィンドウの［ファイル］メニューから、［フォント一覧の印刷］を選択します。**

［フォント一覧の印刷］ダイアログボックスが表示されます。

**2** **フォントリストを選択します。**

**次の指定ができます。デフォルトは、［すべてのフォント］です。**

- **標準搭載フォントのみ**

  標準搭載フォントの書体名と印字サンプルがプリントされます。
- **追加フォントのみ**
- **すべてのフォント**
- **追加フォントのサンプル印刷**

  ［追加フォントのみ］または［すべてのフォント］を選択した場合に、指定できます。
  チェックボックスをオンにすると、追加フォントの書体名と印字サンプルがプリントされます。オフにすると、追加フォントの書体名だけがプリントされます。

注記

追加したフォントは、インストールをした順ではなく、アルファベット順に表示されます。

**3** **［用紙トレイ］、［排出先］を設定して、［OK］をクリックします。**

フォント一覧がプリントされます。

## フォントのバックアップを作成する

操作手順

**1** **[FX_ServerManager］ウィンドウの［ファイル］→［特別］→［フォントのバックアップの作成］を選択します。**

［パスワード確認］ダイアログボックスが表示された場合は、管理者用パスワードを入力し、［OK］をクリックします。

［名前を付けて保存］ダイアログボックスが表示されます。

**2　保存するディレクトリを指定して、［保存］をクリックします。**

指定したディレクトリにフォントファイルがバックアップされます。

ファイルの拡張子は、「.far」です。
バックアップファイルは、100MB 単位で分割して保存されます。ファイルが 100MB を超える場合は、バックアップファイルを分割して作成します。
分割した場合の 2 番め以降のファイル名は、「ファイル名 +（n-1）.far」になります。

### バックアップしたフォントを復元する

**注記**
すべてのバックアップファイルがサーバー上にないと、バックアップしたフォントを復元できません。

操作手順

**1　［FX_ServerManager］ウィンドウの［ファイル］→［特別］→［フォントのバックアップの復元］を選択します。**

［パスワード確認］ダイアログボックスが表示された場合は、管理者用パスワードを入力し、［OK］をクリックします。

［ファイルを開く］ダイアログボックスが表示されます。

**2　復元するファイルを指定して、［開く］をクリックします。**

指定したバックアップファイルが復元されます。

ファイルの拡張子は、「.far」です。バックアップファイルが分割されている場合は、最初に作成されたバックアップファイルを指定します。

### フォントディスクを追加する

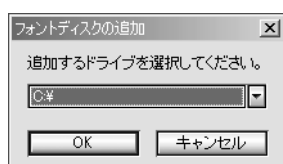
**指定したドライブにフォントディスクを作成し、追加することができます。**

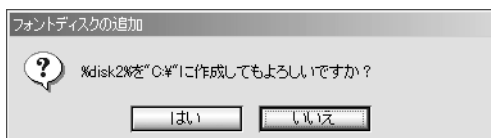
**補足**
- フォントディスクは、市販フォントのインストール用ディスクスペースです。
- 指定したドライブに、すでにフォントディスクが存在する場合は、作成できません。

操作手順

**1　［FX_ServerManager］ウィンドウの［ファイル］→［特別］→［フォントディスクの追加］を選択します。**

［パスワード確認］ダイアログボックスが表示された場合は、管理者用パスワードを入力し、［OK］をクリックします。

［フォントディスクの追加］ダイアログボックスが表示されます。

**2** **フォントディスクを追加するドライブを選択し、[OK] をクリックします。**

［フォントディスクの追加］の確認ダイアログボックスが表示されます。

**3** **［はい］をクリックします。**

指定したドライブにフォントディスクが追加されます。

### フォントディスクを変更する

**指定したドライブにフォントディスクを作成し、指定されたフォントディスクの内容をコピーして、コピー終了後にもとのフォントディスクを削除します。**

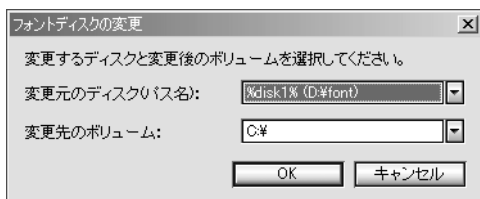
補足

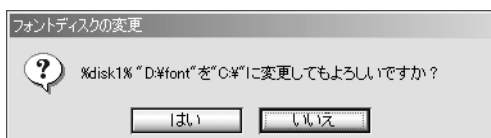
指定したドライブに、すでにフォントディスクが存在する場合は、作成できません。

操作手順

**1** **［FX_ServerManager］ウィンドウの［ファイル］→［特別］→［フォントディスクの変更］を選択します。**

［パスワード確認］ダイアログボックスが表示された場合は、管理者用パスワードを入力し、［OK］をクリックします。

［フォントディスクの変更］ダイアログボックスが表示されます。

**2** **フォントディスクを変更するドライブ、変更後に保存するドライブを選択し、［OK］をクリックします。**

［フォントディスクの変更］の確認ダイアログボックスが表示されます。

**3** **［はい］をクリックします。**

指定したドライブのフォントディスクが変更されます。

### フォントディスクを削除する

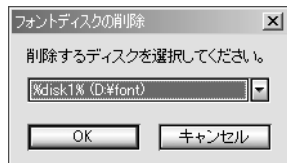
注記

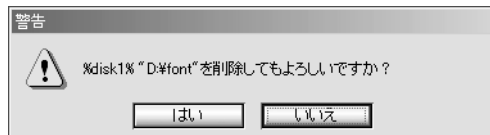
Disk0は削除できません。削除を実行しても、フォントディスク番号は変更されません。

操作手順

**1 ［FX_ServerManager］ウィンドウの［ファイル］→［特別］→［フォントディスクの削除］を選択します。**

［パスワード確認］ダイアログボックスが表示された場合は、管理者用パスワードを入力し、［OK］をクリックします。

［フォントディスクの削除］ダイアログボックスが表示されます。

**2 フォントディスクを削除するドライブを選択し、[OK] をクリックします。**

［警告］ダイアログボックスが表示されます。

**3 ［はい］をクリックします。**

指定されたフォントディスクが削除されます。

### フォントのダウンロードを開始 / 終了する

**サーバーにフォントをダウンロードできます。ダウンロード用のプリンター名が、AppleTalk上に作成されます。**
**この間、プリントジョブの受信はされますが、RIP処理は行われません。**
**フォントダウンロードの開始と終了は、メニューの選択によって切り替わります。**

操作手順

**1 ［FX_ServerManager］ウィンドウの［ファイル］→［特別］→［フォントダウンロード開始］を選択します。**

［パスワード確認］ダイアログボックスが表示された場合は、管理者用パスワードを入力し、［OK］をクリックします。

フォントのダウンロードが開始されます。

フォントダウンロード用のプリンター名は、「XXX-Font」になります。

補足

「XXX」には、AppleTalkのプリンター名が表示されます。

**2** **ダウンロードを終了する場合は、手順 1 に戻って［フォントダウンロード終了］を選択します。**

補足
市販フォントのインストール手順については、「付録 F 市販フォントのインストール」を参照してください。

### フォントを更新する

注記
市販のフォントを追加したら、フォントの更新をしてください。フォントの更新をしないと、追加したフォントをサーバーが認識できません。

**フォントリストの更新は、メニューから実行します。**
**［ファイル］メニューの［フォントの更新］を選択すると、処理中リストに、「フォントリストの再構築中」と表示されます。処理中のジョブがある場合は、処理待ちリストに表示されます。**

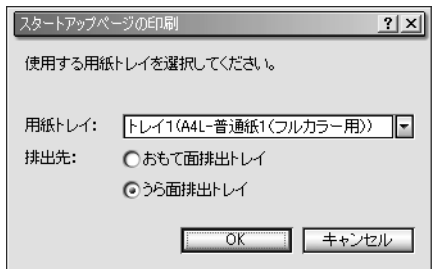
## 5.4.3 スタートアップページのプリント

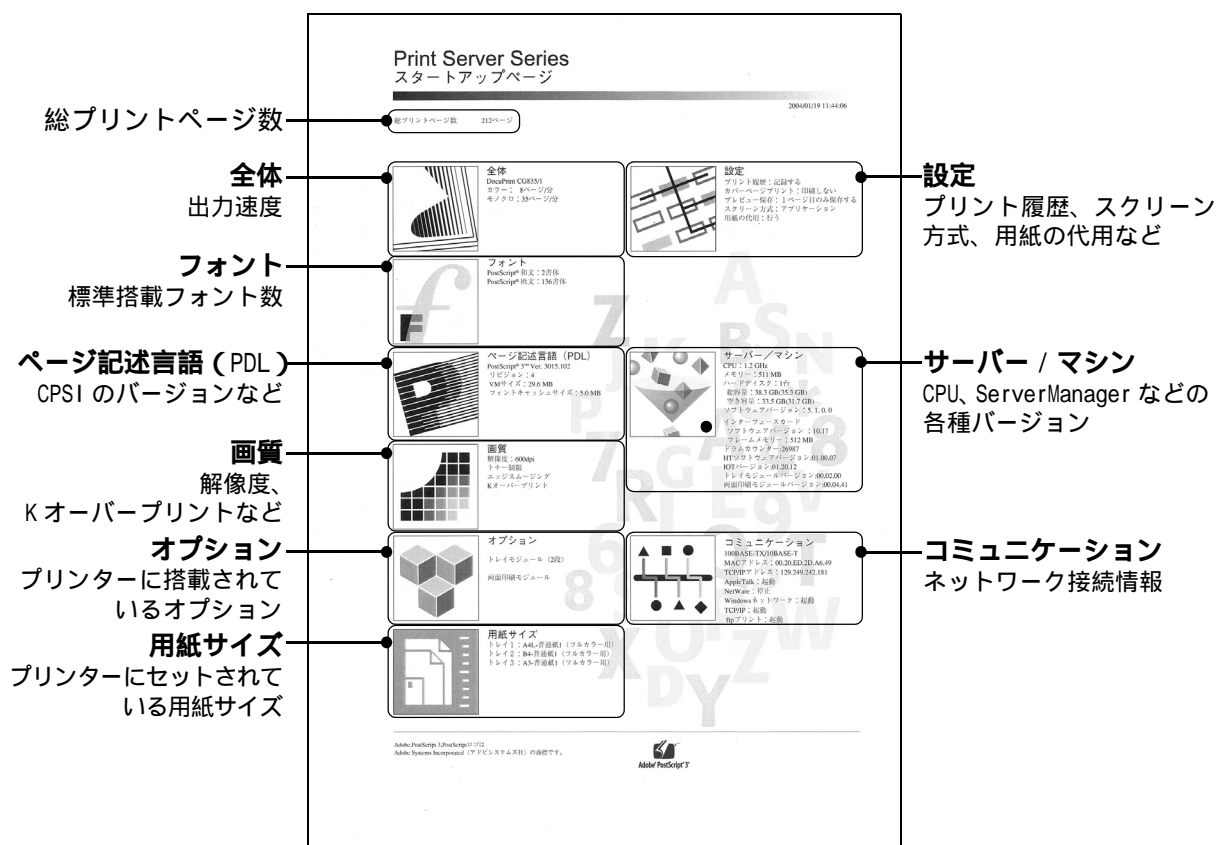
**■この機能でできること**
**スタートアップページで、サーバーのシステム情報や設定情報を確認できます。スタートアップページには、次の項目がプリントされます。**

- 総プリントページ数
- 全体
- フォント
- ページ記述言語（PDL）
- 画質
- オプション
- 用紙サイズ
- 設定
- サーバー / マシン
- コミュニケーション

操作手順

**1** **［FX_ServerManager］ウィンドウの［ファイル］メニューから［スタートアップページの印刷］を選択します。**

［スタートアップページの印刷］ダイアログボックスが表示されます。

## 2 ［用紙トレイ］、［排出先］を設定して、［OK］をクリックします。

スタートアップページがプリントされます。

補足

総プリントページ数は、リカバリー CD-ROM を使ってシステムの再セットアップをすると、「0」にリセットされます。リカバリー CD-ROM については、「付録 J リカバリー CD-ROM の使い方」を参照してください。

# リファレンス

この章では、各種ソフトウエアの主なメニュー項目について説明します。

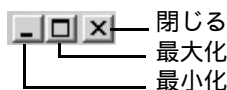
# 6.1 ServerManager

ServerManager に表示される項目について説明します。

## 6.1.1 ServerManager のウィンドウ

ServerManager は、次の 4 つのウィンドウから構成されています。

### ① FX_ServerManager ウィンドウ

ServerManager のメインウィンドウです。このウィンドウの右上のアイコンで、閉じたり、最小化 / 最大化したりした場合は、4 つのウィンドウすべてに対して実行されます。

FX_ServerManager ウィンドウの「ジョブ管理リスト」と「ステータスバー」について説明します。

参照

メニューやボタンについては、「6.1.2 ServerManager のメニュー」、「6.1.3 ServerManager の機能ボタン」を参照してください。

## ■ジョブ管理リスト

ジョブ管理リストには、サーバー内にあるすべてのジョブが表示されます。通常、文字の色は黒で表示されますが、ジョブの状態によって色文字が使われるものもあります。ジョブの状態には、次のものがあります。

### ■処理中リスト

現在サーバーでプリント処理されているジョブの一覧が表示されます。処理中ジョブのうち、プリント中のものは青い文字で、用紙切れなどが発生しているものは赤い文字で表示されます。

### ■処理待ちリスト

現在サーバーでプリント処理を待っているジョブの一覧が表示されます。

### ■保持リスト

プリント処理が終わったものなど、サーバーに保持されているジョブの一覧とジョブ数が表示されます。

### ■エラーリスト

プリント処理で、エラーが発生したジョブの一覧とジョブ数が表示されます。
エラージョブのうち、用紙切れなどプリントオプションの設定を変更する必要がないエラーが発生しているものは黒い文字で、プリントオプションの設定を変更すれば再プリントできるものはオレンジ色の文字で表示されます。また、クライアントでドキュメントを作成し直す必要があるジョブなどは、赤い文字で表示されます。
ジョブ管理リストに表示される項目は、次のとおりです。

| 項目 | 説明 | |
|---|---|---|
| ジョブ名：ジョブのドキュメント名が表示されます。<br>※ジョブ名の前には、右のようなマークが付くことがあります。 | S | セキュリティープリントの指定がされている場合に表示されます。 |
| | P | プリフライトレポートを保持している場合に表示されます。 |
| | D | RIP 処理済みデータを保持している場合に表示されます。 |
| | T | TIFF ファイルを保持している場合に表示されます。 |
| | F | フォームとして登録済みの場合に表示されます。 |
| | R | ジョブを受信中の場合に表示されます。 |
| | * | 複数のマークに該当する場合に表示されます。 |
| 所有者 | Macintosh | Macintosh の所有者名が表示されます。 |
| | Windows | Windows へのログイン名が表示されます。 |
| | NetWare | PostScript ファイルの所有者名が表示されます。 |
| | FTP | PostScript ファイルは、ファイルからユーザー名を取得できる場合に、そのユーザー名が表示されます。それ以外の場合は、「ftp ユーザー」と表示されます。 |

| 項目 | 説明 | |
|---|---|---|
| 所有者 | Lpr | PostScript ファイルは、ファイルからユーザー名を取得できる場合に、そのユーザー名が表示されます。それ以外の場合は、「lpr ユーザー」と表示されます。 |
| | DropPrint2 | Macintosh の所有者名または Windows のログイン名が表示されます。 |
| | WebManager | アップロード印刷の場合は、WebManager のログイン名が表示されます。WebManager にログインしていない場合は、「Web ユーザー」と表示されます。 |
| | ジョブの読み込み | PostScript ファイルは、ファイルからユーザー名を取得できる場合に、そのユーザー名が表示されます。それ以外の場合はログイン名が表示されます。 |
| 受信時刻 | サーバーが、クライアントからジョブを受信した時刻が表示されます。 | |
| サイズ | 受信したジョブのファイルサイズが表示されます。 | |
| ステータス | 処理中 | XX KB　RIP 中、XX/XX ページ転送中、プリント待ち、プリフライト中、プリフライト印刷中、プリント中など |
| | 処理待ち | RIP 待ち、プリフライト待ち、プリフライト印刷待ち、小冊子作成待ち、2 アップ印刷待ち、ダブルプリント印刷待ちなど |
| | 保持 | - |
| | エラー | PostScript エラー、プリンターエラー、受信時エラー、RIP エラー、コントローラーボードエラー、データベースエラーなど |
| タイプ | ジョブのファイルタイプが表示されます。 | |
| ページ・部数 | 受信したデータのページ数が表示されます。 | |

※ TCP/IP（lpr）からのプリント時、ServerManager 上で［サーバーの環境設定］を選択し、［ネットワーク］タブの［TCP/IP］の項目で［コントロールファイルを無視する］を指定している場合は、PostScript ファイル内の %%Title 欄の記述内容がジョブ名になります。

補足

リストに表示される項目の順序を変更できます。また、保持リストとエラーリストでは、各項目をキーにして、ジョブをソートして表示できます。詳しくは、「1.3.1 ServerManager のウィンドウ」を参照してください。

## ■ステータスバー

**ステータスバーには、メニューヘルプとディスク情報が表示されます。**
**［表示］メニューの［ステータスバーを表示する］を選択すると、表示 / 非表示の切り替えができます。**

### ■メニューヘルプ

**メニューを選択しているときに、その項目の説明が表示されます。**

### ■ディスク情報

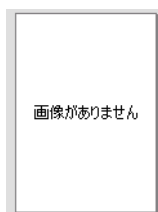
**サーバー作業用フォルダがあるディスクのスプールフォルダを含んだ全容量と、ディスク残容量が表示されます。**

### ②プレビューウィンドウ

**プレビューウィンドウには、次の項目が表示されます。**

**ボタン、または［表示］メニューの［印刷イメージをプレビュー表示する］を選択すると、表示 / 非表示の切り替えができます。**

**■プレビュー画像**

**ジョブ管理リストで選択されたジョブのプレビュー画像が表示されます。**
**ジョブにプレビュー画像がない場合や、セキュリティープリントが指定されているジョブ（ログオフおよび一般ユーザーモード時）は、次のように表示されます。**

■プレビュー画像がない場合

**ジョブ管理リストでジョブが選択されていない場合は、RIP 処理中のジョブのプレビュー画像が表示されます。**

参照

プレビューの保存方法を指定できます。「5.3.1 ServerManager の環境設定」の「プリントタブ」を参照してください。

**■保持データ**

**ジョブがデータを保持している場合は、プレビュー画像の左横にアイコンが表示されます。アイコンには、次の 3 種類があります。**

| | |
|---|---|
|  | プリフライトレポートを保持しています。 |
|  | RIP 処理済みデータを保持しています。 |
|  | TIFF ファイルを保持しています。 |

**■ページめくりボタン**

**プレビューの保存方法が［全ページ保存する］に設定されている場合で、選択したジョブが複数ページのときは、［◀］または［▶］ボタンをクリックすること、ページが前後します。**
**［|◀］ボタンをクリックすると、最初のページが表示されます。**
**［▶|］ボタンをクリックすると、最後のページが表示されます。**

### ③マシン状態ウィンドウ

マシン状態ウィンドウでは、次の項目が表示されます。

ボタン、または［表示］メニューの［マシン状態を表示する］を選択すると、表示 / 非表示の切り替えができます。

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| プリンタ | 現在のサーバーの状態が表示されます。<br>「フォントダウンロード中」、「システム再設定中」、「印刷可能」、「キャリブレーション中」、「印刷処理を停止中」、「両面印刷の微調整中」「スキャン利用中」、など |
| スキャナ | サーバーにスキャナーが接続されている場合は、現在のスキャナーの状態が表示されます。<br>「フォントダウンロード中」、「システム再設定中」、「キャリブレーション中」、「両面印刷の微調整中」「スキャン利用中」、「使用可能」、「スキャナ調整中」など<br>サーバースキャン中は、「スキャン＜起動時刻＞」が表示されます。<br>クライアントスキャン中は、「＜ユーザー名＞（IP アドレス）＜スキャン開始時刻＞」が表示されます。<br>PDF 配信アプリケーション起動時は、「PDF 配信＜起動時刻＞」が表示されます。 |
| マシン 1 | 次のような状態が表示されます。<br>「プリントできます」、「ウォームアップ中」、「電源が入っていません」、「節電中（モード 1)」、「節電中（モード 2)」、「(X/X) 枚目プリント中」、複数の部数をプリントしている場合は「(X/X) 枚目の（Y/Y）部目プリント中」、「正常に動作できません」など |

■トレイ情報

各トレイにセットされている用紙サイズ、トレイの状態、および用紙の種類が表示されます。

トレイの状態には、次のものがあります。「正常」、「補給時期」以外は、赤い文字で表示されます。使用中のトレイは青文字で表示され、左側に［ ▶］が表示されます。

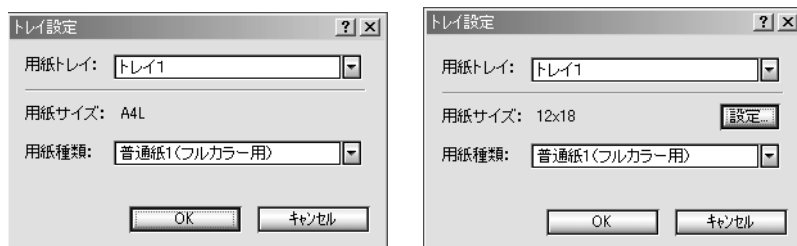
- 正常
- 故障
- 用紙切れ
- 補給時期
- 正しくセットされていません

補足

トレイ2とトレイ3は、オプションのトレイモジュールが装着されている場合に表示されます。

■[トレイ設定］ボタン

各トレイごとに用紙の種類を設定するダイアログボックスが表示されます。セットされている用紙の種類を選択してください。
また、トレイ 1 に特 A3 トレイがセットされている場合は、［用紙サイズ］の横に［設定］ボタンが表示されます。［設定］ボタンをクリックして、トレイにセットされている用紙のサイズを指定してください。

■特 A3 トレイがセットされている場合

注記

特 A3 トレイの用紙サイズに、定型サイズと同サイズのカスタムサイズを指定してプリントした場合、ServerManager でのジョブ編集などでは、用紙サイズが定型サイズとして表示されます。

■[状態の詳細］ボタン

マシン状態の詳細を示すポップアップウィンドウが表示されます。

■[節電］ボタン

節電モードのオン / オフができます。節電モードのときは、［節電解除］と表示されます。

■トナー量

各トナーの残量が、4 種類のアイコンで表現されます。

| | |
|---|---|
|  | トナーが十分にある状態です。 |
|  | トナーが残り少ない状態です。トナーカートリッジの交換時期です。 |
|  | トナーが空の状態です。トナーカートリッジを交換してください。 |
|  | トナーカートリッジがセットされていません。トナーカートリッジを正しくセットしてください。 |

■トナー回収カートリッジ

トナー回収カートリッジの状態が、4 種類のアイコンで表現されます。

| | |
|---|---|
|  | 正常な状態です。 |
|  | トナー回収カートリッジの交換時期です。 |
|  | トナー回収カートリッジを交換してください。 |
|  | トナー回収カートリッジがセットされていません。トナー回収カートリッジを正しくセットしてください。 |

■ドラムカートリッジ

ドラムカートリッジの状態が、4 種類のアイコンで表現されます。

| | |
|---|---|
|  | 正常な状態です。 |
|  | ドラムカートリッジの交換時期です。 |
|  | ドラムカートリッジを交換してください。 |
|  | ドラムカートリッジがセットされていません。ドラムカートリッジを正しくセットしてください。 |

## ④ネットワーク状態ウィンドウ

ネットワーク状態ウィンドウには、次の項目が表示されます。
ボタン、または［表示］メニューの［ネットワーク状態を表示する］を選択すると、表示 / 非表示の切り替えができます。

参照

各ネットワークの環境設定については、「5.2 ネットワーク環境の設定」を参照してください。

■種類

利用できるネットワークの種類が表示されます。
表示されるネットワークの種類には、次のものがあります。

- AppleTalk
- Windows ネットワーク
- TCP/IP
- FTP
- NetWare

■名称

FTP はフォルダー名が、それ以外はプリンター名が表示されます。

■状態

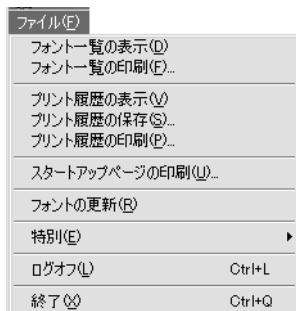
プリンターの受信状態が、受信中のものは青い文字で、エラーが発生しているものは赤い文字で表示されます。
表示される状態には、次のものがあります。

- 起動していません
- 受信中
- 正常に起動していません
- 受信待ち
- サーバーと接続できません

## 6.1.2 ServerManager のメニュー

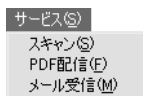
ServerManager にあるメニュー項目について説明します。

■ファイル

フォントやバックアップの操作など、主にサーバー管理者が使うメニューです。

■編集

ServerManager では、このメニュー項目は選択できません。

■サービス

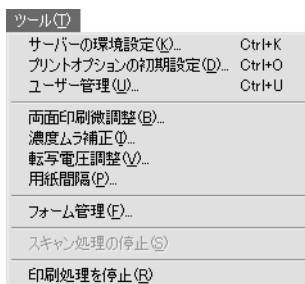
スキャン、PDF 配信、メール受信を起動するメニューです。
スキャンいついては「3.10 サーバーでイメージをスキャンする」、PDF 配信、メール受信については「4.6 PDF ファイルを送受信する（PDF 配信）」で、詳細を説明します。

■編集

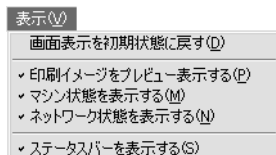
ジョブの操作ができます。よく使うメニューの 1 つです。
「6.1.4 ジョブメニュー」で、詳細を説明します。

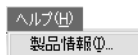
■カラー調整

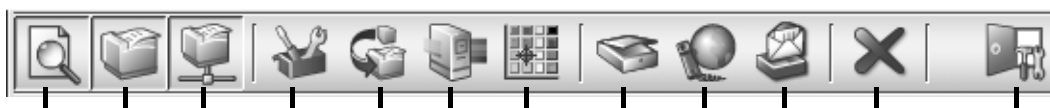
色の調整ができます。よく使うメニューの 1 つです。
「第 2 章　色の調整」で、詳細を説明しています。

■ツール

ServerManagerの環境設定やマシンの調整、フォーム管理などの操作ができます。

■表示

ステータスバーや各ウィンドウの表示を切り替えることができます。

■ヘルプ

製品情報が表示されます。

## 6.1.3　ServerManager の機能ボタン

ServerManager のメニューの一部は、次のボタンでも操作できます。

| | |
|---|---|
| ① | 印刷イメージをプレビュー表示する |
| ② | マシン状態を表示する（マシン状態がエラーの場合には、ボタンの形状が変化します。） |
| ③ | ネットワーク状態を表示する（ネットワーク状態がエラーの場合には、ボタンの形状が変化します。） |
| ④ | サーバーの環境設定 |
| ⑤ | プリントオプションの初期設定 |
| ⑥ | カラープロファイルの割り当て |
| ⑦ | 自動キャリブレーション |
| ⑧ | サーバースキャンの起動 |
| ⑨ | PDF 配信の起動 |
| ⑩ | メール受信の起動 |
| ⑪ | ジョブの削除（ジョブリストからジョブを選択して、ボタンの上にドロップすることでも削除できます。） |
| ⑫ | ログイン / ログオフ（ログイン状態によって、ボタンの形状が変化します。） |

## 6.1.4　ジョブメニュー

［ジョブ］メニューおよびポップアップメニューで使用できる項目は、次のとおりです。

| ジョブの状態 | ［ジョブ］メニュー / ポップアップメニューで使用できる項目 |
|---|---|
| 処理中 | [ジョブ編集]、[すべてのジョブを選択]、[ジョブ削除]、[優先印刷]、[停止] |
| 処理待ち | [ジョブ編集]、[すべてのジョブを選択]、[ジョブ削除]、[優先印刷]、[停止]、[プリフライトレポートの表示] |
| 保持 | [ジョブ編集]、[ジョブ複製]、[ジョブ保存]、[すべてのジョブを選択]、[ジョブ削除]、[RIP 済みデータの削除]、[RIP 済みデータの作成]、[優先印刷]、[再開]、[プリフライトレポートの作成]、[プリフライトレポートの表示]、[プリフライトレポートの印刷]、[小冊子作成]、[差込印刷]、[2 アップ]、[ダブルプリント]、[ジョブ連結の作成]、[ジョブ連結の印刷] |
| エラー | [ジョブ編集]、[ジョブ複製]、[ジョブ保存]、[すべてのジョブを選択]、[ジョブ削除]、[RIP 済みデータの削除]、[RIP 済みデータの作成]、[優先印刷]、[再開]、[プリフライトレポートの作成]、[プリフライトレポートの表示]、[プリフライトレポートの印刷]、[小冊子作成]、[差込印刷]、[2 アップ]、[ダブルプリント]、[ジョブ連結の作成]、[ジョブ連結の印刷] |

補足

一般ユーザーでログインしている場合、セキュリティープリントの指定がされているジョブに対して、［ジョブ読み込み］、［停止］以外の項目を実行するには、パスワードの入力が必要です。

参照

［小冊子作成］、［差込印刷］、［2 アップ］、［ダブルプリント］、［ジョブ連結の作成］、［ジョブ連結の印刷］については、「第 3 章 いろいろな機能の利用」を参照してください。

### ■ジョブ編集

**ジョブを選択し、ダブルクリックするか、または［ジョブ］メニューから［ジョブ編集］を選択します。表示された［ジョブ編集］ダイアログボックスで、プリントオプションを変更できます。**

### ■ジョブ複製

**ジョブを選択し、［ジョブ］メニューから［ジョブ複製］を選択します。**
**ジョブがコピーされ、保持リストに表示されます。**
**このメニューは、保持またはエラーリストにあるジョブを選択した場合にだけ使用できます。**

補足

- RIP 処理済みデータ、TIFF ファイル、およびプリフライトレポートはコピーされません。
- ［差込印刷：フォームとして登録］が設定されているジョブを複製した場合、複製されたものは［差込印刷：しない］に変更されます。
- 選択したジョブにセキュリティープリントの指定がされている場合は、そのパスワードもコピーされます。

**■ジョブ保存**

**ジョブを選択し、[ジョブ] メニューから [ジョブ保存] を選択します。**
**表示された [ジョブの保存] ダイアログボックスの [ファイルを圧縮する] チェックボックスをオンにすると、ジョブを圧縮して保存できます。**
**保存されるファイルの拡張子は、圧縮しなかった場合は「.jbf」、圧縮した場合は「.lzh」です。**
**[OK] をクリックすると、[名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されるので、保存するディレクトリを指定します。**
**保存するファイル名は、変更可能です。デフォルトは、ジョブ名です。**

**複数のジョブを選択した場合は、表示されるダイアログボックスで指定したフォルダの中に「YYMMDD-HHMMSS」フォルダ (例 :20020620-110555) が作成されます。**
**[ジョブの保存] ダイアログボックスの [ジョブ名をファイル名とする] チェックボックスをオンにすると、ジョブ名がファイル名となります。ファイル名が重複する場合は、ひとつめはオリジナルのファイル名が使われ、ふたつめ以降は、「_n」(n は 2 から) を付けて保存されます。**
**(例 :「aaa」という同じジョブ名のジョブをふたつ選択して、[ジョブ名をファイル名とする] チェックボックスをオンにしてジョブ保存すると、「aaa.XXX」と、「aaa_2.XXX」(XXX は jbf または lzh) という名称なります。)**
**ファイル名を指定する場合は、[ファイル名] にファイル名を入力します。指定したファイル名に「_n」(n は 1 から) を付けて保存されます。**
**(例 :「aaa」という同じジョブ名のジョブをふたつ選択して、ファイル名を「bbb」と入力してジョブ保存すると、「bbb_1.XXX」と「bbb_2.XXX」という名称になります。**
**このメニューは、保持またはエラーリストにあるジョブを選択した場合だけ使用できます。**

補足

- RIP 済みデータ、TIFF ファイル、およびプリフライトレポートは保存されません。
- 選択したジョブにセキュリティープリントの指定がされている場合は、そのパスワードも保存されます。
- Windows でファイル名として使用できない文字 (\ / : ? " < > |) は、自動的に "_" に置き換えられます。

**■ジョブ読み込み**

**[ジョブ] メニューから [ジョブ読み込み] を選択して、表示された [ファイルを開く] ダイアログボックスで、ファイルを指定します。**
**保持リストにジョブが表示されます。**
**読み込めるジョブは、次のとおりです。**

- **[ジョブ保存] で保存したジョブ**
- **PostScript ファイル、PDF ファイル、EPS ファイル、TIFF ファイル**
  PostScript ファイルだけ、ファイル中のプリントオプションの設定が有効になります。その他のファイルは [プリントオプションの初期設定] での指定が適用されます。

補足

ジョブおよび PostScript ファイルのプリントオプションで [差込印刷] が設定されている場合は、すべて [しない] に変更されます。

**■すべてのジョブを選択**

**ジョブを選択し、[ジョブ] メニューから [すべてのジョブを選択] を選択します。**
**選択したジョブがあるリストの、すべてのジョブが選択されます。**
**このメニューは、すべてのリストで使用できます。**

**■ジョブ削除**

**ジョブを選択し、[ジョブ] メニューから [ジョブ削除] を選択して、表示された [ジョブの削除] ダイアログボックスで、[はい] をクリックします。**

補足

ジョブを選択して、[FX_ServerManager] ウィンドウの ボタンをクリックするか、 ボタンの上にドラッグ&ドロップしても削除できます。

**選択したジョブが削除されます。このメニューは、すべてのリストで使用できます。**

補足

一般ユーザーモードでは、セキュリティープリントの指定がされているジョブを受信中に削除した場合は、ジョブがエラーリストに移動され、受信が終了するまで削除されません。

**■RIP 済みデータの削除**

**RIP 処理済みデータを持っているジョブを選択し、[ジョブ] メニューから [RIP 済みデータの削除] を選択して、表示された [RIP 済みデータの削除] ダイアログボックスで、[はい] をクリックします。**
**選択したジョブの RIP 処理済みデータが削除されます。**
**このメニューは、保持またはエラーリストにあるジョブを選択した場合にだけ使用できます。**

**■RIP 済みデータの作成**

**RIP 処理済みデータを持っていないジョブを選択し、[ジョブ] メニューから [RIP 済みデータの作成] を選択します。**
**選択したジョブの RIP 処理済みデータが作成され、ジョブが保持リストに移動されます。**
**このメニューは、保持またはエラーリストにあるジョブを選択した場合にだけ使用できます。**

補足

この機能は、プリントオプションの [RIP 済みデータの保存]、[TIFF ファイルで保存]、[プリフライト] と、[サーバーの環境設定] の [RIP 後のデータをイメージとして保存] の設定内容には影響されません。

**■優先印刷**

**ジョブを選択し、[ジョブ] メニューの [優先印刷] を選択します。**
**選択したジョブが最優先にプリントされます。**
**選択したジョブが処理中の場合は、現在プリント中のジョブの次にプリントされます。選択したジョブが処理待ちの場合は、ジョブが処理待ちリストの先頭に移動されます。RIP 処理中のジョブに対しては、優先印刷ができません。**

補足

ServerManager の [サーバーの環境設定] の [プリント] タブで、[カバーページを印刷する] を選択している場合には、処理中ジョブの優先印刷はできません。

■停止

ジョブを選択し、[ジョブ] メニューから [停止] を選択します。
処理中のジョブが停止し、保持リストの最下段に移動されます。
このメニューは、処理中または処理待ちリストにあるジョブを選択した場合にだけ使用できます。

補足
受信中のジョブを途中で停止しても、受信が終了するまで処理中リストにあるジョブは停止されません。受信終了後、次のジョブの処理(RIP)が開始されます。

■再開

ジョブを選択し、[ジョブ] メニューの [再開] を選択します。
選択したジョブが、処理待ちリストの最下段に移動されます。
また、保持またはエラーリストにあるジョブを、処理中または処理待ちリストにドラッグして移動しても、再プリントできます。
このメニューは、保持またはエラーリストにあるジョブを選択した場合にだけ使用できます。

補足
[ジョブ編集] ダイアログボックスの [出力指定] タブで [プリント終了後、保存する] を設定しているジョブは、ジョブの先頭にあるチェックボックスが自動的にオンになります。このチェックボックスをオンにしたまま再プリントすると、プリント終了後、ジョブは保持リストに戻ります。オフにして再プリントすると、プリント終了後、ジョブは保持リストに残りません。

■プリフライトレポートの作成

プリフライトとは、プリントする前に、ジョブにエラーがないかどうかを確認する機能です。プリフライトでチェックされる項目は、次のとおりです。

- ファイルサイズ
- ドキュメント名
- アプリケーション / ドライバ
- ユーザー名
- ページ数
- 用紙サイズ
- PostScript メッセージ
- 使用している色空間
- 使用しているフォント
- 使用しているスポットカラー(特色)

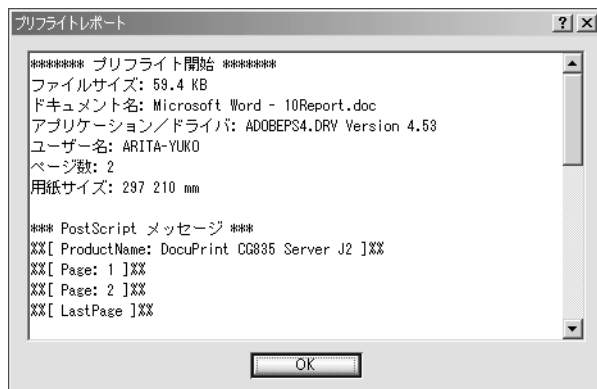
エラーをチェックするには、初めにチェック結果をプリフライトレポートとして作成する必要があります。

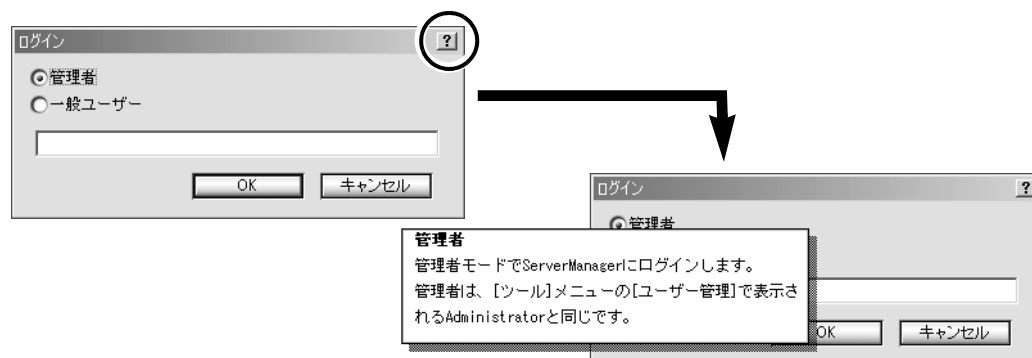
ジョブを選択し、[ジョブ] メニューから [プリフライトレポートの作成] を選択して、表示された [プリフライトレポート作成] ダイアログボックスで、[はい] をクリックします。プリフライトレポートが作成され、プリントされます。
[いいえ] をクリックすると、プリフライトレポートの作成だけが行われます。

■プリフライトレポートの印刷

ジョブを選択し、[ジョブ] メニューから [プリフライトレポートの印刷] を選択します。
選択しているジョブのプリフライトレポートがプリントされ、ジョブが保持リストの最下段に移動します。

■プリフライトレポートの表示

ジョブがプリフライトレポートを保持している場合は、そのジョブのレポートを表示して内容を確認できます。
ジョブを選択し、［ジョブ］メニューの［プリフライトレポートの表示］を選択します。
［プリフライトレポート］ダイアログボックスが表示されます。

## 6.1.5　ダイアログボックス内の項目の説明

ServerManager のメニューを選択して表示されるダイアログボックスの右上に［?］ボタンがある場合には、ダイアログボックス内の項目に関する説明を画面上で見ることができます。
［?］ボタンをクリックし、マウスポインターに「?」が付いた状態になったら、説明を表示したい項目上でクリックします。
ポップアップウィンドウで説明が表示されます。さらに、画面の任意の場所でクリックすると、ポップアップウィンドウは消えます。

# 6.2 プリントオプション

**プリントオプションの項目を、［ジョブ編集］ダイアログボックスのタブ別に説明します。**

注記

- 各項目に記載されているプリントオプションのデフォルト値は、プリンタードライバー、DropPrint2、または ServerManager の［プリントオプションの初期設定］の値です。
- ファイルタイプによって、設定できる項目が異なります。設定できない項目は、グレー表示になり、選択できないようになっています。

## 各タブ共通の項目

**［ジョブ編集］ダイアログボックスの各タブに共通する項目は、次のとおりです。**

**■出力プリンタ**

**使用するプリンターを指定します。**

**■［プリント］ボタン**

**編集したジョブを、すぐにプリントできます。**

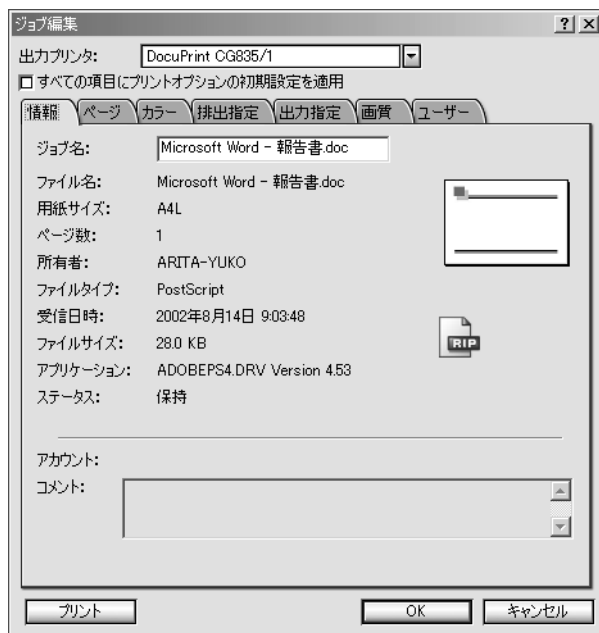
**■すべての項目にプリントオプションの初期設定を適用**

**すべての項目に対して、［プリントオプションの初期設定］で設定した値を適用したい場合は、チェックボックスをオンにします。**
**オンにすると、［ジョブ編集］ダイアログボックスで設定した値は無効になります。**

参照

［プリントオプションの初期設定］については、「5.3.6 プリントオプションの初期設定」を参照してください。

## 6.2.1 情報タブ

［情報］タブには、ジョブ名や受信日時などのプロパティ情報が表示されます。
［情報］タブで確認できる項目は、次のとおりです。

■ジョブ名

クライアントから送信されたジョブのドキュメント名が表示されます。
ジョブ管理リストに表示されるジョブ名を変更できます。

■ファイル名

ドキュメント名が表示されます。

■用紙サイズ

プリントオプションで指定したドキュメントの用紙サイズが表示されます。
また、RIP 処理をした場合は、もとの用紙サイズと最後のイメージサイズが、次のように表示されます。

• もとの用紙サイズ→最後に RIP 処理したときのイメージサイズ

用紙サイズが指定されていない場合は、「不明」と表示されます。

■ページ数

ドキュメントのページ数が表示されます。

**■所有者**

**プリントを送信した所有者名が表示されます。**
**所有者は、クライアントごとに異なります。**

- **Macintosh**
  Macintosh の所有者名が表示されます。
- **Windows**
  Windows へのログイン名が表示されます。
- **NetWare**
  PostScript ファイルの所有者名が表示されます。
- **FTP**
  ファイルからユーザー名を取得できる PostScript ファイルの場合は、ユーザー名が表示されます。それ以外の場合は「ftp ユーザー」と表示されます。
- **Lpr**
  PostScript ファイルは、ファイルからユーザー名を取得できる場合に、そのユーザー名が表示されます。それ以外の場合は、「lpr ユーザー」と表示されます。
- **DropPrint2**
  Macintosh の所有者名または Windows のログイン名が表示されます。
- **WebManager**
  アップロード印刷の場合は、WebManager のログイン名が表示されます。WebManager にログインしていない場合は「Web ユーザー」と表示されます。
- **ジョブの読み込み**
  PostScript ファイルは、ファイルからユーザー名を取得できる場合に、そのユーザー名が表示されます。それ以外の場合はログイン名が表示されます。

**■ファイルタイプ**

**ドキュメントのファイルフォーマットが表示されます。**
**ファイルタイプには、次の種類があります。**

- **PS**
- **PDF**
- **EPS**
- **TIFF**
- **SunRaster**
- **XWD**
- **不明**

**■受信日時**

**サーバーがドキュメントを受信した日時が表示されます。**

**■ファイルサイズ**

**ドキュメントのファイルサイズが表示されます。**

**■アプリケーション**

**ドキュメントを作成したアプリケーションが表示されます。**

**■ステータス**

**ジョブの処理状況や、エラーメッセージが表示されます。**
**RIP エラー、PostScript エラーの場合は、右側に表示されているは［ ▶］ボタンをクリックすると、エラーの詳細が記述されたダイアログボックスが表示されます。**

補足
エラーメッセージの内容と対処方法については、「8.2 エラージョブメッセージ一覧」を参照してください。

■プレビュー画像

ジョブがプレビューを保存している場合は、右側にある四角い枠内に、1 ページめの画像が表示されます。

■保持データ

ジョブがデータを保持している場合は、プレビュー画像の下にアイコンが表示されます。アイコンには次の 3 種類があります。

| | |
|---|---|
|  | プリフライトレポートを保持しています。 |
|  | RIP 処理済データを保持しています。 |
|  | TIFF ファイルを保持しています。 |

■アカウント

プリンタードライバーなどで指定したアカウントが表示されます。

■コメント

プリンタードライバーなどで指定したコメントが表示されます。

## 6.2.2 ページタブ

［ページ］タブには、部数や用紙サイズなど、ページ設定の情報が表示されます。
［ページ］タブで設定できる項目は、次のとおりです。

■部数

**プリントする部数を、1 ～ 999 までの値で入力できます。デフォルトは、[1] です。**

補足

DropPrint、またはアップロード印刷で、［ファイル中の設定またはサーバーの設定を使う］を指定しても、送信するファイル内で［部数］が指定されていない場合は、サーバー側の［プリンタの初期設定］で設定している［部数］の値は反映されません。

■用紙トレイ（または給紙トレイ）

**用紙トレイを選択します。**
**用紙トレイには、次の項目があります。デフォルトは、［自動選択］です。**

- **自動選択**
- **トレイ 1 ～ 3**
- **手差しトレイ**

**トレイ 1 ～ 3 には、用紙トレイにセットされている用紙のサイズと種類も表示されます。**

注記

**<［自動選択］を指定した場合の注意事項>**

- 選択される用紙トレイの優先順位は、次のとおりです。
  トレイ 1 > トレイ 2 > トレイ 3
- プリントオプションで用紙サイズと用紙種類を指定している場合は、指定が一致するトレイから給紙されます。このとき、手差しトレイは選択の対象外になります。また、用紙切れのトレイは、優先順位が最下位になります。
- 選択した用紙サイズのトレイが装着またはセットされていないときで、用紙サイズが代用されない場合は、RIP 処理を中止し、エラージョブとして処理されます。
- 用紙サイズを指定していない場合は、［プリントオプションの初期設定］で設定した［用紙サイズ］が適用されます。

補足

［トレイ 2］、［トレイ 3］は、オプションのトレイモジュールが装着されている場合に表示されます。

■ページ範囲

**ページ範囲を選択します。**
**ページ範囲には、次の項目があります。デフォルトは、［全ページ］です。**

- **全ページ**
- **奇数ページ**
- **偶数ページ**
- **ページ指定**

**［ページ指定］には、1 ～ 999 までの値を入力できます。ページの区切りはカンマ「,」で、連続したページはハイフン「-」で指定します。「-5」は、「1 ～ 5 ページまで」を、「5-」は「5 ページ以降」を表します。**

■用紙種類

**プリントに使用する用紙の種類を選択します。**
**用紙種類には、次の項目があります。デフォルトは、[普通紙 1(フルカラー用)] です。**

- **普通紙 1（フルカラー用）**
- **普通紙 2**
- **厚紙 1（98 ～ 210g/㎡）**
- **厚紙 2（98 ～ 210g/㎡）**
- **OHP フィルム**
- **OHP 合紙（白紙挿入）**
- **OHP 合紙（プリント）**
- **ラベル紙**
- **コート紙**
- **マット紙**
- **専用光沢紙**
- **はがき**
- **封筒**

補足

［用紙トレイ］が、［トレイ 1］～［トレイ 3］の場合は、［普通紙 1（フルカラー用)］と［普通紙 2］だけが有効です。

リファレンス
6

■手差し手動両面

手差しトレイを使用して、両面印刷する場合の印刷方法を指定します。
印刷面に合わせたプリンターの現像制御と、とじ方に合わせた両面印刷微調整をします。印刷目的に合わせて選択してください。
手差し両面印刷には、次の項目があります。デフォルトは、[しない]です。

- しない
- おもて面(長辺とじ)
- おもて面(短辺とじ)
- うら面(長辺とじ)
- うら面(短辺とじ)

用紙は、以下のようにセットしてください。

補足

- この項目は、[用紙トレイ]が[手差しトレイ]で、[用紙種類]が[普通紙1(フルカラー用]、[普通紙 2]、[厚紙 1(98 〜 210g/m2)]、[厚紙 2(98 〜 210g/m2)]、[コート紙]、[マット紙]、[専用光沢紙]、[はがき]の場合に有効です。
- V5.0以前のバージョンで[手差しうら面]を[する]で保存したジョブは、本バージョンでは[うら面(長辺とじ)]に変換されます。

**■用紙サイズ / イメージサイズの変更（または用紙サイズ）**

**用紙サイズを変更するときに指定します。**
**用紙サイズには、次の項目があります。デフォルトは、［変更しない］です。**

- 変更しない
- A5L
- A5
- A4L
- A4
- A3
- B5L
- B5
- B4
- 8.5x11L
- 8.5x11
- 8.5x13
- 8.5x14
- 11x17
- 12x18
- SRA3
- 328x453
- 13x18
- はがき
- 往復はがき L
- 往復はがき
- 4 連はがき L
- 4 連はがき
- 洋形 2 号
- 洋形 3 号
- 洋形 4 号
- 洋長 3 号
- A4（B6 スプレッド）
- B4（トンボなしの A5 スプレッド）
- A3（トンボなしの B5 スプレッド）
- 特 A3（A3 全面、A4 スプレッド）
- SRA3（A3 全面、A4 スプレッド）
- A2L
- B3L
- A3x2
- B4x2
- A5 ブックレット
- A4 ブックレット
- B5 ブックレット
- 8.5x11 ブックレット
- カスタムサイズ

補足

- スプレッドは Quark PDF 専用の用紙サイズです。ServerManager および、ほかのクライアントでは表示されません。
- A3x2、A2L、B4x2、B3L、ブックレットは、DropPrint2、WebManager、ServerManager では表示されません。
- A3x2/A2LまたはB4x2/B3Lを選択した場合は、1ページ分のイメージが、A3またはB4用紙2枚に分割されてプリントされます。
- A3x2、B4x2 は、「A3 ＋トンボサイズ」まで、A2L は「A3 の印字エリア× 2」、B3L は「B4 の印字エリア× 2」まで出力するためのサイズです。
- A3x2/B4x2 でのりしろをつけたいときは、「5.3.1 ServerManager の環境設定」の「●●● プリントタブ」の「■分割出力時のとじしろ量」を参照してください。

注記

A2L/B3L の用紙サイズを指定してプリントした場合、A3x2/B4x2 の用紙サイズに比べて RIP 処理に時間がかかります。

**■カスタムサイズ（またはカスタムページサイズ）**

**［用紙サイズ / イメージサイズの変更］で［カスタムサイズ］を選択したときに、用紙のサイズを入力します。カスタムサイズの単位は、「㎜」です。**
**入力できるサイズの範囲は、次のとおりです。デフォルトは、幅［297.0］、長さ［210.0］です。**

| 用紙トレイ | 入力範囲（単位㎜） |
|---|---|
| トレイ 1（特 A3 トレイがセットされている場合だけ） | 幅 :304.8 ～ 328.0　長さ：420 ～ 457.2 |
| 手差しトレイ | 幅 :90 ～ 330.2　長さ：139.7 ～ 457.2 |

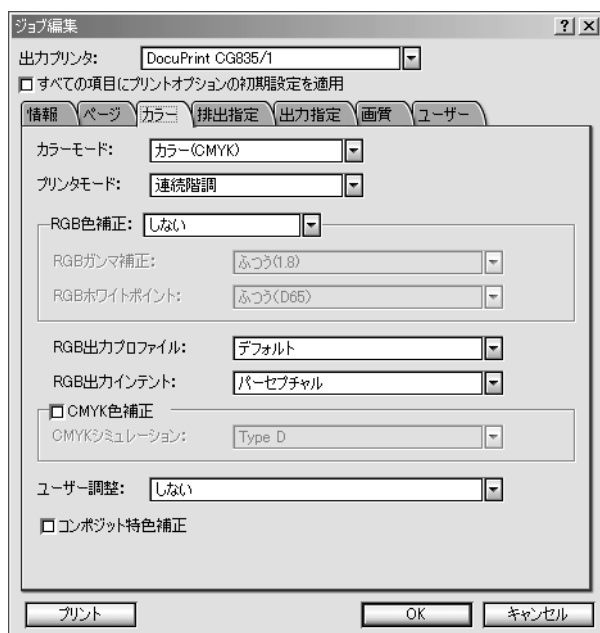
■用紙サイズに合わせる

用紙サイズに合わせて拡大または縮小してプリントするときは、チェックボックスをオンにします。
［用紙サイズ / イメージサイズの変更］で、［変更しない］以外を選択した場合に指定できます。デフォルトは、オフです。

■用紙の中心にプリント

用紙サイズを変更したときに、イメージを用紙の中央に合わせてプリントするときは、チェックボックスをオンにします。
［用紙サイズ / イメージサイズの変更］で、［変更しない］以外を選択した場合に指定できます。デフォルトは、「オフ」です。

## 6.2.3 カラータブ

［カラー］タブには、色の調整に関する情報が表示されます。
［カラー］タブで設定できる項目は、次のとおりです。

■カラーモード

カラーモードを選択します。
カラーモードには、次の項目があります。デフォルトは、［カラー（CMYK)］です。

- カラー（CMYK）
- グレースケール（K）

ドキュメントのイメージがグレースケールの場合は、どちらを選択してもほぼ同じプリント結果になりますが、［グレースケール（K)］を選択したほうが処理が速くなります。

補足

［グレースケール（K)］を選択した場合は、［RGB 色補正］、［RGB ガンマ補正］、［コンポジット特色補正］、［RGB ホワイトポイント］指定できません。

### ■プリンタモード

**プリンターモードを選択します。**
**プリンターモードには、次の項目があります。デフォルトは、［連続階調］です。**

- **連続階調**
  連続階調（各色 8 ビット）でプリントします。
- **スクリーン**
  2 値（各色 1 ビット）でプリントします。

**［スクリーン］を選択すると、カラーイメージにスクリーン処理をしてプリントします。ドキュメントの大部分が彩度の強い色を使ったカラー原稿などでは、スクリーン処理によってプリント結果が良くなることがあります。**
**［スクリーン］を選択したときに使用するスクリーン方式は、サーバーで設定します。デフォルトは、「幾何形状円形ドット」です。**

補足

**<［スクリーン］を選択した場合の注意 / 制限事項>**

- ユーザー調整カーブの設定は無効になります。スクリーンの設定については「5.3.1 ServerManager の環境設定」の「●●● スクリーンタブ」を参照してください。
- RGB色補正やCMYK色補正は正しい色味でプリントできません。RGB色補正やCMYK色補正のプロファイルは、連続階調用です。
- ［画質］タブの［原稿タイプ］が［文字 / 写真（写真優先)］、または［文字 / 写真（文字優先)］のときは、ジョブはエラーになります。

### ■RGB 色補正

**ドキュメントにある RGB 画像に対して、色補正をするかどうかを設定します。**
**［カラーモード］で［カラー（CMYK)］を選択した場合に、指定できます。**
**RGB 色補正には、次の項目があります。**

- **しない**
- **する**
- **sRGB**
- **標準（1）～（10）またはユーザー 1 ～ 10**

**［する］を選択した場合は、さらに［RGB ホワイトポイント］と［RGB ガンマ補正］が指定できます。また、［ユーザー 1 ～ 10］を選択した場合は、［RGB ガンマ補正］だけがさらに指定できます。デフォルトは、［しない］です。**

参照

ユーザー 1 ～ 10 には、サーバーで割り当てたプロファイル名が表示されます。プロファイルの割り当てについては、「2.4 RGB 用 ICC プロファイルを読み込む」を参照してください。

### ■RGB ガンマ補正

**ディスプレイの表示にプリントの色を近づけるため、ディスプレイの明るさの状態を選択することで、RGB または CIE RGB 画像に対してガンマ調整をします。**
**［RGB 色補正］で［する］または［ユーザー1～10］を選択した場合に、指定できます。**
**RGB ガンマ補正には、次の項目があります。デフォルトは、［ふつう（1.8)］です。**

- **デフォルト**
- **より明るい（1.0）**
- **明るい（1.4）**
- **ふつう（1.8）**
- **暗い（2.2）**
- **より暗い（2.6）**

補足

- ［RGB 色補正］で［する］を指定した場合、［デフォルト］を選択すると［ふつう（1.8）］が適用されます。
- ［RGB 色補正］で［ユーザー1 ～ 10］を指定した場合、［デフォルト］を選択するとユーザープロファイルのガンマ指定が適用されます。

**■RGB ホワイトポイント**

**ディスプレイの表示色とプリントの色を近づけるため、ディスプレイのホワイトポイントを選択します。**
**［RGB 色補正］で［する］を選択した場合に指定できます。**
**RGB ホワイトポイントには、次の項目があります。デフォルトは、［ふつう（D65）］です。**

- **やや黄色い（D50 Proofing）**

  ディスプレイの肌色や赤の色調が黄色に近すぎたり、青が紫に近すぎたり、または緑色が黄色に近すぎたりして見える場合に選択します。

- **ふつう（D65）**
- **やや青い（9300）**

  ディスプレイの肌色や赤の色調がマゼンタに近すぎたり、空色などの青がシアンに近すぎたり、または緑色が濃すぎたりして見える場合に選択します。

**■RGB 出力プロファイル**

**ドキュメントにある RGB、CIE カラー、L*a*b*、および XYZ などの画像の色変換に、指定したプロファイルを使用します。**
**RGB 出力プロファイルには、次の項目があります。**

- **デフォルト**
- **ユーザー 1 ～ 10**

注記

- プリントオプションの［カラーモード］で［グレースケール（K）］を設定している場合、読み込んだ RGB 出力プロファイルを適用すると、プロセスカラーでプリントされます。
- Photoshop で［ポストスクリプトカラー管理］をオンにした CMYK データやプロファイルを埋め込んだ CMYK データは CIE カラー扱いとなり、RGB 出力プロファイルの指定が適用されます。

参照

ユーザー 1 ～ 10 には、サーバーで割り当てたプロファイル名が表示されます。プロファイルの割り当てについては、「2.4 RGB 用 ICC プロファイルを読み込む」を参照してください。

**■RGB 出力インテント**

**［RGB 出力プロファイル］で指定したユーザープロファイルで使用する、変換モードを指定します。**
**RGB 出力インテントには、次の項目があります。**
**デフォルトは、［パーセプチャル］です。**

- **パーセプチャル**

  カラー画像の全体的なバランスをとりながら処理します。

- **サチュレーション**

  カラー画像の色相や彩度のバランスをとりながら再現できるように処理します。

- **相対カラリメトリック**

  再現できる色領域は色を一致させ、異なる色領域のためにプリンターで再現できない色については、もっとも近い色に再現できるように処理します。

- **絶対カラリメトリック**

  ［絶対カラリメトリック］は、入力データの白と用紙の白の調整を行わない、絶対的なモードです。適用する ICC プロファイルによっては、白いデータ部分でも、色が付いてプリントされることがあります。

■CMYK 色補正

**ドキュメントにある CMYK 画像に対して色補正をするかどうかを指定します。チェックボックスをオンにすると、さらに［CMYK シミュレーション］でプロファイルが指定できます。デフォルトは、「オフ」です。**

■CMYK シミュレーション

**プリントするときに使用するプロファイルを選択します。［CMYK 色補正］がオンの場合に、指定できます。CMYK シミュレーションには、次の項目があります。デフォルトは、「TypeD」です。**

- **TypeD**

  日本で使用されている代表的な印刷物のインク色に近づくように補正します。これにより、標準的オフセット・プロセス印刷における印刷物の色に近づくように補正できます。

- **DIC 標準色**

  印刷物の色の標準化のために大日本インキ化学工業株式会社が定めた規格です。標準的なオフセット・プロセス印刷で、印刷物の色を近似的にシミュレーションできるプロファイルです。

- **雑誌広告基準カラー**

  雑誌広告基準カラー（JMPA カラー）がシミュレーションできるプロファイルです。

- **東洋インキ標準色 ver.2.0**

  「東洋インキ標準色 ver.2.0」とは、印刷物の標準化のために東洋インキ製造株式会社が定めた規格です。「東洋インキ標準色 ver.2.0」の印刷条件は、次のとおりです。

  インキ　:　TK ハイユニティ
  イメージセッター　:　Creo Dolev 800
  印刷機　:　三菱ダイヤ 304 型
  用紙　:　パールコート 104.7g/m$^2$（三菱製紙）
  スクリーン　:　175 線 / インチ　スクエアドット

- **JapanColor2001（アート紙）**

  社団法人日本印刷学会発行の、「Japan Color 色再現印刷 2001」のアート紙（ISO 規格用紙タイプ 1）印刷がシミュレーションできるプロファイルです。

- **JapanColor2001（マット紙）**

  社団法人日本印刷学会発行の、「Japan Color 色再現印刷 2001」のマットコート紙（ISO 規格用紙タイプ 2）印刷がシミュレーションできるプロファイルです。

- **JapanColor2001（コート紙）**

  社団法人日本印刷学会発行の、「Japan Color 色再現印刷 2001」のコート紙（ISO 規格用紙タイプ 3）印刷がシミュレーションできるプロファイルです。

- **JapanColor2001（上質紙）**

  社団法人日本印刷学会発行の、「Japan Color 色再現印刷 2001」の上質紙（ISO 規格用紙タイプ 4）印刷がシミュレーションできるプロファイルです。

  JapanColor2001（上質紙）を使用した場合、黒文字が薄く再現されることがあります。［JapanColor2001（上質紙 IE オン)］を使用すると、黒文字を濃く、くっきり見せることができます。

- **DIC 標準色（IE オフ）(1)**

  ［DIC 標準色］の IE オフのカラープロファイルです。

- **雑誌広告基準カラー（IE オフ）(2)**

  ［雑誌広告基準カラー］の IE オフのカラープロファイルです。

- **色補正なし（IE オフ）(3) ～ (10)**

補足

- IE とは、Image Enhancement の略で、文字の輪郭などをくっきりさせる機能です。K100%の濃度が低い印刷環境をシミュレーションする CMYK プロファイルの場合、黒のグラデーションで、99 ～ 100%の部分に段差が目立ってしまうことがあります。このような場合には IE オフのプロファイル使用してください。ただし、Image Enhancement 機能は無効になります。Image Enhancement については、「6.2.6 画質タブ」の「■ Image Enhancement」を参照してください。
- プリンターの状態によっては、IE がオンのとき、グラデーションなどがきれいにプリントされない場合があります。この場合は、IE オフのカラープロファイルを選択してください。

参照

［JapanColor2001（上質紙 IE オン）］を使用するには、サーバーにプロファイルを割り当てる必要があります。また、プロファイル名に（1）～（10）が付いているプロファイルには、サーバーで割り当てたプロファイル名が表示されます。プロファイルの割り当てについては、「2.5.3 CMYK プロファイルの登録」を参照してください。

**■ユーザー調整**

**プリントするときに使用するユーザー調整カーブを選択します。**
**ユーザー調整には、次の項目があります。デフォルトは［しない］です。**

- **しない**
- **無調整（1）～（10）、またはユーザー調整 1 ～ 10**

参照

ユーザー調整 1 ～ 10 には、サーバーで割り当てたプロファイル名が表示されます。プロファイルの割り当てについては「2.7.2 ユーザー調整カーブの割り当て」を参照してください。

**■コンポジット特色補正**

**コンポジットカラーのジョブの場合に、アプリケーションで指定している特色インクの色とプリントの色を近づけたいときは、チェックボックスをオンにします。オフにすると、アプリケーションに内蔵されている CMYK 値でプリントされます。**
**指定した特色が、サーバーに登録されていない場合には、「PostScript エラー：undefined spot color」が発生します。**
**対応している特色は、DIC、TOYO、PANTONE です。デフォルトは、「オフ」です。**

補足

コンポジット特色補正は、分版ジョブには影響しません。分版合成で特色版が含まれる場合には、［画質］タブの［色分版の合成］を［自動］に設定してください。特色版の分版合成が行われると共に、コンポジット特色補正と同様の色補正処理が行われます。

注記

PhotoShop のダブルトーンの EPS ファイルを、QuarkXPress などのアプリケーションのレイアウトに配置した場合、QuarkXPress からのコンポジットプリントでは CIE カラーで出力されるので、コンポジット特色補正は適用されません。QuarkXPress から分版出力を行うと、特色版で出力されるので、分版合成機能の特色版合成機能により特色補正が適用されます。

## 6.2.4 排出指定タブ

**［排出指定］タブには、用紙の排出に関する情報が表示されます。**
**［排出指定］タブで設定できる項目は、次のとおりです。**

注記
プリンタードライバーの［詳細設定］ダイアログボックスでは、［排出 / 用紙種類］タブになります。

**■排出先**

**排出するときの印刷面の向きを選択します。**
**排出先には、次の項目があります。デフォルトは、［おもて面排出トレイ］です。**

- **おもて面排出トレイ**
  印刷面を上にして、サイドトレイから排出します。
- **うら面排出トレイ**
  印刷面を下にして、センタートレイから排出します。用紙サイズが B5 よりも大きく、用紙の種類が普通紙、ラベル紙の場合だけ有効です。

補足
「両面印刷」で［長辺とじ］または［短辺とじ］が指定されている場合、以下のようになります。
- 奇数ページをうら向きにして排出します。
- ［最終ページから印刷］と［排出先］の指定は無効になり、1 ページめから排出されます。

■両面印刷

**両面プリントの方法を選択します。**

注記
- プリンターにオプションの両面印刷モジュールが装着されている場合だけ、両面印刷ができます。
- 両面印刷が可能な用紙サイズは次のとおりです。また、両面印刷が可能な用紙の種類は、[普通紙1(フルカラー用)][普通紙2][厚紙1(98～210g/m2)][コート紙][マット紙]です。

  ・A4L　・A4　・A3　・B5L　・B4
  ・8.5x11L　・8.5x11　・8.5x14　・11x17　・12x18
- 厚紙やコート紙、マット紙に両面印刷をする場合は、手差しトレイにセットしてください。
- トレイ1に特A3トレイがセットされている場合は、トレイ1から給紙できません。

**両面印刷には、次の項目があります。デフォルトは、[しない]です。**

- **しない**
- **長辺とじ**

  用紙の長辺を軸に、表と裏のイメージの上方向が一致するようにプリントします。

  たて向き原稿の場合は、表と裏が同じ方向を上にして両面にプリントされ、よこ向き原稿の場合は、裏面のプリントイメージが180度回転します。
- **短辺とじ**

  用紙の短辺を軸に、表と裏のイメージの上方向が一致するようにプリントします。

  たて向き原稿の場合は、裏面のプリントイメージが180度回転され、よこ向き原稿の場合は、表と裏が同じ方向を上にして両面にプリントされます。

■小冊子作成

**小冊子作成をする場合は、チェックボックスをオンにします。デフォルトは、[オフ]です。**
**複数ページのドキュメントをプリントし、まとめて中央で2つ折りにしてとじたとき、小冊子の形になるようにプリントできます。プリントするときには、ページ番号が順番に並ぶように自動的に調整しながら、両面印刷されます。**

- **とじ方**

  とじ方を指定します。デフォルトは、[右とじ / 上とじ]です。

  小冊子の状態にしたときに、ページを開く方向をどちら側にするかを指定します。

  [右とじ / 上とじ]は、たて向き原稿の場合は右側をとじるように、よこ向き原稿の場合は上側をとじるようにプリントされます。

  [左とじ / 下とじ]は、たて向き原稿の場合は左側をとじるように、よこ向き原稿の場合は下側をとじるようにプリントされます。
- **出力範囲**

  プリントする用紙の範囲を指定します。デフォルトは、[すべて]です。

  [1枚目のみ]、[2枚目以降]は、表紙だけ厚紙などにする場合に使用します。

  [すべては]、すべての用紙をプリントします。

  [1枚目のみ]は、小冊子になったときの1枚目の用紙だけをプリントします。たとえば、8ページの原稿の場合、1、2、7、8ページが印字された用紙をプリントします。

  [2枚目以降]は、小冊子になったときの2枚目以降の用紙をプリントします。たとえば、8ページの原稿の場合、3、4、5、6ページが印字された用紙をプリントします。

- **手差しのおもて面 / うら面指定**

 手差しトレイからプリントする場合に、プリント面を指定します。デフォルトは、［自動両面］です。

 ［自動両面］は、手差しトレイから自動両面プリントができる場合に指定します。自動両面プリントできない用紙種類の場合は、［おもて面のみ］、または［うら面のみ］を指定して、片面ずつプリントしてください。

 ［おもて面のみ］は、小冊子になったときのおもて面だけをプリントします。たとえば、8ページの原稿の場合、1、8 ページが印字された用紙と 3、6 ページが印字された用紙をプリントします。

 ［うら面のみ］は、小冊子になったときのうら面だけをプリントします。たとえば、8 ページの原稿の場合、2、7 ページが印字された用紙と 4、5 ページが印字された用紙をプリントします。

補足

自動両面プリントができない用紙種類に［自動両面］を指定した場合は、［おもて面のみ］と同じ動作になります。

**■ソートする（一部ごと）**

**複数ページのドキュメントを複数部数プリントするときに、部単位でまとめてプリントする場合は、チェックボックスをオンにします。**
**デフォルトは、「オフ」です。**

**■最終ページから印刷**

**最後のページからプリントする場合は、チェックボックスをオンにします。**
**デフォルトは、「オフ」です。**

補足

［両面印刷］で、［長辺とじ］または［短辺とじ］が指定されている場合、［最終ページから印刷］の指定は無効になり、1 ページめからプリントされます。

## 6.2.5 出力指定タブ

**［出力指定］タブには、スプールや出力などに関する設定が表示されます。**
**［出力指定］タブで設定できる項目は、次のとおりです。**

注記

プリンタードライバーの［詳細設定］ダイアログボックスやDropPrint2、WebManagerでは、プリフライトレポートについて、しない / 作成 / 出力の選択ができます。詳しくは、「6.1.4 ジョブメニュー」を参照してください。

**■スプールオプション**

**送信されたジョブの出力方法を選択します。**
**スプールオプションには、次の項目があります。デフォルトは、[保存しない]です。**

- **保存しない**
  プリントしたあと、ジョブを削除します。
- **プリント終了後、保存する**
  プリントしたあと、サーバーにジョブを保存します。
- **プリントせずに保存する**
  プリントしないで、サーバーにジョブを保存します。

**■プリフライト**

**プリフライトとは、プリントする前に、ジョブにエラーがないかどうかを確認する機能です。**
**プリフライトでチェックされる項目は、次のとおりです。**

- **ファイルサイズ**
- **ドキュメント名**
- **アプリケーション / ドライバ**
- **ユーザ名**
- **ページ数**
- **用紙サイズ**
- **PostScript エラー内容**
- **使用している色空間**
- **使用しているフォント**
- **使用しているスポットカラー（特色）**

**プリフライトには、次の項目があります。デフォルトは、［しない］です。**

- **しない**
- **レポート作成**
  プリフライトレポートを作成します。
- **レポート出力**
  プリフライトレポートを作成して、プリントします。

**■受信を優先する**

**チェックボックスをオンにすると、データをすべて受信し終わってから RIP 処理を開始します。チェックボックスがオフにすると、RIP 中のデータがない場合は、受信しながら RIP 処理が行われます。デフォルトは、「オフ」です。**

補足
この機能は、クライアントから送信しているジョブにだけ有効です。

**高速 / 低速のネットワークが混在する場合（1000Base や 100Base に 10Base や無線 LAN が混在する場合）に、低速ネットワークから大容量のプリント指示をすると、送信が終わるまで RIP 処理を占有してしまい、高速なネットワークからのプリントの RIP 処理を待たせてしまうことなります。**
**低速なネットワークから大容量のプリントをする場合は、［受信を優先する］チェックボックスをオンにすると、全体の生産性を向上できます。「5.2 ネットワーク環境の設定」および「5.3.6 プリントオプションの初期設定」の「■［強制上書き］ボタン」を参照して、通常のプリンタのほかに、低速なネットワークからプリントする場合の専用のプリンターを設定し、そのプリンターに［受信を優先する］がオンになるように強制上書き機能で設定して使用すると便利です。**

**■RIP 済みデータの保存**

**RIP 処理後のデータをサーバーに保存する場合は、チェックボックスをオンにします。**
**［サーバーの環境設定］の［プリント］タブで、［RIP 後のデータをイメージとして保存］をオンに設定し、かつ［スプールオプション］で、［プリント終了後、保存する］または［プリントせずに保存する］を選択した場合にだけ有効です。**
**デフォルトは、「オフ」です。**

注記
- ［スプールオプション］で［保存しない］が選択されていると、RIP 処理済みデータは保存されません。
- ［RIP 済みデータの保存］と［TIFF ファイルで保存］の両方を選択している場合、TIFF ファイルのみ作成され、RIP 済みデータは作成されません。
- ［原稿タイプ］を［文字 / 写真（写真優先）］、または［文字 / 写真（文字優先）］から、［写真優先］、［文字優先］、［グラフ］のいずれかに変更した場合、またはその逆の変更をしたときは、RIP 処理済みデータは削除されます。

**■TIFF ファイルで保存**

**イメージングソフトなどを使用して、プリント結果をプレビューで確認したい場合に使用します。**
**ジョブのプレビュー用イメージを TIFF ファイルに保存する場合は、チェックボックスをオンにすると、TIFF ファイルがサーバーに保存されます。**
**Windows 95/98/Me、Windows NT 4.0、Windows 2000/XP からは共有フォルダを使用して、Macintosh からは ServerPreview2 アプリケーションを使用して、TIFF ファイルを取り出します。デフォルトは、「オフ」です。**

注記
［TIFF ファイルで保存］と［RIP 済みデータの保存］の両方を選択している場合、TIFF ファイルのみ作成され、RIP 済みデータは作成されません。

参照
TIFF データの取り出し方法については、「4.1 プリント結果をプレビューで確認する」を参照してください。

**TIFF ファイルは、1 ページにつき 1 ファイルが作成され、ドキュメントが複数ページある場合は、ページ数と同じだけの TIFF ファイルが作成されます。**
**作成される TIFF ファイルのファイル名は、「ジョブ名 nnn.tif」で、「nnn」には、ページ番号が入ります。**
**TIFF ファイルの解像度は、1 〜 600dpi の範囲で 1dpi 刻みに入力できます。デフォルトは、［600］です。**

■差込印刷

**差込印刷を指定したり、差込印刷に使用するフォームを登録します。**
**差込印刷については「3.3 フォームページと重ねてプリントする（差込印刷）」を参照してください。**
**差込印刷ができるジョブは、PostScript と PDF だけです。**
**差込印刷には、次の項目があります。デフォルトは［しない］です。**

- **しない**
- **フォームを使う**

  あらかじめサーバーに登録してあるフォームの番号を指定して、差込印刷をします。
  フォーム番号のデフォルトは［フォーム 1］です。
  PowerPoint など、背景に白地を出力するアプリケーションの場合、フォームデータをすべて白で上書きしてしまいます。［バックグラウンド消去］をオンにすることで、白で上書きされるのを防ぐことができます。
  ［バックグラウンド消去］のデフォルトは、「オフ」です。
  プリントオプションで、［RIP 済みデータの保存］をオンに設定している場合は、フォームと合成後に RIP 処理済みデータが保存されます。

- **フォームとして登録**

  フォーム番号を指定して登録します。フォームの登録名をジョブ名から変更する場合は、新しいフォーム名を指定します。
  RIP 処理済みデータが自動的に作成されます。

■差込印刷－強制上書き

注記

この項目は、プリンタードライバーの［詳細設定］ダイアログボックスや DropPrint2 で、ジョブをフォームとして登録する場合に指定します。ServerManager のプリントオプションには、ありません。

**［差込印刷－フォーム番号］で指定したフォーム番号がすでに登録済みの場合、チェックボックスをオンにしていると、登録されていたフォームの差込印刷を解除し、指定したフォームを登録し直します。チェックボックスがオフの場合は、指定したフォーム番号がすでに登録済みのときは登録できません。ジョブはエラーリストに移動されます。**
**ただし、チェックボックスをオンにしていても、登録済みのフォームにセキュリティープリントの指定がされていた場合は、登録できません。指定したジョブは差込印刷が解除されてエラーリストに移動されます。**

■メモ書き

**ジョブに、カラーパッチやコメントなどを重ねてプリントします。**
**パッチの設定や、オプションメモで使用するフォントなどを変更できます。**
**「付録 C.6 メモ書きの変更」を参照してください。**
**メモ書きには、次の項目があります。デフォルトは［しない］です。**

- **しない**
- **カラーパッチ**

  CMYK およびプロセスブラックについて、100%、50%、10%の 3 種類、計 15 パッチが、各 1 × 1cm の大きさでプリントされます。

- **オプションメモ**

プリントオプションの設定をプリントします。
次の項目について、デフォルト値から変更した場合に、変更値がプリントされます。

| | | |
|---|---|---|
| ・RGB 色補正 | ・RGB ガンマ補正 | ・RGB ホワイトポイント |
| ・RGB 出力プロファイル | ・RGB 出力インテント | ・CMYK シミュレーション |
| ・ユーザー調整 | ・コンポジット特色補正 | ・2 色印刷シミュレーション |
| ・Image Enhancement | ・トラッピングの自動処理 | |
| ・スムージング | ・原稿タイプ | ・画質モード |

- **コメント**

［メモ書きーコメント］で指定した文字列をプリントします。

- **カスタム**

独自の形式のメモ書きを設定することができます。設定の方法は、「付録 C.6 メモ書きの変更」を参照してください。
デフォルトでは、ジョブごとに、日付と番号がプリントされます。複数部数の設定および複数ページのドキュメントでは、すべてのページに同じ番号がプリントされます。この番号は、RIP 処理のたびに、またキャンセル、エラー、および Windows からのフォントダウンロードのときにも、カウントアップします。
この番号は、カンプ番号を想定したものです。複数部のプリント出力を行い、自分と先方、あるいは複数部署で校正するような場合、編集や修正によるバージョンの不整合が発生しないように、この番号で確認できます。

**■メモ書きー上書き**

**チェックボックスをオンにすると、ジョブの上にメモを重ねてプリントします。オフにすると、メモの上にジョブを重ねてプリントします。
デフォルトは、「オフ」です。**



## 6.2.6 画質タブ

**［画質］タブには、原稿タイプや各種警告機能などの設定が表示されます。
［画質］タブで設定できる項目は、次のとおりです。**

### ■原稿タイプ

**原稿タイプを選択します。デフォルトは、［写真優先］です。**

- **写真優先**

  写真のように中間調データが多く含まれているドキュメントの場合に指定します。階調が重視されたプリント結果になります。

- **文字優先**

  ドキュメント内に、中間色の文字や図形を多く含む場合に指定します。中間色の図形の品質が重視されたプリント結果になります。

- **グラフ**

  グレースケールのドキュメントやグラフのように細部をくっきりさせたいときに指定します。写真や文字が多く含まれるようなドキュメントには向いていません。

- **文字 / 写真（写真優先）**

  写真などのビットマップデータや塗りつぶしデータ、文字や線図形などデータが、それぞれのデータに適した処理に切り替えられてプリントされます。
  写真などのビットマップデータや塗りつぶしデータは、階調重視のプリント結果になります。

- **文字 / 写真（文字優先）**

  写真などのビットマップデータや塗りつぶしデータ、文字や線図形などデータが、それぞれのデータに適した処理に切り替えられてプリントされます。
  写真などのビットマップデータや塗りつぶしデータは、中間色の図形の品質が重視されたプリント結果になります。

### ■画質モード

**画質モードを選択します。デフォルトは、［標準］です。**

- **標準**

  用紙サイズや印刷面にかかわらず、600 × 600dpi で処理されます。

- **グラフィックス**

  A4 サイズ以下の片面 / 両面印刷、および A4 サイズより大きい片面は 600 × 300dpi で、A4 サイズより大きい両面の場合は 300 × 300dpi で処理されます。

- **ドラフト**

  用紙サイズや印刷面にかかわらず、300 × 300dpi で処理されます。出力解像度が標準より低いので、処理が速くなります。最終出力前のドラフトプリントや、Windows からのプリントで解像度が制限される場合に選択してください。

補足

- ［標準］でプリントしたとき、出力画像が複雑でイメージが画像メモリーに入りきらず、ジョブがエラー（コントローラーボードエラー（1031））で終了した場合は、［グラフィックス］を選択します。
- 頻繁にコントローラーボードエラー（1031）が発生する場合には、拡張メモリーオプションを購入することをお勧めします。

### ■トラッピングの自動処理

**アプリケーションにトラッピング機能がない場合でも、文字や図形に対して自動的にトラッピング処理を行うことができます。**
**メモ書き機能で印字されるカラーパッチやコメントがイメージの上に描画される場合にも、カラーパッチやコメントがトラッピングされます。**
**デフォルトは、「オフ」です。**

補足

- ［トラッピングの自動処理］は、製版時のトラッピングをシミュレーションする機能ではありません。トラッピング処理を行えないアプリケーションからのプリントで、図形や文字の重なり部分に白い隙間が目立つような場合に、プリントの見栄えを向上させるための機能です。
- InDesignなどのAdobe In-RIPトラッピングを指定できるアプリケーションで、プリント時に Adobe In-RIP トラッピングを指定する場合には、トラッピングの自動処理はオフにしてください。InDesign での指定により、Print Server に内蔵されている Adobe In-RIP トラッピングの機能がオンになります。InDesign 2.0 では、プリント時に色分解（In-RIP）を指定すると、Adobe In-RIP トラッピングが指定できます。
- ［カラーモード］に［グレースケール（K）］が指定されている場合は無効になります。
- 分版合成モードのジョブに対しては無効になります。
- 差込印刷のフォームとデータの重なり合いへのトラッピング処理は行われません。
- スムージング処理は、トラッピング処理の結果に対して行われます。

### ■Image Enhancement

**Image Enhancement は、K100%の文字や図形のエッジを滑らかにプリントするための機能です。通常は、「オン」で使用します。デフォルトは、「オン」です。**

補足

- CMYK プロファイルで、IE オフのプロファイルを選択している場合、Image Enhancement 機能は無効になります。
- プリンターの状態によっては、IE がオンのとき、黒の 99 〜 100%の部分のグラデーションがきれいにプリントされない場合があります。この場合は、IE をオフにしてください。
- ユーザー調整カーブでK100%の濃度を下げてプリントしたいときには、IEをオフにしてください。IE がオンの場合には、K100%の濃度はユーザー調整カーブでは下げることができません。

### ■グレースケールの自動検出

**自動的に白黒ページを判別させ、プリント速度の速い［グレースケール（K）］モードでプリントする場合は、チェックボックスをオンにします。**
**少量のカラーページを含む複数ページのドキュメントをプリントする場合などに、プリント時間を短縮できます。**
**全ページにカラーデータがあるジョブの場合は、オフにします。**
**デフォルトは、「オン」です。**

### ■スムージング

**スムージングをする場合は、チェックボックスをオンします。**
**スムージングをオンにすると、K の線や文字にアンチエイリアス効果がかかります。デフォルトは、「オフ」です。**

補足

- この機能は、［プリンタモード］が［連続階調］の場合に有効です。
- IE を有効にして文字や線の輪郭の品質を向上させたい場合には、スムージングをオフにしてください。IE がオフのとき、文字や線の輪郭をなめらかに見せたい場合は、スムージングをオンにしてください。IE とは、Image Enhancement の略で、文字の輪郭などをくっきりさせることをいいます。

**■K オーバープリント**

**ブラック 100%で文字やグラフィックをプリントするときに、オーバープリントする場合は、チェックボックスをオンにします。抜き合わせでプリントしたい場合は、オフにします。デフォルトは、「オフ」です。**

補足

この機能は、フォントや線などに有効であり、イメージには無効です。

**■RGB 画像警告**

**色分版出力などで問題の発生する RGB および CIE 画像を、警告色でプリントして警告します。RGB イメージや RGB オブジェクトなどの RGB 画像をマゼンタで、CIE 画像はシアンの警告色でプリントします。[カラーモード] が [グレースケール(K)] の場合には、RGB 画像警告機能は無効になります。デフォルトは、「オフ」です。**

補足

CIE 画像とは、CIE 色空間で色を記述した画像のことです。たとえば、Photoshop でポストスクリプトカラー管理機能をオンにすることによって、RGB 画像は自動的に CIE 画像に変換されます。また、CMYK 画像はカラープロファイルを埋め込んだ形で CIE 画像に変換されます。

**コンポジットプリンターへの出力で、RGB の PostScript コードを出力するアプリケーションは、分版出力を行うとき RGB 画像を白黒画像で出力してしまいます。このため、コンポジットプリンターへの出力ではカラーでプリントされても、オフセット印刷などのための分版出力では白黒で印刷されてしまう場合があります。**
**また、Photoshop でポストスクリプトカラー管理をオンにして作成した CMYK 画像(CIE 画像:カラープロファイルが埋め込まれている)は、コンポジットプリンターへの出力では埋め込まれたカラープロファイルが適用されますが、分版出力ではカラープロファイルが適用されず、色再現に差違が生じてしまう場合があります。**
**この機能を使用すれば、オフセット印刷(分版出力)を行うとコンポジットプリンターとは異なる結果になってしまうような画像を事前に検出できます。**

注記

Macintosh クライアントの場合、CMYK 画像を扱えるアプリケーションからのプリントで RGB 画像警告の指定が有効になります。RGB 画像しか扱えないアプリケーションからのプリントでは、RGB 画像警告は無効になります。初期状態で登録してある CMYK 画像が扱えるアプリケーションは、Illustrator、QuarkXPress、PageMaker、および InDesign です。

補足

- RGB 画像警告機能は、コンポジットカラープリントのジョブに対して有効です。アプリケーションから色分版出力している場合には、アプリケーションが RGB や CIE 画像を K のみなどの画像として出力するので、イメージセッターなどへ色分版出力している場合と同様のプリントになります。
- [RGB 画像警告] が指定されている場合は、[RGB 色補正] の指定は無視されます。

参照

次のとおり、デフォルトの設定値をカスタマイズできます。「付録 C　画像に対する警告値とメモ書きの設定」を参照してください。
- 対象とする Macintosh アプリケーションの追加
- Windows クライアントからのプリントには、RGB 画像警告機能が働かないように設定

■RGB 黒を K に置換

RGB 黒をブラック 100%に置き換えてプリントしたい場合は、チェックボックスをオンにします。
RGB モードで作られた CMYK 混色の黒を、純粋な黒トナー（C=M=Y=0%、K=100%）に置き換えてプリントするので、ぼやけて見える CMYK 混色の黒を、K だけのはっきりとした黒にできます。
Windows 95/98/Me、Windows NT 4.0、Windows 2000/XP の場合、デフォルトは、「オン」です。Macintosh の場合、デフォルトは、「オフ」です。

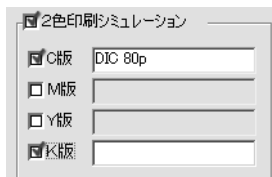
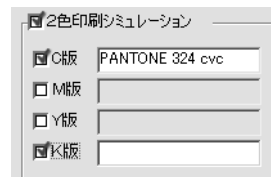
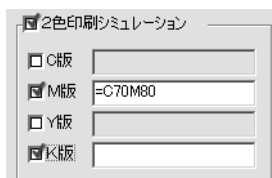
■RGB グレーを K に置換

RGB グレーを K 単色のグレーに置き換えてプリントしたい場合は、チェックボックスをオンにします。
RGB モードで作られた CMYK 混色のグレーを、純粋な黒トナー（C=M=Y=0%）に置き換えてプリントするので、ぼやけて見える CMYK 混色のグレーを、K だけのはっきりとしたグレーにできます。
Windows 95/98/Me、Windows NT 4.0、Windows 2000/XP の場合、デフォルトは、「オン」です。Macintosh の場合、デフォルトは、「オフ」です。

補足
この機能は、フォントや線などに有効であり、イメージには無効です。

■2 色印刷シミュレーション

チラシなどで使用される 2 色印刷において、CMYK のうちのいずれかのプロセスカラーを特色に見立ててレイアウトしたドキュメントを、実際に使用する特色インキの色でシミュレーションしてプリントする場合に使用します。チェックボックスをオンにすると、さらに、レイアウト上の CMYK を置き換える特色名、または CMYK 色を指定できます。
特色名は、Illustrator などのアプリケーションで指定する名称と同じです。また、CMYK 色を指定する場合は、「=」に続けて、色とパーセント数値を使用して指定します。
特色名が空欄の場合は、指定した色版がそのままの色でプリントされます。
デフォルトは、「オフ」です。
指定例）

- レイアウト上のシアンを特色に置き換えて、ブラックと 2 色でプリントする

＜ DIC の場合＞ ＜ TOYO の場合＞ ＜ PANTONE の場合＞

- レイアウト上のマゼンタを、シアンが 70%でマゼンタが 80%の色に置き換えて、ブラックと 2 色でプリントする

注記

- CMYK のうち印刷のためのチェックをしていない色のオブジェクトをプリントしようとした場合には、そのオブジェクトはプリントされませんが、印刷される色部分にはそのオブジェクトのノックアウト効果による白い影ができます。
- [ヘアライン警告]で[抽出]、または[オーバープリント警告]で[抽出]を指定している場合、抽出すべきオブジェクトの色にチェックがされていない場合には、そのオブジェクトの抽出結果はプリントされません。
- 分版ジョブに対してServerManagerのプリントオプションで色分版の合成を指定していない場合には、K だけのプリントになります。このときに 2 色印刷シミュレーションを指定して、K を出力しない設定になっていると、白紙がプリントされます。
- 特色が使われているジョブをコンポジットモードで出力した場合に、2 色印刷シミュレーションを指定すると、特色を CMYK で表現した値に対して 2 色印刷シミュレーションが行われるため、特色とは異なる色になってしまいます。2 色印刷シミュレーションでは、特色を使用しないように設定するか、または分版出力を行ってください。分版出力では、2 色シミュレーションモードでも特色は特色のシミュレーションが行われて出力されます。
- 2 色印刷で[ヘアライン警告]または[オーバープリント警告]に[警告色]が指定されている場合(コンポジットプリント時)、[2 色印刷シミュレーション]で CMYK のうちの選択されていない色のオブジェクトであっても、警告色で警告は行われます。
- InDesign 1.0 のコンポジット出力では、トンボは単色 K で出力されるので、トンボを出力するには K 版を出力するように設定してください。
- InDesign 2.0 や Illustrator 9.0/10.0 のコンポジット出力では、レジストレーションカラーで指定されたオブジェクト(トンボも含む)は、2 色印刷シミュレーションの対象とはなりません。その場合、[オーバープリント警告]で[再現]を選択すると 2 色印刷シミュレーションが行われます。
- PDF内のオーバープリントが指定されているオブジェクトは、2色印刷シミュレーションの対象となりません(セパレーションカラースペースが指定されるため)。その場合、[オーバープリント警告]で[再現]を選択すると 2 色印刷シミュレーションが行われます。

### ■色分版の合成

**各色の版を合成するスタイルを選択します。**
**色分版の合成には、次の項目があります。デフォルトは、[自動]です。**

- **自動**
- **しない**
- **QuarkXPress-4Style**
- **QuarkXPress-3Style**
- **PageMaker Style**
- **FreeHand Style**
- **Canvas Style**
- **Illustrator Style**
- **InDesign Style**
- **コンポジット分解**

**[自動]の場合、特色版の合成にも対応できます。対応している特色は、DIC、TOYO、PANTONE です。**

補足

[プリンタモード]で[スクリーン]が指定されている場合は、[サーバーの環境設定]の[スクリーン]タブで設定するカスタムスクリーンの設定値が自動的に適用されます。

### ■ヘアライン警告

**警告幅より細い線を、抽出、消去、または警告色でプリントします。オフセット印刷で消えてしまったり、かすれてしまったりする可能性のある線を検知できます。検知する線幅は、[警告幅]で指定します。**

注記

- Illustratorなどで作成したEPSファイルを縮小して割り付けた場合、縮小後の線幅もヘアライン警告で検出できます。
- PageMakerは、線幅の指定をデバイスの1ピクセル幅単位にまるめて出力するので、600dpiのプリンターに対しては0.12ptよりも細い線を出力しません。このため、PageMakerで作成した描画オブジェクトには、ヘアライン警告機能が正しく適用されません。
なお、PageMakerに割り付けたEPSファイルに含まれる細線には、正しく適用されます。
- **＜2色印刷シミュレーションが指定されている場合＞**
コンポジットモードの場合、警告色の色版は2色印刷シミュレーションの指定にかかわらず出力されます。分版出力モードの場合は、警告色の色版が2色印刷シミュレーションで指定されている版にだけ出力されます。
- InDesign 1.0/2.0で、鉛筆ツールや楕円形ツールで描いた曲線にグラデーションで塗りを指定したオブジェクトは、ヘアライン警告機能では検出できません。
- Illustratorで、曲線にパターンで塗りを指定したオブジェクトにはヘアライン警告は有効ですが、警告色の場合には、警告幅での曲線は外形がギザギザになります。
- Illustrator 9.0/10.0で、「コンポジットプリントでのオーバープリントを無視」をオフにして出力すると、Illustratorが線オブジェクトを塗り、図形オブジェクトに変換してしまうので、ヘアライン警告機能が無効になる場合があります。「コンポジットプリントでのオーバープリントを無視」をオンにすれば、レイアウトした線はそのまま出力されるので、ヘアライン警告機能が有効になります。
- Illustrator 9.0は、EPS作成時に線オブジェクトを塗り、図形オブジェクトに変換してしまうことがあります。その場合は、Illustrator 9.0.2を使用してください。

補足

- この機能は、フォントや線などに有効であり、イメージには無効です。
- Illustratorなどで作成したEPSファイルを縮小して割り付けた場合、縮小後の線幅もヘアライン警告で検出できます。
- **＜下地がある場合のヘアライン警告の消去＞**
ヘアライン警告機能の消去は、警告されるオブジェクトの下地に別のオブジェクトが存在する場合には、ヘアラインオブジェクトを消去したうえで、下地のノックアウト（下地への白い線の描画）も行わないようにしています。これは、下地に対する細い白抜きはつぶれてしまい再現されないという現象をシミュレーションするものです。
この機能は、コンポジットモードだけではなく、分版合成モードでも有効です。



**ヘアライン警告には、次の項目があります。**

- **警告色**

細線を、警告のための色と太さでプリントします。また、IllustratorやInDesignなどで作成できる、幅のない直線fillは、警告のための色と鎖線パターンでプリントします。
初期設定の警告色は、マゼンタ100%、3ポイント幅です。また、グレースケールモードでは、60%、20ポイント幅です。

参照

分版合成モードの警告色および設定を変更する場合は、「付録C 画像に対する警告値とメモ書きの設定」を参照してください。

- **消去**

細線を消去してプリントします。

- **抽出**

ドキュメントから、細線だけを抜き出してプリントします。細線がない場合は、白紙でプリントされます。

### ■ヘアライン警告－警告幅

**ヘアライン警告を適用するオブジェクトの幅を、0.000 ～ 0.999 ポイントの間で指定できます。**

### ■オーバープリント警告

**オーバープリントまたはトラッピングが指定されているオブジェクトを、抽出または警告色でプリントします。グレースケールモードにも指定できます。**
**オーバープリント警告には、次の項目があります。**

- **警告色**

 オーバープリントが指定されている部分を、警告色でプリントします。
 警告色のデフォルトは、シアン 30%、マゼンタ 70%、イエロー 30%です。グレースケールモードでは、70%です。

注記

- アプリケーションからコンポジット出力を設定した場合にだけ、有効です。
- 分版合成モード（InDesign で指定できる InRIP セパレーションモードも含む）では、オーバープリントやトラッピングが指定どおりにプリントされるため、オーバープリント警告機能を設定しても、自動的に無効になります。
- 白オブジェクトにオーバープリントを設定しても何も効果がないので働かないようにように設定してあります。また、白オブジェクトに対するチョーク指定のトラッピングは効果があるので警告を行いますが、白オブジェクトに対するスプレッド指定は何も効果がないので、警告しないように設定してあります。
 設定を変更する場合は、「付録 C 画像に対する警告値とメモ書きの設定」を参照してください。
- Illustrator 9.0/10.0 は、オーバープリントをシミュレーションして出力するので、[オーバープリント警告］は、働きません。
- PageMaker および InDesign では、紙白に対してオーバープリント警告機能が働かないように設定してあります。これは、オーバープリントかつ紙白を設定してプリントすると、白のノックアウトの PostScript コードが、必ず出力されるためです。
- 2色印刷シミュレーションが指定されている場合、警告色の色版は2色印刷シミュレーションの指定にかかわらず出力されます。
- InDesign2.0 には、分版出力を行わなくとも、InDesign2.0 自身がオーバープリントと同様となるオブジェクトをコンポジット出力でも出力してくれるモード、「オーバープリント処理」という機能があります。この場合には、アプリケーションからオーバープリントを行ったように見えるコンポジット出力のオブジェクトを出力してくるので、オーバープリント警告機能は働きません。
- QuarkXPress3.3Jで、プリンターの設定ファイルとしてPPDファイルを使用しているときには、オーバープリント警告機能は働きません。プリンターの設定ファイルには、PDF ファイル（QuarkXPress3.3 用のプリンター設定ファイル）を指定してください。

参照

次のとおり、デフォルトの設定値をカスタマイズできます。「付録 C 画像に対する警告値とメモ書きの設定」を参照してください。
- 警告色の変更
- 白色のオブジェクトに対する設定
- グレースケールモード用の設定

• **抽出**

ドキュメントから、オーバープリントを設定している部分だけを抜き出して、プリントします。設定している部分がない場合は、白紙でプリントされます。

参照

白いオーバープリントオブジェクトは、そのままの色では抽出したことがわからないので、黒20%で抽出描画するようになっています。描画色を変更する場合は、「付録C 画像に対する警告値とメモ書きの設定」を参照してください。

• **再現**

アプリケーションで指定したオーバープリントやトラッピングの指定は、アプリケーションから分版出力することで有効になり、PrintServerSeries の分版合成機能を使用すればカラーでオーバープリントやトラッピングを再現することができます。

オーバープリント警告の再現機能では、コンポジットプリントでも、アプリケーションで指定したオーバープリントやトラッピングを検出してシミュレーションすることが可能です。大きなデータでは、送信時間がかかる分版出力を行わなくても、コンポジットプリントでオーバープリントやトラッピングの確認ができます。

注記

- オーバープリントの再現は、アプリケーションからの分解版の出力と同様に、RGB や CIE カラーのオブジェクトには効きません。DeviceCMYK または DeviceGray で指定されているオブジェクトにだけ、オーバープリントが再現できます。
- RGBやCIEカラーのオブジェクトは、アプリケーションの分版出力ではグレーでプリントされますが、オーバープリント警告の再現機能ではカラーでプリントされます。オフセット印刷のときに分版出力を使用するのであれば、オーバープリント警告の再現機能を使用するのと同時に、［RGB 画像警告］をオンにして、RGB や CIE カラーのオブジェクトを警告色でプリントするように設定することを、お勧めします。
- 分版出力で特色版を出力するのと同様に、特色のオーバープリントやトラッピングを再現したい場合には、［コンポジット特色補正］をオンにしてプリントしてください。
- オーバープリント警告の再現機能は、コンポジットプリントでも分版出力と同様にアプリケーションで指定したオーバープリントやトラッピングを再現しようとするものですが、以下のような場合には多少の違いが生じます。詳細は、「付録C.4 オーバープリント再現モードの設定」を参照してください。
  - ・QuarkXPress でトラッピングを設定した場合のうち、次の場合は、スプレッドが設定されたものとして再現されます。
    - ・フォントにチョークを設定した
    - ・多角形画像ボックスにチョークを設定した
    - ・ベジェ画像ボックスにチョークを設定した場合

    また、線 / 丸 / 四角画像ボックスにチョークを設定した場合には、チョークで再現されます。
  - ・オーバープリントは制限なく再現可能です。また、PageMaker や InDesign でも制限なく再現可能です。
- オーバープリント警告の再現モードでは、RGB 色補正や CIE カラーのオブジェクトは、RGB または CIE カラーの色補正のあとに CMYK 色補正が適用されます。RGB 色補正やコンポジット特色補正を適当な色でプリントしたい場合には、印刷環境用の RGB 色補正プロファイルを登録して使用してください。
- オーバープリント警告の再現モードで、ヘアライン警告の警告色と 2 色印刷シミュレーションが同時に指定されている場合には、ヘアライン警告の警告色は、InRIP セパレーションモードの警告と同じような色になります。InRIP セパレーションモードの警告色については、「付録C.2 ヘアライン警告色の設定」を参照してください。

# 6.2.7 グラフィックスタブ

**［グラフィックス］タブで設定できる項目は、次のとおりです。**

注記

［グラフィックス］タブは、DropPrint2 や WebManager で次のファイルをプリントするときに設定できます。また、ServerManager では、次のファイルを DropPrint2 や WebManager でサーバーに送信した場合にだけ、表示されます。

- TIFF
- EPS
- SunRaster
- XWD

ジョブ編集
出力プリンタ: DocuPrint CG835/1
すべての項目にプリントオプションの初期設定を適用
情報 ページ カラー 排出指定 出力指定 画質 グラフィックス ユーザー
プリント方向
縦
横
用紙
自動
カスタムサイズ: 幅 297.0 mm 長さ 210.0 mm
解像度: 600 dpi (50-1200)
用紙の中心にプリント
用紙サイズに合わせる
白黒反転
イメージのタイトル
なし
ファイル名
テキスト入力
プリント OK キャンセル

**■プリント方向**

**プリントする方向を選択します。**
**プリント方向には、次の項目があります。デフォルトは、［縦］です。**

- **縦**
- **横**

補足

この項目は、EPS と TIFF ファイルだけ有効です。

### ■用紙（または用紙サイズ）

**プリントに使用する用紙サイズを選択します。**
**用紙には、次の項目があります。デフォルトは、［自動］です。**

- 自動
- A5L
- A5
- A4L
- A4
- A3
- A2L
- A3x2
- B5L
- B5
- B4
- B3L
- B4x2
- 8.5x11L
- 8.5x11
- 8.5x13
- 8.5x14
- 11x17
- 12x18
- SRA3
- 328x453
- 13x18
- はがき
- 往復はがき L
- 往復はがき
- 4 連はがき L
- 4 連はがき
- 洋形 2 号
- 洋形 3 号
- 洋形 4 号
- 洋長 3 号
- A4（B6 スプレッド）
- B4（トンボなしの A5 スプレッド）
- A3（トンボなしの B5 スプレッド）
- 特 A3（A3 全面、A4 スプレッド）
- SRA3（A3 全面、A4 スプレッド）
- カスタムサイズ

補足

- SunRaster と XWD ファイルの場合、A2L/B3L、A3x2/B4x2 を指定すると、エラージョブとなります。
- スプレッドは Quark PDF 専用の用紙サイズです。ServerManager および、ほかのクライアントでは表示されません。

注記

A2L/B3L の用紙サイズを指定してプリントした場合、A3x2/B4x2 の用紙サイズに比べて RIP 処理に時間がかかります。

### ■解像度

**元のイメージの解像度を、dpi で指定します。**
**50 ～ 1200 までの値を入力できます。デフォルトは、［600］です。**

補足

- この項目は、SunRaster と XWD ファイルだけ有効です。
- ［用紙サイズに合わせる］がオンになっている場合、解像度指定は適用されません。

### ■用紙の中心にプリント

**用紙の中央にドキュメントをプリントします。デフォルトは、「オン」です。**

補足

この項目は、EPS と TIFF ファイルだけ有効です。

### ■用紙サイズに合わせる

**指定した用紙サイズに合わせて、ドキュメントを拡大または縮小してプリントします。デフォルトは、「オフ」です。**

### ■白黒反転

**ディスプレイ上でのイメージを見やすくする目的で、白黒の表示を反転させているようなとき、再び反転してプリントする場合に指定します。**
**デフォルトは、「オフ」です。**

補足

この項目は、SunRaster と XWD ファイルだけ有効です。

■イメージのタイトル

**ファイル名、または入力されたテキストをイメージのタイトルとして、イメージと一緒にプリントするかどうかを指定します。**
**イメージのタイトルは、次の項目から選択できます。デフォルトは、[なし] です。**

- **なし**
  タイトルなしでドキュメントをプリントします。
- **ファイル名**
  イメージのファイル名をタイトルとしてプリントします。
- **テキスト入力**
  入力エリアにプリントしたいタイトルを入力します。入力したテキストをタイトルとしてプリントします

この項目は、EPS と TIFF ファイルだけ有功です。

## 6.2.8 ユーザータブ

**［ユーザー］タブで設定できる項目は、次のとおりです。**

注記

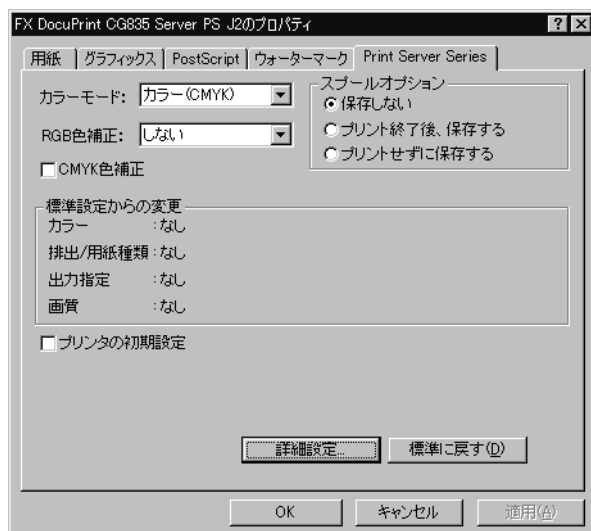
プリンタードライバーの［詳細設定］ダイアログボックスや DropPrint2、WebManager では、［ユーザー情報］タブになります。［セキュリティプリント］のほかに［ユーザー名］、［アカウント］、［コメント］が設定できます。［ユーザー情報］タブについては「6.2.9 固有のプリントオプション」の「 ユーザー情報タブ」を参照してください。

■セキュリティプリント

ドキュメントにパスワードによる保護をかける場合に、チェックボックスをオンにし、パスワードを入力します。
パスワードに入力できる文字は、0 〜 9、a 〜 z、A 〜 Z、記号、スペースです。また、5 〜 31 文字の範囲で指定してください。
セキュリティープリントの指定がされたドキュメントは、ServerManager でパスワードを入力しないと操作ができなくなります。ただし、管理者でログインした場合は、操作できます。

## 6.2.9 固有のプリントオプション

### Print Server Series タブ

[Print Server Series] タブには、プリントオプションの中でよく利用される項目が集められています。
Windows 95/98/Me、Windows 2000/XP、および Macintosh のプリンタードライバーからプリントした場合に表示されます。
[Print Server Series] タブ固有の項目は、次のとおりです。

■標準設定からの変更

[Print Server Series] タブと、[詳細設定] ダイアログボックスの [ユーザー情報] タブに表示される以外の項目で、サーバーで設定されているプリントオプションと異なる値を設定しているオプション項目と、その値を表示します。

■[詳細設定] ボタン

このボタンをクリックすると、[詳細設定] ダイアログボックスが表示されます。
[詳細設定] ダイアログボックスでは、プリントに関する詳細な設定ができます。

### ユーザー情報タブ

Windows 95/98/Me、Windows 2000/XP、および Macintosh のプリンタードライバーや DropPrint2、WebManager で表示されます。
［ユーザー情報］タブで設定できる項目について説明します。

■セキュリティプリント

ドキュメントにパスワードによる保護をかける場合に、チェックボックスをオンにし、パスワードを入力します。
パスワードに入力できる文字は、0 〜 9、a 〜 z、A 〜 Z、記号、スペースです。また、5 〜 31 文字の範囲で指定してください。
セキュリティープリントの指定がされたドキュメントは、ServerManager でパスワードを入力しないと操作ができなくなります。ただし、管理者でログインした場合は、操作できます。

■ユーザー名

ジョブのオーナー名を設定します。
ユーザー名には、31 バイトまで入力できます。ユーザー名には、制御文字以外の文字列を使用してください。設定したユーザー名は、WebManager、ServerManager 上で、ジョブの所有者として表示されます。
また、プリント履歴に記録されるユーザー名としても利用されます。

■アカウント

ジョブに関するアカウント情報を設定します。アカウントには、31 バイトまで入力できます。アカウントには、制御文字以外の英数字文字列を使用してください。アカウントは、プリント履歴に記録されます。

■コメント

ジョブに関する追加情報を設定します。コメントには、任意の文字列で 255 バイトまで入力できます。コメントには、制御文字以外の文字列を使用してください。コメントは、プリント履歴に記録されます。

# 6.3 DropPrint2

**DropPrint2 固有の機能について説明します。**

参照

- DropPrint2 でできること、およびの操作の方法については、「4.3 DropPrint2 を使ってプリントする」を参照してください。
- プリントオプションに関するタブの項目については、「6.2 プリントオプション」を参照してください。

### ■キャンセル

**設定をキャンセルし、ダイアログボックスを閉じます。DropPrint2 は終了しません。**

### ■プロファイル設定

**どの設定ファイルを使用するかを指定します。**

参照

プロファイルの設定は、WebManager からダウンロードできます。詳細については「4.4.5 WebManager 画面からプリントする」を参照してください。

### ■ファイル中の設定またはサーバーの設定を使う

**オンにすると、設定した内容ではプリントされません。サーバーの［プリントオプションの初期設定］の設定、またはプリントするドキュメント内に記述されている設定でプリントされます。**

補足

DropPrint、またはアップロード印刷で、［ファイル中の設定またはサーバーの設定を使う］を指定しても、送信するファイル内で［部数］が指定されていない場合は、サーバー側の［プリンタの初期設定］で設定している［部数］の値は反映されません。

**■ファイルへ出力**

**ドキュメントをプリントする代わりに、ジョブファイルとして保存できます。オンにすると、［プリント］ボタンが［保存］ボタンに変わります。［保存］ボタンをクリックすると、［名前を付けて保存］ダイアログボックスが表示されるので、保存する場所とファイル名を指定します。保存されるファイルの拡張子は、「.jbf」です。**

**■設定の保存**

**設定した内容が、［DropPrint］ダイアログボックスのデフォルトの値として保存されます。**
**［設定の保存］をクリックしたあとは、［キャンセル］をクリックしても、設定の内容を元に戻すことはできません。**

**■設定ファイルの作成（Windows の場合）**

**ファイルをアイコンにドラッグ & ドロップするだけで、同じ設定でプリントできる設定ファイルを作成できます。サーバーにジョブを送信後、DropPrint2 は自動的に終了します。**

**また、［設定ファイルの作成］をクリックすると表示される［名前を付けて保存］ダイアログボックスで、［設定ウィンドウを出さずに印刷］をオンにすると、［DropPrint］ダイアログボックスが表示されずにプリントできる設定ファイルが作成できます。**

補足

- ファイル名の拡張子は、「.dp2」です。
- ［設定ウィンドウを出さずに印刷］は、デフォルトでオンに設定されています。
- 設定ファイルの設定内容を変更したい場合は、［DropPrint］ダイアログボックスで項目を変更し［設定の保存］をクリックするか、設定ファイルを再度作成してください。

■アップレットの作成（Macintoshの場合）

ファイルをアイコンにドラッグ & ドロップするだけで、同じ設定でプリントできるアップレットを作成できます。サーバーにジョブを送信後、DropPrint2 は自動的に終了します。

また、［アップレットの作成］をクリックすると表示される［保存］ダイアログボックスで、［設定ウィンドウを出さずに直接印刷］をオンにすると、［プリントオプションの設定］ダイアログボックスが表示されずにプリントできるアップレットが作成できます。

補足

- ［設定ウィンドウを出さずに直接印刷］は、デフォルトでオンに設定されています。
- アップレットの設定内容を変更したい場合は、［プリントオプションの設定］ダイアログボックスで項目を変更し［設定の保存］をクリックするか、アップレットを再度作成してください。

■送信先設定

送信先を設定します。追加、編集、および削除ができます。

リファレンス

6

### 送信先追加ダイアログボックス（Windows の場合）

［送信先設定］をクリックし表示された［送信先設定］ダイアログボックスで［追加］をクリックすると、表示されます。
［送信先名称］には、送信先を表示するときの名前を入力します。[DropPrint] ダイアログボックスの［プリンタ］の項目に、ここで入力した名前が表示されます。[サーバーアドレス］には、サーバーの IP アドレスを入力します。

**■プロキシサーバーを使う場合**

**プロキシサーバーを使う場合は、［プロキシを使う］チェックボックスをオンにします。プロキシサーバーは、HTTP1.0 以降をサポートしている必要があります。**

- **プロキシ**
  プロキシサーバーのアドレスを入力します。
- **ポート**
  プロキシサーバーのポート番号を入力します。
- **ユーザ認証が必要**
  プロキシサーバーに認証が必要な場合、オンにします。
- **ログイン名**
  プロキシサーバーでのユーザー認証のログイン名を入力します。
- **パスワード**
  プロキシサーバーでのユーザー認証のパスワードを入力します。

### 送信先追加ダイアログボックス（Macintosh の場合）

［送信先設定］をクリックすると表示されます。
［AppleTalk ゾーン］から、使用するネットワークゾーンを選択し、表示されたプリンターリストから使用するサーバーを選択し、［送信先に追加］をクリックして［設定］をクリックします。

# 6.4 スキャナーアプリケーション

**スキャナーアプリケーションには、サーバー用とクライアント用があります。**

## 6.4.1 サーバースキャンオプション

**サーバーでスキャンするときの、オプションについて説明します。**

参照
スキャン方法については、「3.10.1 スキャニングでできること」を参照してください。

### 画質調整ボタン

**スキャナーアプリケーションダイアログボックスの［画質調整］ボタンをクリックすると、［画質調整］ダイアログボックスが表示されます。**
**ここで設定した内容は、プレビューイメージに反映されます。**
**色空間の指定などによって、各項目は選択 / 非選択の状態になります。**

**■品質**

**スキャンイメージの読み取り品質を選択します。**
**品質には、次の項目があります。デフォルトは、［高品位（画質優先）］です。**
**なお、プレビューは、ここの設定にかかわらず［ドラフト（速度優先）］でスキャンされます。**

- **高品位（画質優先）**
  画質を優先してスキャンするときに指定します。
- **ドラフト（速度優先）**
  速度を優先してスキャンするときに指定します。

**■アンシャープマスク**

**アンシャープマスクフィルターをかけるときは、チェックボックスをオンにします。**
**デフォルトは、「オフ」です。**

■モアレ除去

**モアレ除去フィルターをかけるときは、チェックボックスをオンにします。**
**デフォルトは、「オフ」です。**

■モノクロ 2 階調オプション

**スキャナーアプリケーションのダイアログボックスの［色空間］で［モノクロ 2 階調］を選択したときに、オプションを選択します。**
**［しない］、［TET］、［AAS］から選択します。**
**デフォルトは、［しない］です。**

- **しない**

  オプションを使用しないでスキャンします。

- **TET**

  画像の濃淡を判断するしきい値（白黒の境）を自動調整する機能です。文字と背景の色とのコントラストが低い原稿でも、文字と背景を自動識別して文字を鮮明に読み取ります。

- **AAS**

  文字と画像が混在している原稿の文字部分はモノクロ、画像部分は擬似中間処理をする機能です。文字と写真などの画像が混在するモノクロ原稿を読み取るときに、文字領域と写真領域を自動識別して読み取ります。

■彩度

**色の鮮やかさの度合いを指定します。**
**-100 〜 100 までの整数を入力するか、スライドバーで指定します。**
**デフォルトは、［0］です。**

■明度

**色の明暗の度合いを指定します。**
**-100 〜 100 までの整数を入力するか、スライドバーで指定します。**
**デフォルトは、［0］です。**

■ディスプレイガンマ

**イメージのコントラスト（色調）を指定します。**
**明るくしたり、暗くしたりできます。**
**通常は、人間の目の感覚に近い［1.80］に設定することをお勧めします。**
**1.00 〜 3.00 までの値を入力するか、スライドバーで指定します。**
**デフォルトは、［1.80］です。**

■しきい値

**白黒 2 値判別の濃度を入力します。**
**1 〜 254 までの整数を入力するか、スライドバーで指定します。**
**デフォルトは、［127］です。**

■［出荷時に戻す］ボタン

**［画質調整］ダイアログボックス内のすべての設定をデフォルト値に戻します。**

### [原稿ガラス]を指定した場合のオプション

## 保存ファイルの指定

■ファイル名

保存するファイル名を指定します。

■ファイルの種類

ファイルの種類には、次の項目があります。

- TIFF
- TIFF（マルチページ）
- JPEG
- PDF（マルチページ）

[ファイルの種類]で[JPEG]または[PDF（マルチページ）]を選択して、[オプション]をクリックすると、フォーマットを指定するダイアログボックスが表示されます。項目を設定して、[OK]をクリックします。

参照

ファイルフォーマットについては、「3.10.1 スキャニングでできること」を参照してください。

## プレスキャン

■色空間

ここで指定した色空間が、[スキャン]をクリックしたときに適用されます。

プレスキャン実行後に色空間を変更した場合には、変更した内容を適用するため、もう一度プレスキャンを行います。

色空間には、次の項目があります。デフォルトは、[RGBカラー(各色8ビット)]です。

- RGB カラー（各色 8 ビット）
- グレースケール（8 ビット）
- モノクロ 2 階調

■範囲

スキャンする原稿サイズを指定します。
範囲には、次の項目があります。デフォルトは、[A3 プラス]です。

- A3 プラス
- A3
- B4
- A4
- B5
- A4 横
- B5 横

補足

- A3 プラスのサイズは、310 × 437mm です。
- 「A4 横」、「B5 横」は、スキャナー本体に記載されている「A4□」、「B5□」と同じ方向を表します。

■[プレスキャン]ボタン

プレビューイメージが表示されます。
プレビューイメージを転送中にキャンセルするときは、処理中に表示されるダイアログボックスで[キャンセル]をクリックします。

## 解像度

スキャンするイメージの解像度を選択できます。
ここでの設定は、最終的に取り込むイメージに対してだけ有効です。プレビューイメージは変化しません。

■DPI

イメージの解像度を指定します。
メモリーの上限とディスクの空き容量の範囲で、50 〜 800 までの値を入力できます。デフォルトは、[400]です。

注記

解像度を高く設定すると、ファイルサイズが大きくなります。

## 範囲

最終的に取り込むイメージの範囲を設定します。

■左端、上端、幅、高さ

取り込む範囲の値を入力します。
カーソルで範囲を指定すると、連動して値が変化します。
矢印ツールを使用することもできます。
すべての値が[0.0]の場合は、プレスキャンをした全体をスキャンして保存します。
デフォルトは、すべて[0.0]です。

参照

矢印ツールについては、後述の「ツールボタン」を参照してください。

■単位

定規の単位を選択します。
単位には、次の項目があります。デフォルトは、[mm]です。

- mm
- inch
- pixel

■[出荷時に戻す]ボタン

[スキャン]ダイアログボックス内のすべての設定をデフォルト値に戻します。

## ツールボタン

### ■矢印ツール

**取り込む範囲を指定できます。**

**ドラッグしながら、取り込む範囲を指定します。**

十字カーソル

矢印カーソル

- **十字カーソル**
  選択範囲を指定できます。
- **矢印カーソル**
  選択範囲がある場合、その角にマウスを持っていくと矢印カーソルになります。
  選択範囲の拡大 / 縮小ができます。

補足

- 全体を選択したい場合は、マウスでの選択範囲なしの状態（ダイアログボックスの［範囲］で、すべての値を［0.0］を入力した状態）にします。
- イメージの取り込みには、ダイアログボックスの［範囲］に数値を入力しても指定できます。

### ■虫眼鏡ツール

**プレビューイメージの表示を、拡大および縮小できます。**
**虫眼鏡ツールを選択すると、ポインタが虫眼鏡に変わります。**

**プレビューイメージの一部をクリックすると、拡大して表示されます。**
**<Ctrl> キーを押しながらクリックすると縮小できます。**

拡大

縮小

**カーソルは、次の形で表示されます。**

| カーソル | 操作 |
|---|---|
| | 拡大できる状態 |
| | 縮小できる状態 |
| | 限界のため拡大/縮小ができない状態 |

■ハンドツール

**プレビューエリアにイメージが入りきらない場合は、ドラッグして移動すると、ドラッグした分だけスクロールします。**

**プレビューイメージをドラッグします。**

通常　　　　　　　　ドラッグ中

## ［原稿送り装置］を指定した場合のオプション

**注記**

- 原稿ガラスでプレスキャンを行ったあと、原稿送り装置に切り替えることはできません。
- 表示されるメッセージの中に［原稿台］と表示されるものがありますが、［原稿台］とは原稿ガラスを表します。

## 原稿送り装置オプション

### ■色空間

ここで指定した色空間が、[スキャン] をクリックしたときに適用されます。
プレスキャン実行後に色空間を変更した場合には、変更した内容を適用するため、もう一度プレスキャンを行います。
色空間には、次の項目があります。デフォルトは、[RGB カラー(各色 8 ビット)]です。

- RGB カラー(各色 8 ビット)
- グレースケール(8 ビット)
- モノクロ 2 階調

### ■範囲

スキャンする原稿サイズを指定します。
範囲には、次の項目があります。デフォルトは、[A3] です。

- A3
- B4
- A4
- B5
- A4 横
- B5 横

補足
「A4 横」、「B5 横」は、スキャナー本体に記載されている「A4□」、「B5□」と同じ方向を表します。

### ■両面

両面に印刷してある原稿を両面ともスキャンする場合は、チェックボックスをオンにします。デフォルトは、「オフ」です。

## 解像度

スキャンするイメージの解像度を選択できます。
ここでの設定は、最終的に取り込むイメージに対してだけ有効です。プレビューイメージは変化しません。

### ■DPI

イメージの解像度を指定します。
メモリーの上限とディスクの空き容量の範囲で、50 ～ 800 までの値を入力できます。デフォルトは、[400] です。

注記
解像度を高く設定すると、ファイルサイズが大きくなります。

## 6.4.2 クライアント用スキャナーアプリケーション

**クライアント用のスキャナーアプリケーションを起動したときに操作できる、主なメニューについて説明します。**

参照

スキャン方法については、「3.11.2 ScanUtility2 を使用したイメージの取り込み」を参照してください。

### Windows の場合

**■ファイル－スキャン**

**スキャナーアプリケーションを起動します。**

**■ファイル－環境設定**

**[環境設定] ダイアログボックスが表示され、スキャナーの選択などのアプリケーションの環境設定とファイルフォーマットが設定できます。**

**■ファイル－終了**

**スキャナーアプリケーションを終了します。**

**■バージョン情報**

**スキャナーアプリケーションのバージョンが確認できます。**

### Macintosh の場合

**■ファイル－スキャン**

**スキャナーアプリケーションを起動します。**

**■ファイル－環境設定（Classic）/FXPSS ScanUtility2 －環境設定（Mac OS X）**

**[環境設定] ダイアログボックスが表示され、スキャナーの選択などのアプリケーションの環境設定、イメージを開くアプリケーションの設定、ファイルフォーマットが設定できます。**

**■ファイル－終了(Classic)/FXPSS ScanUtility2 － FXPSS ScanUtility2 の終了（Mac OS X）**

**スキャナーアプリケーションは、[終了] の選択、または <Command>+<Q> キーで終了します。**
**[Print Server Series スキャン] ダイアログボックスで [閉じる] をクリックしてダイアログボックスを閉じても、アプリケーションは終了しません。**

補足

バージョン情報は、アップルメニュー（Classic の場合）、または FXPSS ScanUtility2 メニュー（Mac OS X の場合）から表示できます。

リファレンス 6

# 6.4.3　環境設定

**スキャナーアプリケーションの環境設定について説明します。**
**設定は、［環境設定］ダイアログボックスで行います。［環境設定］ダイアログボックスは、［ファイル］メニューから［環境設定］を選択すると表示されます。**

注記
［スキャン］ダイアログボックスが表示されているときは、［ファイル］メニューは選択できません。［スキャン］ダイアログボックスを閉じてから操作してください。

## 全般タブ

**＜ Windows の場合＞**

**＜ Macintosh（Classic）の場合＞**　**＜ Macintosh（Mac OS X）の場合＞**

### スキャナ装置の選択

**スキャナー装置を選択します。**

### 起動

**■TwainDriver を自動起動する**

**スキャナーアプリケーションを起動したときに、TwainDriver を自動起動するときは、チェックボックスをオンにします。**
**デフォルトは、「オン」です。**

### 圧縮方法

**■ファイル保存時に指定する**

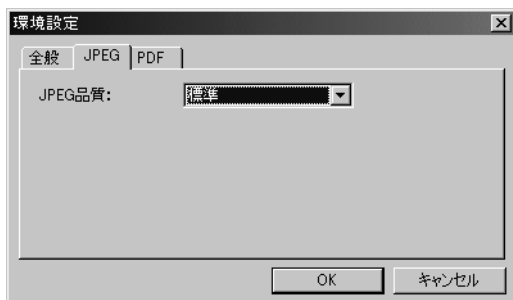
**ファイルの保存ダイアログボックスの［ファイルの種類］（Windows の場合）、［タイプ］（Macintosh の場合）で［JPEG］または［PDF（マルチページ）］を選択したときに、ファイルタイプごとの圧縮方法を指定可能にするかどうかを設定します。**
**［ファイル保存時に指定する］チェックボックスをオンにすると、ファイルの保存時に、ファイルタイプごとの圧縮方法が指定できます。**
**［ファイル保存時に指定する］チェックボックスをオフにすると、［環境設定］ダイアログボックスで設定したファイルフォーマットで保存されます。**

参照

ファイル保存については、「3.11.2 ScanUtility2 を使用したイメージの取り込み」を参照してください。

## JPEG タブ

**JPEG フォーマットで保存する場合の圧縮率を指定します。**

**＜ Windows の場合＞**

**＜ Macintosh（Classic）の場合＞**

**＜ Macintosh（Mac OS X）の場合＞**

**■JPEG 品質（Windows）/JPEG 画質（Macintosh）**

**次の 4 つの項目から選択できます。**

- **低品質（高圧縮率）**
- **標準**
- **高品質**
- **最高品質（低圧縮率）**

補足

色空間がモノクロ 2 階調の場合、Windows では、エラーメッセージが表示されスキャンがキャンセルされます。別のフォーマットを選択し直してください。Macintosh では、TIFF に変換する確認ダイアログボックスが表示されます。

■JPEG を開くアプリケーション（Macintosh Classic のみ）

JPEG を開くアプリケーションを指定できます。デフォルトは、「Photoshop」です。

## PDF タブ

PDF（マルチページ）フォーマットで保存する場合の設定を指定します。

＜ Windows の場合＞

＜ Macintosh（Classic）の場合＞

＜ Macintosh（Mac OS X）の場合＞

■二値画像の圧縮

3 つの項目から選択できます。デフォルトは、[なし] です。

- なし
- CCITT Group3
- CCITT Group4

■階調画像の圧縮

2 つの項目から選択できます。デフォルトは、[なし] です。

- なし
- JPEG

■JPEG 画質

[階調画像の圧縮] で [JPEG] を選択した場合、圧縮率を指定できます。デフォルトは、[標準] です。

- 低品質（高圧縮率）
- 標準
- 高品質
- 最高品質（低圧縮率）

■エンコード

エンコードを選択してファイルを保存できます。デフォルトは、[Binary] です。

- ASCII
- Binary

■PDF を開くアプリケーション（Macintosh Classic のみ）

PDF を開くアプリケーションを指定できます。デフォルトは、「Acrobat」です。

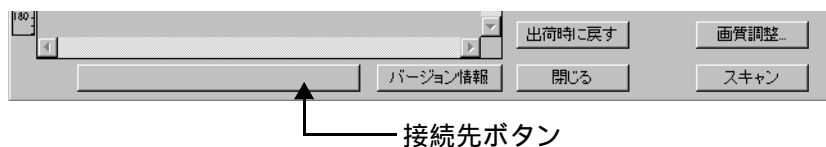
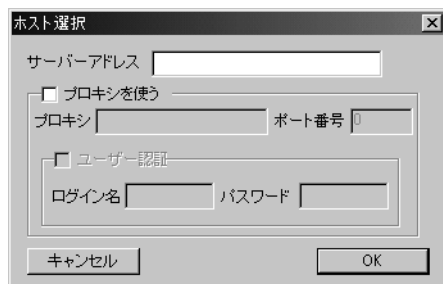
### TIFF タブ（Macintosh Classic のみ）

**■TIFF を開くアプリケーション**

TIFF を開くアプリケーションを指定できます。デフォルトは、「Photoshop」です。

## 6.4.4 スキャンオプション

スキャナーアプリケーションダイアログボックスで操作できる、主な項目について説明します。
ここでは、Windows の画面を例に説明します。

### 接続先ボタン

スキャナーアプリケーションダイアログボックス内の左下にある接続先ボタンをクリックすると、サーバーの IP アドレス（または名前）を設定するための［ホスト選択］ダイアログボックスが表示されます。

**■サーバーアドレス**

サーバーの IP アドレス（または名前）を入力します。
英数字だけを入力できます。最大文字数は 255 文字です。

■プロキシを使う

プロキシサーバーを使う場合は、チェックボックスをオンにします。

■プロキシ

プロキシサーバーのアドレスを入力します。
英数字だけを入力できます。最大文字数は 255 文字です。

■ポート番号

プロキシサーバーのポート番号を入力します。
数字だけを入力できます。最大文字数は 255 文字です。

■ユーザー認証

プロキシサーバーに認証が必要な場合に、チェックボックスをオンにします。

■ログイン名

プロキシサーバーでのユーザー認証のログイン名を入力します。
英数字だけを入力できます。最大文字数は 255 文字です。

■パスワード

プロキシサーバーでのユーザー認証のパスワードを入力します。
英数字だけを入力できます。最大文字数は 31 文字です。

## バージョン情報ボタン

スキャナーアプリケーションダイアログボックスの下にある［バージョン情報］ボタンをクリックするとスキャンドライバーのバージョンが表示されます。

## 画質調整ボタン

スキャナーアプリケーションダイアログボックスの［画質調整］ボタンをクリックすると、［画質調整］ダイアログボックスが表示されます。
ここで設定した内容は、プレビューイメージに反映されます。
色空間の指定などによって、各項目は選択 / 非選択の状態になります。

**■品質**

**スキャンイメージの読み取り品質を選択します。**
**品質には、次の項目があります。デフォルトは、[高品位（画質優先）] です。**
**なお、プレビューは、ここの設定にかかわらず [ドラフト（速度優先）] でスキャンされます。**

- **高品位（画質優先）**
  画質を優先してスキャンするときに指定します。
- **ドラフト（速度優先）**
  速度を優先してスキャンするときに指定します。

**■アンシャープマスク**

**アンシャープマスクフィルターをかけるときは、チェックボックスをオンにします。**
**デフォルトは、「オフ」です。**

**■モアレ除去**

**モアレ除去フィルターをかけるときは、チェックボックスをオンにします。**
**デフォルトは、「オフ」です。**

**■モノクロ 2 階調オプション**

**スキャナーアプリケーションのダイアログボックスの [色空間] で [モノクロ 2 階調] を選択したときに、オプションを選択します。**
**[しない]、[TET]、[AAS] から選択します。**
**デフォルトは、[しない] です。**

- **しない**
  オプションを使用しないでスキャンします。
- **TET**
  画像の濃淡を判断するしきい値（白黒の境）を自動調整する機能です。文字と背景の色とのコントラストが低い原稿でも、文字と背景を自動識別して文字を鮮明に読み取ります。
- **AAS**
  文字と画像が混在している原稿の文字部分はモノクロ、画像部分は擬似中間処理をする機能です。文字と写真などの画像が混在するモノクロ原稿を読み取るときに、文字領域と写真領域を自動識別して読み取ります。

**■彩度**

**色の鮮やかさの度合いを指定します。**
**-100 ～ 100 までの整数を入力するか、スライドバーで指定します。**
**デフォルトは、[0] です。**

**■明度**

**色の明暗の度合いを指定します。**
**-100 ～ 100 までの整数を入力するか、スライドバーで指定します。**
**デフォルトは、[0] です。**

■ディスプレイガンマ

イメージのコントラスト（色調）を指定します。
明るくしたり、暗くしたりできます。
通常は、人間の目の感覚に近い［1.80］に設定することをお勧めします。
1.00 〜 3.00 までの値を入力するか、スライドバーで指定します。
デフォルトは、［1.80］です。

■しきい値

白黒 2 値判別の濃度を入力します。
1 〜 254 までの整数を入力するか、スライドバーで指定します。
デフォルトは、［127］です。

■［出荷時に戻す］ボタン

［画質調整］ダイアログボックス内のすべての設定をデフォルト値に戻します。

## ［原稿ガラス］を指定した場合のオプション

### プレスキャン

■色空間

ここで指定した色空間が、［スキャン］をクリックしたときに適用されます。
プレスキャン実行後に色空間を変更した場合には、変更した内容を適用するため、もう一度プレスキャンを行います。
色空間には、次の項目があります。デフォルトは、［RGB カラー（各色 8 ビット)］です。

- RGB カラー（各色 8 ビット）
- グレースケール（8 ビット）
- モノクロ 2 階調
- RGB カラー（各色 14 ビット）
- グレースケール（14 ビット）

**■範囲**

**スキャンする原稿サイズを指定します。**
**範囲には、次の項目があります。デフォルトは、［A3 プラス］です。**

- **A3 プラス**
- **A3**
- **B4**
- **A4**
- **B5**
- **A4 横**
- **B5 横**

補足

- A3 プラスのサイズは、310 × 437㎜です。
- 「A4 横」、「B5 横」は、スキャナー本体に記載されている「A4⎕」、「B5⎕」と同じ方向を表します。

**■［プレスキャン］ボタン**

**プレビューイメージが表示されます。**
**プレビューイメージを転送中にキャンセルするときは、処理中に表示されるダイアログボックスで［キャンセル］をクリックします。**

## 解像度

**スキャンするイメージの解像度を選択できます。**
**ここでの設定は、最終的に取り込むイメージに対してだけ有効です。プレビューイメージは変化しません。**

**■DPI**

**イメージの解像度を指定します。**
**メモリーの上限とディスクの空き容量の範囲で、50 〜 800 までの値を入力できます。デフォルトは、［400］です。**

注記

解像度を高く設定すると、ファイルサイズが大きくなります。

## 範囲

**最終的に取り込むイメージの範囲を設定します。**

**■左端、上端、幅、高さ**

**取り込む範囲の値を入力します。**
**カーソルで範囲を指定すると、連動して値が変化します。**
**矢印ツールを使用することもできます。**
**すべての値が［0.0］の場合は、プレスキャンをした全体をスキャンして保存します。**
**デフォルトは、すべて［0.0］です。**

参照

矢印ツールについては、後述の「ツールボタン」を参照してください。

**■単位**

**定規の単位を選択します。**
**単位には、次の項目があります。デフォルトは、［㎜］です。**

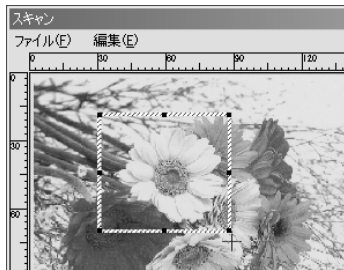
- **㎜**
- **inch**
- **pixel**

**■［出荷時に戻す］ボタン**

**［スキャン］ダイアログボックス内の原稿の置き場所以外の設定をデフォルト値に戻します。ただし、接続先については、接続先がある場合は設定はそのままです。**

## ツールボタン

**■矢印ツール**

**取り込む範囲を指定できます。**

**ドラッグしながら、取り込む範囲を指定します。**

十字カーソル

矢印カーソル

- **十字カーソル**

  選択範囲を指定できます。

- **矢印カーソル**

  選択範囲がある場合、その角にマウスを持っていくと矢印カーソルになります。
  選択範囲の拡大 / 縮小ができます。

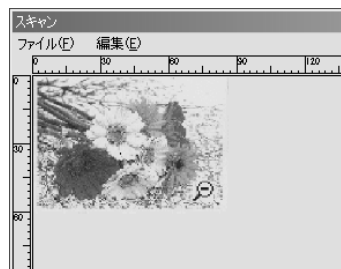
補足

- 全体を選択したい場合は、マウスでの選択範囲なしの状態（ダイアログボックスの［範囲］で、すべての値を［0.0］を入力した状態）にします。
- イメージの取り込みには、ダイアログボックスの［範囲］に数値を入力しても指定できます。

**■虫眼鏡ツール**

**プレビューイメージの表示を、拡大および縮小できます。**
**虫眼鏡ツールを選択すると、ポインタが虫眼鏡に変わります。**

**プレビューイメージの一部をクリックすると、拡大して表示されます。**
**<Ctrl> キーを押しながらクリックすると縮小できます。**
**Macintosh の場合、<option> キーを押したままクリックすると縮小できます。**

拡大

縮小

**カーソルは、次の形で表示されます。**

| カーソル | 操作 |
|---|---|
|  | 拡大できる状態 |
|  | 縮小できる状態 |
|  | 限界のため拡大/縮小ができない状態 |

**■ハンドツール**

**プレビューエリアにイメージが入りきらない場合は、ドラッグして移動すると、ドラッグした分だけスクロールします。**

**プレビューイメージをドラッグします。**

通常

ドラッグ中

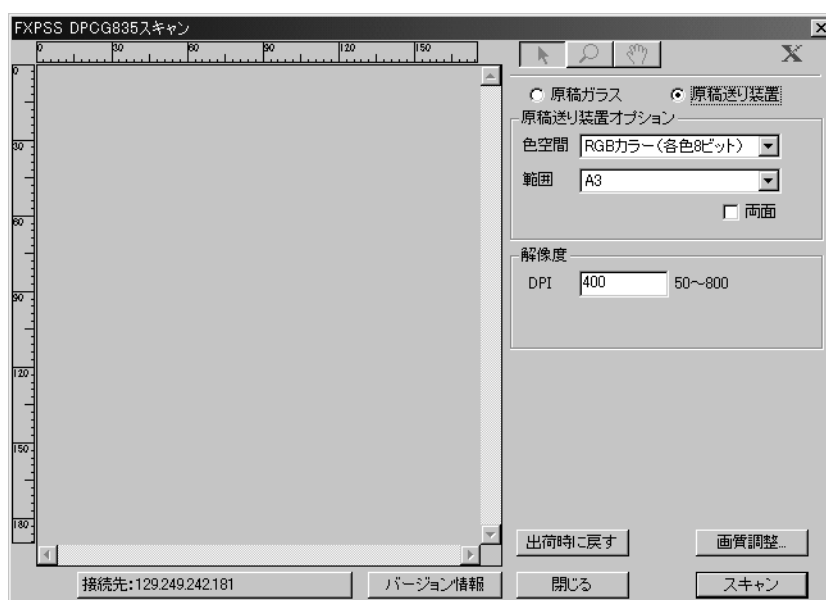


## ［原稿送り装置］を指定した場合のオプション

**注記**

- 原稿ガラスでプレスキャンを行ったあと、原稿送り装置に切り替えることはできません。
- 表示されるメッセージの中に［原稿台］と表示されるものがありますが、［原稿台］とは原稿ガラスを表します。

## 原稿送り装置オプション

■色空間

ここで指定した色空間が、[スキャン] をクリックしたときに適用されます。
プレスキャン実行後に色空間を変更した場合には、変更した内容を適用するため、もう一度プレスキャンを行います。
色空間には、次の項目があります。デフォルトは、[RGBカラー(各色8ビット)]です。

- RGB カラー（各色 8 ビット）
- RGB カラー（各色 14 ビット）
- グレースケール（8 ビット）
- グレースケール（14 ビット）
- モノクロ 2 階調

■範囲

スキャンする原稿サイズを指定します。
範囲には、次の項目があります。デフォルトは、[A3] です。

- A3
- B4
- A4
- B5
- A4 横
- B5 横

補足

「A4 横」、「B5 横」は、スキャナー本体に記載されている「A4⎙」、「B5⎙」と同じ方向を表します。

■両面

両面に印刷してある原稿を両面ともスキャンする場合は、チェックボックスをオンにします。デフォルトは、「オフ」です。

## 解像度

スキャンするイメージの解像度を選択できます。
ここでの設定は、最終的に取り込むイメージに対してだけ有効です。プレビューイメージは変化しません。

■DPI

イメージの解像度を指定します。
メモリーの上限とディスクの空き容量の範囲で、50 〜 800 までの値を入力できます。デフォルトは、[400] です。

注記

解像度を高く設定すると、ファイルサイズが大きくなります。

# 6.5 ServerPreview2

**Macintosh にインストールして使用する、ServerPreview2 の主なメニューについて説明します。**

参照

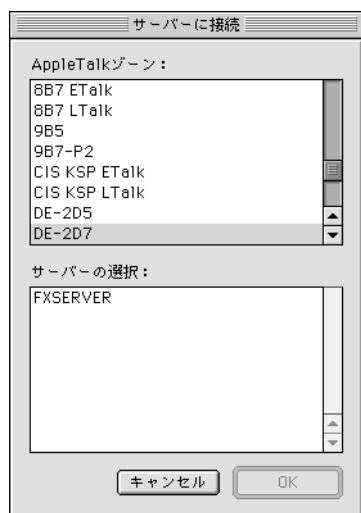
ServerPreview2 のインストールについては、「7.8 DropPrint2 など、その他のインストール」を参照してください。

**■ファイル－初期設定**

**次のファイルを表示するためのアプリケーションを指定できます。**

- **TIFF**
- **JPEG**
- **PDF**
- **EPS**
- **PostScript**

**■ファイル－新規**

**新規にサーバーに接続します。**

**■ファイル－保存、および別名で保存**

**接続している、サーバーおよびデータが格納されているウィンドウの設定が保存されます。**

■ファイルー開く

保存した［(サーバー名)］を開きます。
サーバーに接続され、サーバー上のフォルダ内のファイル一覧ウィンドウが表示されます。

■ファイルー閉じる

現在アクティブ状態になっているウィンドウを閉じて、サーバーとの接続を終了します。

■操作ー削除

表示されたダイアログボックス内で選択したファイルが、削除されます。
<delete> キーでも削除できます。

■操作ー最新の状態に更新

リストが最新の状態に更新されます。

■操作ーダウンロード

表示されたダイアログボックス内で選択したファイルがダウンロードされます。

■編集ーすべてを選択

TIFF ファイルが保存されているフォルダを開いている場合は、表示されている TIFF ファイルがすべて選択されます。

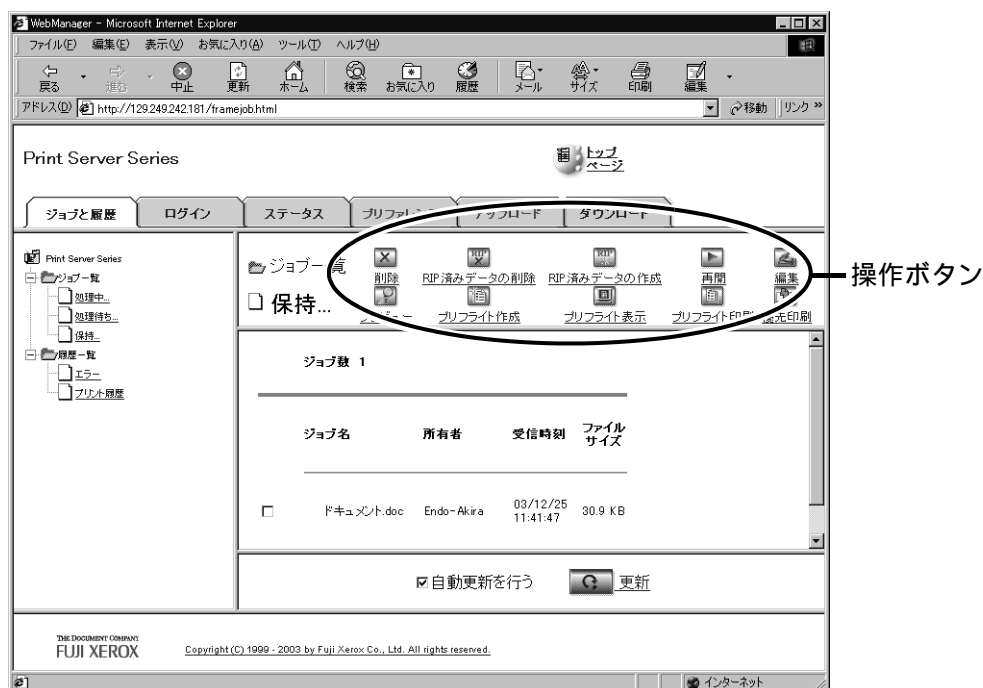
# 6.6 WebManager

**WebManager で設定できる項目を、WebManager ウィンドウのタブ別に説明します。**

参照

WebManager でできること、およびの操作の方法については、「4.4 Web ブラウザーでジョブを管理する」を参照してください。

## 6.6.1 ジョブと履歴タブ

**［ジョブと履歴］タブには、ServerManager ウィンドウのメニューおよび［ジョブ管理リスト］と同様の働きをする項目が表示されます。**
**［ジョブと履歴］タブで設定できる項目は、次のとおりです。**

### 操作ボタンについて

**WebManager の操作ボタンは、ServerManager で使う［ジョブ］メニューと同様の働きをします。操作ボタンの機能については、「6.1.4 ジョブメニュー」を参照してください。**

注記

- 選択したジョブや、ジョブの状態により、使用できるボタンは異なります。
- セキュリティープリントの指定がされているジョブは、WebManager では操作できません。

**ServerManager のメニューにない項目、または ServerManager の機能と異なる項目は、次の 2 つです。**

**■[プレビュー]ボタン**

**選択したジョブのプレビュー画像が、別のウィンドウで表示されます。**

補足

プレビュー画像が存在しない場合は、プレビュー画像がないことを表すウィンドウが表示されます。

**■[編集]ボタン**

**ServerManager の編集機能と異なる項目は、次のとおりです。**

- **[差込印刷:フォームとして登録]を使用して[差込印刷－フォーム番号]で指定したフォームが登録済みである場合は、エラーメッセージが表示され、ジョブのプリントオプションが[差込印刷:しない]に変更されます。**
- **次のエラーメッセージが表示された場合は、RIP 処理済みデータを作成してください。**
  **「フォームとして使うには RIP 済みデータを作成する必要があります」**
  **「RIP 済みデータを削除しました。RIP 済みデータの作成を行ってください」**

**ジョブの状態に応じて、使用できる操作ボタンは次のとおりです。**

| ジョブの状態 | 使用できる操作ボタン |
|---|---|
| 処理中 | [削除]、[停止]、[編集]、[プレビュー]、[優先印刷] |
| 処理待ち | [削除]、[停止]、[編集]、[プレビュー]、[プリフライト表示]、[優先印刷] |
| 保持 | [削除]、[RIP 済みデータの削除]、[RIP 済みデータの作成]、[再開]、[編集]、[プレビュー]、[プリフライト表示]、[優先印刷]、[プリフライト作成]、[プリフライト印刷] |
| エラー | [削除]、[RIP 済みデータの削除]、[RIP 済みデータの作成]、[再開]、[編集]、[プレビュー]、[プリフライト表示]、[優先印刷]、[プリフライト作成]、[プリフライト印刷] |

## プリント履歴

**左側フレームから[プリント履歴]を選択すると、プリントジョブの履歴を、表計算アプリケーションで編集できる CSV 形式のファイルに出力して、画面に表示、または保存できます。プリンターを共有している場合、部門やユーザーごとにプリント履歴の確認ができるので、管理がしやすくなります。**

参照

- プリント履歴についての詳細は、「5.4.1 プリント履歴の確認」を参照してください。
- プリント履歴を記録するためには、ServerManager で設定が必要です。ServerManager の設定については、「5.3.1 ServerManager の環境設定」の「プリント履歴タブ」を参照してください。

リファレンス

6

## リストに表示される項目

右側フレームに表示される項目は、次のとおりです。

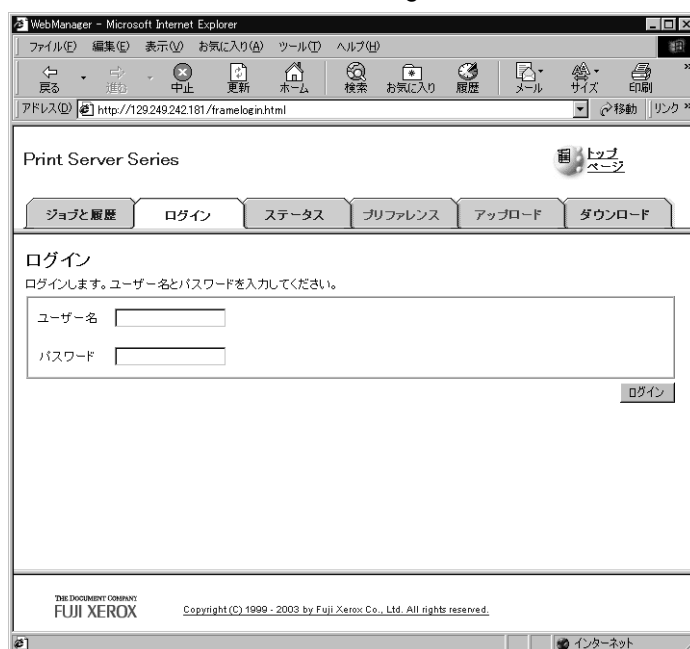
| 項目 | 説明 | |
|---|---|---|
| ジョブ名：クライアントから依頼されたジョブのドキュメント名が表示されます。※ジョブファイル名の前には、右のマークが付くことがあります。 | S | セキュリティープリントの指定がされている場合に表示されます。 |
| | P | プリフライトレポートを保持している場合に表示されます。 |
| | D | RIP 処理済みデータを保持している場合に表示されます。 |
| | T | TIFF ファイルを保持している場合に表示されます。 |
| | F | フォームの登録をしている場合に表示されます。 |
| | * | 複数のマークに該当している場合に表示されます。 |
| | R | ジョブを受信中の場合に表示されます。このマークは、「処理中」だけに表示されます。 |
| ステータス：ジョブの処理状況が表示されます。 | 処理中 | XX KB　RIP 中、XX/XX ページ転送中、プリント待ち、プリフライト中、プリフライト印刷中、プリント中など |
| | 処理待ち | RIP 待ち、プリフライト待ち、プリフライト印刷待ち、小冊子作成待ち、2 アップ印刷待ち、ダブルプリント印刷待ちなど |
| | 保持 | ― |
| | エラー | PostScript エラー、プリンターエラー、受信時エラー、RIP エラー、コントローラーボードエラー、データベースエラーなど |
| 所有者：プリントを依頼した所有者名が表示されます。 | Macintosh | Macintosh の所有者名が表示されます。 |
| | Windows | Windows へのログイン名が表示されます。 |
| | NetWare | PostScript ファイルの所有者名が表示されます。 |
| | FTP | PostScript ファイルは、ファイルからユーザー名を取得できる場合に、そのユーザー名が表示されます。それ以外の場合は、「ftp ユーザー」と表示されます。 |
| | Lpr | PostScript ファイルは、ファイルからユーザー名を取得できる場合に、そのユーザー名が表示されます。それ以外の場合は、「lpr ユーザー」と表示されます。 |
| | DropPrint2 | Macintosh の所有者名または Windows のログイン名が表示されます。 |
| | WebManager | アップロード印刷の場合は、WebManager のログイン名が表示されます。WebManager にログインしていない場合は、「Web ユーザー」と表示されます。 |
| | ジョブの読み込み | PostScript ファイルは、ファイルからユーザー名を取得できる場合に、そのユーザー名が表示されます。それ以外の場合はログイン名が表示されます。 |

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| 受信時刻 | サーバーがクライアントからジョブを受信した時刻が表示されます。 |
| ファイルサイズ | 受信したジョブのファイルサイズが表示されます。 |

参照

プリンターエラー、RIP エラー、および受信時エラーについては、「8.2 エラージョブメッセージ一覧」を参照してください。

## 6.6.2 ログインタブ

**［ログイン］タブは、WebManager にログインするときに使用します。**

注記

［ユーザー名］と［パスワード］は、大文字と小文字を区別します。

補足

ユーザーレベルは、ユーザー名、パスワードの入力状況に応じて、［ログイン］をクリックしたときに決定されます。

参照

WebManager にログインするためのユーザー名とパスワードは、ServerManager で指定します。指定方法については、「5.3.2 ユーザーの管理」を参照してください。

リファレンス 6

## 6.6.3　ステータスタブ

［ステータス］タブには、ServerManager のマシン状態ウィンドウと同様の働きをする項目が表示されます。
サーバーの状態、用紙トレイにセットされている用紙サイズや用紙の残量、およびトナー量などが確認できます。
［ステータス］タブで確認できる項目は、次のとおりです。

■サーバー

現在のサーバーの状態が表示されます。

プリンタ・スキャナ

プリンター / スキャナーの状態には、次のものがあります。

- フォントダウンロード中
- システム再設定中
- ロック中
- 使用可能
- キャリブレーション中
- 印刷処理を停止中 など

HDD 残量

ハードディスクの容量に関する情報を確認できます。

■装置

接続している装置の情報を確認できます。
装置の状態には、次のようなものがあります。

- プリントできます
- ウォームアップ中
- 節電中（モード 1）
- 節電中（モード 2）
- （X/X）枚目プリント中
- プリントしています
- 電源が入っていません
- 正常に動作できません

■トレイ

各トレイにセットされている用紙の種類、用紙サイズ、用紙の残量、トレイの状態が表示されます。
用紙の残量は、次の 3 段階で表示されます。

- あり
- 用紙切れ
- 補給時期

トレイの状態には、次のものがあります。

- 正常
- 故障
- 用紙切れ
- 補給時期
- 正しくセットされていません

■トナー

各トナーの、トナーの状態が表示されます。
接続しているプリンターごとに、トナーの状態を確認できます。

■ネットワーク

サーバーに設定した、ネットワークプロトコルごとのプリンターの稼働状態や、通信状態が表示されます。表示される状態には、次のようなものがあります。

- 起動していません
- 受信待ち
- 受信中
- サーバーと接続できません
- 正常に起動していません

## 6.6.4 プリファレンスタブ

[プリファレンス] タブには、ServerManager で設定したキャリブレーションデータやカラープロファイルなどの設定内容を、確認および変更できる機能が表示されます。
[プリファレンス］タブで設定できる項目は、次のとおりです。

**■キャリブレーション方法の選択**

**標準プロファイルに適用されているキャリブレーションの方法を確認できます。**

**■キャリブレーション**

**各トレイに割り当てられているキャリブレーションデータと、データの作成日時を、キャリブレーションの種類別に確認できます。**

**■RGB 色補正プロファイル**

**ユーザー 1 〜 10 までに割り当てられている、RGB 色補正プロファイルを確認できます。**

**■RGB 出力プロファイル**

**ユーザー 1 〜 10 までに割り当てられている、RGB 出力プロファイルを確認できます。**

**■CMYK シミュレーション**

**プロファイル 1 〜 10 までに割り当てられている、カラープロファイルを確認できます。**

**■ユーザー調整カーブ**

**ユーザー調整に割り当てられている、ユーザー調整カーブのプロファイルを確認できます。**

**■フォーム参照**

**差込印刷用に登録されているフォームを確認できます。**
**次の項目が表示されます。**

- **先頭ページのプレビュー**
- **フォーム番号**
- **フォーム名**
- **用紙サイズ**
- **ページ数**
- **所有者名**
- **受信日時**
- **ステータス**

**■環境設定**

**ジョブリストの自動更新間隔を設定できます。**

- **自動更新間隔**

  自動的に更新する間隔を設定できます。0 〜 30 までの範囲で設定できます。
  ［0］の場合は、自動で更新しません。単位は、「秒」です。デフォルトは、［30］秒です。

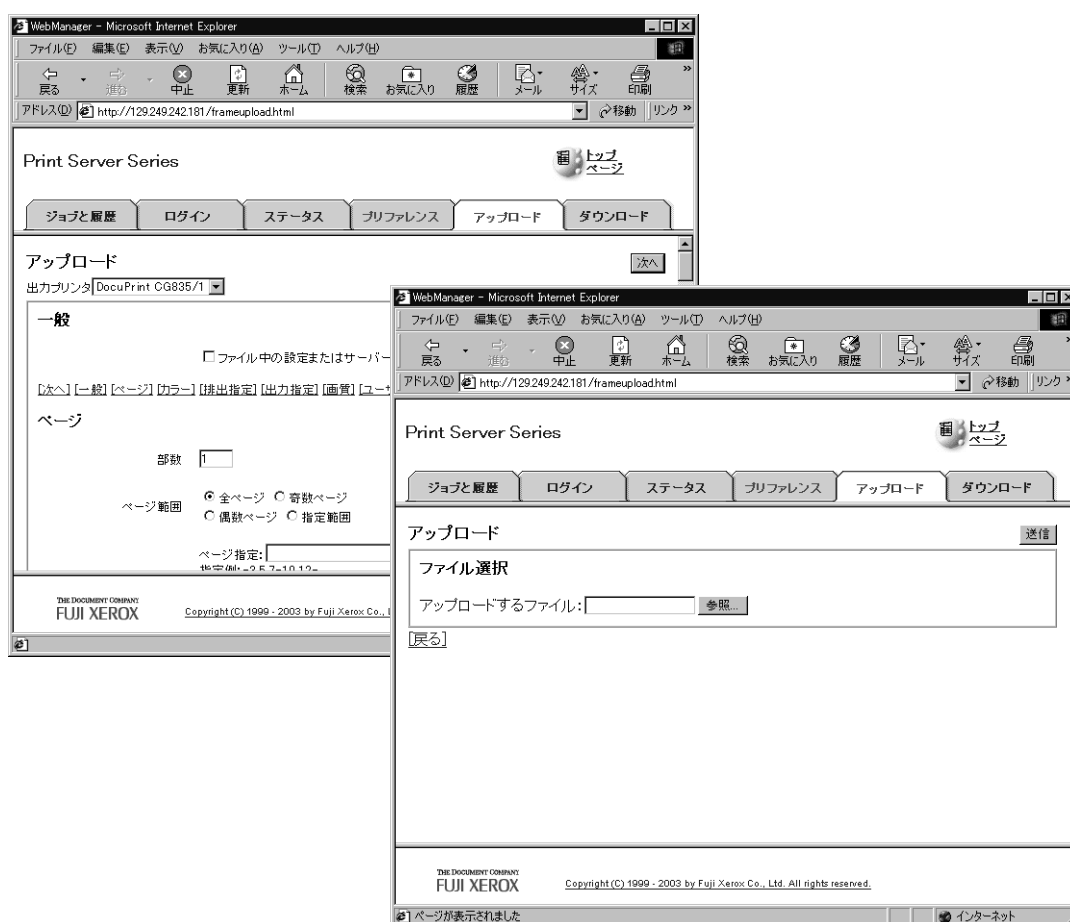
- **［新しい設定を適用する］ボタン**

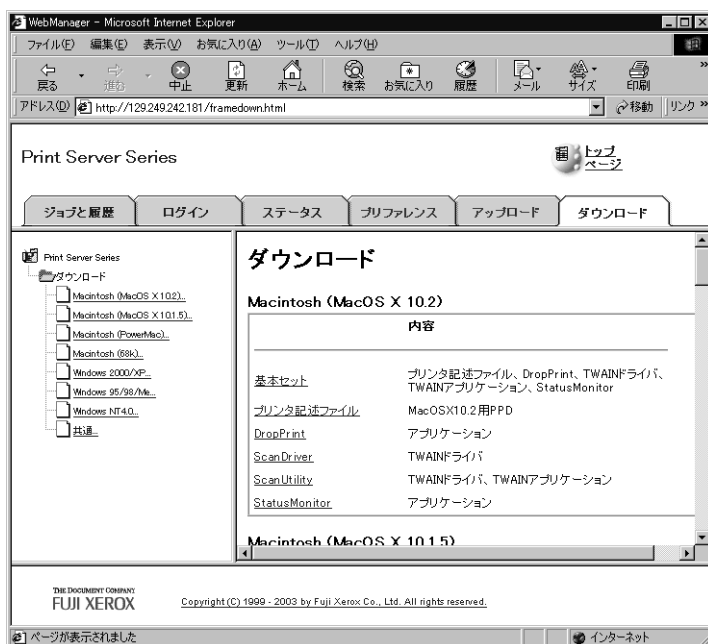
  設定した数値で実行します。

## 6.6.5　アップロードタブ

**［アップロード］タブでは、クライアントのコンピューターにあるドキュメントをサーバーに送信してプリントできます。**
**設定できるプリントオプションの項目は、クライアントから設定するプリントオプションや［ジョブ編集］ダイアログボックスに表示される項目と同様です。**

参照

プリントオプションの詳細については、「6.2 プリントオプション」を参照してください。

## 6.6.6　ダウンロードタブ

**［ダウンロード］タブでは、クライアントのコンピューターで使用するプリンタードライバーなど､同梱されている CD-ROM と同じ内容のアプリケーションや、サーバーの CMYK シミュレーションの割り当て情報などを入手できます。**
**クライアントソフトウエアは、左側フレームの各 OS の項目から、またプロファイル設定は、左側フレームの［共通］からダウンロードできます。**

参照
ソフトウエアのダウンロードについては、「7.2 ソフトウエアの入手方法」を参照してください。

# 6.7 StatusMonitor

Macintosh の StatusMonitor に表示される項目について説明します。

## 6.7.1 StatusMonitor のウィンドウ

StatusMonitor は、次の 2 つのウィンドウから構成されています。

### ① StatusMonitor ウィンドウ

StatusMonitor のメインウィンドウです。ジョブの状態が表示されます。

#### ■ジョブ管理リスト

ジョブ管理リストには、サーバー内にあるすべてのジョブが表示されます。通常、文字の色は黒で表示されますが、ジョブの状態によって色文字が使われるものもあります。ジョブの状態には、次のものがあります。

**■処理中キュー**

現在サーバーでプリント処理されているジョブの一覧が表示されます。処理中ジョブのうち、プリント中のものは青い文字で、用紙切れなどが発生しているものは赤い文字で表示されます。

**■処理待ちキュー**

現在サーバーでプリント処理を待っているジョブの一覧が表示されます。

**■保持キュー**

プリント処理が終わったものなど、サーバーに保持されているジョブの一覧とジョブ数が表示されます。

■エラーキュー

プリント処理で、エラーが発生したジョブの一覧とジョブ数が表示されます。
エラージョブのうち、用紙切れなどプリントオプションの設定を変更する必要がないエラーが発生しているものは黒い文字で、プリントオプションの設定を変更すれば再プリントできるものはオレンジ色の文字で表示されます。また、クライアントでドキュメントを作成し直す必要があるジョブなどは、赤い文字で表示されます。
ジョブ管理リストに表示される項目は、次のとおりです。

| 項目 | 説明 | |
|---|---|---|
| ジョブ名 | ジョブのドキュメント名が表示されます。 | |
| 所有者 | Macintosh | Macintosh の所有者名が表示されます。 |
| | Windows | Windows へのログイン名が表示されます。 |
| | NetWare | PostScript ファイルの所有者名が表示されます。 |
| | FTP | PostScript ファイルは、ファイルからユーザー名を取得できる場合に、そのユーザー名が表示されます。それ以外の場合は、「ftp ユーザー」と表示されます。 |
| | Lpr | PostScript ファイルは、ファイルからユーザー名を取得できる場合に、そのユーザー名が表示されます。それ以外の場合は、「lpr ユーザー」と表示されます。 |
| | DropPrint2 | Macintosh の所有者名または Windows のログイン名が表示されます。 |
| | WebManager | アップロード印刷の場合は、WebManager のログイン名が表示されます。WebManager にログインしていない場合は、「Web ユーザー」と表示されます。 |
| | ジョブの読み込み | PostScript ファイルは、ファイルからユーザー名を取得できる場合に、そのユーザー名が表示されます。それ以外の場合はログイン名が表示されます。 |
| 受信時刻 | サーバーが、クライアントからジョブを受信した時刻が表示されます。 | |
| サイズ | 受信したジョブのファイルサイズが表示されます。 | |
| ステータス<br>※保持リストには表示されません。 | 処理中 | XX KB　RIP 中、XX/XX ページ転送中、プリント待ち、プリフライト中、プリフライト印刷中、プリント中など |
| | 処理待ち | RIP 待ち、プリフライト待ち、プリフライト印刷待ち、小冊子作成待ち、2 アップ印刷待ち、ダブルプリント印刷待ちなど |
| | 保持 | - |
| | エラー | PostScript エラー、プリンターエラー、受信時エラー、RIP エラー、コントローラーボードエラー、データベースエラーなど |

※ TCP/IP（lpr）からのプリント時、ServerManager 上で［サーバーの環境設定］を選択し、［ネットワーク］タブの［TCP/IP］の項目で［コントロールファイルを無視する］を指定している場合は、PostScript ファイル内の %%Title 欄の記述内容がジョブ名になります。

## ②マシン状態ウィンドウ

マシン状態ウィンドウでは、次の項目が表示されます。
[表示]メニューの[マシン状態]を選択すると、表示/非表示の切り替えができます。

| 項目 | 説明 |
| --- | --- |
| プリンタ | 現在のサーバーの状態が表示されます。<br>「フォントダウンロード中」、「システム再設定中」、「印刷可能」、「キャリブレーション中」、「印刷処理を停止中」、「両面印刷の微調整中」「スキャン利用中」、など |
| スキャナ | サーバーにスキャナーが接続されている場合は、現在のスキャナーの状態が表示されます。<br>「フォントダウンロード中」、「システム再設定中」、「キャリブレーション中」、「両面印刷の微調整中」「スキャン利用中」、「使用可能」、「スキャナ調整中」など<br>サーバースキャン中は、「スキャン<起動時刻>」が表示されます。<br>クライアントスキャン中は、「<ユーザー名>（IP アドレス）<スキャン開始時刻>」が表示されます。<br>PDF 配信アプリケーション起動時は、「PDF 配信<起動時刻>」が表示されます。 |
| マシン 1 | 次のような状態が表示されます。<br>「プリントできます」、「ウォームアップ中」、「電源が入っていません」、「節電中（モード 1)」、「節電中（モード 2)」、「(X/X) 枚目プリント中」、複数の部数をプリントしている場合は「(X/X) 枚目の（Y/Y）部目プリント中」、「正常に動作できません」など |

■トレイ情報

各トレイにセットされている用紙サイズ、トレイの状態、および用紙の種類が表示されます。
トレイの状態には、次のものがあります。「正常」、「補給時期」以外は、赤い文字で表示されます。

- 正常
- 故障
- 用紙切れ
- 補給時期
- 正しくセットされていません

補足

トレイ 2 とトレイ 3 は、オプションのトレイモジュールが装着されている場合に表示されます。

■トナー量

各トナーの残量が、4 種類のアイコンで表現されます。

| | |
| --- | --- |
|  | トナーが十分にある状態です。 |
|  | トナーが残り少ない状態です。トナーカートリッジの交換時期です。 |
|  | トナーが空の状態です。トナーカートリッジを交換してください。 |
|  | トナーカートリッジがセットされていません。トナーカートリッジを正しくセットしてください。 |

## 6.7.2 StatusMonitor のメニュー

StatusMonitor にあるメニュー項目について説明します。

■ファイル

StatusMonitor の接続に関するメニューです。
「6.7.3 ファイルメニュー」で、詳細を説明します。

■編集

StatusMonitor では、このメニュー項目は選択できません。

■表示

保持キュー、エラーキュー、マシン状態ウィンドウの表示 / 非表示の切り替えと、表示を最新のサーバー状態に更新します。

■ジョブ操作

ジョブの操作ができます。よく使うメニューの 1 つです。
「6.7.4 ジョブ操作メニュー」で、詳細を説明します。

■ウィンドウ

開いている他の StatusMonitor ウィンドウに切り替えることができます。
現在最前面に表示されている StatusMonitor ウィンドウ名には､先頭にチェックマークが付きます。

## 6.7.3 ファイルメニュー

［ファイル］メニューで操作できる項目は、次のとおりです。

■新規

「4.5.1 サーバーに接続する」を参照してください。

■接続ファイルを開く

「4.5.1 サーバーに接続する」を参照してください。

■切断

アプリケーションを終了しないで、最前面にあるStatusMonitorウィンドウを閉じて、接続先のサーバーとの接続を切断します。
対象のサーバーとの接続設定ファイルが一度も保存されていない場合は、ファイル保存のダイアログボックスが表示されます。接続設定ファイルを開いて接続し、ログイン状態が変更になっている場合は、パスワードについての確認のダイアログボックスが表示されます。

参照
接続設定ファイルについては、「4.5.3 StatusMonitorを終了する」を参照してください。

■接続を保存

最前面にあるStatusMonitorウィンドウの設定を、接続設定ファイルに保存します。ログイン状態が変更になっている場合は、パスワードについての確認のダイアログボックスが表示されます。

参照
接続設定ファイルについては、「4.5.3 StatusMonitorを終了する」を参照してください。

■別名で保存

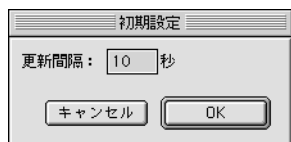
接続設定ファイルを別名で保存します。ログイン状態が変更になっている場合は、パスワードについての確認のダイアログボックスが表示されます。

参照
接続設定ファイルについては、「4.5.3 StatusMonitorを終了する」を参照してください。

■最近使ったサーバー

「4.5.1 サーバーに接続する」を参照してください。

■初期設定

**サーバー情報の更新間隔を設定します。1 〜 30 秒の範囲で、1 秒刻みに指定できます。デフォルトは、[10] 秒です。**

■ログイン / ログオフ

**ログイン / ログオフ状態を切り替えます。ログオフ状態からログイン状態に切り替える場合は、パスワード入力画面が表示されます。**
**サーバーの管理者パスワード、または一般ユーザーのパスワードを入力して、[OK] をクリックします。**

■終了

**StatusMonitor を終了します。保存されていない接続がある場合は、接続設定ファイルの保存確認のダイアログボックスが表示されます。**

参照

接続設定ファイルについては、「4.5.3 StatusMonitor を終了する」を参照してください。

# 6.7.4 ジョブ操作メニュー

［ジョブ操作］メニューおよびポップアップメニューで使用できる項目は、次のとおりです。

| ジョブの状態 | ［ジョブ操作］メニューで使用できる項目 |
|---|---|
| 処理中 | [全てのジョブを選択]、[削除]、[優先印刷]、[停止]、[ジョブ情報] |
| 処理待ち | [全てのジョブを選択]、[削除]、[優先印刷]、[停止]、[ジョブ情報] |
| 保持 | [全てのジョブを選択]、[削除]、[優先印刷]、[再開]、[部数を指定して再開]、[ジョブ情報] |
| エラー | [全てのジョブを選択]、[削除]、[優先印刷]、[再開]、[部数を指定して再開]、[ジョブ情報] |

注記

- ログイン状態になっていないと、［すべてのジョブを選択］以外は選択できません。
- セキュリティープリントの指定がされているジョブに対しての操作はできません。

■全てのジョブを選択

ジョブを選択し、［ジョブ操作］メニューから［全てのジョブを選択］を選択します。
選択したジョブがあるリストの、すべてのジョブが選択されます。
このメニューは、すべてのリストで使用できます。

■削除

ジョブを選択し、［ジョブ操作］メニューから［削除］を選択して、表示された［ジョブの削除］ダイアログボックスで、［はい］をクリックします。
選択したジョブが削除されます。
このメニューは、すべてのリストで使用できます。

■優先印刷

ジョブを選択し、［ジョブ操作］メニューの［優先印刷］を選択します。
選択したジョブが最優先にプリントされます。
選択したジョブが処理中の場合は、現在プリント中のジョブの次にプリントされます。選択したジョブが処理待ちの場合は、ジョブが処理待ちリストの先頭に移動されます。
RIP 処理中のジョブに対しては、優先印刷ができません。

補足

ServerManager の［サーバーの環境設定］の［プリント］タブで、［カバーページを印刷する］を選択している場合には、処理中ジョブの優先印刷はできません。

■停止

**ジョブを選択し、[ジョブ操作]メニューから[停止]を選択します。**
**処理中のジョブが停止し、保持リストの最下段に移動されます。**
**このメニューは、処理中または処理待ちリストにあるジョブを選択した場合にだけ使用できます。**

補足
受信中のジョブを途中で停止しても、受信が終了するまで処理中リストにあるジョブは停止されません。受信終了後、次のジョブの処理（RIP）が開始されます。

■再開

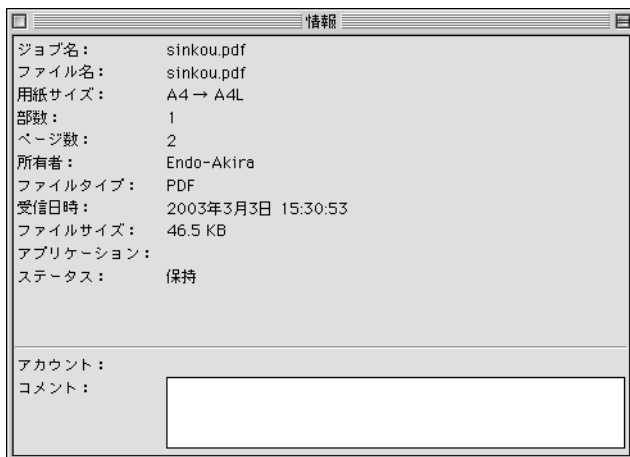
**ジョブを選択し、[ジョブ操作]メニューの[再開]を選択します。**
**選択したジョブが、処理待ちリストの最下段に移動されます。**
**このメニューは、保持またはエラーリストにあるジョブを選択した場合にだけ使用できます。**

注記
小冊子作成や2アップ、ダブルプリントが指定されたジョブを再開しても、その指定でプリントされません。

■部数を指定して再開

**ジョブを選択し、[ジョブ操作]メニューの[部数を指定して再開]を選択します。**
**[部数を指定して再開]ダイアログボックスが表示されます。1 ～ 999 部の範囲で、1 部刻みに指定できます。**
**このメニューは、保持またはエラーリストにあるジョブを選択した場合にだけ使用できます。**
**部数を変更すると、ServerManager 上の該当ジョブの部数も変更されます。**

■ジョブ情報

ジョブを選択し、［ジョブ操作］メニューの［ジョブ情報］を選択します。
選択したジョブの［情報］ウィンドウが表示されます。複数のジョブを選択した場合は、選択されたすべての［情報］ダイアログボックスを別々のウィンドウで表示します。
このメニューは、すべてのリストで使用できます。

7 章

# クライアントソフトウエアのインストール



**この章では、クライアントソフトウエアのインストール方法について説明します。**

# 7.1 クライアントの動作環境

**サーバークライアントソフトウエアを使うには、次のハードウエアとソフトウエアがクライアントに必要です。**

| サポートしている OS 環境 | 必要なシステム環境 |
|---|---|
| Windows<br>• Microsoft Windows 95<br>• Microsoft Windows 98<br>• Microsoft Windows Me<br>• Microsoft Windows NT 4.0 (Service Pack 4 以降)<br>• Microsoft Windows 2000<br>• Microsoft Windows XP | • Pentium 100MHz 以上のプロセッサーを搭載した IBM AT、または PS/2（または 100%互換）コンピューター ※互換ハードウエアについては、各 Windows の説明書を参照してください。<br>• ハードディスクドライブ<br>• サーバーとの接続用に整備されたネットワーク環境（詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。）<br>• Internet Explorer 5.0 以降、または Netscape Communicator 4.6 以降 |
| Macintosh<br>• 漢字 Talk7.6.1 以降 ただし、プリンタードライバーは、漢字 Talk7.6.1 以前の OS にもインストールできます。<br>• Mac OS X v10.2.6 以降 ただし、プリンタードライバーは、Mac OS X v10.1.5、Mac OS X v10.2.x*1 の OS にもインストールできます。 | • 68040 以降の Macintosh、または PowerMacintosh<br>• ハードディスクドライブ<br>• サーバーとの接続用に整備された EtherTalk ネットワーク環境（詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。）<br>• Internet Explorer 5.0 以降、または Netscape Communicator 4.5 以降 |

*1:Mac OS X v10.2 はサポートしていません。

注記

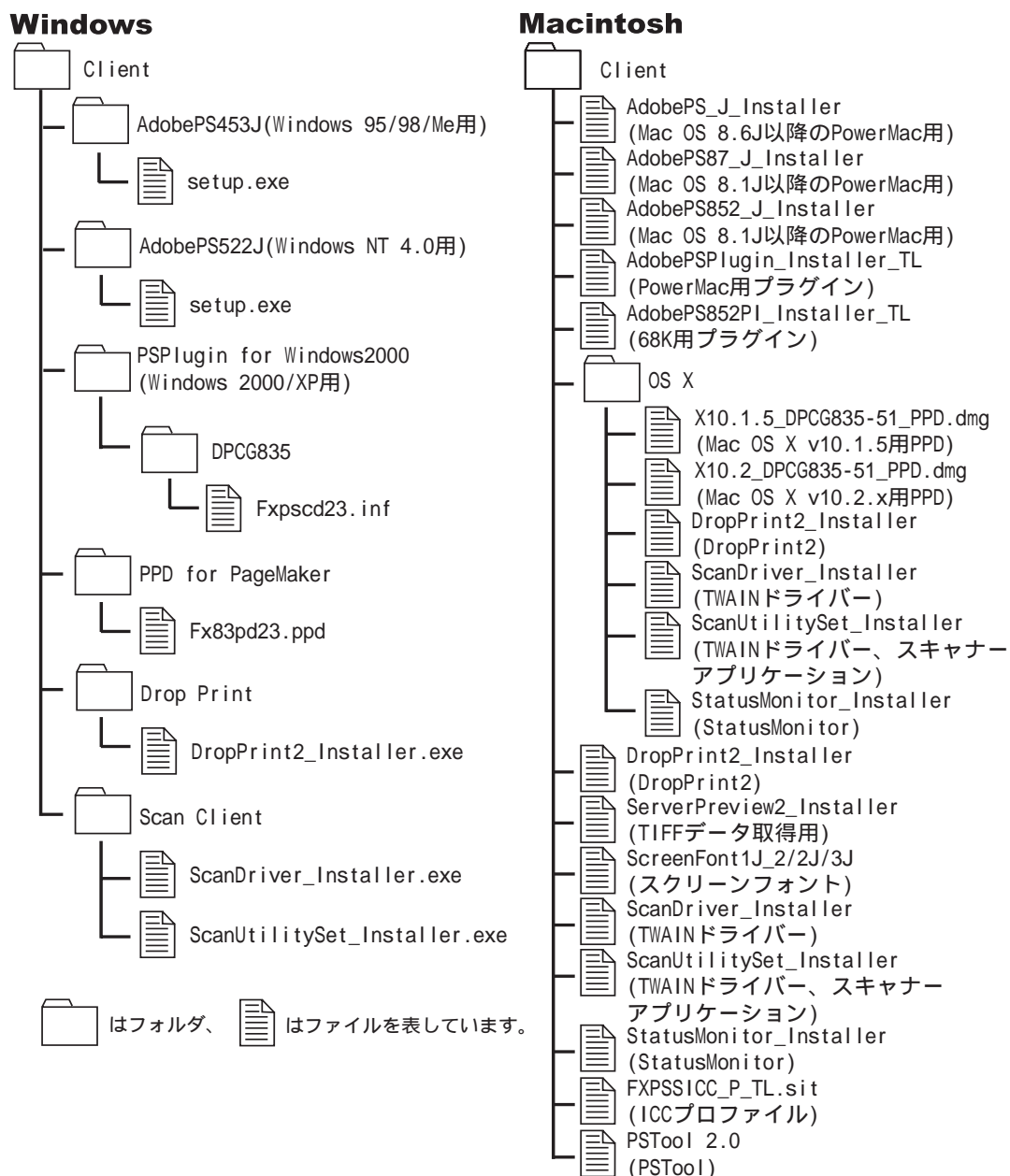
ネットワーク環境については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

# 7.2 ソフトウエアの入手方法

クライアントのコンピューターで使用するプリンタードライバーなどの各種アプリケーションは、次の方法で入手できます。

- サーバーに同梱されているCD-ROMからインストールする
- WebManagerを使って、サーバーからダウンロードする

## 7.2.1 CD-ROMからインストールする場合

同梱されているCD-ROMには、次のファイルやフォルダが含まれています。
拡張子に「.exe」が付く実行ファイルをダブルクリックすると、インストーラーが起動します。

引き続きソフトウエアをインストールする場合は、次ページ以降の、該当するコンピューターの節を参照してください。

## 7.2.2　サーバーからダウンロードする場合

### ソフトウエアの種類

ダウンロードできるソフトウエアは、次のとおりです。

| ソフトウエアの種類 | Macintosh (Mac OS X V10.2.6以降) *2 | Macintosh (Mac OS X V10.1.5) *2 | Macintosh (PowerMac) | Macintosh (68K) | Windows 95/98/Me/NT 4.0 | Windows 2000/XP |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 基本セット | ○ | — | ○ | ○ | ○ | ○ |
| プリンタドライバ | — | — | — | ○ | ○ | — |
| プリンタドライバ1（*1） | — | — | ○ | — | — | — |
| プリンタドライバ2（*1） | — | — | ○ | — | — | — |
| プリンタドライバプラグイン | — | — | ○ | ○ | — | ○ |
| プリンタ記述ファイル | ○ | ○ | — | — | — | — |
| スクリーンフォント（1/2/3） | — | — | ○ | ○ | — | — |
| PageMaker用PPD | — | — | — | — | ○ | ○ |
| DropPrint（DropPrint2） | ○ | — | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ScanDriver | ○ | — | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ScanUtility（ScanUtility2） | ○ | — | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ServerPreview（ServerPreview2） | — | — | ○ | ○ | — | — |
| StatuaMonitor | ○ | — | ○ | ○ | — | — |
| ICCプロファイル | — | — | ○ | ○ | ○ | ○ |

*1：PowerMac用に2種類のドライバーを提供しています。
　プリンタドライバ1・・・Mac OS8.6J以降のPowerMac用
　プリンタドライバ2・・・Mac OS8.1J以降のPowerMac用
*2：Mac OS X v10.1.5およびv10.2.x用のスクリーンフォントはPowerMac用からダウンロードして下さい。

補足

基本セットでは、クライアントのコンピューターで使用できるソフトウエアをまとめてダウンロードできます。
ただし、プリンタドライバ2は基本セットに含まれていません。使用する場合は、個別にダウンロードしてください。

**Windows 98 で Internet Explorer 5.5 を使用する場合を例にとって、サーバーからダウンロードする手順を説明します。**

操作手順

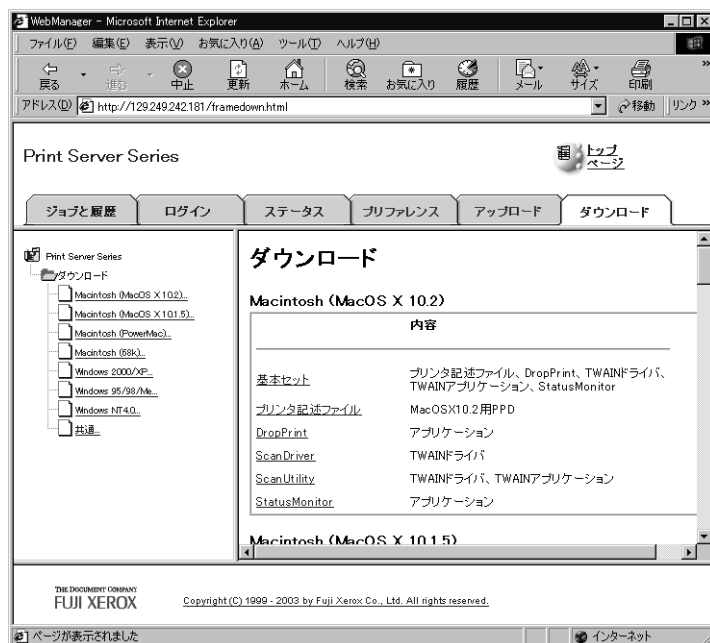
**1 Internet Explorer を起動します。**

**2 ［ファイル］メニューから［開く］を選択します。**

**3 表示された［ファイルを開く］ダイアログボックスの［開く］に、サーバーの IP アドレスを入力し、［OK］をクリックします。**

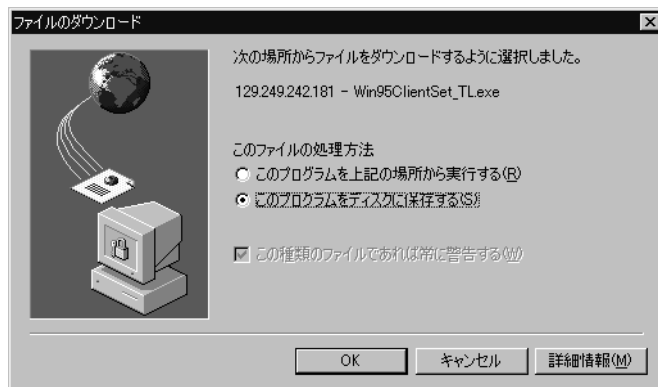
WebManager 画面が表示されます。

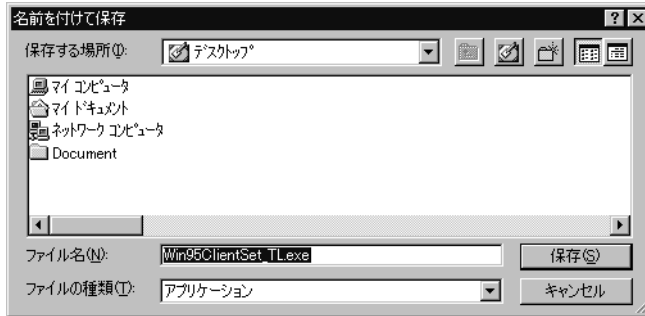
**4** **［ダウンロード］をクリックします。**

ソフトウエアのダウンロード画面が表示されます。

**5** **左側のフレームから、該当する OS をクリックします。**

右側のフレームに、該当するコンピューターのソフトウエア一覧が表示されます。

**6** **右側のフレームから、インストールするソフトウエアをクリックします。**

［ファイルのダウンロード］ダイアログボックスが表示されます。

## 7 ［このプログラムをディスクに保存する］を指定して、［OK］をクリックします。

［名前を付けて保存］ダイアログボックスが表示されます。

## 8 保存する場所を指定して、［保存］をクリックします。

ソフトウエアのダウンロードが開始されます。

## 9 基本セット、プリンタードライバー、または PPD をダウンロードした場合は、ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。

ファイルが解凍されます。

基本セットを解凍した場合は、さらに解凍したフォルダにあるプリンタードライバー、PageMaker 用 PPD を解凍します。

**以上で、ソフトウエアのダウンロードは完了です。**
**引き続き、ソフトウエアをインストールする場合は、次ページ以降の該当するコンピューターの節を参照してください。**

# 7.3 Windows 95/98/Me用プリンタードライバーのインストール

**■操作の前に**

**ドライバーをインストールする前に、起動しているアプリケーションをすべて終了してください。正しくインストールできない場合があります。**
**あらかじめ、「7.2 ソフトウエアの入手方法」を参照して、プリンタードライバーをダウンロードしておいてください。**
**ここでは、Windows 98 を例にとって説明します。**

操作手順

**1 「AdobePS453J」フォルダの、setup.exe アイコンをダブルクリックします。**

AdobePS ドライバーのインストーラーが起動します。

**2 ［次へ］をクリックして、インストールを続行します。**

使用許諾契約を求めるダイアログボックスが表示されます。

**3 内容を確認し［同意する］をクリックして、インストールを続行します。**

［プリンタの接続方法］ダイアログボックスが表示されます。

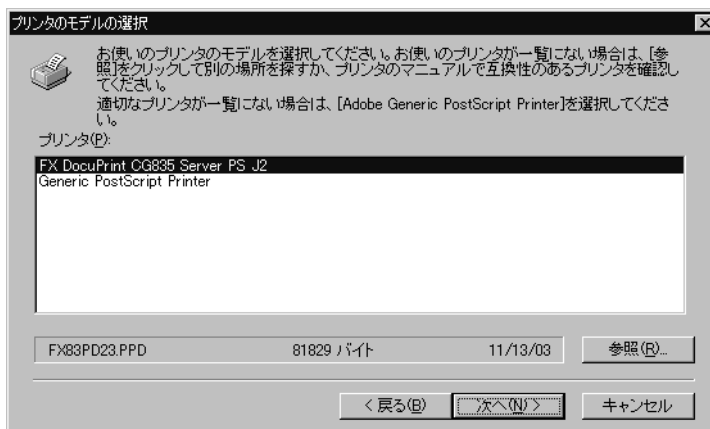
**4 ［ネットワークに接続（ネットワークプリンタ）］を指定して、［次へ］をクリックします。**

［ネットワークパス］ダイアログボックスが表示されます。

## 5 ネットワークパスがわかっている場合は、テキストボックスに入力します。わからない場合は、［参照］をクリックします。

［参照］をクリックすると、ネットワークの中からプリンターを探して選択するためのウィンドウが表示されます。サーバーで共有しているプリンターを選択したら、［OK］をクリックします。

## 6 ［次へ］をクリックします。

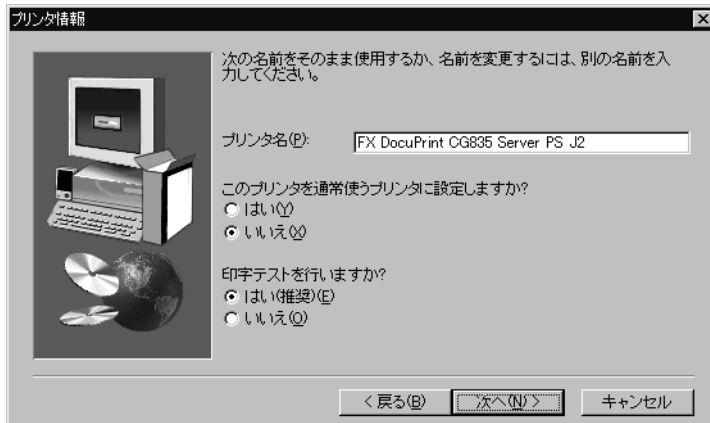
［プリンタのモデルの選択］ダイアログボックスが表示されます。

補足

DocuPrint CG835 が表示されないときは、［参照］をクリックして、セットアッププログラムが格納されているディレクトリを選択してください。

クライアントソフトウエアのインストール

7

**7** **[FX DocuPrint CG835 Server PS J2] を選択して、[次へ] をクリックします。**

［プリンタ情報］ダイアログボックスが表示されます。

**8** **プリンター名を変更したい場合は、テキストボックスに入力します。**

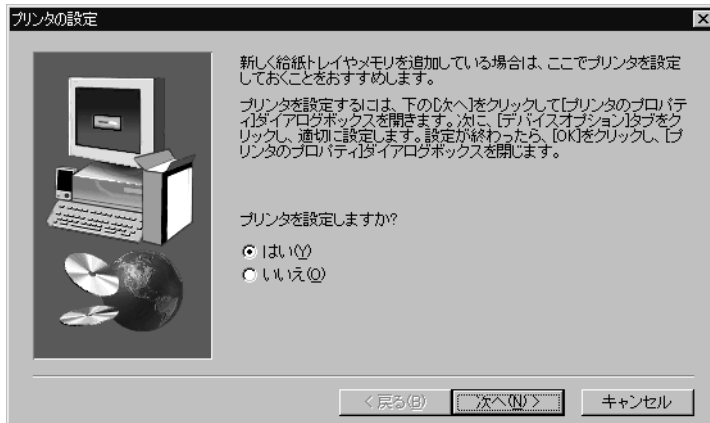
**9** **Print Server Series を通常使用するプリンターとして設定する場合は、[はい] を指定します。**

**10** **インストールの完了後にテストページをプリントする場合は、[はい] を選択します。**

**11** **[次へ] をクリックします。**

［セットアップ情報］ダイアログボックスが表示されます。

## 12 ［次へ］をクリックします。

プリンタードライバーのインストールが開始されます。
インストールが終了すると、［プリンタの設定］ダイアログボックスが表示されます。

## 13 ［はい］を選択し、［次へ］をクリックします。

プロパティダイアログボックスが表示されます。

参照

プリントオプションの設定の詳細については、「6.2　プリントオプション」を参照してください。なお、プリントオプションのデフォルトは、インストール後に変更できます。

## 14 必要なオプションを設定したら、[OK] をクリックします。

［セットアップ完了］ダイアログボックスが表示されます。

## 15 [完了] をクリックして、インストールを終了します。

**注記**

PageMaker を使用する場合は、PageMaker 用 PPD をインストールしてください。PageMaker 用 PPD のインストールについては、「7.8.1 Windows の場合」の「 PageMaker 用 PPD のインストール」を参照してください。

**以上で、AdobePS ドライバーのインストールは終了です。**

# 7.4 Windows NT 4.0用プリンタードライバーのインストール

**■操作の前に**

- **ドライバーをインストールする前に、起動しているアプリケーションをすべて終了してください。正しくインストールできない場合があります。**
- **共有プリンターを使う場合と使わない場合で、インストール方法が異なります。**
- **あらかじめ、「7.2 ソフトウエアの入手方法」を参照して、プリンタードライバーをダウンロードしておいてください。**

注記

プリンタードライバーのインストールは、Administrator権限を持つユーザーアカウントで行ってください。

## 共有プリンターを使う場合

参照

工場出荷時の設定では、本機で共有プリンターを利用することはできません。本機を共有プリンターとして利用するには、設定が必要です。設定方法については、同梱されているアプリケーション CD 内の「etc\RRAS_setup」フォルダーにある ReadMe.txt を参照してください。

操作手順

**1 「AdobePS522J」フォルダの、setup.exeアイコンをダブルクリックします。**

AdobePS ドライバーのインストーラーが起動します。

**2 [次へ] をクリックして、インストールを続行します。**

使用許諾契約を求めるダイアログボックスが表示されます。

**3 内容を確認し [同意する] をクリックして、インストールを続行します。**

[プリンタの接続方法] ダイアログボックスが表示されます。

クライアントソフトウエアのインストール

7

**4** **［ネットワークに接続（ネットワークプリンタ）］を指定して、［次へ］をクリックします。**

［ネットワークパス］ダイアログボックスが表示されます。

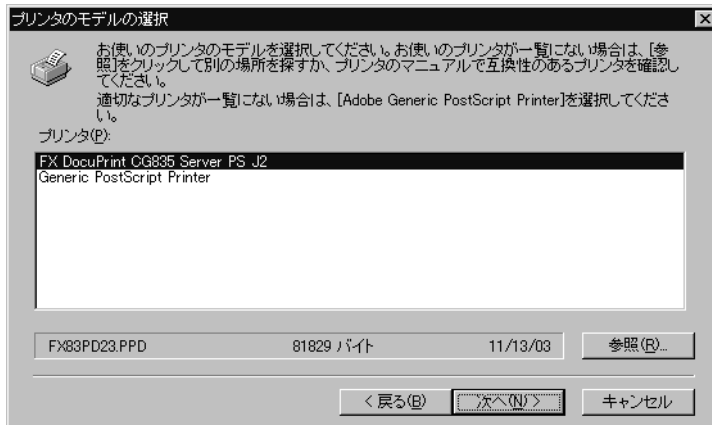
**5** **ネットワークパスをテキストボックスに入力します。**

ネットワークパスがわからない場合は、［参照］をクリックし、表示されたウィンドウでサーバーが共有しているプリンターを選択し、［OK］をクリックします。

## 6 ［次へ］をクリックします。

エラーメッセージが表示された場合は、［はい］をクリックしてインストールを続行します。

［プリンタのモデルの選択］ダイアログボックスが表示されます。

補足

DocuPrint CG835 が表示されないときは、［参照］をクリックして、セットアッププログラムが格納されているディレクトリを選択してください。

## 7 ［FX DocuPrint CG835 Server PS J2］を選択して、［次へ］をクリックします。

［プリンタ情報］ダイアログボックスが表示されます。

**8** **Print Server Series を通常使用するプリンターとして設定する場合は、[はい] を指定します。**

**9** **インストールの完了後にテストページをプリントする場合は、[はい] を選択します。**

**10** **[次へ] をクリックします。**

[セットアップ情報] ダイアログボックスが表示されます。

**11** **[次へ] をクリックします。**

プリンタードライバーのインストールが開始されます。

インストールが終了すると、[プリンタの設定] ダイアログボックスが表示されます。

## 12 ［はい］を選択し、［次へ］をクリックします。

プロパティダイアログボックスが表示されます。

参照

プリントオプションの設定の詳細については、「6.2　プリントオプション」を参照してください。なお、プリントオプションのデフォルトは、インストール後に変更できます。

## 13 必要なオプションを設定したら、［OK］をクリックします。

［セットアップ完了］ダイアログボックスが表示されます。

## 14 ［完了］をクリックして、インストールを終了します。

注記

PageMaker を使用する場合は、PageMaker 用 PPD をインストールしてください。PageMaker 用 PPD のインストールについては、「7.8.1 Windows の場合」の「PageMaker 用 PPD のインストール」を参照してください。

**以上で、共有プリンターを使う場合の AdobePS ドライバーのインストールは完了です。**

## 共有プリンターを使わない場合

**■操作の前に**

**共有プリンターを使わないで LPR ポートを使用してプリントする場合は、プリンタードライバーをインストールする前に、「TCP/IP プロトコル」と「Microsoft TCP/IP 印刷」をインストールしておく必要があります。「TCP/IP プロトコル」と「Microsoft TCP/IP 印刷」については、ご使用のコンピューターの取扱説明書を参照してください。**

注記

AdobePS プリンタードライバーをインストールする手順の途中では、新しく LPR ポートを作成できません。以下に示す手順に従って、LPR ポートを作成してから、AdobePS プリンタードライバーをインストールしてください。

操作手順

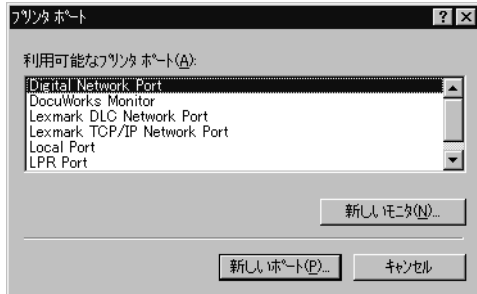
**1 タスクバーの［スタート］→［設定］→［プリンタ］を選択します。**

［プリンタ］ウィンドウが表示されます。

**2 ［ファイル］メニューから［サーバーのプロパティ］を選択します。**

［プリントサーバーのプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

**3 ［ポート］タブを選択して、［ポートの追加］をクリックします。**

［プリンタポート］ダイアログボックスが表示されます。

**4 ［LPR Port］を選択して、［新しいポート］をクリックします。**

［LPR 互換プリンタの追加］ダイアログボックスが表示されます。

**5 ［lpd を提供しているサーバーの名前またはアドレス］に、サーバーの IP アドレスを入力します。**

**6 ［サーバーのプリンタ名またはプリンタキュー名］に、サーバーに設定してある TCP/IP のプリンター名を入力します。**

**7 ［OK］をクリックします。**

**8 ［プリンタポート］ダイアログボックスで［閉じる］をクリックします。**

**9 ［プリントサーバーのプロパティ］ダイアログボックスで［OK］をクリックします。**

**10 ダウンロードした「AdobePS522J」フォルダの setup.exe アイコンをダブルクリックします。**

AdobePS ドライバーのインストーラーが起動します。

## 11 ［次へ］をクリックして、インストールを続行します。

使用許諾契約を求めるダイアログボックスが表示されます。

## 12 内容を確認し［同意する］をクリックして、インストールを続行します。

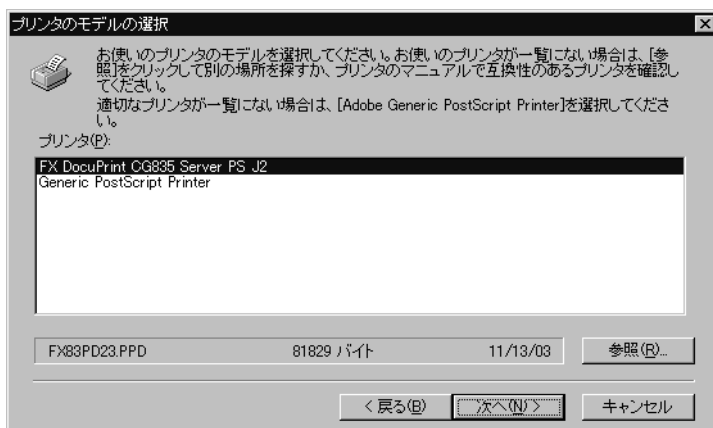
［プリンタの接続方法］ダイアログボックスが表示されます。

## 13 ［コンピュータに直接接続（ローカルプリンタ）］を指定して、［次へ］をクリックします。

［ローカルポートの設定］ダイアログボックスが表示されます。

## 14 手順 5 で設定したポートを選択して、［次へ］をクリックします。

［プリンタのモデルの選択］ダイアログボックスが表示されます。

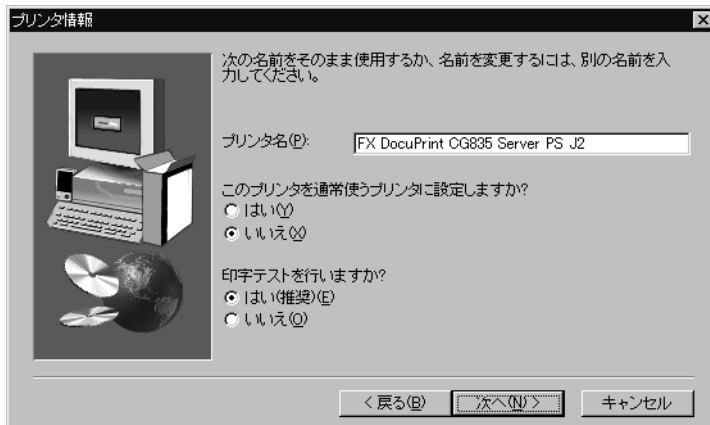
補足

DocuPrint CG835 が表示されないときは、［参照］をクリックして、セットアッププログラムが格納されているディレクトリを選択してください。

## 15 ［FX DocuPrint CG835 Server PS J2］を選択して、［次へ］をクリックします。

［共有］ダイアログボックスが表示されます。

**16** **プリンターを共有する場合は、[共有する］を指定し、プリンターの共有名をテキストボックスに入力します。共有しない場合は、[共有しない］を指定します。**

**［次へ］をクリックします。**

［プリンタ情報］ダイアログボックスが表示されます。

**17** **プリンター名を変更したい場合は、テキストボックスに入力します。**

**18** **Print Server Series を通常使用するプリンターとして設定する場合は、[はい］を指定します。**

**19** **インストールの完了後にテストページをプリントする場合は、[はい］を指定します。**

**20** **［次へ］をクリックします。**

［セットアップ情報］ダイアログボックスが表示されます。

## 21 ［次へ］をクリックします。

プリンタードライバーのインストールが開始されます。
インストールが終了すると、［プリンタの設定］ダイアログボックスが表示されます。

## 22 ［はい］を選択し、［次へ］をクリックします。

プロパティダイアログボックスが表示されます。

参照

プリントオプションの設定の詳細については、「6.2　プリントオプション」を参照してください。なお、プリントオプションのデフォルトは、インストール後に変更できます。

**23** **必要なオプションを設定したら、[OK]をクリックします。**

［セットアップ完了］ダイアログボックスが表示されます。

**24** **［完了］をクリックします。**

注記

PageMaker を使用する場合は、PageMaker 用 PPD をインストールしてください。PageMaker 用 PPD のインストールについては、「7.8.1 Windows の場合」の「 PageMaker 用 PPD のインストール」を参照してください。

**以上で、共有プリンターを使わない場合の AdobePS ドライバーのインストールは完了です。**

# 7.5 Windows 2000/XP用プリンタードライバーのインストール

## ■操作の前に

- **ドライバーをインストールする前に、起動しているアプリケーションをすべて終了してください。正しくインストールできない場合があります。**
- **プリンタードライバーのインストールは、共有プリンターを使う場合と使わない場合で異なります。**
- **あらかじめ、「7.2 ソフトウエアの入手方法」を参照して、プリンタードライバーをダウンロードしておいてください。**

**ここでは、Windows 2000 の例で説明します。**

注記

プリンタードライバーのインストールは、Administrator権限を持つユーザーアカウントで行ってください。

## 共有プリンターを使う場合

参照

工場出荷時の設定では、本機で共有プリンターを利用することはできません。本機を共有プリンターとして利用するには、設定が必要です。設定方法については、同梱されているアプリケーション CD 内の「etc\RRAS_setup」フォルダーにある ReadMe.txt を参照してください。

操作手順

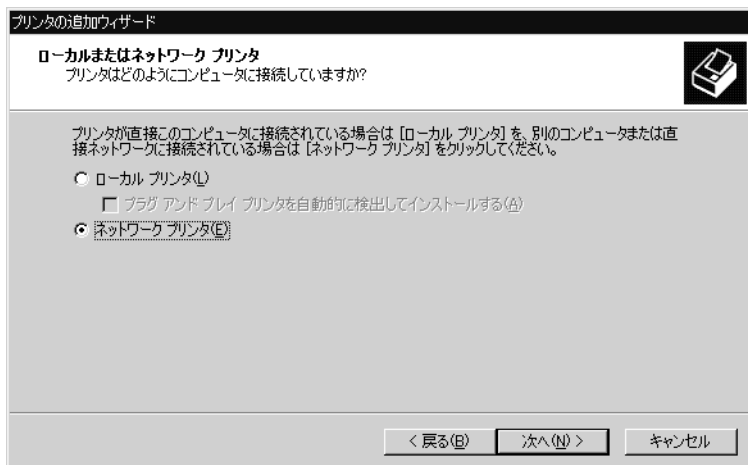
**1 タスクバーの［スタート］→［設定］→［プリンタ］を選択します。**

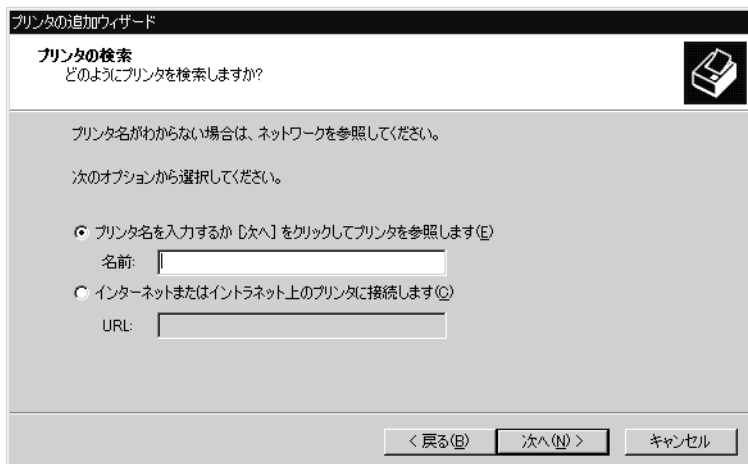
［プリンタ］ウィンドウが表示されます。

**2 ［プリンタの追加］をダブルクリックします。**

［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

**3 ［次へ］をクリックして、インストールを続行します。**

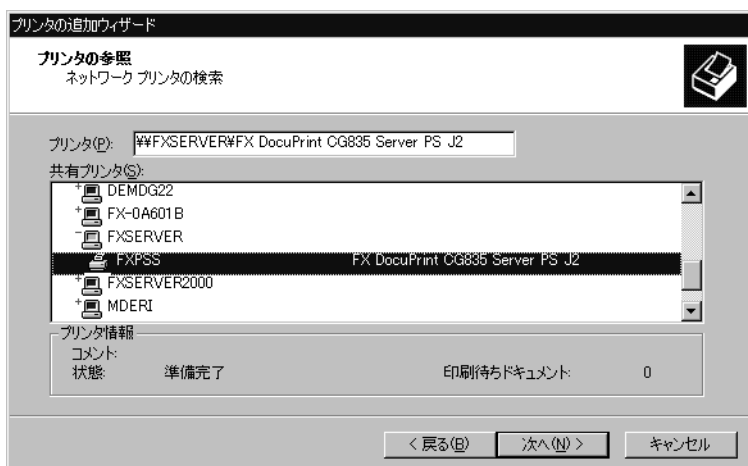
［ローカルまたはネットワークプリンタ］ダイアログボックスが表示されます。

## 4 ［ネットワークプリンタ］を指定して、［次へ］をクリックします。

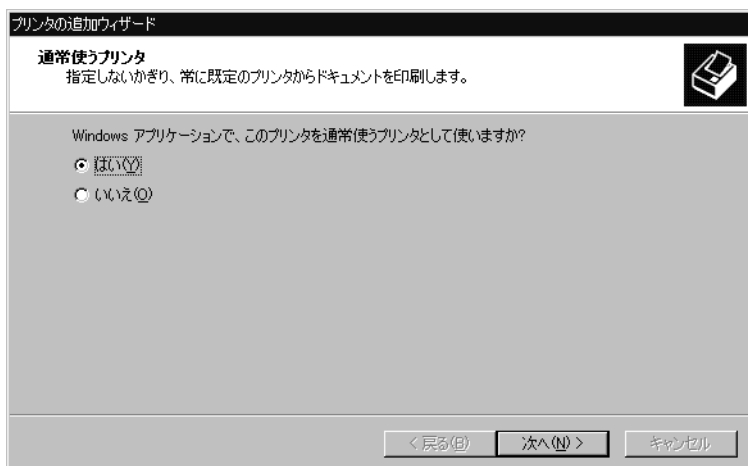
［プリンタの検索］ダイアログボックスが表示されます。

## 5 ［プリンタ名を入力するか［次へ］をクリックしてプリンタを参照します］を選択して、プリンター名を入力します。

**注記**

IPP を利用する場合は、［インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します］を選択し、URL を指定してください。
例）
http:// ＜ IP アドレス（または名前）＞ /printers/ ＜共有名＞ /.printer

## 6 プリンター名がわからない場合は、［次へ］をクリックします。

［プリンタの参照］ダイアログボックスが表示されます。共有プリンターの一覧からプリンターを選択します。

**7** **［次へ］をクリックします。**

［通常使うプリンタ］ダイアログボックスが表示されます。

**8** **Print Server Series を通常使用するプリンターとして設定する場合は、［はい］を指定し、［次へ］をクリックします。**

［プリンタ追加ウィザード］の完了画面が表示されます。

**9** **［完了］をクリックします。**

**10** **［プリンタ］ウィンドウを閉じます。**

**注記**

PageMaker を使用する場合、PageMaker 用 PPD をインストールしてください。PageMaker 用 PPD のインストールについては、「7.8.1 Windows の場合」の「PageMaker 用 PPD のインストール」を参照してください。

**以上で、共有プリンターを使う場合のドライバーのインストールは完了です。**

## 共有プリンターを使わない場合

**■操作の前に**

**LPR Port を使用して印刷する場合は、クライアントに「UNIX 印刷サービス」がインストールされていることを確認します。インストールされていない場合は、Windows 2000/XP に付属の説明書を参照してインストールしてください。**
**ここでは、Standard TCP/IP を使用する場合の例で説明します。**

操作手順

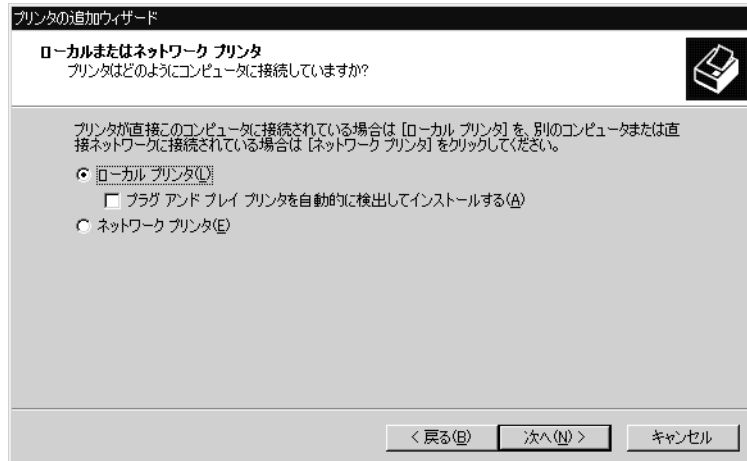
**1** **タスクバーの［スタート］→［設定］→［プリンタ］を選択します。**

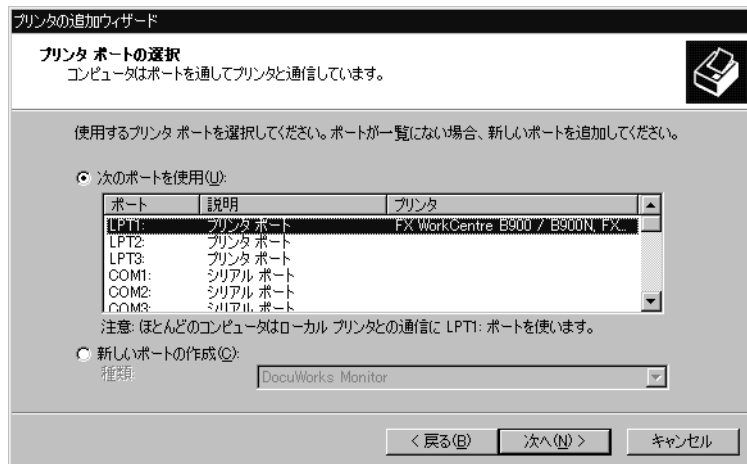
［プリンタ］ウィンドウが表示されます。

## 2 ［プリンタの追加］をダブルクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

## 3 ［次へ］をクリックして、インストールを続行します。

［ローカルまたはネットワークプリンタ］ダイアログボックスが表示されます。

## 4 ［ローカルプリンタ］を選択して、［次へ］をクリックします。

［プリンタポートの選択］ダイアログボックスが表示されます。

## 5 ［新しいポートの作成］を選択して、［種類］で［Standard TCP/IP Port］を選択します。

## 6 ［次へ］をクリックします。

［標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード］が表示されます。

補足

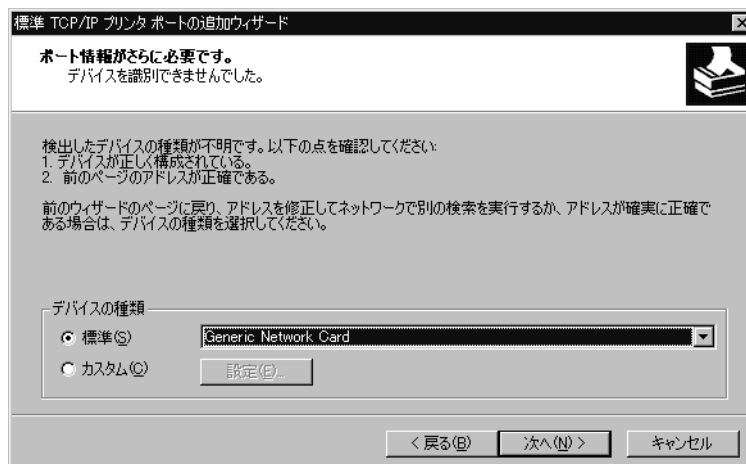
UNIX 印刷サービスを使用する場合は、［LPR Port］を選択します。

**7** **［次へ］をクリックします。**

［ポートの追加］ダイアログボックスが表示されます。

**8** **［プリンタ名または IP アドレス］に、サーバーの IP アドレスを入力します。**

**9** **［ポート名］に、サーバーに設定している TCP/IP のプリンター名を入力し、［次へ］をクリックします。**

ポート情報を詳細に設定する画面が表示されます。

**10** **［デバイスの種類］で［カスタム］を選択し、［設定］をクリックします。**

［標準 TCP/IP ポートモニタの構成］ダイアログボックスが表示されます。

**11** **［プロトコル］で［LPR］を選択し、［LPR 設定］の［キュー名］にサーバーに設定してある TCP/IP のプリンター名を入力して、［OK］をクリックします。**

**注記**

Raw モードはサポートしていません。

**12** **［標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード］で［次へ］をクリックします。**

［標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード］の完了画面が表示されます。

**13** **［完了］をクリックします。**

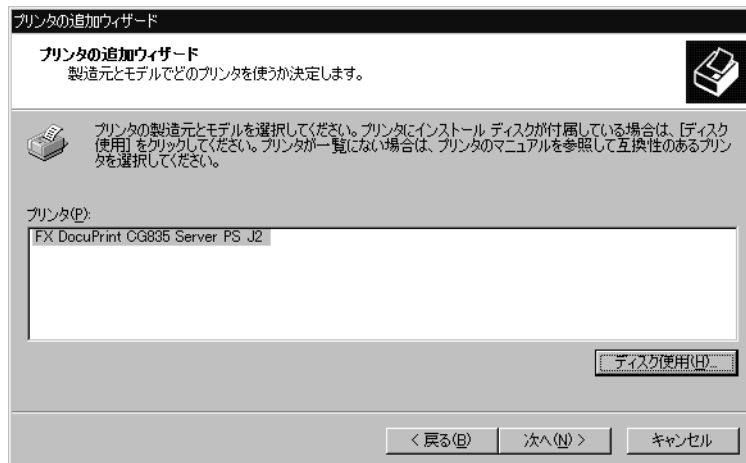
プリンターの製造元とモデルを選択するダイアログボックスが表示されます。

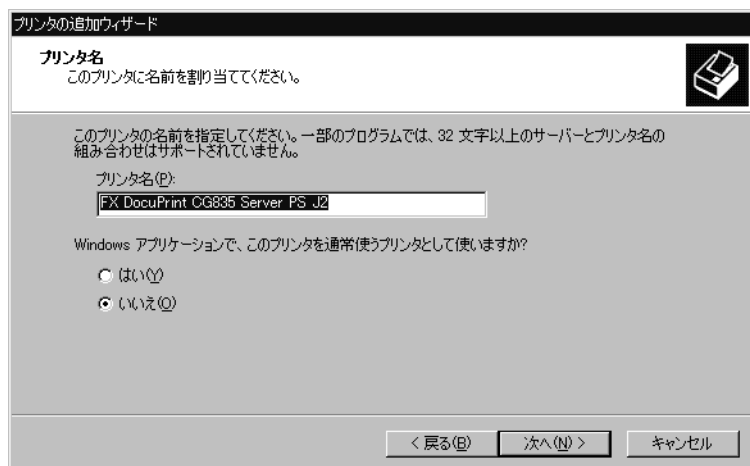
## 14 ［ディスク使用］をクリックし、表示された［フロッピーディスクからインストール］ダイアログボックスで、［参照］をクリックします。

［ファイルの場所］ダイアログボックスが表示されます。

## 15 ダウンロードした［PSPlugIn for Windows2000］フォルダを指定し、［DPCG835］→［Fxpscd23.inf］を選択して、［開く］をクリックします。

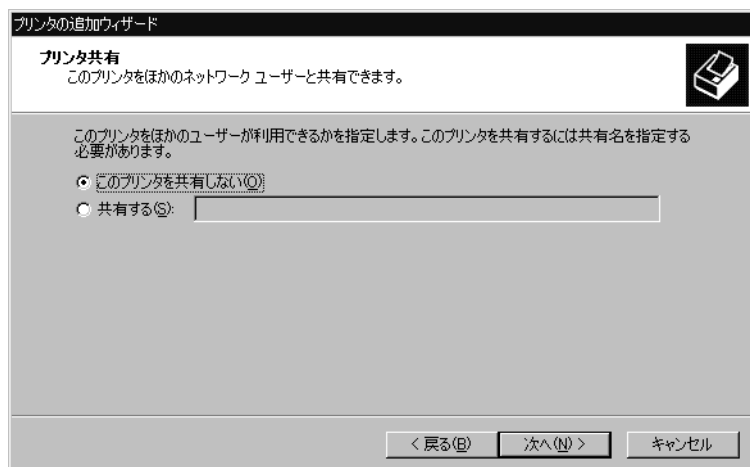
［フロッピーディスクからインストール］ダイアログボックスが表示されたら、［OK］をクリックします。

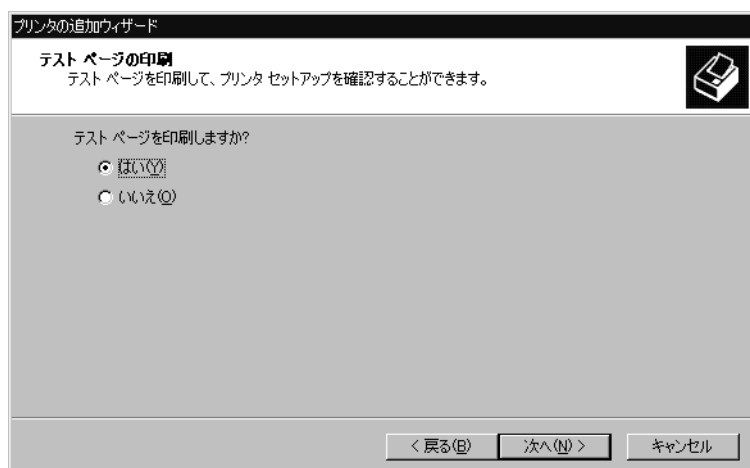
PPD が表示されます。

**16** **[FX DocuPrint CG835 Server PS J2] を選択して、[次へ] をクリックします。**

［プリンタ名］ダイアログボックスが表示されます。

**17** **プリンター名を変更したい場合は、テキストボックスに入力します。**

**18** **Print Server Series を通常使用するプリンターとして設定する場合は、[はい] を指定します。**

**19** **[次へ] をクリックします。**

［プリンタ共有］ダイアログボックスが表示されます。

## 20 プリンターを共有する場合は［共有する］を指定し、プリンターの共有名をテキストボックスに入力します。共有しない場合は［このプリンタを共有しない］を指定し、［次へ］をクリックします。

［テストページの印刷］ダイアログボックスが表示されます。

## 21 インストールの完了後にテストページをプリントする場合は、［はい］を指定します。

## 22 ［次へ］をクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］の完了画面が表示されます。

## 23 ［完了］をクリックします。

表示されたデジタル署名の画面で［はい］をクリックして、インストールを終了します。

## 24 ［プリンタ］ウィンドウを閉じます。

注記

PageMaker を使用する場合、PageMaker 用 PPD をインストールしてください。PageMaker 用 PPD のインストールについては、「7.8.1 Windows の場合」の「●●● PageMaker 用 PPD のインストール」を参照してください。

**以上で、共有プリンターを使わない場合のドライバーのインストールは完了です。**

# 7.6 Macintosh 用プリンタードライバーのインストール

**Macintosh（68K/PowerMac）対応のプリンタードライバーとプリンタードライバープラグインをインストールします。**
**各アイコン名は、次のとおりです。**

- **68K の場合：AdobePS852_J_Installer と AdobePS852PI_Installer_TL**
- **PowerMac(Mac OS8.1J以降)の場合:AdobePS87_J_InstallerとAdobePSPlugIn_Installer_TL**
- **PowerMac(Mac OS8.6J 以降)の場合:AdobePS_J_Installer と AdobePSPlugIn_Installer_TL**

注記

PowerMac（Mac OS8.1J 以降）用のプリンタードライバーは、基本セットに含まれていません。使用する場合は、プリンタドライバ 2 を個別にダウンロードしてください。

参照

Mac OS X をお使いの場合は、プリンタードライバーのインストールは必要ありません。OS に付属の LaserWriter 用プリンタードライバーを使用します。「7.7 Mac OS X 用プリンターの作成」を参照してください。

## ■操作の前に

**Macintosh 68K 用の AdobePS8.5.2J ドライバーを、Mac OS8.5 以降の PowerMac で使用するときは、AdobePS8.5.2J ドライバーをインストールする前に、機能拡張フォルダ内の「PrintingLib」を削除してください。**

操作手順

**1 ダウンロードした、プリンタードライバーをダブルクリックします。**

インストーラーが起動します。

**2 ［続ける］をクリックして、インストールを続行します。**

エンドユーザーライセンス契約書が表示されます。

**3 ［同意］をクリックします。**

AdobePS のインストール画面が表示されます。

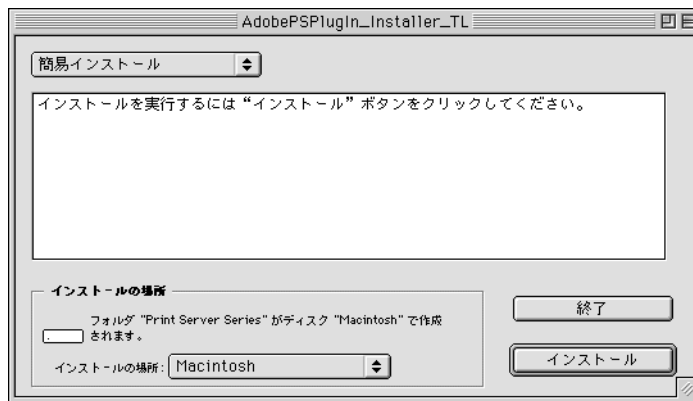
**4 ［インストール］をクリックします。**

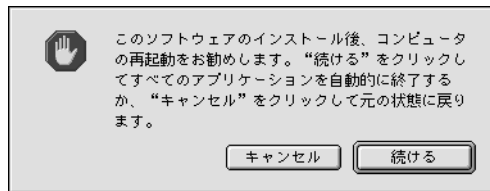
インストールが始まります。インストールが終了すると、インストーラーを終了するためのウィンドウが表示されます。

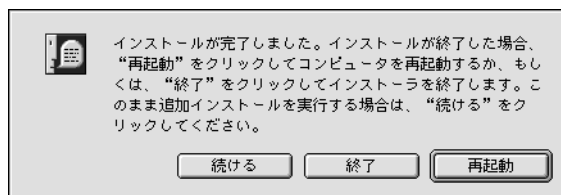
## 5 ［終了］をクリックし、インストーラーを終了します。

**引き続き、プリンタードライバープラグインをインストールします。**

## 6 ダウンロードしたプラグインをダブルクリックします。

インストーラーが起動します。

## 7 ［インストール］をクリックします。

インストール後に再起動を勧めるウィンドウが表示されます。

## 8 ［続ける］をクリックします。

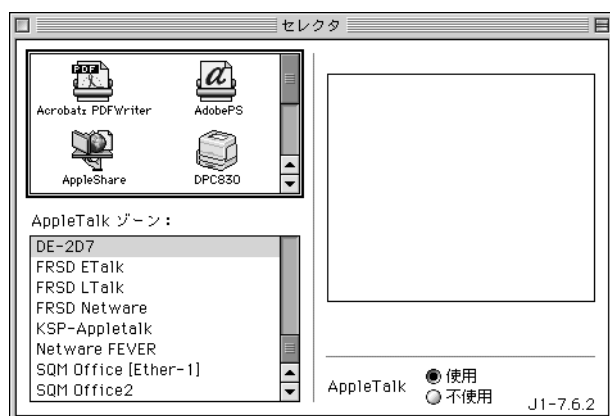
インストールが終了すると、コンピューターを再起動するためのウィンドウが表示されます。

## 9 ［再起動］をクリックして、コンピューターを再起動します。

**以上で、プリンタードライバーのインストールは完了です。**
**なお、プリントする場合は、セレクタでプリンターを作成する必要があります。**
**引き続き、後述の「●●● プリンターの作成」に進んでください。**

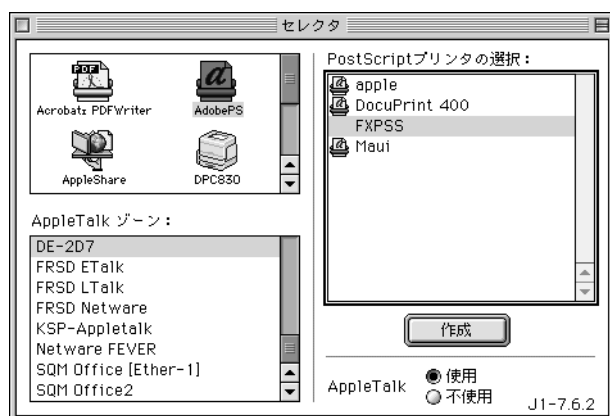
## プリンターの作成

操作手順

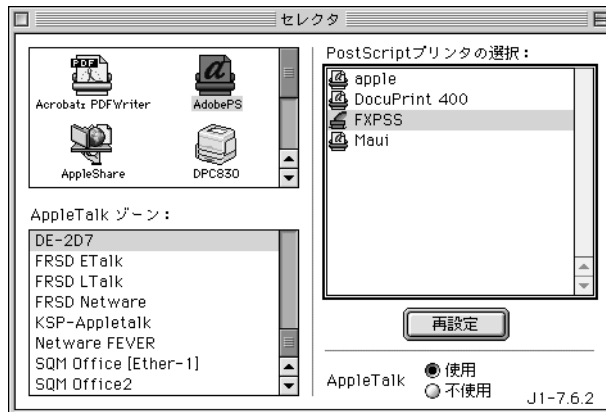
**1** **アップルメニューから［セレクタ］を選択します。**

［セレクタ］ウィンドウが表示されます。

**2** **［セレクタ］ウィンドウの右下にある AppleTalk の指定が［不使用］になっている場合は、［使用］をクリックし、［AdobePS］アイコンを選択します。**

**3** **［AppleTalk ゾーン］から、Print Server Series のサーバーが存在するゾーンを選択し、画面右側の［PostScript プリンタの選択］に表示されたリストから、サーバーを選択します。**

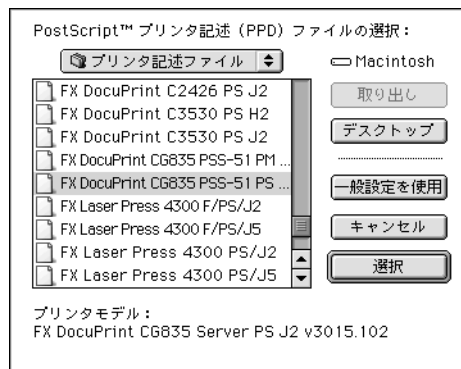
サーバーの名称やゾーン名がわからない場合は、使用しているネットワーク管理者に確認してください。

**4　サーバーをダブルクリックするか、サーバーを選択して［作成］をクリックします。**

サーバーの機種に合った AdobePS ドライバー用の PPD ファイル（FX DocuPrint CG835 PSS-51 PS J2）が自動的に選択され、プリンターの作成が完了します。

補足

PageMaker からプリントする場合は、［セレクタ］ウィンドウの［再設定］をクリックし、表示された画面で［PPD の選択］をクリックして、次の PPD を選択してください。

- FX DocuPrint CG835 PSS-51 PM J2

**5　［セレクタ］ウィンドウを閉じます。**

# 7.7 Mac OS X用プリンターの作成

**Mac OS X 用プリンタ記述ファイル（PPD）を Mac OS X v10.1.5 または v10.2.x/10.3 の Macintosh にインストールします。ここでは、Mac OS X v10.2.6 の画面の例で説明します。**

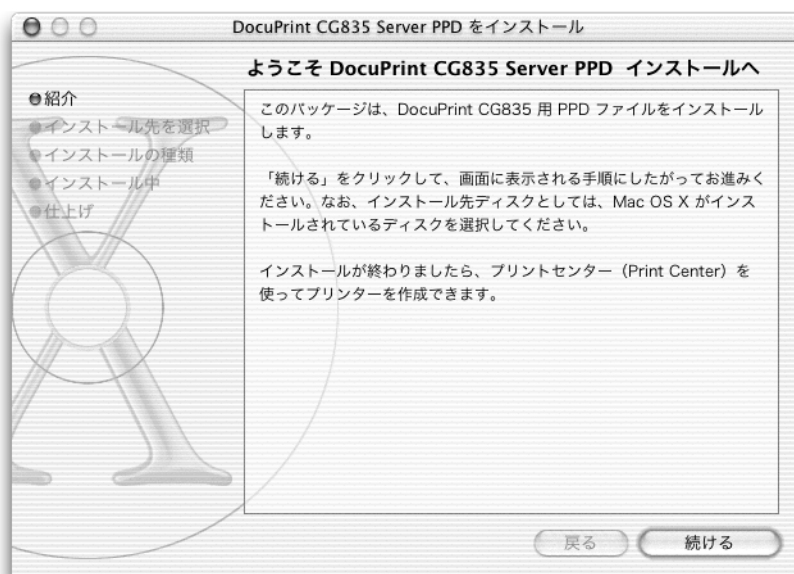
操作手順

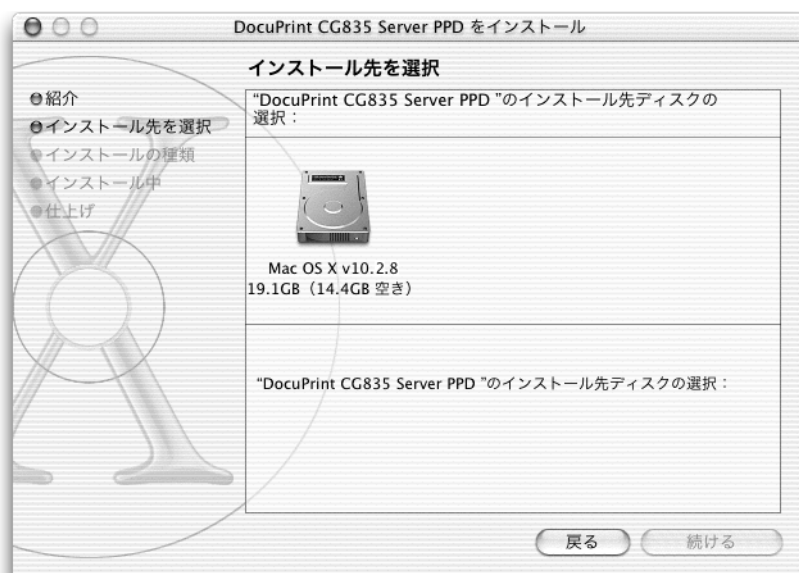
**1 使用している OS のバージョンに合わせて、次のフォルダ内にある DPCG835-51_PPD.pkg アイコンをダブルクリックします。**

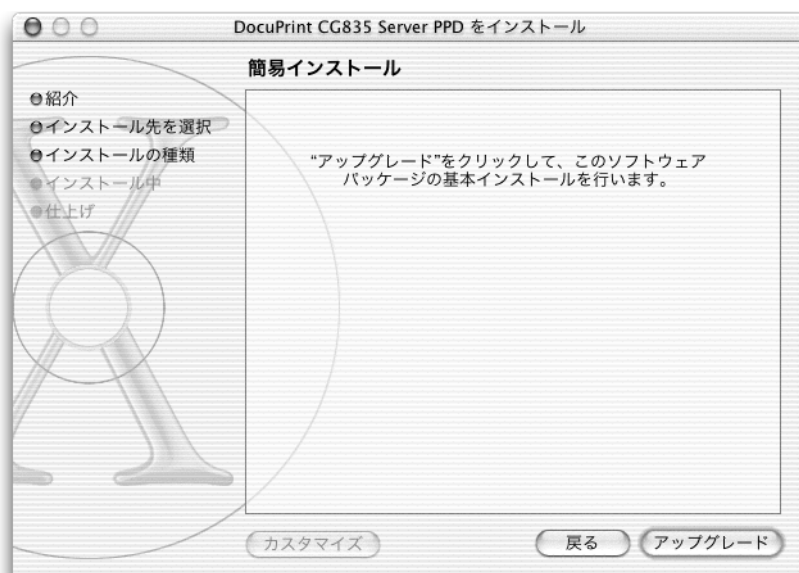
- **v10.1.5 の場合　：「X10.1.5_DPCG835-51_PPD」フォルダ**
- **v10.2.x/10.3 の場合　：「X10.2_DPCG835-51_PPD」フォルダ**

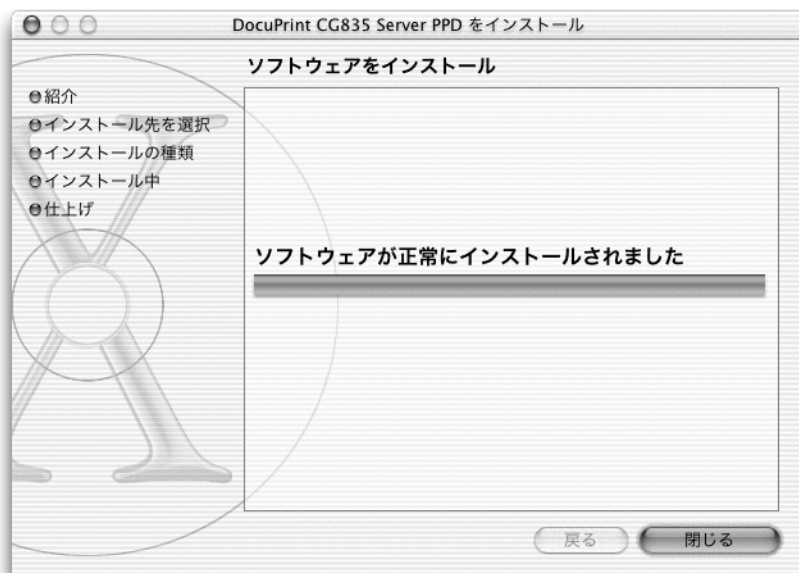
補足

「X10.1.5_DPCG835-51_PPD」フォルダは、ダウンロードした X10.1.5_DPCG835-51_PPD.dmg をマウントすると表示されます。
「X10.2_DPCG835-51_PPD」フォルダは、ダウンロードした X10.2_DPCG835-51_PPD.dmg をマウントすると表示されます。

管理者パスワードを求める画面が表示された場合は、［🔒］ボタンをクリックし、表示された［認証］画面で管理者のパスワードを入力してください。
インストール画面が表示されます。

## 2 ［続ける］をクリックします。

［インストール先を選択］画面が表示されます。

## 3 インストール先を選択して、［続ける］をクリックします。

［簡易インストール］画面が表示されます。

## 4 ［インストール］をクリックします。

インストールが始まります。インストールが終了すると、次の画面が表示されます。

## 5 ［閉じる］をクリックします。

**以上で、PPD のインストールは完了です。**
**なお、プリントする場合は、Print Center でプリンターを作成する必要があります。**
**引き続き、後述の「プリンターの作成」に進んでください。**

### プリンターの作成

操作手順

## 1 「Applications」フォルダ→「Utilities」フォルダの順に開き、Print Center アイコンをダブルクリックします。

［プリンタリスト］ウィンドウが表示されます。

**2** **［追加］をクリックします。**

**3** **表示された画面で、[AppleTalk]、およびサーバーが属しているゾーンを選択し、リストからサーバーを選択します。**

**4** **［追加］をクリックします。**

これで、プリンターが作成され、［プリンタリスト］ウィンドウにサーバーが追加されます。

**5** **［プリンタリスト］ウィンドウを閉じます。**

# 7.8 DropPrint2 など、その他のインストール

**■操作の前に**

**ソフトウエアをインストールする前に、起動しているアプリケーションをすべて終了してください。正しくインストールできない場合があります。**

## 7.8.1 Windows の場合

Windows 95/98/Me および、Windows NT 4.0、Windows 2000/XP 対応の、PageMaker 用 PPD と DropPrint2 をインストールする手順について説明します。

### PageMaker 用 PPD のインストール

PPD ファイルとは、PageMaker を使ってプリントするときに必要な情報を記述したファイルです。PageMaker 用 PPD は、PageMaker を使用している場合にだけインストールが必要です。

操作手順

**1** **ダウンロードした PageMaker 用 PPD ファイルを、以下のディレクトリにコピーします。**

■PageMaker6.5J/7.0J の場合

PageMaker のインストールディレクトリ \Rsrc\Japanese\PPD4

■PageMaker6.0J の場合

PageMaker のインストールディレクトリ \Rsrc\PPD4

以上で、PageMaker 用 PPD のインストールは完了です。

### DropPrint2 やスキャナードライバーなど、その他のインストール

その他のソフトウエアのアイコン名は、次のとおりです。

- DropPrint2_Installer.exe
- ScanDriver_Installer.exe
  （TWAIN ドライバーだけをインストールする場合）
- ScanUtilitySet_Installer.exe
  （TWAIN ドライバーとスキャナーアプリケーションを同時にインストールする場合）

Windows 対応の、その他のソフトウエアをインストールする手順について、DropPrint2 を例にとって説明します。

補足

WebManager から基本セットをダウンロードした場合は、ScanDriver_Installer.exe アイコンはありません。TWAIN ドライバーだけをインストールしたい場合は、WebManager から［Scan Driver］をダウンロードしてください。

**DropPrint2 をインストールする手順を説明します。**

### 操作手順

**1 ダウンロードした DropPrint2_Installer.exe アイコンを、ダブルクリックします。**

DropPrint2 のインストーラーが起動し、次のような画面が表示されます。

**2 ［次へ］をクリックして、インストールを続行します。**

［インストール先の選択］ダイアログボックスが表示されます。

**3 インストール先を変更する場合は、［参照］をクリックして、インストールディレクトリを指定します。**

**［次へ］をクリックします。**

インストールが開始されます。

インストールが終了すると、ウィザードの完了画面が表示されます。

**4 ［完了］をクリックして、インストールを終了します。**

**以上で、DropPrint2 のインストールは完了です。**

## 7.8.2 Macintosh の場合

**Macintosh 対応の、DropPrint2 や ServerPreview2 などをインストールする手順について説明します。**

### DropPrint2 や ServerPreview2 など、その他のインストール

**その他のソフトウエアのアイコン名は、次のとおりです。**

- **DropPrint2_Installer**
- **ScanDriver_Installer**
  **(TWAIN ドライバーだけをインストールする場合)**
- **ScanUtilitySet_Installer**
  **(TWAIN ドライバーとスキャナーアプリケーションを同時にインストールする場合)**
- **ServerPreview2_Installer**
- **ScreenFont1J_2/2J/3J**
- **StatusMonitor_Installer**

**ここでは、Macintosh 対応のその他のソフトウエアをインストールする手順について、DropPrint2 を例にとって説明します。**

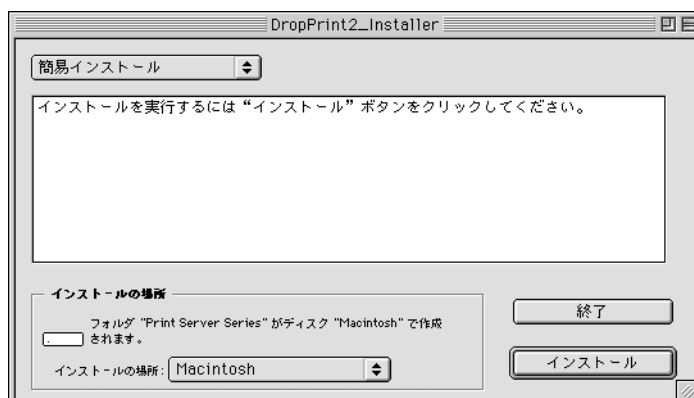
注記
ServerPreview2 は、Mac OS X では Classic 環境で動作します。

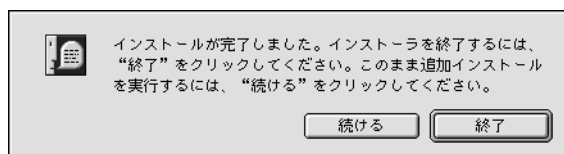
補足
WebManager から基本セットをダウンロードした場合は、ScanDriver_Installer アイコンはありません。TWAIN ドライバーだけをインストールしたい場合は、WebManager から[Scan Driver]をダウンロードしてください。



#### 操作手順

**1 ダウンロードしたソフトウエアのアイコンをダブルクリックします。**

インストーラーが起動します。

## 2 ［インストール］をクリックします。

インストールが始まります。インストールが終了すると、インストーラーを終了するためのウィンドウが表示されます。

## 3 ［終了］をクリックして、インストーラーを終了します。

**以上で、DropPrint2 のインストールは完了です。**

# 困ったときは



この章では、困ったときのトラブル対処について説明します。

# 8.1 エラーウィンドウが表示されたら

**プリンターを使用中に異常が発生すると、サーバーの画面上に次のようなエラーウィンドウが表示されます。**
**この場合は、表示されたウィンドウ内のメッセージに従って、対処してください。**

**また、次のような症状の場合は、『取扱説明書（プリンター編）』の該当箇所も参照のうえ、対処してください。**

| メッセージの概要 | 『取扱説明書（プリンター編）』の参照先 |
|---|---|
| 紙づまり | 「第 5 章 用紙が詰まったときには」 |
| 消耗品（トナーカートリッジや、ドラムカートリッジ、トナー回収カートリッジ）のセット、および交換 | 「6.1 トナーカートリッジの交換」<br>「6.2 ドラムカートリッジの交換」<br>「6.3 トナー回収カートリッジの交換」 |
| 正しい用紙のセット、および用紙の補給 | 「第 3 章 使用できる用紙とセットの仕方」 |

**対処方法に従って対処しても、問題が解決しない場合は、お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクにご連絡ください。**

補足
ウィンドウを閉じてしまった場合は、マシン状態ウィンドウの［状態の詳細］ボタンをクリックしてください。再度、ウィンドウを表示できます。マシン状態ウィンドウについては、「6.1.1 ServerManager のウィンドウ」を参照してください。

# 8.2 エラージョブメッセージ一覧

エラーになったジョブに表示される、エラーメッセージについて説明します。
以下のメッセージは、ServerManager と StatusMonitor のエラーリスト中の「ステータス」や、[ジョブ編集] ダイアログボックスを表示したときに、[情報] タブの [ステータス] に表示されます。

## RIP エラー

| 番号 | エラーリストのステータス | [情報] タブの [ステータス] | 対応 | レベル |
|---|---|---|---|---|
| 1 〜 6 | RIP エラー | CPSI の内部でエラーが発生しました | 通常の使用では発生しません。サーバーを再起動してください。 | E |
| 7 | CPSI 初期化エラー | CPSI の内部でエラーが発生しました。必要なファイルが見つかりません | 通常の使用では発生しません。 | E |
| 8 〜 9 | RIP エラー | CPSI の内部でエラーが発生しました | 通常の使用では発生しません。サーバーを再起動してください。 | E |
| 10 | RIP エラー | RIP エラー | 通常の使用では発生しません。サーバーを再起動してください。 | E |
| 11 | VM エラー | CPSI のメモリが不足しています | サーバーを再起動してください。このエラーが何度も発生する場合は、お買い求めの販売店または、プリンターサポートデスクに連絡してください。 | E |
| 12 | ディスク容量不足 | ディスクの容量が不足しています | 不要なジョブなどを削除して、ディスクの空き容量を増やしてから再プリントしてください。 | E |
| 13 〜 14 | RIP エラー | CPSI の内部でエラーが発生しました | 通常の使用では発生しません。サーバーを再起動してください。 | E |
| 91 | PDF 印刷エラー | この PDF ファイルは印刷を許可されていません | セキュリティーが設定されている PDF ファイルはプリントできません。 | E |
| 92 〜 94 | PDF 変換エラー | PDF ファイルを変換するときにエラーが発生しました | Acrobat Reader などからプリントしてください。 | E |

レベル・・・ E：ドキュメントの修正や再プリントが必要。赤色で表示。
W：プリントオプションの変更で再プリント可能。オレンジ色で表示。
N：エラーを解除すれば再プリント可能。黒色で表示。

| 番号 | エラーリストのステータス | ［情報］タブの［ステータス］ | 対応 | レベル |
|---|---|---|---|---|
| 100 | ジョブ入力エラー | ジョブ読み込みに失敗しました | 再度、ジョブをサーバーに送信してください。たびたび起こる場合は、ディスク障害の可能性もあります。 | E |
| 101 | ファイル出力エラー | ディスクへの書き込みに失敗しました | RIP 直前データの保存に失敗しました。（通常の運用では使用されていません）<br>不要なジョブなどを削除して、ディスクの空き容量を増やしてから再プリントしてください。空きがあるのに起こる場合は、ディスク障害の可能性もあります。 | E |
| 102 | プリントオプションエラー | 分版合成はカラーモード「グレースケール」ではできません | ［グレースケール］と［色分版の合成］を同時に指定してプリントしたために発生しました。［色分版の合成］は、カラーモードのときだけ利用可能な機能です。［カラー］でプリントしてください。 | W |
| 103 | プリントオプションエラー | このプリントオプションでは両面印刷できません | プリントオプションを確認して再プリントしてください。 | W |
| 104 | プリンター電源オフ | プリンタの電源が入っていません | プリンターの電源を入れてから、エラーリストに入った該当するジョブを再開してください。 | W |
| 105 | プリントオプションエラー | このプリンタは両面印刷できません | 片面でプリントしてください。両面印刷を行うには、両面印刷モジュール（オプション）をプリンターに装着する必要があります。 | W |
| 106 | ラスター画像変換エラー | 画像変換に失敗しました | SunRaster・XWD・TIFF 画像の変換に失敗しました。 | E |
| 107 | PostScript エラー | PostScript エラーです | ドキュメントを確認してください。 | E |
| 108 | 用紙トレイなし | 指定された用紙（用紙サイズ、用紙の種類）に必要なトレイがありません | 使用したい用紙をプリンターにセットしてから、エラーリストに入った該当ジョブを再開してください。 | W |

レベル・・・ E：ドキュメントの修正や再プリントが必要。赤色で表示。
W：プリントオプションの変更で再プリント可能。オレンジ色で表示。
N：エラーを解除すれば再プリント可能。黒色で表示。

| 番号 | エラーリストのステータス | ［情報］タブの［ステータス］ | 対応 | レベル |
|---|---|---|---|---|
| 110 | プリフライト出力エラー | プリフライトレポートの保存に失敗しました | ディスクの空き容量が不足しているため、プリフライトレポートをディスクに書き込めません。<br>不要なジョブなどを削除して、ディスクの空き容量を増やしてから再プリントしてください。空きがあるのに起こる場合は、ディスク障害の可能性もあります。 | E |
| 111 | TIFF ファイル出力エラー | TIFF ファイルの保存に失敗しました | ディスクの空き容量が不足しているため、TIFF ファイルをディスクに書き込めません。<br>不要なジョブなどを削除して、ディスクの空き容量を増やしてから再プリントしてください。空きがあるのに起こる場合は、ディスク障害の可能性もあります。 | E |
| 112 | ディスク容量不足 | ディスクが一杯です | 不要なジョブなどを削除して、ディスクの空き容量を増やしてから再プリントしてください。 | E |
| 114 | RIP 済みデータ入力エラー | RIP 済みデータの読み込みに失敗しました | RIP 処理済みデータを削除して、再プリントしてください。 | W |
| 115 | RIP 済みデータ出力エラー | RIP 済みデータの書き込みに失敗しました | ディスクの空き容量が不足しているため、RIP 処理済みデータをディスクに書き込めません。<br>不要なジョブなどを削除して、ディスクの空き容量を増やしてから再プリントしてください。空きがあるのに起こる場合は、ディスク障害の可能性もあります。 | W |
| 116 | 出力部数エラー | コピー部数が 999 を超えています | 部数を 999 部以下に設定して、再プリントしてください。 | W |
| 117 | ユーザ調整ファイルエラー | ユーザー調整用のファイルが見つかりません | ユーザー調整カーブの割り付け状態を確認してから、再プリントしてください。 | W |

レベル・・・ E：ドキュメントの修正や再プリントが必要。赤色で表示。
W：プリントオプションの変更で再プリント可能。オレンジ色で表示。
N：エラーを解除すれば再プリント可能。黒色で表示。

| 番号 | エラーリストのステータス | ［情報］タブの［ステータス］ | 対応 | レベル |
|---|---|---|---|---|
| 118 | キャリブレーションファイルエラー | キャリブレーション用のファイルが見つかりません | キャリブレーションの割り付け状態を確認してから、再プリントしてください。 | W |
| 120 | 分版合成エラー | 色版の数が合わないため分版合成に失敗しました | ［色分版の合成］のところで [QuarkXPress3-Style] などを指定してプリントしたときに色版の数が合っていません。<br>［自動］を指定して、プリントしてください。 | W |
| 121 | ディスク容量不足 | ジョブデータがディスクに保存されていないため処理できません | ジョブが空きディスク容量不足でディスクに保存できなかった場合、再プリントや［ソートする（一部ごと）］などで発生します。不要なジョブなどを削除して、ディスクの空き容量を増やしてから再度、ジョブをサーバーに送信してください。 | E |
| 122 | 両面印刷サイズエラー | おもて面とうら面の用紙サイズが異なるため両面印刷できません | 改ページの場所を調整するか、片面でプリントしてください。 | W |
| 123 | プリントオプションエラー | 用紙サイズ・プリンタモード・画質モードがフォームと異なります | フォーム、またはその上に重ねるジョブのどちらかのジョブを修正して、再度、差込印刷をしてください。 | W |
| 124 | TIFF ファイル名エラー | TIFF ファイル名が重複するため処理できません | TIFF　フォルダから不要なファイルを削除して、再開してください。 | E |
| 125 | プリントオプションエラー | RIP 済みデータの用紙サイズが不適当なため小冊子作成できません | 用紙サイズを確認し、RIP 処理済みデータを削除して再度小冊子作成をしてください。 | W |
| 126 | プリントオプションエラー | 指定された用紙種類では両面印刷できません | 両面印刷ができる用紙を使用してください。 | W |
| 132 | プリントオプションエラー | RGB 画像警告はカラーモード「グレースケール」ではできません | RGB 画像警告を使用する場合は、カラーモードで［カラー］を選択してください。 | W |
| 133 | メモリー不足エラー | メモリの確保に失敗しました | メモリー容量が不足しています。再プリントしてください。 | E |
| 134 | プリントオプションエラー | 分版合成しながら差込印刷することはできません。 | プリントオプションを設定し直してください。 | W |

レベル・・・ E：ドキュメントの修正や再プリントが必要。赤色で表示。
W：プリントオプションの変更で再プリント可能。オレンジ色で表示。
N：エラーを解除すれば再プリント可能。黒色で表示。

| 番号 | エラーリストのステータス | ［情報］タブの［ステータス］ | 対応 | レベル |
|---|---|---|---|---|
| 139 | 用紙トレイなし | 指定された用紙サイズ（RIP 済みデータの用紙サイズ）、用紙種類）に必要なトレイがありません | RIP 処理済みデータの用紙サイズをトレイにセットするか、RIP 処理済みデータを削除して、再度 RIP 処理し直してください。 | W |
| 140 | サイズエラー | 用紙サイズが自動の場合、手差しトレイは指定できません | EPS/TIFF/SunRaster/XWD はプリントオプションの［グラフィックス］タブで、［用紙サイズ］を［自動］に設定している場合、手差しトレイは指定できません。<br>ほかのトレイを指定してください。 | W |
| 141 | サイズエラー | 節電中にトレイの用紙サイズが変更されたため印刷できませんでした | 用紙サイズを確認してください。 | N |
| 142 | サイズエラー | SunRaster/XWD は A3x2/B4x2/A2L/B3L に印刷できません | 用紙サイズを確認してください。 | W |
| 143 | RGB 色補正プロファイルエラー | RGB 色補正プロファイルが見つかりません | プロファイルを確認してください。 | W |
| 144 | RGB 出力プロファイルエラー | RGB 出力プロファイルが見つかりません | プロファイルを確認してください。 | W |
| 145 | フォーム登録エラー | 指定した番号は使われていたため、フォームとして登録することができませんでした | 未登録の番号を使用してください。 | W |
| 146 | 差込印刷エラー | 差込印刷に使用するフォームが登録されていません | 使用するフォームを登録してください。 | W |
| 147 | 差込印刷エラー | 分版出力のジョブはフォームとして登録できません | プリントオプションを変更してください。 | W |
| 148 | プリントオプションエラー | 分版出力のジョブは差込印刷できません | プリントオプションを変更してください。 | W |
| 149 | 差込印刷エラー | フォームのRIP済みデータがないため差込印刷できません | RIP 処理済みデータを作成してください。 | W |
| 150 | RIP 済みデータ入力エラー | フォームの RIP 済みデータの読み込みに失敗しました | 再度RIP処理済みデータを読み込んでください。 | W |
| 151 | プリントオプションエラー | 差込印刷できない用紙サイズです | 用紙サイズを確認してください。 | W |

レベル・・・ E：ドキュメントの修正や再プリントが必要。赤色で表示。
W：プリントオプションの変更で再プリント可能。オレンジ色で表示。
N：エラーを解除すれば再プリント可能。黒色で表示。

| 番号 | エラーリストのステータス | ［情報］タブの［ステータス］ | 対応 | レベル |
|---|---|---|---|---|
| 152 | RIP エラー | CMYK 色補正に問題（nnn）があります。 | nnn に表示される番号を書き留めたうえで、お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクに連絡してください。 | E |
| 153 | RIP エラー | トナー制限に問題（nnn）があります | nnn に表示される番号を書き留めたうえで、お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクに連絡してください。 | E |
| 154 | RIP エラー | RGB 画像警告に問題（nnn）があります | nnn に表示される番号を書き留めたうえで、お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクに連絡してください。 | E |
| 155 | RIP エラー | ユーザー調整・TRC・キャリブレーションに問題（nnn）があります | nnn に表示される番号を書き留めたうえで、お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクに連絡してください。 | E |
| 156 | プリントオプションエラー | 手差しトレイからは A5 ブックレットを出力できません | ほかのトレイを指定してください。 | W |
| 157 | プリントオプションエラー | 範囲指定したページがありません | ページ範囲の指定を確認してください。 | W |
| 158 | 差込印刷エラー | 指定されたフォームには既にセキュリティ指定のジョブが登録されています | 未登録の番号を使用してください。 | W |
| 159 | プリントオプションエラー | RIP 済みデータの用紙サイズが不適当なため 2 アップできません | 用紙サイズを確認し、RIP 処理済みデータを削除して再度2アッププリントをしてください。 | W |
| 160 | プリントオプションエラー | RIP 済みデータの用紙サイズが不適当なためダブルプリントできません | 用紙サイズを確認し、RIP 処理済みデータを削除して再度ダブルプリントをしてください。 | W |
| 161 | プリントオプションエラー | 2 色印刷シミュレーションで使用する色版が指定されていません | 使用する色版を指定してください。 | W |

レベル・・・ E：ドキュメントの修正や再プリントが必要。赤色で表示。
W：プリントオプションの変更で再プリント可能。オレンジ色で表示。
N：エラーを解除すれば再プリント可能。黒色で表示。

| 番号 | エラーリストのステータス | ［情報］タブの［ステータス］ | 対応 | レベル |
|---|---|---|---|---|
| 162 | 差込印刷エラー | 指定されたフォームにはセキュリティが指定されています | フォームのセキュリティー指定を解除するか、下地ジョブにも、フォームと同様のセキュリティーの指定をしてください。 | W |
| 163 | 差込印刷エラー | フォームとデータのパスワードが違います | フォームと下地ジョブには、同じパスワードを指定してください。 | W |
| 164 | 用紙トレイなし | 指定された用紙トレイがありません | オプションのトレイモジュール（2段）/（1段）が装着されていない場合は、トレイ2、3を指定できません。ほかのトレイを指定してください。 | W |
| 165 | 両面印刷エラー | 特A3トレイから両面印刷をおこなうことはできません | ほかのトレイを指定してください。 | W |
| 166 | プリントオプションエラー | 用紙サイズ / イメージサイズが不適当なため小冊子作成できません | 用紙サイズ / イメージサイズを確認してください。 | W |
| 167 | プリントオプションエラー | 用紙サイズ / イメージサイズが不適当なため2アップできません | 用紙サイズ / イメージサイズを確認してください。 | W |
| 168 | プリントオプションエラー | 用紙サイズ / イメージサイズが不適当なためダブルプリントできません | 用紙サイズ / イメージサイズを確認してください。 | W |
| 169 | 小冊子作成エラー | 指定されたトレイ / 用紙種類では小冊子作成ができません | 用紙トレイを変更するか用紙種類を変更してください。 | W |
| 170 | 小冊子作成エラー | 指定された用紙種類では小冊子作成ができません | 用紙種類を変更してください。 | W |
| 199 | RIP エラー | RIP エラー | お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクに連絡してください。 | E |

レベル・・・ E：ドキュメントの修正や再プリントが必要。赤色で表示。
W：プリントオプションの変更で再プリント可能。オレンジ色で表示。
N：エラーを解除すれば再プリント可能。黒色で表示。

## コントローラーボードエラー

コントローラーボードエラーが発生すると、エラーリストには「コントローラボードエラー」と表示され、［情報］タブの［ステータス］では、「コントローラボードでエラーが発生しました」と表示されます。
エラーコードには、次のものがあります。

| 番号 | 説明 | 対応 | レベル |
|---|---|---|---|
| 1001 ～ 1013 | 基本的にこのエラーコードでジョブがエラーになることはありません。 | サーバーを再起動してください。 | E |
| 1031 | メモリー容量が不足しています。 | 定常状態で、再実行または拡張メモリーの追加をしてください。 | W |
| 1041 | DMA 転送エラーです。 | サーバーを再起動してください。 | E |

レベル・・・ E：ドキュメントの修正や再プリントが必要。赤色で表示。
W：プリントオプションの変更で再プリント可能。オレンジ色で表示。
N：エラーを解除すれば再プリント可能。黒色で表示。

## プリンターエラー

| 番号 | エラーリストのステータス | ［情報］タブの［ステータス］ | 対応 | レベル |
|---|---|---|---|---|
| 1 | プリンターエラー | プリンタが故障しています | お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクに連絡してください。 | N |
| 2 | プリンターエラー | 他機種の両面ユニットが装着されています | お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクに連絡してください。 | N |
| 99 | プリンターエラー | プリンタが故障しています | お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクに連絡してください。 | N |
| 101 | トレイ 1 故障 | トレイ 1 が故障しています | お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクに連絡してください。 | N |
| 102 | トレイ 2 故障 | トレイ 2 が故障しています | お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクに連絡してください。 | N |
| 103 | トレイ 3 故障 | トレイ 3 が故障しています | お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクに連絡してください。 | N |

レベル・・・ E：ドキュメントの修正や再プリントが必要。赤字で表示。
W：プリントオプションの変更で再プリント可能。オレンジ色で表示。
N：エラーを解除すれば再プリント可能。黒色で表示。

| 番号 | エラーリストのステータス | [情報] タブの[ステータス] | 対応 | レベル |
|---|---|---|---|---|
| 104 | 手差しトレイ故障 | 手差しトレイが故障しています | お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクに連絡してください。 | N |
| 199 | プリンターエラー | プリンタが故障しています | お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクに連絡してください。 | N |
| 201 | カバーオープン | カバーを閉じてください | カバーを閉じてください。 | N |
| 210 | トレイなし | トレイがありません | 指定した用紙サイズのトレイをセットしてください。 | W |
| 212 | トレイ用紙サイズエラー | トレイの用紙サイズを確認してください | 正しい用紙をセットしてください。 | W |
| 213 | 手差し用紙サイズエラー | 手差しトレイの用紙サイズを確認してください | 正しい用紙をセットしてください。 | W |
| 214 | 手差し用紙種類エラー | 手差しトレイの用紙種類を確認してください | 正しい用紙をセットしてください。 | W |
| 215 | プリンターエラー | トレイに OHP をセットすることはできません | OHP フィルムは手差しトレイにセットしてください。 | W |
| 216 | 手差し用紙サイズエラー | 手差しトレイに用紙サイズが正しくない紙がセットされています | 正しい用紙をセットしてください。 | N |
| 217 | プリンターエラー | 枠つき OHP フィルムは使用できません | 適切なOHPフィルムを使用してください。 | N |
| 218 | 用紙サイズエラー | トレイの用紙サイズが設定されていません | 特 A3 トレイにセットされている用紙サイズを指定してください。 | N |
| 219 | 用紙トレイエラー | トレイが正しくセットされていません | トレイを正しくセットしてください。 | N |
| 232 | 紙づまり | 紙づまりです | 詰まった用紙を取り除いてください。 | N |
| 251 | イエロートナーなし | イエロートナーがありません | イエローのトナーカートリッジを交換してください。 | N |
| 252 | マゼンタトナーなし | マゼンタトナーがありません | マゼンタのトナーカートリッジを交換してください。 | N |
| 253 | シアントナーなし | シアントナーがありません | シアンのトナーカートリッジを交換してください。 | N |
| 254 | ブラックトナーなし | ブラックトナーがありません | ブラックのトナーカートリッジを交換してください。 | N |
| 263 | ドラムカートリッジ交換 | ドラムカートリッジを交換してください | ドラムートリッジを交換してください。 | N |

レベル・・・ E：ドキュメントの修正や再プリントが必要。赤字で表示。
W：プリントオプションの変更で再プリント可能。オレンジ色で表示。
N：エラーを解除すれば再プリント可能。黒色で表示。

| 番号 | エラーリストのステータス | ［情報］タブの［ステータス］ | 対応 | レベル |
|---|---|---|---|---|
| 266 | トナー回収ボトルなし | トナー回収ボトルを確認してください | トナー回収カートリッジを正しくセットしてください。 | N |
| 267 | トナー回収ボトルフル。 | トナー回収ボトルを交換してください | トナー回収カートリッジを交換してください。 | N |
| 281 | トレイ 1 用紙なし | トレイ 1 に用紙がありません | 用紙を補給してください。 | N |
| 282 | トレイ 2 用紙なし | トレイ 2 に用紙がありません | 用紙を補給してください。 | N |
| 283 | トレイ 3 用紙なし | トレイ 3 に用紙がありません | 用紙を補給してください。 | N |
| 285 | 手差しトレイ用紙なし | 手差しトレイに用紙がありません | 用紙を補給してください。 | N |
| 399 | プリンターエラー | プリンタでエラーが発生しました。プリンタを確認してください | お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクに連絡してください。 | N |
| 401 | プリンターエラー | プリンタとの通信エラーが発生しました | サーバーを再起動してください。 | N |
| 499 | プリンターエラー | コントローラ側でエラーが発生しました | お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクに連絡してください。 | N |

レベル・・・ E：ドキュメントの修正や再プリントが必要。赤字で表示。
W：プリントオプションの変更で再プリント可能。オレンジ色で表示。
N：エラーを解除すれば再プリント可能。黒色で表示。

## データベースエラー

| 番号 | エラーリストのステータス | ［情報］タブの［ステータス］ | 対応 | レベル |
|---|---|---|---|---|
| 26 | エラー終了 | ジョブの処理が正常に行われていません | おもに、サーバー起動時にデータベースファイルのジョブ情報に不整合が見つかりました。<br>必要な作業はありません。自動的に不整合を修復し、該当するジョブがエラージョブに移動されます。 | E |

レベル・・・ E：ドキュメントの修正や再プリントが必要。赤色で表示。
W：プリントオプションの変更で再プリント可能。オレンジ色で表示。
N：エラーを解除すれば再プリント可能。黒色で表示。

## 受信時エラー

| 番号 | エラーリストのステータス | ［情報］タブの［ステータス］ | 対応 | レベル |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ディスク容量不足 | ディスクがいっぱいです | 不要なジョブなどを削除して、ディスクの空き容量を増やしてください。 | E |
| 2 | スプールファイル出力エラー | ファイルの書き込みに失敗しました | サーバーを再起動してください。 | E |
| 3 | スプールファイル作成エラー | ファイルの作成に失敗しました | サーバーを再起動してください。 | E |
| 4,5 | ジョブ受信エラー | 受信時にエラーが発生しました | 再度、ジョブをサーバーに送信してください。 | E |
| 6 | ジョブ受信エラー | 指定されたデバイスとは違うものが接続されています | 接続を確認してください。 | E |

レベル・・・ E：ドキュメントの修正や再プリントが必要。赤色で表示。
W：プリントオプションの変更で再プリント可能。オレンジ色で表示。
N：エラーを解除すれば再プリント可能。黒色で表示。

## メール送信時エラー

| 番号 | 内容 | 対応 |
|---|---|---|
| 100 | 指定した宛先、グループがアドレス帳に登録されていませんでした。 | 送信先の設定を確認してください。 |
| 110 | SMTP サーバーの IP アドレスを参照できませんでした。 | PDF 配信の環境設定で、SMTP サーバー名を確認してください。 |
| 111 | SMTP サーバーに接続できませんでした。 | ネットワーク管理者にご確認ください。 |
| 112 | SMTP サーバーとの接続が中断しました。 | ネットワークの状態を確認してください。 |
| 113 | 送信者がSMTPサーバーに拒否されました。 | ネットワーク管理者にご確認ください。 |
| 114 | 宛先が SMTP サーバーに拒否されました。 | 送信先の設定を確認してください。 |
| 115 | SMTP サーバーエラー。 | ネットワーク管理者にご確認ください。 |
| 120 | 送信処理のためのディスク容量が不足しています。 | エラーメールや不要なファイルの削除、ServerManager の不要なジョブなどを削除して、ディスクの空き容量を増やしてください。 |
| 121 | 送信処理中にディスクエラーが発生しました。 | ディスク障害の可能性があります。お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクに連絡してください。 |

## メール受信時エラー

| 番号 | 内容 | 対応 |
|---|---|---|
| 200 | 受信したメールに、印刷可能なファイルが添付されていませんでした。 | 送信元にご確認ください。受信したメールには印刷可能なファイルが添付されていません。 |
| 201 | 受信ドメインの制限によって、メールの受信が中止されました。 | PDF 配信の環境設定で、受信ドメインの設定を確認してください。 |
| 202 | メールサーバーからエラー通知メールを受信しました。 | PDF 配信でエラーメールを確認してください。 |
| 203 | 分割送信されたメールの一部を受信しましたが、一定時間内に全部を受信できませんでした。 | 送信元にメールを再送するように依頼してください。 |
| 210 | POP3 サーバーの IP アドレスを参照できませんでした。 | PDF 配信の環境設定で、POP3 サーバー名を確認してください。 |
| 211 | POP3 サーバーに接続できませんでした。 | ネットワーク管理者にご確認ください。 |
| 212 | POP3 サーバーとの接続が中断しました。 | ネットワークの状態を確認してください。 |
| 213 | POP3 サーバーに認証されませんでした。 | ネットワーク管理者にご確認ください。 |
| 214 | POP3 サーバー上のメールボックスが開けませんでした。 | ネットワーク管理者にご確認ください。 |
| 215 | POP3 サーバーエラー。 | ネットワーク管理者にご確認ください。 |
| 220 | 受信処理のためのディスク容量が不足しています。 | エラーメールや不要なファイルの削除、ServerManager の不要なジョブなどを削除して、ディスクの空き容量を増やしてください。 |
| 221 | 受信処理中にディスクエラーが発生しました。 | ディスク障害の可能性があります。お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクに連絡してください。 |

# 8.3 Q&A

ここでは、皆様からよくあるお問い合わせと、それに対する回答を紹介します。

## 色調整機能について

**Q** CMYK のうち、特定の版だけをプリントしたいのですが。

**A** 2 色印刷シミュレーション機能を使用します。プリントする色版だけを指定してください。

参照
「6.2.6 画質タブ」

**Q** コンポジット特色補正機能が対応している、PANTONE カラーと DIC カラーは？

**A** PANTONE カラーは、PANTONE Coated（CVC）です。
PANTONE Uncoated（CVU）を指定した場合は、PANTONE Coated と同じ補正をします。PANTONE Press（CVS）を指定した場合は、PostScript エラーが発生しプリントできません。なお、DIC と東洋インキも Coated に対応しています。
DIC カラーは、DIC カラーガイドのパート 1（DIC 1p 〜 654p）とパート 2（DIC 2001p 〜 2638p）です。
東洋インキカラーは、TOYO COLOR FINDER 1050 です。

参照
「6.2.3 カラータブ」

**Q** 画面上の RGB の文字やグラフィックスの色味が、異なる色でプリントされます。また、RGB 画像の色味が、ぼやけてプリントされます。

**A** プリントオプションの［カラー］タブで［RGB 色補正］を［する］に設定して、プリントし直してみてください。
［RGB 色補正］は、デフォルトでは［しない］になっています。

参照
「6.2.3 カラータブ」

**Q** ユーザー調整カーブで K100%未満に設定したのに、反映されません。

**A** ［Image Enhancement］を「オフ」にしてプリントしてください。

参照
「6.2.3 カラータブ」

### ServerManager の設定について

**Q 白黒自動判別機能は、ありますか？**

**A ありま す。**
**白黒ページが含まれているときに、自動的にグレースケールモードでプリントします。この機能によって、プリント速度も向上します。［画質］タブの［グレースケールモードの自動検出］で指定します。**
**デフォルトは、「オン」に設定されています。**

参照
「6.2.6 画質タブ」

**Q ServerManager を管理者モードで、起動したいのですが。**

**A ServerManager の［ファイル］メニュー→［特別］→［ログインモードの設定］で表示される［ログインモードの設定］ダイアログボックスで、ServerManager の起動時に自動的に管理者または一般ユーザーでログインするように設定できます。**

参照
「5.3.5 ログインモードの設定」

**Q EPS ファイルをプリントしたら、ジョブが消えてしまいました。**

**A ServerManager の［ツール］メニュー→［サーバーの環境設定］の［プリント］タブに表示される［EPS を PostScript として扱う］がオンになっていませんか。showpage コマンドが付いていない EPS ファイルをプリントした場合に、この機能がオンになっていると、showpage コマンド自動付加が抑制されてジョブが消えてしまうことがあります。**

参照
「5.3.1 ServerManager の環境設定」の「プリントタブ」

### その他

**Q 厚紙の SRA3 用紙に、自動両面プリントはできますか？**

**A 官製はがきや専用光沢紙、または特 A3 用紙や SRA3 用紙に両面プリントするときは、手差しトレイから片面ずつプリントしてください。**

参照
『取扱説明書（プリンター編）』

**Q 両面調節微調整をしても、調整用シートの印字位置が変わりません。**

**A 調整用シートは、印刷のずれを確認するためのシートなので、両面印刷微調整を実行する前の状態でプリントされます。**
**なお、確認用シートは、調整結果を反映したものがプリントされます。**

参照
「3.9 両面印刷のずれを微調整する」

**Q WebManagerからアップロード印刷をしたら、エラーになってしまいました。**

**A WebManager を使用してプリントするときは、プロキシサーバーを経由せず、直接サーバーに接続してプリントしてください。**

**Q Windows 95/98 から lpr 出力すると、PS エラーになってしまいます。**

**A Windows 95/98 の［スタート］→［設定］→［プリンタ］でサーバーを選択してプロパティダイアログボックスを開き、［詳細］タブの［スプールの設定］で、［このプリンタの双方向通信機能をサポートしない］を選択してください。**
**双方向通信を設定すると、PS エラーが発生する場合があります。**

**Q QuarkXPress3.3 で、PDF ファイルを適用する仕方を教えてください。**

**A まず、QuarkXPress がインストールされているディレクトリ内にある「PDF」フォルダに、Print Server Series 用の PDF ファイルを格納します。次に、［用紙設定］メニュー→ QuarkXPress →プリンタの種類を選択し、「FX DocuPrint CG835 PSS-51 PDF」を選択してください。**
**なお、QuarkXPress4 は、PDF に対応していません。**

注記
- QuarkXPress3.3でQuark用PDFファイルを使用し、定型サイズにプリントする場合は、カスタムサイズ用に修正したPPDを使用しないでください。カスタムサイズ用紙にプリントする場合だけ、カスタムサイズ用に修正したPPDを使用してください。
- QuarkXPress3.3でQuark用PDFファイルを使用している場合、一度もRIP処理していないジョブは、ServerManagerの［ジョブ編集］ダイアログボックスでは、指定された用紙サイズが表示されません。一度RIP処理されると、指定された用紙サイズが表示されます。

# 付　録

# A 主な仕様

## A.1 製品の仕様

**Print Server Seriesのサーバー部分の仕様について説明します。**
**製品の仕様、外観は改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。**

### サーバー本体

| | |
|---|---|
| ◆プロセッサー | Celeron 1.2GHz |
| ◆メモリー（PC） | 512MB |
| ◆シリアルポート | 1ポート |
| ◆ Ethernet | 10BASE-T/100BASE-TX、<br>ギガビットイーサネット（オプション） |
| ◆ HDD | 40GB、オプションHDD 1台増設可能 |
| ◆ FDD | 3.5インチ（1.44MB/720KB） |
| ◆ CD-ROM | 48倍速 |
| ◆ビデオインターフェイス | XGA対応 |
| ◆キーボード | 日本語109キーボード |
| ◆マウス | PS/2マウス |
| ◆ Print Server Seriesボード | DocuPrint CG835インターフェイス用PCIボード<br>（フレームメモリー：512MB（256MB×2枚）、最大1,024MBまで拡張可能） |
| ◆インターフェイスケーブル | DocuPrint CG835専用ケーブル（2.8m） |

### ディスプレイ

■ 38cm（15型）TFTカラー液晶ディスプレイ
■最大解像度：1,024×768 dot

### 環境要件

■定格電源 / 最大消費電力

| | |
|---|---|
| ◆プロセッサー | 100V、2A/150W |
| ◆ディスプレイ | 100V、1.5A/40W |

■大きさ / 質量

| | |
|---|---|
| ◆プロセッサー | 幅136×奥行き385×高さ355mm/9.3kg |
| ◆ディスプレイ | 幅375×奥行き201×高さ356mm/4.5kg |
| ◆キーボード | 幅459×奥行き172×高さ42mm/1.0kg<br>（質量には、マウスの重さを含みます） |

■動作

| | |
|---|---|
| ◆温度 | 10～35℃ |
| ◆湿度 | 15～80%（結露がないこと） |

# オプション製品について

Print Server Seriesのオプション製品について説明します。

## B.1　オプション製品の種類

Print Server Seriesでは、次のようなオプション品を用意しています。
商品のご注文は、本製品をお買い求めの販売店にご連絡ください。

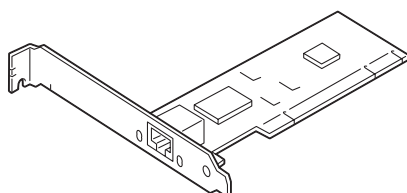
| 商品名 | 内容 |
|---|---|
| Gigabit Etherカード | より高速なギガビットイーサネットネットワークに接続できます。<br>取り付け方は、「付録B.2 Gigabit Etherカードの取り付け」を参照してください。 |
| 増設ハードディスク | プロセッサーに取り付けて使用できます。サーバーに、より多くのデータを保存できます。<br>取り付け方は、「付録B.3 ハードディスクの取り付け」を参照してください。 |
| 512MB追加メモリータイプ2 | PCIボードに取り付けて使用できます。<br>複雑なイメージを含む文書や、データ量の多い原稿をより高速に処理できます。<br>取り付け方は、「付録B.4 拡張メモリーの取り付け」を参照してください。 |
| インターフェイスケーブル(6m) | プリンターとサーバーのプロセッサーを接続するケーブルです。付属の2.8mのケーブルに代えて、使用できます。 |

## B.2　Gigabit Etherカードの取り付け

オプションのGigabit Etherカードの取り付け手順を説明します。

■操作の前に

次のものがそろっていることを確認してください。

• Gigabit Etherカード

• オプション品付属のFD　1枚
• プロセッサーに付属の工具（プラスドライバー）

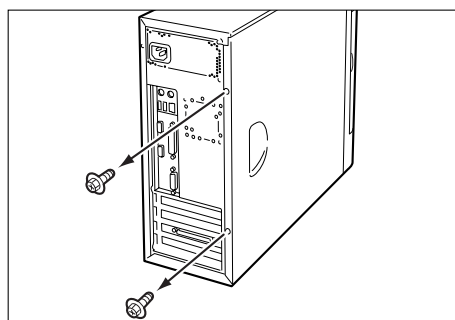
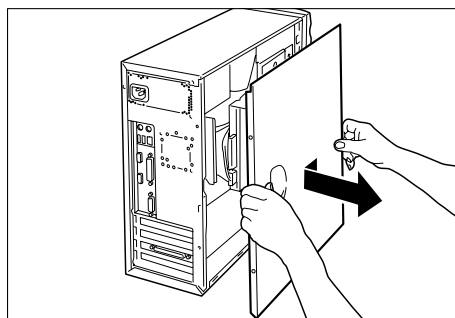
付録

### Gigabit Ether カードの取り付け

操作手順

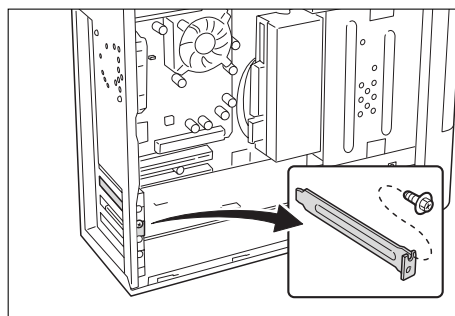
**1** **サーバーが起動している場合は停止し、プロセッサーの電源を切ります。**

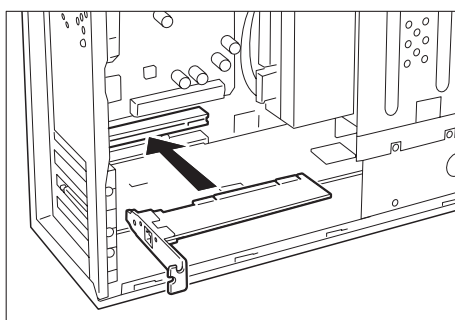
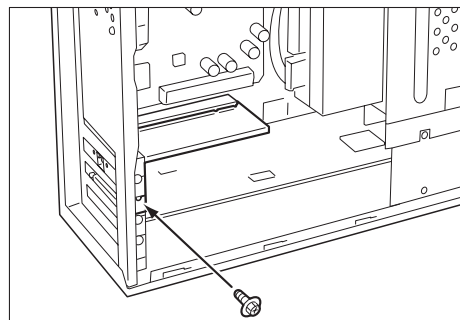
**プロセッサー本体に電源コードやインターフェイスケーブルが接続されている場合は、取り外します。**

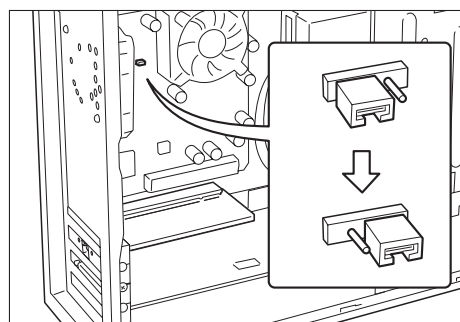
**2** **プロセッサー背面にある、左側面カバーを固定しているネジ（2本）を外します。**

**3** **左側面カバーを、背面側にずらしてから、手前に引いて取り外します。**

**4** **プロセッサー内部の金属部分に手を触れて、静電気を逃がします。**

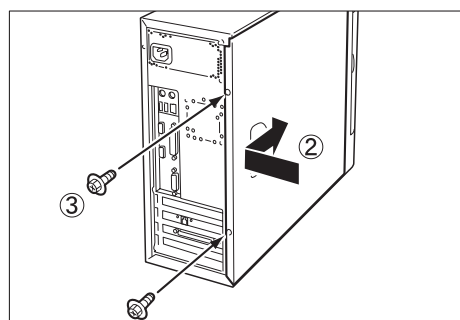
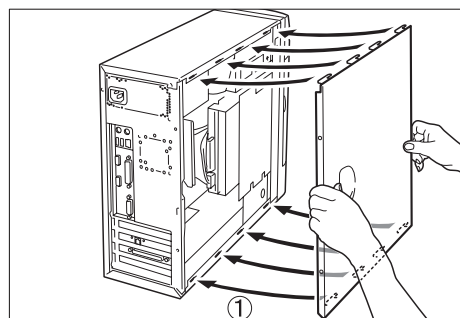
**5** **Gigabit Ether カード用スロットのカバーを固定しているネジを外し、カバーを取り外します。**

補足

作業がしにくい場合は、プロセッサーを横置きにしてください。

**6** **Gigabit Ether カードのコネクターをマザーボード側のコネクターに合わせ、しっかり差し込みます。**

付録

**7** **手順 5 で外したネジで、Gigabit Ether カードを固定します。**

**8** **標準装備のネットワークカードを無効にするため、図のようにジャンパスイッチを、変更します。**

補足
続けてほかのオプション品を取り付ける場合は、以降の手順を行わないで、オプション品を取り付けます。各オプション品の取り付け手順 5 に進んでください。

**9** **左側面カバーの上下の突起部を本体の穴に差し込んだら（①）、左側面カバーをプロセッサー前面側にずらし、しっかりとはめ込みます（②）。**

**手順 2 で取り外したネジで、左側面カバーを固定します（③）。**

**10** **電源コード、および手順 1 で取り外したケーブルを接続します。**

## サーバーでの設定

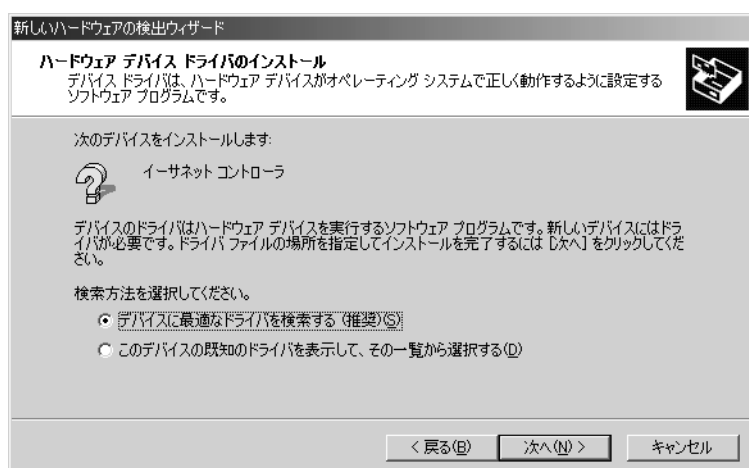
**プロセッサーへの取り付けが完了したら、Gigabit Ether カード用のドライバーをインストールし、サーバーのネットワーク環境を再設定します。**

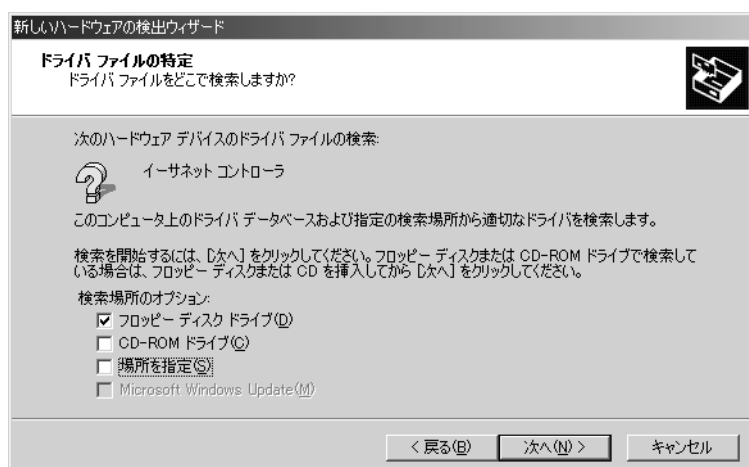
操作手順

**1 プロセッサーの電源を入れます。**

Windows にログイン後、［新しいハードウェアの検出ウィザード］が表示されます。

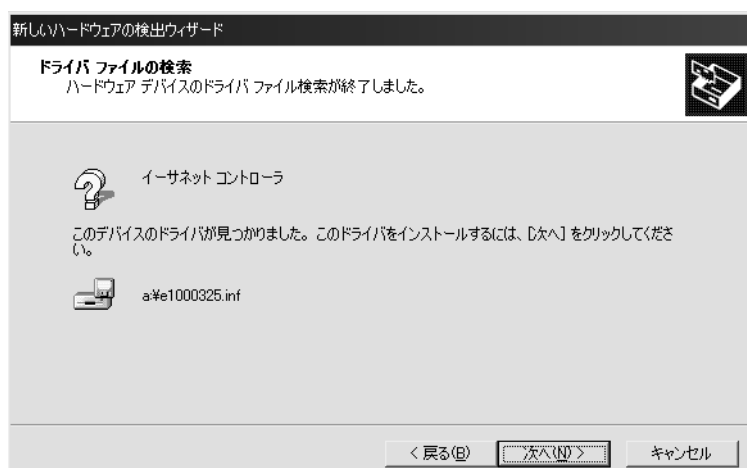
**2 ［次へ］をクリックします。**

［ハードウェアデバイスドライバのインストール］ダイアログボックスが表示されます。

**3 ［デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）］がチェックされていることを確認して、［次へ］をクリックします。**

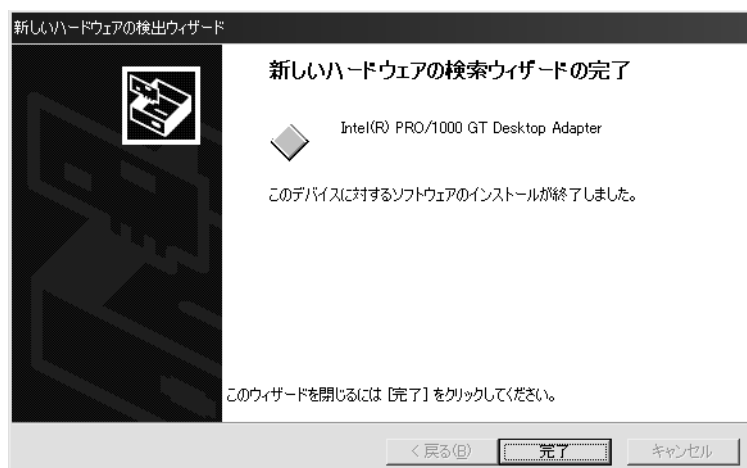
［ドライバファイルの特定］ダイアログボックスが表示されます。

**4 オプション品に付属の FD をフロッピーディスクドライブに挿入します。**

付録

## 5 ［ドライバファイルの特定］で、［フロッピーディスクドライブ］がチェックされ、［場所を指定］がチェックされていないことを確認して、［次へ］をクリックします。

「a:\e1000325.inf」というドライバーが見つかったことを示す画面が表示されます。

## 6 ［次へ］をクリックします。

ドライバーのインストールが開始されます。

インストールが終了すると、次のようなダイアログボックスが表示されます。

## 7 ［完了］をクリックします。

**続けて、ネットワーク環境を設定します。**

## 8 ［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］を選択し、表示された［コントロールパネル］ウィンドウから［ネットワークとダイアルアップ接続］をダブルクリックします。

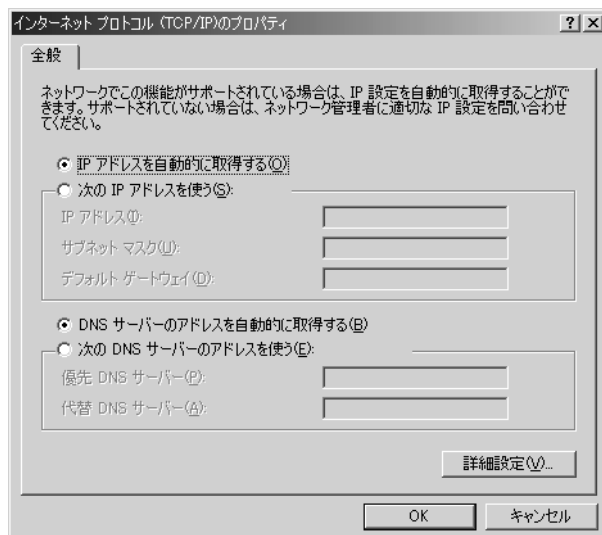
付録

## 9 Gigabit Ether カード用ドライバーのインストールによって、新しく追加された［ローカルエリア接続］（通常は［ローカルエリア接続 2］をダブルクリックし、［プロパティ］をクリックします。）

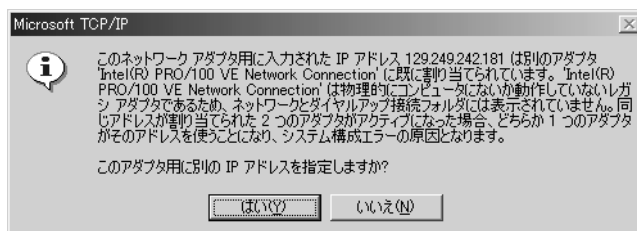
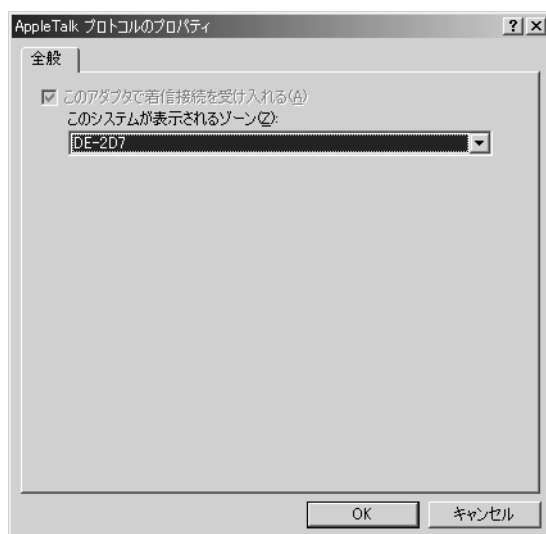
［ローカルエリア接続 2 のプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

## 10 コンポーネントの［インターネットプロトコル（TCP/IP)］をダブルクリックします。

［インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

付録

**11** **［次の IP アドレスを使う］を選択し、［IP アドレス］にサーバーの IP アドレスを入力します。**

**必要に応じて、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、および DNS のアドレスを設定し、［OK］をクリックします。**

次のようなダイアログボックスが表示された場合は、［いいえ］をクリックします。

**12** **AppleTalk で使用する場合は、さらに［ローカルエリア接続 2 のプロパティ］ダイアログボックスで、コンポーネントの［AppleTalk プロトコル］ダブルクリックします。**

**13** **［このアダプタで着信接続を受け入れる］がチェックされていることを確認し、［このシステムが表示されるゾーン］を設定します。**

**［OK］をクリックします。**

**14** **［ローカルエリア接続 2 のプロパティ］ダイアログボックスで［OK］をクリックします。**

［ローカルエリア接続状態］ダイアログボックス、［コントロールパネル］ウィンドウも閉じます。

**15** **「D:\FujiXerox\Print Server Series\bin」ディレクトリの「FX_DBServer.ini」ファイルをメモ帳などのエディターを使って開きます。**

付録

**16** **次の 1 行を追加し、上書き保存します。**

```
NICSpeed=2
```

**17** **サーバーを再起動します。**

スタートアップページをプリントして、「コミュニケーション」欄の表示が、「1000Base-T/100Base-TX/10Base-T」と表示されることを確認してください。

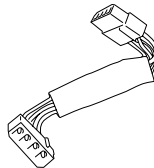
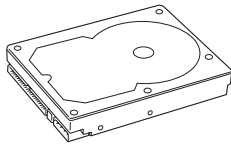
## B.3 ハードディスクの取り付け

**オプションの HDD の取り付け手順を説明します。**

**■操作の前に**

**次のものがそろっていることを確認してください。**

- **HDD**

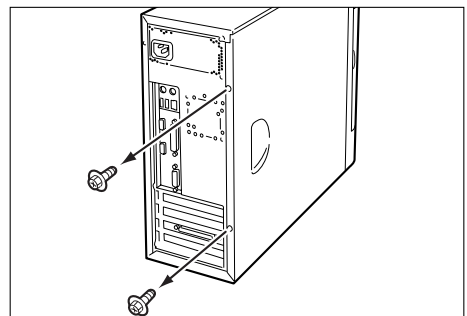
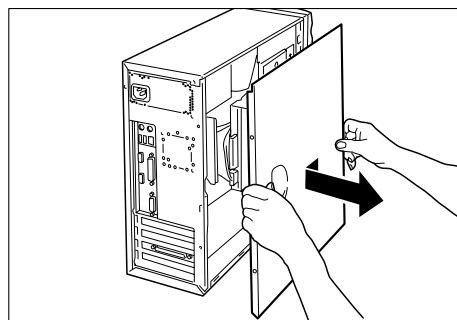
- **電源中継ハーネス**

- **オプション品に付属のネジ　4 本**
- **プロセッサーに付属の工具（プラスドライバー）**

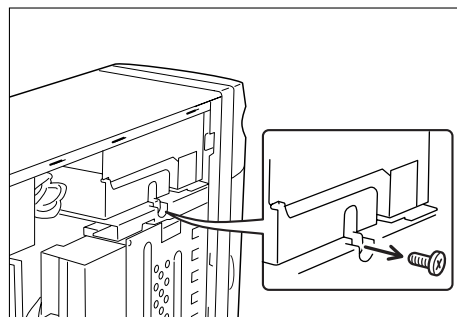
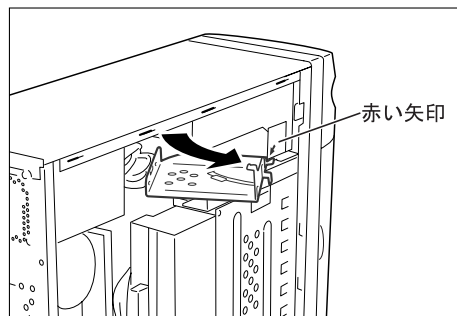
### HDD の取り付け

操作手順

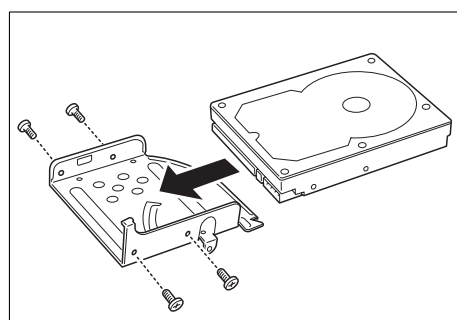
**1** **サーバーが起動している場合は停止し、プロセッサーの電源を切ります。**

**プロセッサー本体に電源コードやインターフェイスケーブルが接続されている場合は、取り外します。**

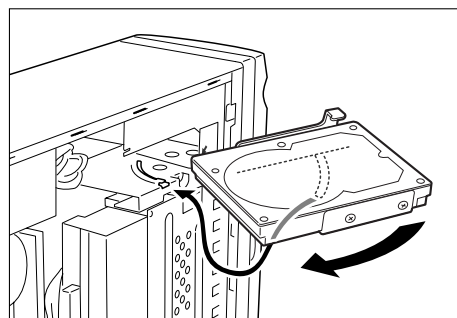
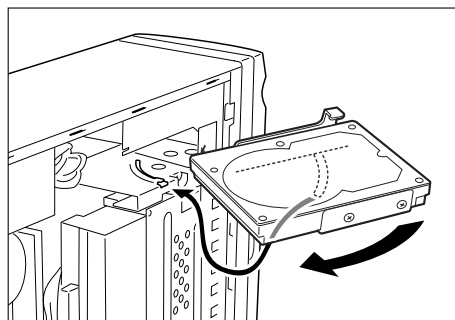
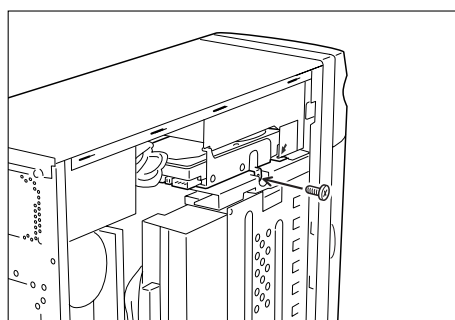
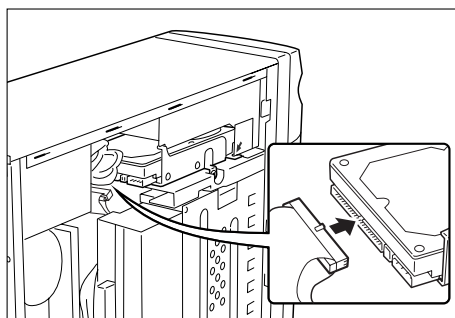
**2** **プロセッサー背面にある、左側面カバーを固定しているネジ（2 本）を外します。**

**3　左側面カバーを、背面側にずらしてから、手前に引いて取り外します。**

**4　プロセッサー内部の金属部分に手を触れて、静電気を逃がします。**

**5　図の位置のネジを取り外します。**

**6　HDD用ブラケットを、赤い矢印を起点に手前側に回転させるようにして取り外します。**

**7　ブラケットにHDDを差し込み、HDDに同梱されていたネジ（4本）で固定します。**

注記

HDDは非常にデリケートな機器です。衝撃を与えると故障するおそれがあります。HDDとブラケットをネジで固定するときは、机などの平らな場所の上に置いて、作業してください。

**8　HDDをプロセッサーに取り付けます。ブラケットの突起部をプロセッサーの赤い矢印に合わせます。**

補足

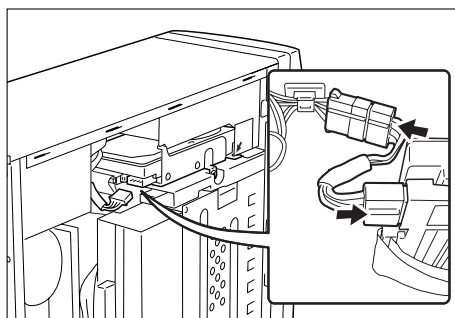
作業がしにくい場合は、プロセッサーを横置きにしてください。

**9** **赤い矢印を起点にして、ブラケットの円弧状の溝が本体の溝にはまっていることを確認しながら、回転させてください。**

**10** **手順5で取り外したネジで固定します。**

**11** **プロセッサー内部のフラットケーブルを、HDDのIDEコネクターにしっかり接続します。**

**12** **電源中継ハーネスの片方のコネクターを、プロセッサー内部の電源ケーブルに、もう片方のコネクターを HDD のコネクターに、しっかりと接続します。**

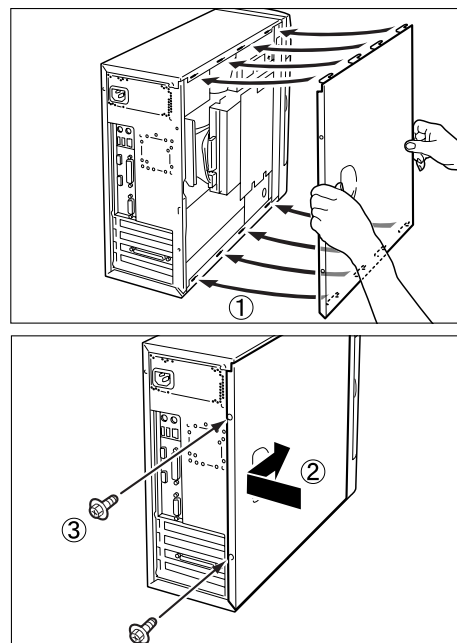
注記

必ず、付属の電源中継ハーネスを使用してください。電源中継ハーネスを使用しないと、サーバーが起動しないことがあります。

これで、HDDの取り付けは完了です。

補足

続けてほかのオプション品を取り付ける場合は、以降の手順を行わないで、オプション品を取り付けます。各オプション品の取り付け手順5に進んでください。

**13** **左側面カバーの上下の突起部を本体の穴に差し込んだら（①）、左側面カバーをプロセッサー前面側にずらし、しっかりとはめ込みます。（②）。**

**手順 2 で取り外したネジで、左側面カバーを固定します（③）。**

**14** **電源コード、および手順 1 で取り外したケーブルを接続します。**

## サーバーでの設定

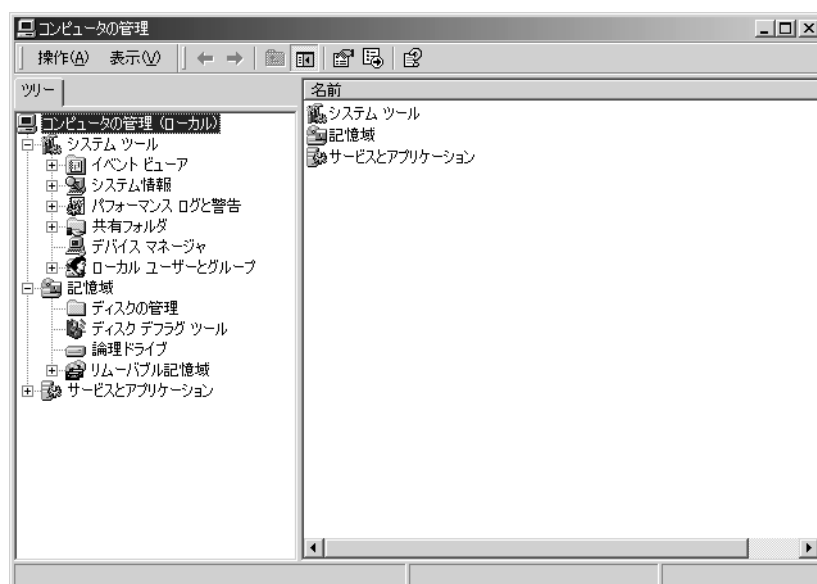
HDD の取り付けが完了したら、追加したディスクをフォーマットし、ドライブに割り当てます。

操作手順

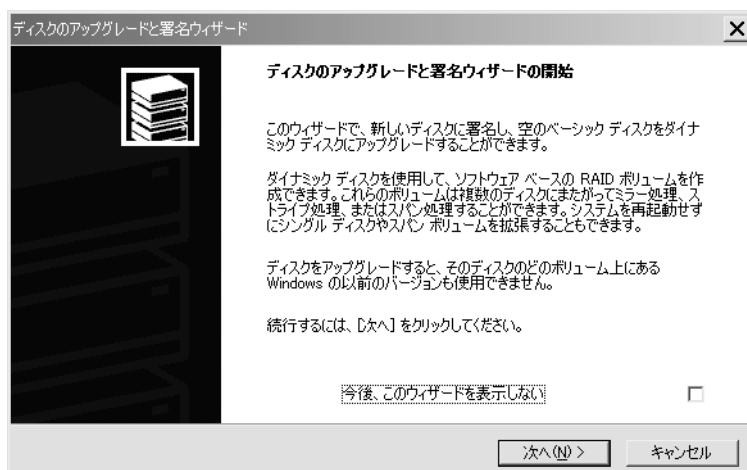
**1** プロセッサーの電源を入れます。

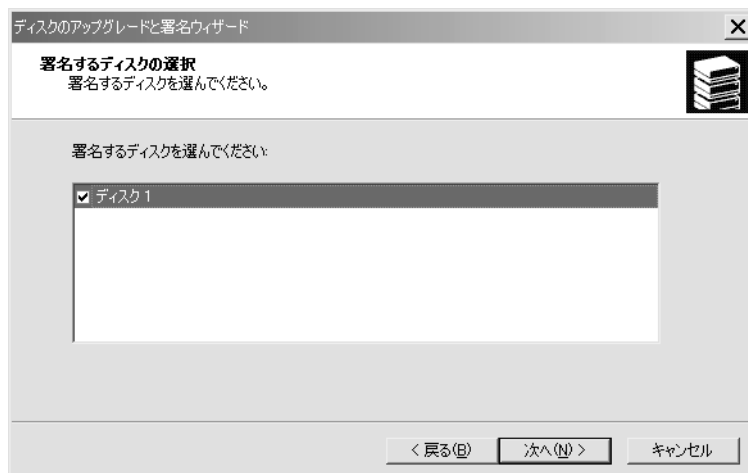
**2** ［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］を選択します。

**3** ［管理ツール］をダブルクリックし、［コンピュータの管理］をダブルクリックします。

［コンピュータの管理］ウィンドウが表示されます。

**4** 左側のツリーから［記憶域］の下の［ディスクの管理］を選択します。

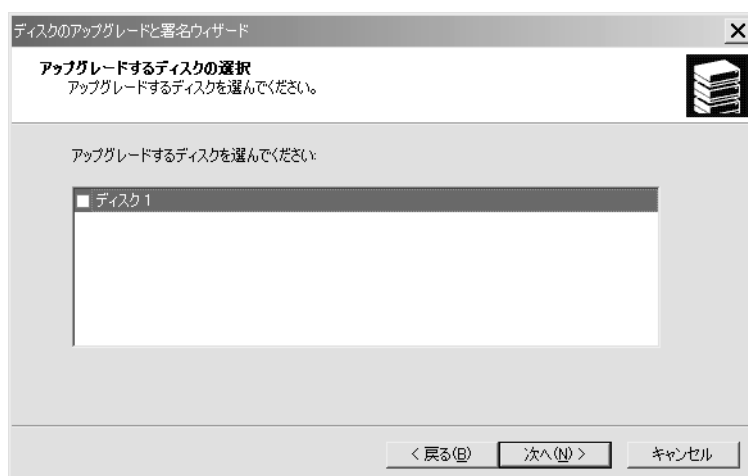
［ディスクのアップグレードと署名ウィザード］が表示されます。

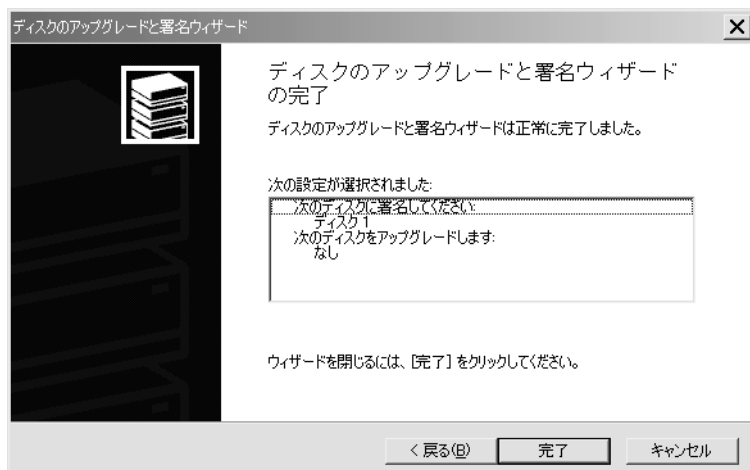
付録

## 5 内容を確認し、[次へ] をクリックします。

［署名するディスクの選択］ダイアログボックスが表示されます。

## 6 [ディスク 1] がチェックされていることを確認し、[次へ] をクリックします。

［アップグレードするディスクの選択］ダイアログボックスが表示されます。

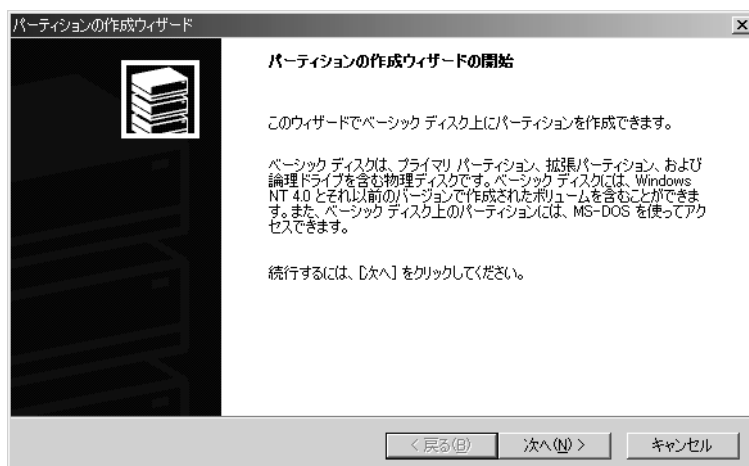
ディスクのアップグレードと署名ウィザード
アップグレードするディスクの選択
アップグレードするディスクを選んでください。
アップグレードするディスクを選んでください:
ディスク 1
< 戻る(B)　次へ(N) >　キャンセル

付録

## 7 ［ディスク 1］のチェックを外して、［次へ］をクリックします。

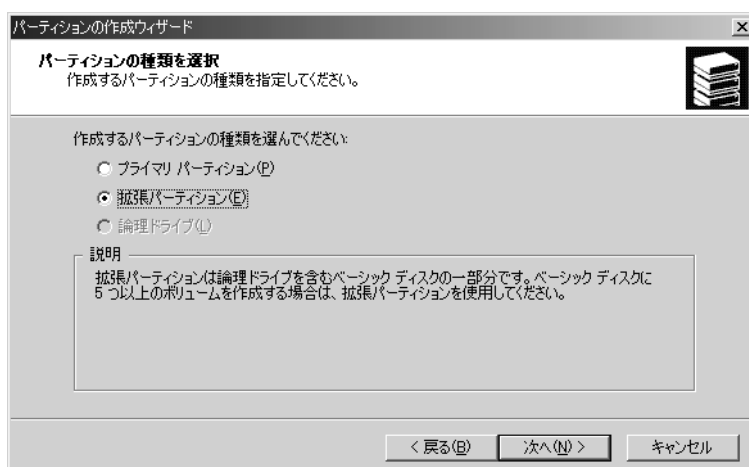
［ディスクのアップグレードと署名ウィザードの完了］ダイアログボックスが表示されます。

## 8 ［完了］をクリックします。

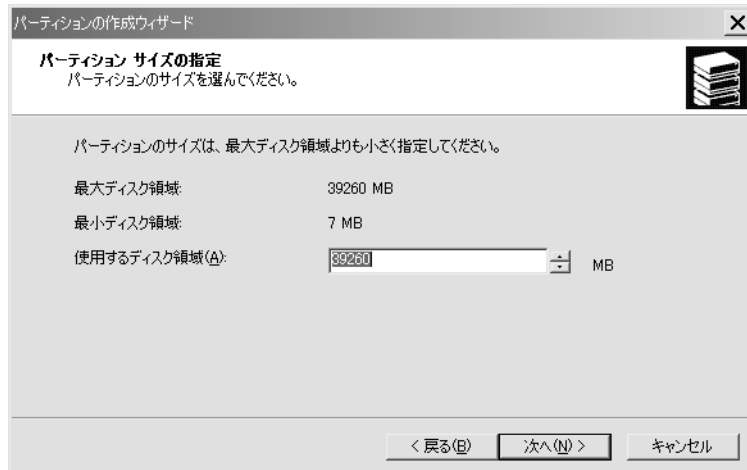
［コンピュータの管理］ウィンドウが表示されます。

## 9 HDD の取り付けによって追加された［ディスク 1］で右クリックし、表示されたメニューから［パーティションの作成］を選択します。

［パーティションの作成ウィザード］が表示されます。

## 10 ［次へ］をクリックします。

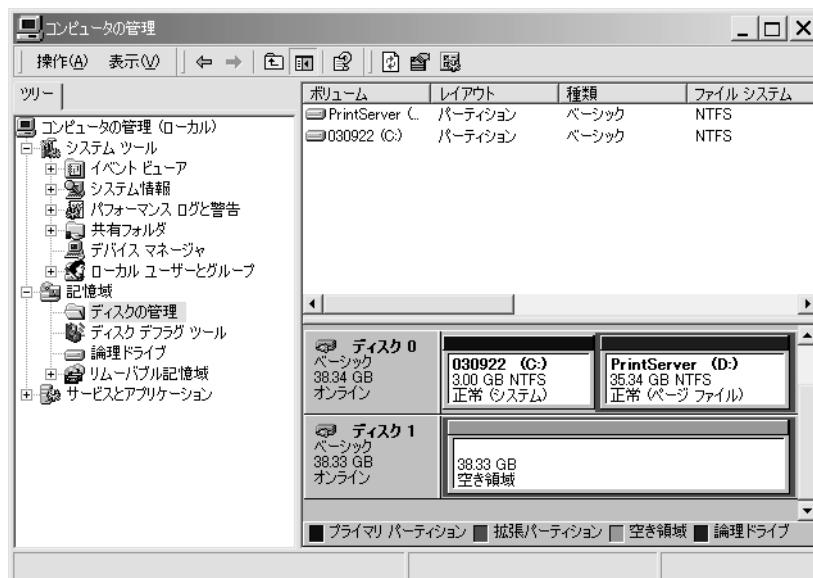
［パーティションの種類を選択］ダイアログボックスが表示されます。

付録

**11** **［拡張パーティション］を選択し、［次へ］をクリックします。**

［パーティションサイズの指定］ダイアログボックスが表示されます。

**12** **［使用するディスク領域］に最大ディスク領域のサイズを指定し、［次へ］をクリックします。**

パーティションが作成され、完了すると、［パーティションの作成ウィザードの完了］ダイアログボックスが表示されます。

**13** **［完了］をクリックします。**

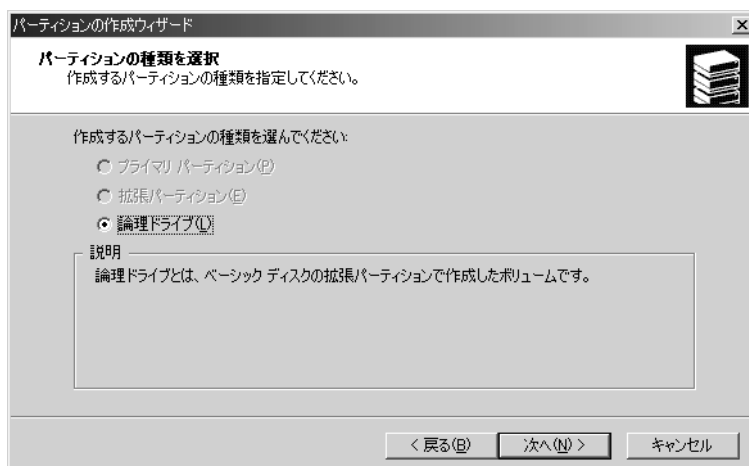
［コンピュータの管理］ウィンドウが表示されます。

**続けて、ドライブを割り当てます。**

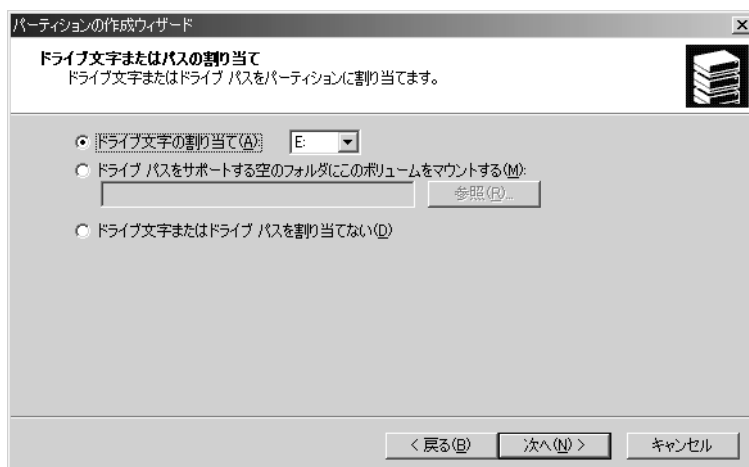
**14** **［ディスク 1］で右クリックし、表示されたメニューから［論理ドライブの作成］を選択します。**

［パーティションの作成ウィザード］が表示されます。

付録

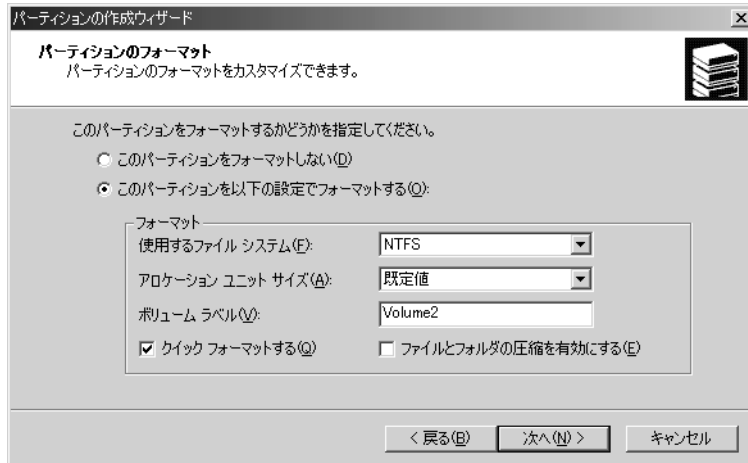
## 15 ［次へ］をクリックします。

［パーティションの種類を選択］ダイアログボックスが表示されます。

## 16 ［論理ドライブ］を選択し、［次へ］をクリックします。

［ドライブ文字またはパスの割り当て］ダイアログボックスが表示されます。

## 17 ［ドライブ文字の割り当て］がチェックされ、［E:］になっていることを確認して、［次へ］をクリックします。

［パーティションのフォーマット］ダイアログボックスが表示されます。

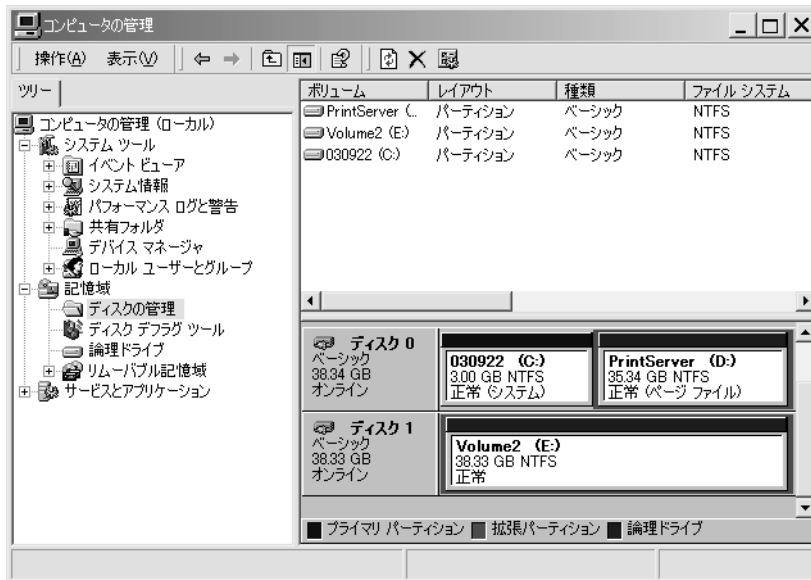
## 18 各項目を次のように設定します。

ボリューム名は、任意に付けてください。

## 19 ［次へ］をクリックします。

パーティションが作成され、完了すると、［パーティションの作成ウィザードの完了］ダイアログボックスが表示されます。

## 20 ［完了］をクリックします。

［コンピュータの管理］ウィンドウが表示されます。

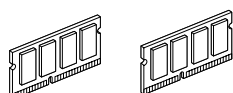
ディスク１が正しく設定されていることを確認して、ウィンドウを閉じます。

**これで、追加したハードディスクを使用するための準備は完了です。**
**このハードディスクを TIFF 保存フォルダや、FTP フォルダ、スプールフォルダとして使用する場合は、「5.3.3 作業用フォルダの場所の設定」を参照して、作業用フォルダの場所の設定を変更してください。**

# B.4 拡張メモリーの取り付け

オプションのメモリーの取り付け手順を説明します。

■操作の前に

次のものがそろっていることを確認してください。

• メモリー 256MB 2枚

• プロセッサーに付属の工具（プラスドライバー）

操作手順

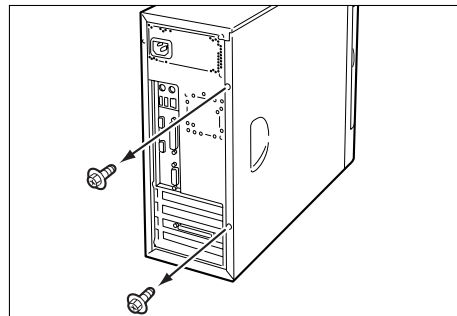
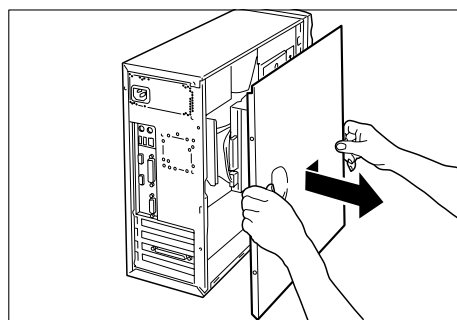
**1** サーバーが起動している場合は停止し、プロセッサーの電源を切ります。

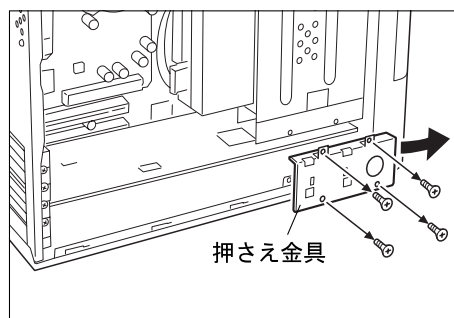
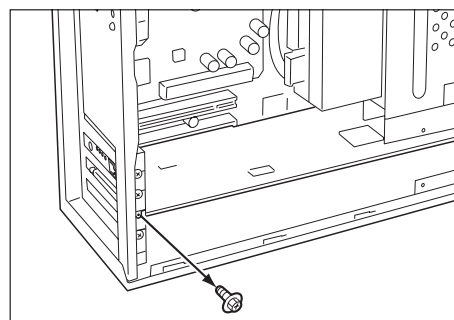
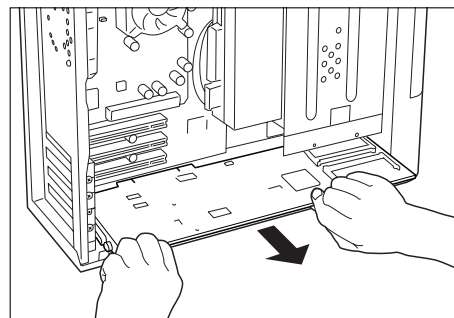
プロセッサー本体に電源コードやインターフェイスケーブルが接続されている場合は、取り外します。

**2** プロセッサー背面にある、左側面カバーを固定しているネジ（2本）を外します。

**3** 左側面カバーを、背面側にずらしてから、手前に引いて取り外します。

**4** プロセッサー内部の金属部分に手を触れて、静電気を逃がします。

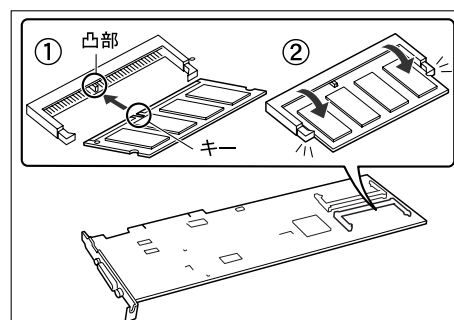
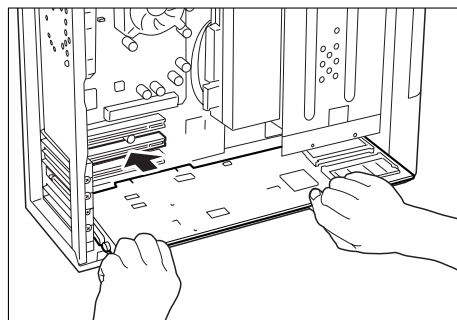
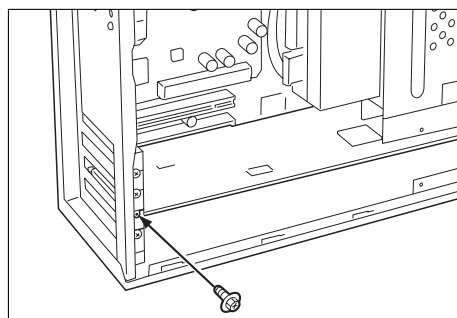
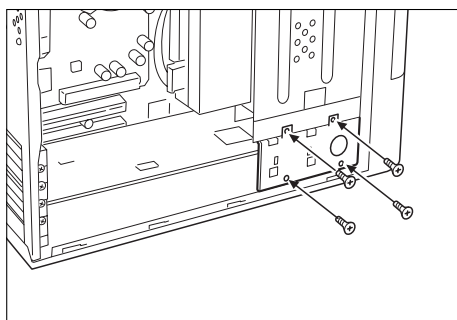
付録

**5** **図の位置にある4本のネジを取り外し、本体から、押さえ金具を取り除きます。**

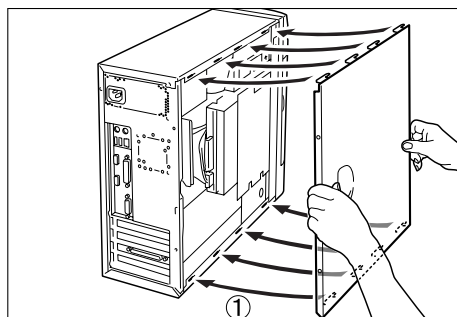
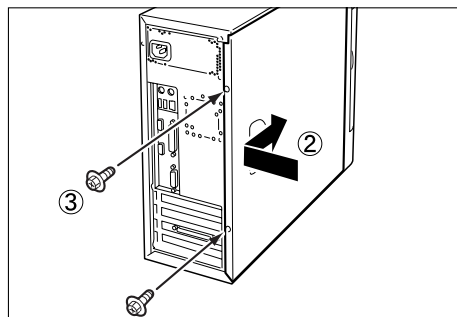
補足
作業がしにくい場合は、プロセッサーを横置きにしてください。

**6** **Print Server Seriesボードを固定しているネジを取り外します。**

**7** **Print Server Seriesボードをまっすぐ引き抜きます。**

**8** **メモリーの両端を持ち、メモリーのキーとPrint Server Seriesボード背面のSO-DIMMスロット側の凸部分を正しく合わせます（①）。**

**9** **メモリーを斜めに差し込んだあと、「カチッ」と音がするまでPrint Server Seriesボード側に倒します（②）。**

同様の手順で、2か所のSO-DIMMスロットにメモリーを取り付けてください。

注記
必ず2枚のメモリーを取り付けてください。

補足
メモリーを取り外す場合は、メモリーを固定している両端のツメを外側に開き、メモリーの両端を持ってまっすぐ引き抜いてください。

**10** **Print Server Series ボードのコネクターをマザーボード側のコネクターに合わせ、しっかり差し込みます。**

**11** **手順 6 で取り外したネジで、Print Server Series ボードを固定します。**

**12** **押さえ金具をプロセッサー本体に取り付け、手順 5 で取り外したネジ（4 本）で、押さえ金具を固定します。**

**13** **左側面カバーの上下の突起部を本体の穴に差し込んだら（①）、左側面カバーをプロセッサー前面側にずらし、しっかりとはめ込みます。（②）。**

**手順 2 で取り外したネジで、左側面カバーを固定します（③）。**

**14** **電源コード、および手順 1 で取り外したケーブルを接続します。**

**15** **プロセッサーの電源を入れ、サーバーを起動します。**

スタートアップページを印刷し、「サーバー / マシン」欄に「フレームメモリー：1024MB」と表示されていることを確認してください。

# C 画像に対する警告値とメモ書きの設定

**ドキュメントの RGB 画像、ヘアライン、およびオーバープリントに対する警告機能について、さらに詳細の項目を設定できます。**
**ServerManager を終了して、設定ファイルをメモ帳などのアプリケーションを使って開き、例としてあげた下線部のとおりに設定値を書き換えます。**

■[RGB画像警告]の設定ファイルの例

```
% RGBWarning.ps
% Version: 1.0
% CreationDate: 2000/02/23

currentglobal true setglobal

FX_dict /RGBWarning true put
FX_dict /CIEWarning true put

setglobal
```

警告する画像の種類を変更したい場合は、この部分を書き換えます。

## C.1 RGB 画像警告の設定

### RGB 画像または CIE 画像の警告

**[RGB 画像警告] で警告する RGB および CIE の画像を、どちらか 1 つだけに変更できます。**
**変更は、次のファイルで設定します。**
**D:\Fuji Xerox\Print Server Series\cpsi\Startup\RGBWarning.ps**

**例）CIE 画像の警告を行わないように設定する場合**
**変更前（デフォルト）：**
**FX_dict /CIEWarning <u>true</u> put**
**変更後：**
**FX_dict /CIEWarning <u>false</u> put**

**例）RGB 画像の警告を行わないように設定する場合**
**変更前（デフォルト）：**
**FX_dict /RGBWarning <u>true</u> put**
**変更後：**
**FX_dict /RGBWarning <u>false</u> put**

### 警告の対象になるアプリケーションの変更

**Macintosh からのプリントで、[RGB 画像警告] を有効とするアプリケーションを変更できます。また、Windows クライアントからのプリントに対して RGB 画像警告を無効にできます。変更は、次のファイルで設定します。**
**D:\Fuji Xerox\Print Server Series\cpsi\Startup\RGBWarningApplications.ps**

**例)FreeHand を追加する場合**
**変更前(デフォルト):**

```
/RGBWarningApplications  [
(QuarkXPress)
(Illustrator)
(InDesign)
(PageMaker) %% For backgroud print
] def
```

**変更後:**

```
/RGBWarningApplications  [
(QuarkXPress)
(Illustrator)
(InDesign)
(PageMaker) %% For backgroud print
(FreeHand)
] def
```

**例)Windows クライアントからの出力に対して警告機能を常に「オフ」にする場合**
**変更前(デフォルト):**

```
/RGBWarningWinUI true def
```

**変更後:**

```
/RGBWarningWinUI false def
```

補足
UNIX ワークステーションからの出力にも適用されます。

注記
**< PageMaker をお使いになる場合の注意事項>**
Macintosh の PageMaker からプリントするとき、バックグラウンドプリントの場合は、「警告の対象になるアプリケーションの変更」(/RGBWarningApplications)の設定が有効になります。フォアグラウンドプリントの場合は、「Windows クライアントからの出力に対して警告機能を「オフ」にする場合」(/RGBWarningWinUI)の設定が有効になります。

付録

# C.2　ヘアライン警告色の設定

［ヘアライン警告］で使用する警告色と幅などを、変更できます。
変更は、次のファイルに設定します。
D:\Fuji Xerox\Print Server Series\cpsi\Startup\SetHairLineWrn.ps

## コンポジットカラーモード用の設定

例）警告色と幅を、C=60%、M=70%、Y=80%、K=0%、幅 =20 ポイントに変更する場合
変更前（デフォルト）：
FX_dict /FXHairLineWrnColor [0 1 0 0] put
FX_dict /FXHairLineWrnWidth 3 put
変更後：
FX_dict /FXHairLineWrnColor [0.6 0.7 0.8 0] put
FX_dict /FXHairLineWrnWidth 20 put

## 分版合成モードおよびグレースケールモード用の設定

例）警告色と幅を、K=20%、幅 =30 ポイントに変更する場合
変更前（デフォルト）：
FX_dict /FXHairLineWrnColorGrayPrint 0.6 put
FX_dict /FXHairLineWrnWidthGrayPrint 20 put
変更後：
FX_dict /FXHairLineWrnColorGrayPrint 0.2 put
FX_dict /FXHairLineWrnWidthGrayPrint 30 put

注記
**＜分版合成モードの場合の警告色について＞**
ヘアライン警告機能は分版合成の場合にも動作しますが、警告色は次のようになります(FXHairLineWrnColorGrayPrint がデフォルトの 0.6 の場合)。

- ヘアライン警告オブジェクトが、オーバープリント指定されている場合
  そのオブジェクトの色成分 C/M/Y/K のうち、色の付いている 0%以外の成分に、FXHairLineWrnColorGrayPrint が適用された色になります。たとえば、C=60%、M=70%、Y=0%、K=0%の場合には、警告色は、C=60%、M=60%、Y=0%、K=0%になります。
- ヘアライン警告オブジェクトが、ノックアウト指定されている場合
  そのオブジェクトの色成分 C/M/Y/K のそれぞれに、FXHairLineWrnColorGrayPrint が適用された、C=60%、M=60%、Y=60%、K=60%の色になります。
- InRIP セパレーションモードの場合
  オーバープリント指定のオンオフにかかわらず、そのオブジェクトの色成分 C/M/Y/K のそれぞれに、FXHairLineWrnColorGrayPrint が適用された、C=60%、M=60%、Y=60%、K=60%の色になります。

付録

**モードと機能の組み合わせによって適用される警告色**

| | オーバープリント警告オフ | | オーバープリント警告ー警告色オン | |
|---|---|---|---|---|
| | ノックアウト | オーバープリント | ノックアウト | オーバープリント |
| コンポジットモード | ○ | ○ | ○ | ◇ |
| 分版合成モード | ■ | □ | □* | □ * |
| 分版合成モード（InRIP セパレーション） | ■ | ■ | ■* | ■ * |

適用される警告色
○：ヘアライン警告色
■：プロセス黒（C/M/Y/K それぞれに、グレースケールモード用の警告色を適用）
□： 色成分色
（C/M/Y/K のうち色の付いている 0%以外の成分に、グレースケールモード用の警告色を適用）
◇：オーバープリント警告色（線幅はヘアライン警告の幅）
* ：分版合成モードのとき、オーバープリント警告機能はオフ動作になります。

補足
［オーバープリント警告］で［抽出］が設定されている場合は、オーバープリントの抽出が優先され、ヘアライン警告は行われません。

## 白オブジェクト用の抽出の設定

### カラーモード用

**白いヘアラインオブジェクトは、そのままの色では抽出したことがわからないので、K=60%で描画するように設定されています。この色を変更できます。**
**例）警告色を、K=70%に変更する場合**
**変更前（デフォルト）：**
**FX_dict /FXOPColorForWhite [0 0 0 0.6] put**
**変更後：**
**FX_dict /FXOPColorForWhite [0 0 0 0.7] put**

### グレースケール用

**白いヘアラインオブジェクトは、そのままの色では抽出したことがわからないので、K=60%で描画するように設定されています。この色を変更できます。**
**例）警告色を、K=70%に変更する場合**
**変更前（デフォルト）：**
**FX_dict /FXHLColorForWhiteGrayPrint 0.6 put**
**変更後：**
**FX_dict /FXHLColorForWhiteGrayPrint 0.7 put**

## 幅のない直線 fill について

Illustrator や InDesign では、線のオブジェクトに対して、線の色と塗りつぶしの色を指定できます。
たとえば、直線に色を付けないで塗りつぶしの色だけを指定した場合、PostScript コードは、「1 デバイスピクセル幅で直線を描画する」という意味の、幅のない直線パス「fill」になります。このオブジェクトは、600dpi のプリンターでは、600dpi の 1 ピクセル幅 0.12pt でプリントされますが、2400dpi のイメージセッターでは、2400dpi の 1 ピクセル幅 0.03pt でプリントされるので、かすれて印刷されない場合があります。
ヘアライン警告機能は、このような「幅のない直線 fill」も警告できます。この場合、抽出と消去に関しては通常のヘアライン警告と同様ですが、警告色の場合には、デフォルトでは警告色と警告パターンで警告するように設定されています。この警告パターンを変更できます。
また、幅のない直線 fill の警告方法を警告色と警告パターンから、通常のヘアラインの警告と同様の、警告色と警告幅に変更することもできます。

例）警告パターンを三点鎖線から五点鎖線に変更する場合
変更前（デフォルト）：
FX_dict /FXHLnowidthfillWrnPattern [12 2 1 2 1 2 1 2] put
変更後：
FX_dict /FXHLnowidthfillWrnPattern [12 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 ] put

例）「幅のない直線 fill」の警告をしない場合
変更前（デフォルト）：
FX_dict /FXHLnowidthfillWrn get exec
変更後：
%FX_dict /FXHLnowidthfillWrn get exec

例）「幅のない直線 fill」の警告方法を警告色と警告幅に変更する場合
変更前（デフォルト）：
FX_dict /FXHLUSEnowidthfillWrnPattern true put
変更後：
FX_dict /FXHLUSEnowidthfillWrnPattern false put

# C.3 オーバープリント警告の設定

［オーバープリント警告］で使用する警告色などを、変更できます。
変更は、次のファイルに設定します。
D:\Fuji Xerox\Print Server Series\cpsi\Startup\SetOverPrintWrn.ps

## 白いオブジェクトも警告の対象にしたい場合

［オーバープリント警告］は、白いオブジェクトのオーバープリントやスプレッド指定のトラッピングを警告しません。これは、白いオブジェクトにオーバープリントを設定しても効果がなく、また、白いオブジェクトに対するチョーク指定のトラッピングは、背景オブジェクトを広げる効果はありますが、スプレッド指定には効果がないためです。
ドキュメントで白いオブジェクトにオーバープリントを設定すると、分版出力では影響がなく、ディスプレイおよびコンポジットプリンターの出力ではノックアウトされます。この差違が、イメージセッターなどへの分版出力のときに問題になる場合があります。
QuarkXPress では、トラップパレットのデフォルト設定を変更しない限り、白いオブジェクトにオーバープリントが設定されることはありません。また、背景にオブジェクトがある場合は、自動的にノックアウトされます。
白いオブジェクトのオーバープリントやスプレッド指定を警告の対象としたい場合は、次のとおりに変更してください。
変更前（デフォルト）：
FX_dict / IgnoreWhiteOP get exec
変更後：
%FX_dict / IgnoreWhiteOP get exec

## K オーバープリントを警告の対象からはずしたい場合

K のオーバープリントは当然なので、警告からは除外したいという場合には、次のように変更してください。
変更前（デフォルト）：
FX_dict /IgnoreWhiteOP get exec
%FX_dict /BlackOPThreshold 95 put
%FX_dict /IgnoreWhiteAndBlackOP get exec
変更後：
%FX_dict /IgnoreWhiteOP get exec
FX_dict /BlackOPThreshold 95 put
FX_dict /IgnoreWhiteAndBlackOP get exec
これで、95%以上の K のオーバープリントは、警告の対象から除外されるようになります。90%以上の K オーバープリントを警告の対象から除外したいという場合には、/BlackOPThreshold の部分の 95 を 90 に変更してください。

## コンポジットカラーモード用の設定

### 警告色の変更

［オーバープリント警告］で使用する色を、変更できます。
例）警告色を、C=70%、M=40%、Y=30%、K=20%に変更する場合
変更前（デフォルト）：
FX_dict /FXOPWrnColor [0.3 0.7 0.3 0] put
変更後：
FX_dict /FXOPWrnColor [0.7 0.4 0.3 0.2] put

### 白いオブジェクトを抽出する場合の警告色の変更

白いオーバープリントオブジェクトは、そのままの色では抽出したことがわからないので、K=20%で描画するように設定されています。
例）警告色を、C=30%、M=20%、Y=10%、K=0%に変更する場合
変更前（デフォルト）：
FX_dict /FXOPColorForWhite [0 0 0 0.7] put
変更後：
FX_dict /FXOPColorForWhite [0.3 0.2 0.1 0] put

## グレースケールモード用の設定

オーバープリント警告機能は、グレースケールモードでも動作します。グレースケールモードの場合は、カラーモードとは別に、次のように設定します。

例）警告色を、K=80%に変更する場合
変更前（デフォルト）：
FX_dict /FXOPColorGrayPrint 0.7 put
変更後：
FX_dict /FXOPColorGrayPrint 0.8 put

例）白いオブジェクトを抽出する場合の警告色を、K=80%に変更する場合
変更前（デフォルト）：
FX_dict /FXOPColorForWhiteGrayPrint 0.7 put
変更後：
FX_dict /FXOPColorForWhiteGrayPrint 0.8 put

# C.4 オーバープリント再現モードの設定

オーバープリント警告で、再現を選択した場合の動作を設定します。
変更は、次のファイルに設定します。
D:\Fuji Xerox\Print Server Series\cpsi\Startup\SetOverPrintWrn.ps

## オーバープリント再現モードで扱える特色の数

オーバープリント再現モードで、コンポジット特色補正をオンにすると、特色のオーバープリントも再現できるようになります。扱える特色の数は、デフォルトでは1ページにつき2色までです。1ページに2色を超える特色が指定された場合には、「exceed maximum number of spot color」エラーが発生します。扱える特色の数を増やしたい場合には、以下のように変更してください。

例：3色に設定する場合
変更前（デフォルト）：
2 FX_dict /SetMaxSpotColorForOP known {FX_dict /SetMaxSpotColorForOP get exec}{pop}ifelse
変更後：
3 FX_dict /SetMaxSpotColorForOP known {FX_dict /SetMaxSpotColorForOP get exec}{pop}ifelse

## QuarkXPressのトラッピングの再現について（制約）

オーバープリント再現モードでは、QuarkXPress の「文字」「ベジェ画像ボックス（V4.X）」「多角形画像ボックス（V3.3）」に対して指定したトラッピング（チョーク）は、トラッピング（スプレッド）で再現されます。（これは、オーバープリント再現モードの制限で、分版合成モードでは問題なくチョークで再現することができます。）
以下の設定を行うと、このような場合のトラッピング（チョーク）を、トラッピング（スプレッド）で再現せずに、ノックアウトで再現するように変更できます。

変更前（デフォルト）：
FX_dict /FXQXTrapChokeToSpread true put
変更後：
FX_dict /FXQXTrapChokeToSpread false put

また、以下のように設定を行うと、トラッピング（スプレッド）もトラッピング（チョーク）も共に、ノックアウトで再現するように変更することも可能です。
変更前（デフォルト）：
FX_dict /FXQXTrapSimulation true put
変更後：
FX_dict /FXQXTrapSimulation false put

なお、PageMakerからの出力には、制限なく再現することができます。

付録

# C.5 EPS（JPEGエンコーディング）画像の扱いについて

コンポジットカラージョブではカラーでプリントされる EPS（JPEG）画像ですが、イメージセッターなどへの分版ジョブでは、EPS（JPEG）画像は墨版（K）のみになってしまいます。
Print Server の分版合成モードまたはオーバープリント再現機能は、イメージセッターへの分版ジョブと同様に、EPS（JPEG）画像を墨版のみでプリントできるようになっています。
また、特定のイメージセッターでは、分版ジョブの EPS（JPEG）画像をカラーで扱うことができるものがありますが、このようなイメージセッターを想定する場合には、Print Server でもカラーで扱うように設定変更することができます。
変更は、次のファイルに設定します。
D:\Fuji Xerox\Print Server Series\cpsi\Startup\JpegEPSOpt.ps

## 分版合成モードでの EPS（JPEG）画像の取り扱い

分版合成モードで、EPS（JPEG）画像をカラーでプリントできるように変更するには、以下のように変更してください。
変更前（デフォルト）：
FX_dict /FXJpegEPSColorSeparation <u>false</u> put
変更後：
FX_dict /FXJpegEPSColorSeparation <u>true</u> put

## オーバープリント再現モードでの EPS（JPEG）画像の取り扱い

オーバープリント再現モードで、EPS（JPEG）画像をカラーでプリントできるように変更するには、以下のように変更してください。
変更前（デフォルト）：
FX_dict /FXJpegEPSColorOPPreview <u>false</u> put
変更後：
FX_dict /FXJpegEPSColorOPPreview <u>true</u> put

## InDesign1.0/2.0、Illustrator10.0 からの EPS（JPEG）画像

InDesign1.0/2.0、Illustrator10.0 の分版出力は、ほかのアプリケーションの分版出力のように EPS（JPEG）画像が墨版（K）のみとなってプリントされるのと異なり、EPS（JPEG）画像をカラーでプリントするようなコードを出力するようになっています。
したがって、分版合成モードでは、FXJpegEPSColorSeparation が false の状態でも、EPS（JPEG）画像は、カラーでプリントされます。
ただし、FXJpegEPSColorSeparation を true にしたときには、同じように EPS（JPEG）画像はカラーでプリントされますが、PrintServer の機能が使用され、4～5 倍の高速処理が行われるようになります。
オーバープリント再現モードでは、FXJpegEPSColorOPPreview の指定にしたがって、プリントされます。

### InDesign1.0/2.0、Illustrator10.0 で EPS（JPEG）にトランスファーカーブがある場合

InDesign1.0/2.0、Illustrator10.0 の分版出力は、EPS（JPEG）画像をカラーでプリントするようなコードを出力するようになっていますが、EPS（JPEG）画像にトランスファーカーブが適用されている場合は、その EPS（JPEG）画像の、C,M,Y,K すべてに、K のトランスファーカーブを適用するようなコードになっています。
Print Server の、EPS（JPEG）をカラーにする機能は、EPS（JPEG）画像の、C,M,Y,K のそれぞれには C,M,Y,K のトランスファーカーブをそれぞれ適用するようになっています。
もし、InDesign1.0/2.0、Illustrator10.0 と同様に、C,M,Y,K すべてに、K のトランスファーカーブを適用するように変更したい場合には、以下のような変更を行ってください。
変更前（デフォルト）：
FX_dict /IDTCSimulation false put
変更後：
FX_dict /IDTCSimulation true put

## C.6 メモ書きの変更

### カラーパッチの設定

［メモ書き - カラーパッチ］でプリントするパッチの内容を変更したい場合は、Illustrator などのアプリケーションで EPS ファイルを作成し、次のファイルと置き換えてください。
D:\Fuji Xerox\Print Server Series\cpsi\colorpacth.ps

### オプションメモおよびコメントの設定

［メモ書き－オプションメモ］または［メモ書き－コメント］でプリントする文字のフォントの種類や大きさを変更したい場合は、次のファイルを編集します。
D:\Fuji Xerox\Print Server Series\cpsi\Startup\memofont.ps

例）オプションメモのフォントを、10 ポイントのリュウミン L-KL に変更する場合
変更前（デフォルト）：
FX_dict /MemoOptionFont /GothicBBB-Medium-83pv-RKSJ-H put
FX_dict /MemoOptionFontSize 8 put
変更後：
FX_dict /MemoOptionFont /Ryumin-Light-83pv-RKSJ-H put
FX_dict /MemoOptionFontSize 10 put

**例）コメントのフォントを、10ポイントのリュウミンL-KLに変更する場合**
**変更前（デフォルト）：**
**FX_dict /MemoCommentFont /GothicBBB-Medium-83-pv-RKSJ-H put**
**FX_dict /MemoCommentFontSize 8 put**
**変更後：**
**FX_dict /MemoCommentFont /Ryumin-Light-83pv-RKSJ-H put**
**FX_dict /MemoCommentFontSize 10 put**

## カスタムの設定

**［メモ書き－カスタム］でプリントする内容を変更したい場合は、次のファイルを編集または交換します。**
**D:\Fuji Xerox\Print Server Series\cpsi\custommemo.ps**

**固定のカスタムメモをプリントしたい場合には、Illustratorなどのアプリケーションで EPS ファイルを作成し、custommemo.ps と置き換えてください。**

補足
デフォルトの custommemo.ps は、ジョブごとに日付と番号をプリントするもので、/GetRIPCounter と /DateTime を使ったサンプルです。
複数部のプリント出力を行い、自分と先方、あるいは複数部署で校正するような場合に、編集や修正によるバージョンの不整合が発生しないようにこの番号で確認するという、カンプ番号を想定したものです。

**また、十分に PostScript の言語知識がある場合には、custommemo.ps を元にプリントオプションなどの情報を含めたカスタムメモを、独自に編集して作成することもできます。**
**この場合に利用可能な、数値および文字列の取得方法は、次のとおりです。**

- **FX_dict /GetRIPCounter get exec （整数値）**
  RIP カウンターを取得します。この番号は、RIP 処理の度にカウントアップします。キャンセル、エラー、Windows からのフォントダウンロードなどでもカウントアップします。
- **FX_dict /DateTime get （文字列）**
  日付と時間を含む、文字列を取得します。
- **serialnumber （整数値）**
  PrintServer 固有の番号を取得します。
- **FX_dict /GetFileName get exec （文字列）**
  ジョブの、ファイル名を取得します。
- **FX_dict /GetJobName get exec （文字列）**
  ジョブの、ジョブ名を取得します。
- **/OptionDict FX_dict /GetProfileStrings get exec def**
  プリントオプションの内容を示す文字列を含む辞書を取得します。
  たとえば、各オプションの内容を含む文字列を取得する場合は、
  OptionDict /CMYKSimulation get
  と指定します。

オプションを示すキーワードは、次のいずれかです。

/RGBColorCorrect /RGBGamma /RGBWhitePoint
/RGBOutputProfile /RGBOutputIntent /CMYKSimulation
/UserCurve /SpotColorCorrect /Smoothing
/DocumentType /PrintQuality /ImageEnhancement
/AutoTrapping /2CPressSimulationC /2CPressSimulationM
/2CPressSimulationY /2CPressSimulationK

各キーで取得できる文字列の内容は、次の表を参照してください。

| プリントオプション | キー（名前型） | 文字列（文字列型） |
|---|---|---|
| RGB 色補正 | /RGBColorCorrect | () \|（する）\|（sRGB）\|RGB 色補正プロファイル |
| RGB ガンマ補正 | /RGBGamma | () \|（より明るい）\|（明るい）\|（ふつう）\|（暗い）\|（より暗い） |
| RGB ホワイトポイント | /RGBWhitePoint | () \|（やや黄色い）\|（ふつう）\|（やや青い） |
| RGB 出力プロファイル | /RGBOutputProfile | () \|RGB 出力プロファイル名 |
| RGB 出力インテント | /RGBOutputIntent | () \|（サチュレーション）\|（相対カラリメトリック）\|（絶対カラリメトリック） |
| CMYK シミュレーション | /CMYKSimulation | () \|（TypeD）\|CMYK プロファイル名 |
| ユーザー調整 | /UserCurve | () \| ユーザー調整カーブ名 |
| コンポジット特色補正 | /SpotColorCorrect | () \|（特色補正） |
| スムージング | /Smoothing | () \|（スムージング） |
| 原稿タイプ | /DocumentType | () \|（写真優先）\|（文字優先）\|（グラフ）\|（文字 / 写真（写真優先））\|（文字 / 写真（文字優先））\| |
| 画質モード | /PrintQuality | () \|（グラフィックス）\|（ドラフト） |
| Image Enhancement | /ImageEnhancement | () \|（IE オフ） |
| トラッピングの自動処理 | /AutoTrapping | () \|（トラッピングの自動処理） |
| 2 色印刷シミュレーション（シアン） | /2CPressSimulationC | () \|（C 版）\|（C 版 = 特色名） |
| 2 色印刷シミュレーション（マゼンタ） | /2CPressSimulationM | () \|（M 版）\|（M 版 = 特色名） |
| 2 色印刷シミュレーション（イエロー） | /2CPressSimulationY | () \|（Y 版）\|（Y 版 = 特色名） |
| 2 色印刷シミュレーション（ブラック） | /2CPressSimulationK | () \|（K 版）\|（K 版 = 特色名） |

**注記**
GetRIPCounter で得られるカウント値は、再インストールではリセットされません。ハードウエア交換などで特定のカウント値に設定したい場合には、次のファイルの中の数値をテキストエディターで編集してください。
C:\winnt\FXPSS_RIPSum.dat

付録

# C.7 Kオーバープリントの設定

Kオーバープリント機能は、DTPのデータ入稿確認のためではなく、Print Serverからの黒のオブジェクトの見栄えを向上させるのが主な目的です。
Kオーバープリント機能の動作の変更は、次のファイルで行います。
D:\Fuji Xerox\Print Server Series\cpsi\Startup\OverprintLimit.ps

## Kオーバープリントを開始する値

K オーバープリントのデフォルトでは、ブラック 100%（K=100%）のオブジェクトにオーバープリントがかかりますが、以下のように修正することによって、指定の K の値以上のオブジェクトにオーバープリントがかかるように変更できます。
例）K=95%以上のオブジェクトにオーバープリントがかかるようにする場合
変更前（デフォルト）：
FX_dict /OverprintLimit 1.0 put
変更後：
FX_dict /OverprintLimit 0.95 put

## Kオーバープリントの時のIE（輪郭補正）制御

通常、この設定を変更する必要はありませんが、K=100%が薄い CMYK プロファイルを選択している場合には、K=100%の文字が出力装置では K=100%ではなく薄くなるので、ぼやけて見える場合があります。また、出力装置のK=100%でないと、IE（輪郭補正）機能が働かないので、文字などをより精細にプリントすることはできなくなります。
このような場合、以下の設定によって、K=100%の文字などのオブジェクトを見栄えよくプリントすることが可能になります。プリントオプションの［Image Enhancement］を「オン」にして使用してください。
ただし、K=100%が薄い CMYK プロファイルを選択している場合には、CMYK プロファイルが適用される K=99%と、出力装置の K=100%となる K=100%との差が顕著になってしまう場合があるので、注意して使ってください。
変更前（デフォルト）：
FX_dict /OverprintIE false put
変更後：
FX_dict /OverprintIE true put

# D ディスプレイの調整

**サーバーに付属の液晶ディスプレイの調整手順と、調整できる機能について説明します。**

## 操作手順

1. **コントロールダイヤルを押します。**
   メインメニュー画面が OSD 表示されます。
2. **コントロールダイヤルを回して、カーソル（文字が赤色で表示されます）を調整する項目に合わせます。**
3. **目的の機能が選択されたら、コントロールダイヤルを押します。**
4. **サブメニューが表示された場合は、調整画面が表示されるまで、手順 2 ～ 3 を繰り返します。**
5. **コントロールダイヤルを回して、調整します。**
6. **調整が終了したら、コントロールダイヤルを押します。**
   調整した値が保存されます。
   サブメニュー画面から、メインメニュー画面に戻るには、カーソルを［Exit］に合わせ、コントロールダイヤルを押します。
7. **さらに、ほかの機能を調整する場合は、手順 2 ～ 6 を繰り返します。**
8. **設定操作を終了するときには、メインメニュー画面でカーソルを［Exit］に合わせ、コントロールダイヤルを押します。**

## 設定できる機能

メニューには、次の項目があります。

- Auto Setup　自動調整機能によって、画面を調整します。
- Brightness　画面の明るさを調整します。左右の画面の幅を調整します。
- Contrast　画面のコントラストを調整します。
- DisPlay　画面の位置を調整します。
  H-Position　左右の表示位置を調整します
  V-Position　上下の表示位置を調整します。
- Color Temp　色温度を調整します。
  「User」を選択すると、Red（赤色）、Green（緑色）、Blue（青色）の強さを調整できます。
- Clock/Phase
  Clock　画面の位置を微調整します。
  Phase　画面のちらつきやにじみを調整します。
- ManageMent
  OSD Display　OSD の表示位置（H.Position、V.Position）を調整します。
  Language　OSD の表示言語を選択します。
  Source　入力ビデオ信号を Analog または Digital に切り替えます。
  Recall　保存されたデータをすべて初期化します。

# E TCP/IP からのプリント使用制限の設定

TCP/IP（LPR）からのプリントの使用制限を設定できます。
使用制限は、次のファイルに設定します。
D:\Fuji Xerox\Print Server Series\Pref\Ip_limit.txt

ファイルの編集には、メモ帳（NotePad）を使用できます。ファイルは、テキスト形式です。

## ファイルの記述方法

ファイルの記述ルールは、次のとおりです。

- 各行１エントリとし、”＃”以降行末までをコメントとして無視します。

- エントリには、IP アドレスを使用できます。DNS を使用している場合は、DNS 名を使用することもできます。

- IP アドレス、および DNS 名の指定には、ワイルドカードとして「＊」も使用できます。
  記述例は、次のとおりです。
  129.249.24.*
  *.fujixerox.co.jp

- プリントを許可しない場合は、行の先頭に「-」を付けます。
  記述例は、次のとおりです。
  -129.249.24.20
  -hostA.fujixerox.co.jp

- 複数行を記述した場合は、先頭行から読み込んで判断します。条件が矛盾した場合、あとに書かれた行が優先されます。
  次のように記述した場合、129.249.24 ネットのコンピューターにプリントを許可していますが、そのうち 129.249.24.20 のコンピューターだけは、プリントを許可しないという設定になります。
  129.249.24. *
  -129.249.24.20
  次のように記述した場合は、1 行めで 129.249.24.20 のプリントを許可していませんが、2 行めで 129.249.24 ネットのコンピューターにプリントを許可しているので、129.249.24.20 でもプリントを許可する設定になります。
  -129.249.24.20
  129.249.24.*

- 工場出荷時のデフォルトは、次に示すように、すべてのコンピューターにプリントを許可しています。
  *. *. *. *　　# 全て許可

# F 市販フォントのインストール

**市販フォントをインストールする手順について説明します。**

補足
欧文フォントのダウンロードには、製品に同梱されている PSTool 2.0J を使用してください。

注記
- 市販フォントをインストールする場合は、まず ServerManager の［ツール］メニューから［サーバーの環境設定］を選択し、［ネットワーク］タブから AppleTalk のプリンターを作成してください。そのあと、市販フォントをインストールしてください。AppleTalk のプリンターの作成方法は、「5.2.4 AppleTalk で使用する場合」を参照してください。
- 新規にフォントをインストールし、［フォント更新］を実行したときに、PostScript エラーが発生した場合は、いったん新規に追加したフォントをアンインストールして、再度インストールしてください。
- フォントがインストールできない場合や、フォントの更新時にエラーが発生する場合は、サーバー本体上で、利用しているネットワーク環境の通信速度に合わせて、ネットワークカードの通信速度を 10Base-Half、または 100Base-Half に固定した状態でフォントをインストールしてください。

操作手順

**1 ［FX_ServerManager］ウィンドウの［ファイル］→［特別］→［フォントダウンロード開始］を選択します。**

補足
［フォントダウンロード開始］を選択すると、［フォントダウンロード終了］を選択するまで、プリント処理は行われません。

**2 セレクタ（漢字 Talk 7.6.1 以降）またはプリントセンター / プリンタ設定ユーティリティ（Mac OS X）で、フォントダウンロード用のプリンターに接続します。**

フォントダウンロード用のプリンター名は、「XXX-Font」になります。

補足
「XXX」には、AppleTalk のプリンター名が表示されます。

**3 フォントメーカーのインストール手順に従い、インストールします。**

**4 インストールが終了したら、［FX_ServerManager］ウィンドウの［ファイル］→［特別］→［フォントダウンロード終了］を選択します。**

**5 ほかにもインストールしたいフォントがあるときは、手順 1 〜 4 を繰り返します。**

フォントメーカーによっては、一度に複数の書体をインストールできる場合もあります。各フォントメーカーのインストール手順に従ってください。

**6 フォントのインストールがすべて完了したら、［ファイル］メニューから［フォントの更新］を選択します。**

フォントの更新をすることで、Macintosh からの FontQuery に応答できるようになり、インストールされているフォントを使用してプリントできます。

Windows からのプリントには影響しません。

# 代替フォントの指定

**この機能を使うと、ドキュメントで使用しているフォントがプリンターにインストールされていないときに置き換えるフォントを指定できます。**
**標準で設定されている代替フォントは、欧文が「Courier」、和文が「リュウミン L-KL」です。**

操作手順

**1** **［FX_ServerManager］ウィンドウの［ファイル］メニューから［終了］を選択します。**

ServerManager が終了します。

**2** **「D:￥Fuji Xerox\Print Server Series\cpsi\Startup」ディレクトリの SubstituteFont.ps ファイルを、メモ帳などのアプリケーションを使って開きます。**

**3** **次の箇所の（　　）内を、代替するフォント名に書き換えます。**

```
%!

currentglobal true setglobal

FX_dict /RomanSubstFont （Courier）put
FX_dict /JapaneseSubstFont （Ryumin-Light）put
```

**4** **編集したファイルを保存します。**

**5** **サーバーを再起動します。**

付録

# H　SunRaster と XWD について

SunRaster と XWD をサポートしているファイルフォーマットと、SunRaster や XWD をプリントするときの指定方法について説明します。

## ファイルフォーマットについて

SunRaster と XWD では、次のファイルフォーマットをサポートしています。

■SunRaster

Depth　：　1、8、24、32
RasType　：　RT_OLD、RT_STANDARD、RT_BYTE_ENCODED、RT_FORMAT_RGB
MapType　：　RMT_NONE、RMT_EQUAL_RGB

■XWD

File_version：　7
Byte_order と bitmap_bit_order は、同じ指定であること。
Visual_class：　PseudeColor だけサポートしています。

## SunRaster と XWD のプリント

SunRaster と XWD の場合は、指定された出力用紙の中央にイメージがプリントされます。また、イメージの縦横のサイズから、用紙の向きと合うように自動的に回転してプリントされます。
SunRaster/XWD をプリントする場合、lpr コマンドの Class オプションで次の項目を指定できます。

■用紙サイズ

各用紙サイズの指定は、次のとおりです。
◆ A4（SEF、LEF ともに）　(A4）または（a4）
◆ B4（SEF のみ）　(B4）または（b4）
◆ A3（SEF のみ）　(A3）または（a3）
◆ B5（SEF、LEF ともに）　(B5）または（b5）
◆ Letter（SEF、LEF ともに）(LETTER）または（letter）
◆ Leger（SEF のみ）　(LEGER）または（leger）
◆ OHP（手差しトレイ、A4 サイズ）(OHP）または（ohp）

出力用紙サイズの指定がない場合、サーバーの［プリントオプションの初期設定］で指定された出力用紙サイズが適用されます。
［プリントオプションの初期設定］の用紙サイズの指定が自動の場合は、データを出力するために必要な最小の用紙にプリントします。
イメージのサイズが A3 よりも大きい場合は、すべて A3 にプリントされます。
このとき、イメージを A3 サイズに収まるように縮小処理はされません。

コマンド例）

```
lpr -Pfxpss -C”(a4)”data1.xwd
```

補足

指定した用紙サイズに対して、SEF と LEF の 2 つのトレイがある場合、回転処理を必要としない用紙トレイが選択されます。また、イメージが正方形の場合は LEF 用紙が選択されます。

**■解像度**

**指定できる解像度は、50 ～ 1200dpi です。**
**50dpi 以下が指定された場合は、50dpi として扱われます。**
**1200dpi 以上が指定された場合は、1200dpi として扱われます。**
**解像度の指定がない場合、サーバーの［プリントオプションの初期設定］で指定された解像度が適用されます。**
**解像度の指定によって、イメージが拡大または縮小される場合は、最隣点法で補間されます。**
**解像度には、整数値だけを指定できます。**

コマンド例）

```
lpr  -Pfxpss  -C"(res=400)" data1.xwd
```

**■白黒反転**

**ディスプレイ上での画像を見やすくする目的で、白と黒を反転させているような場合、再反転してプリントできます。**
**白黒反転は、イメージが 1pixel8bit でカラーマップを参照している場合にだけ有効です。**

コマンド例）

```
lpr  -Pfxpss -C"(inv)" data1.xwd
```

**■複数の項目を指定する場合**

**各項目を続けて入力します。**
**項目の間にはスペースを入れません。**

コマンド例）

```
lpr  -Pfxpss -C”(res=400)(inv)”data1.xwd
```

# I 自動キャリブレーションの精度を向上させたい場合

**自動キャリブレーションでは、キャリブレーションシートをスキャンし、キャリブレーションデータを作成しています。**
**X-Rite938 濃度計をお持ちの場合は、濃度計で Gray Scale Target の正確な濃度値を測定し、サーバーに設定することによって、スキャンの精度を向上させることができます。**
**以下に手順を説明します。**
※ 「X-Rite」は、X-Rite 社の登録商標です。

操作手順

**1** **Gray Scale Target のすべてのパッチを X-Rite を使って測色します。**
**色空間に StatusA の濃度を設定して測定してください。**
**Gray Scale Target の測色の順番は、次のとおりです。**
**① Gray Scale Target のいちばん上の行(薄いグレイ)を左から順番に測色します。**
**② Gray Scale Target のいちばん下の行(濃いグレイ)を左から順番に測色します。**
**③ Gray Scale Target の真ん中の行を左から順番に測色します。**
**32 色、すべてのパッチを測色してください。**

注記
Gray Scale Target を扱うときには、それぞれ端を手で持ち、表面を汚さないようにしてください。

**2** **「D:¥Fuji Xerox\Print Server Series\etc」ディレクトリの targetdataT.txt ファイルを開きます。**

**3** **測定した結果の数値を、targetdataT.txt に書き込みます。**
数値を書き込むときには、小数第 4 位を四捨五入し、小数点以下 3 桁のデータとして書き込んでください。
なお詳細は、targetdataT.txt 内の説明をお読みください。

**4** **targetdataT.txt の最後にある測色器名の設定を、「X-Rite」に変更します。**

**■変更前**
```
GSTCMeterName=CMTool         #  CMTool  |  X-Rite
```
**■変更後**
```
GSTCMeterName=X-Rite         #  CMTool  |  X-Rite
```

**5** **編集した targetdataT.txt ファイルを保存します。**

**以上で操作は終了です。**

# J リカバリー CD-ROM の使い方

リカバリー CD-ROM は、何らかの障害によって、ハードディスクの内容が壊れてしまった場合や、システムが正常に動作しなくなってしまった場合に、システムを復元するために使用します。リカバリー CD-ROM を使用して、システムを再セットアップすると、ハードディスク内の内容が工場出荷時の状態に戻ります。
以下に、リカバリー CD-ROM の使い方を説明します。

## ■再セットアップが必要な場合とは

次のような場合、リカバリー CD-ROM を使用してください。

- ハードディスク内のシステムファイルを削除してしまった
- C ドライブを初期化してしまった
- 電源を入れても、OS が起動しない

## ■再セットアップの種類

リカバリー CD-ROM による再セットアップには、次の 2 種類があります。

- ハードディスク全体を修復する
- システム起動領域（C ドライブ）だけを修復する

## ■操作の前に

- 本機を購入後に保存、設定した内容はすべて消去されます。可能であれば、次のファイルをあらかじめバックアップしてください。
  ①フォント
  ②設定情報（[ツール] メニューで設定した環境設定などの情報、キャリブレーションデータと割り当て情報、各種カラープロファイルデータと割り当て情報）

参照
「5.3.4 設定情報のバックアップ」、「5.4.2 フォント情報の確認とバックアップ」

- オプションの HDD を取り付けている場合は、ディスク内のデータを誤って消去する事故を防止するために、プロセッサー本体と切り離してください。
  プロセッサーの左側面カバーを外して、HDD の電源コネクターから電源ケーブルを外してください。
  また、USB ポートなどに周辺装置を接続している場合は、取り外してください。

参照
「B.3 ハードディスクの取り付け」

操作手順

## 1 リカバリー CD-ROM（Disk1）を、サーバーの CD-ROM ドライブにセットし、リブートします。

注記

- リカバリー CD-ROM は Disk1 と Disk2 があります。必ず Disk1 をセットしてください。
- プロセッサーの障害状況によっては、電源スイッチを押しても電源が切れない場合があります。その場合は、電源スイッチを約 4 秒以上押し続けてください。強制的に電源を切ることができます。

リカバリー方法を選択する画面が表示されます。

```
◆標準 HDD 全体を修復する場合は A を、
◆システム起動領域（C: ドライブ）のみを修復する場合は C を押してください。
◆作業を中止する場合は X を押してください。

リカバリー方法を選択してください。（A（推奨）/C/X）
```

## 2 リカバリー方法を選択します。「A」または「C」を入力後は、処理の中断はできません。

「A」または「C」を入力すると、レストア処理が開始されます。

## 3 「A」を入力した場合は、次の CD-ROM の挿入を促すダイアログボックスが表示されるので、リカバリー CD-ROM（Disk2）を挿入して、[OK] をクリックします。

## 4 レストアが完了したことを示すメッセージが表示されたら、CD-ROM を取り出してプロセッサーの電源を切り、再度電源を入れてください。

Windows 2000 Professional セットアップの［プロダクトキー］ダイアログボックスが表示されます。

## 5 プロセッサー本体の上部に貼られているシールに記載されている Product Key を入力し、[次へ] をクリックします。

自動セットアップが開始され、終了すると、自動的に再起動されます。

**以上で、リカバリー CD-ROM による再セットアップは完了です。**

## ■操作のあとに

**再セットアップ後は、工場出荷時の状態に戻っています。**
**再セットアップ前と同じ状態でサーバーを使用するためには、続けて次の作業を行ってください。**

- **必要に応じて、Windows Update などを利用し、OS の更新をします。**
- **オプションの HDD を使用する場合は、外した電源ケーブルを接続します。**
- **オプションの Gigabit Ether カードを使用している場合は、ドライバーを再インストールする必要があります。**

参照
「B.2 Gigabit Ether カードの取り付け」

- **サーバーのネットワーク環境の設定、およびバックアップデータの復元作業を行います。**

参照
「第 5 章　ネットワーク設定と　サーバーの管理（管理者向け）」

# K プリントオプションについて

Mac OS、Windows NT 4.0、および PageMaker では、以下のプリントオプションに制限があります。

- ［TIFF ファイルで保存］を指定する場合の解像度は、［72dpi］または［600dpi］を選択してください。
- ［ヘアライン警告］で指定できる［警告幅］は、[0.03pt]、[0.06pt]、[0.09pt]、[0.12pt] のどれかになります。
- ［差込印刷］で指定できる［フォーム番号］は、［フォーム 1 ～ 16］のどれかになります。
- ［差込印刷］で指定できる［登録フォーム番号］は、［フォーム 1 ～ 16］のどれかになります。
- ［差込印刷］では、登録フォーム名の入力はできません。
- ［メモ書き］では、［コメント］機能を使用できません。
- ［2 色印刷シミュレーション］機能は指定できません。
- ［ユーザ名］、［アカウント］、［コメント］、［セキュリティプリント］機能は指定できません。

# L eye-one_Reader について

**測色器として、GretagMacbeth 社の「i1」を使用した場合のパッチの測色方法について説明します。**
**測色したデータは、Print Server Series の［CMYK プロファイル］で使用できます。**
**測色には、eye-one_Reader というアプリケーションを使用します。**
**eye-one_Reader は、USB 接続可能な Windows コンピュータまたは、Mac OS 9 以降および Mac OS X v10.2.6 以降の Macintosh 上で動作します。**

## eye-one_Reader のインストール

**eye-one_Reader のインストール手順について説明します。**

操作手順

**1** **本機に同梱されているアプリケーション CD-ROM を CD ドライブに挿入します。**

**2** **CD-ROM の中身を表示します。**

eye-one_Reader は、以下のディレクトリに格納されています。

- **Windows の場合 :** **x:\Client\eye-one Reader**
- **Macintosh の場合 :** **/Client/eye-one Reader**

補足

x は CD ドライブに割り当てられている、ドライブ名です。

**3** **eye-one_Reader が格納されているディレクトリをディレクトリごと、任意のディレクトリにコピーします。**

補足

Mac OS 9 で使用する場合は、「for Mac OS 9（機能拡張へ）」フォルダ内の「Eye-One USB Driver」をシステムフォルダの機能拡張へコピーし、Macintosh を再起動してください。」

## eye-one_Reader による測色

**eye-one_Reader を使用した、パッチの測色手順について説明します。**
**測色に使用するパッチのパターン画像セットは、次の 2 種類があり、それぞれ画像ファイルを用意しています。用途や使用条件に応じて選択して下さい。**

- **PrintServer Series 1188 Chart**
  **1188 色のパターン画像セットで、Print Server Series の［CMYK プロファイル］で使用する場合に使用します。画像ファイルは、Print Server Series 本体の以下のディレクトリにあります。**
  **・D:\Fuji Xerox\Print Server Series\bin\CMYKProfiler**
  **ファイル名は、CMYK_eye-one_1.eps、CMYK_eye-one_2.eps、CMYK_eye-one_3.eps です。**

- **PrintServer Series DPCG835 Chart**
  **1188 色のパターン画像セットで、Print Server Series の［CMYK プロファイル］で使用する場合に使用します。画像ファイルは、Print Server Series 本体の以下のディレクトリにあります。**
  **・D:\Fuji Xerox\Print Server Series\bin\CMYKProfiler**
  **ファイル名は、DPCG835_eye-one_1.eps、DPCG835_eye-one_2.eps、DPCG835_eye-one_3.eps です。**

**ここでは、コンピュータで i1 が使える環境があることを前提に、Windows を例に説明します。**

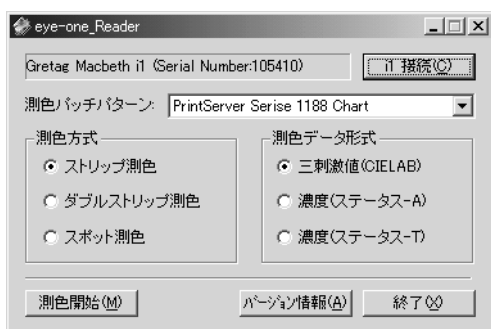
補足
i1 のドライバーインストールについては、i1 付属のマニュアルを参照して下さい。

### 操作手順

**1 コンピュータを起動し、i1 を接続します。**

**2 コピーした eye-One Reader のディレクトリを開きます。**

**3 eye-one_Reader.exe（Macintosh の場合は、eye-one_Reader）をダブルクリックします。**

eye-one_Reader が起動します。

**4 測色パッチパターンを選択します。**

**測色パッチパターンは、次の 3 つから選択します。測色するパッチに合わせて選択して下さい。**

- **指定なし**
- **PrintServer Series 1188 Chart**
- **PrintServer Series DPCG835 Chart**

補足
［指定なし］は単純にパッチを測色する場合に選択します。測色したデータは、Print Server Series の［CMYK プロファイル］では使用できません。

## 5 測色方式を選択します。

**測色方式は、次の 3 つから選択します。**

- **ストリップ測色**
  **横一列のパッチを、i1 に付属しているルーラーを使って、測色器を横にスライドさせて測色します。右端のパッチまでスライドさせたら、横一列の測色は終了です。**
- **ダブルストリップ測色**
  **横一列のパッチを、i1 に付属しているルーラーを使って、測色器を横にスライドさせて測色します。右端のパッチまでスライドさせたら、左端のパッチまで測色器を再度スライドさせて測色します。往復で測色し、その平均値を測色値として使うため、ストリップ測色より精度が向上します。**
- **スポット測色**
  **パッチを一つずつ測色します。**

補足

測色方式には、「ストリップ測色」または「ダブルストリップ測色」を推奨します。

## 6 測色データ形式を選択します。

**測色データ形式は、次の 3 つから選択します。**

- **三刺激値（CIELAB）**
- **濃度（ステータス -A）**
- **濃度（ステータス -T）**

**Print Server Series の［CMYK プロファイル］で使用する場合は、必ず［三刺激値（CIELAB）］を選択して下さい。**

## 7 ［測色開始］をクリックします。

パッチを測色するダイアログボックスが表示されます。

付録

## 8 測色器をキャリブレーションします。

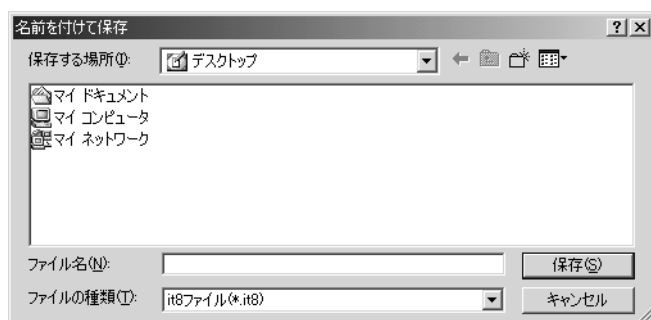
i1 に付属の白色版に、i1 をセットし、i1 のボタンを押して下さい。
キャリブレーションが終了すると、ビープ音がなります。

## 9 パッチを測色します。

ダイアログウィンドウの上部に表示されるメッセージにしたがって、パッチを測色して下さい。測色時の裏写りを防ぐため、測色対象と同じ用紙を数枚下に敷いて測色してください。
測色した結果はダイアログボックスに表示されます。

| Index | Name | L* | a* | b* |
|---|---|---|---|---|
| 6 | "1F" | 16.915 | -1.862 | 3.487 |
| 7 | "1G" | 67.917 | 6.320 | -5.894 |
| 8 | "1H" | 49.994 | -35.159 | -33.467 |
| 9 | "1I" | 89.069 | -0.673 | 4.378 |
| 10 | "1J" | 69.130 | -5.242 | 67.623 |
| 11 | "1K" | 50.329 | -32.822 | 13.594 |
| 12 | "1L" | 20.133 | -14.869 | 8.922 |
| 13 | "1M" | 32.436 | -11.282 | -10.621 |
| 14 | "1N" | 31.444 | 36.975 | 26.067 |
| 15 | "1O" | 14.262 | 0.277 | 2.541 |
| 16 | "1P" | 15.475 | -3.504 | 3.565 |
| 17 | "1Q" | 67.830 | -8.976 | -9.375 |
| 18 | "1R" | 14.298 | 8.349 | 2.864 |
| 19 | "1S" | 18.777 | 10.878 | -30.147 |
| 20 | "1T" | 43.463 | -36.360 | -17.428 |
| 21 | "1U" | 14.939 | 4.314 | 0.413 |
| 22 | "1V" | 68.647 | 15.679 | -14.033 |

**パッチの測色に失敗した場合、ダイアログウィンドウの上部にメッセージが表示されます。再度測色を実行して下さい。**

## 10 すべてのパッチの測色が終了すると、測色結果を保存するダイアログボックスが表示されます。

## 11 ファイル名を指定して、[保存]をクリックします。

# M カスタムサイズの用紙へのプリント

**Macintosh の PageMaker、QuarkXPress などから、カスタムサイズの用紙にプリントするには、PPD ファイルを編集する必要があります。**
**その他のアプリケーションでは、セレクタで PageMaker 用の PPD を選択すれば、AdobePS の「用紙設定＞カスタムページ設定」でもカスタムサイズの指定が可能です。**
**PPD ファイルの編集手順は以下のとおりです。**

注記
編集した PPD ファイルを使ってプリントした場合に、うまくプリントできなかったり、プリンタードライバーの画面が正しく表示されなかった場合は、PPD ファイルを再インストールしてください。

補足
PageMaker 用 PPD を使用すると、プリント時にカスタム UI を表示できないため、指定可能なプリントオプションに制限があります。

## 操作手順

### 1 定義するカスタム用紙サイズの単位をポイントに変換します。

1mm は、0.3528 ポイントになります。以下に例を示します。

定義できる用紙のサイズは、縦は 90.00 ～ 330.20mm（xxx ～ xxx ポイント）、横は 139.70 ～ 457.20mm（xxx ～ xxx ポイント）です。

**■199 × 229mm の場合**

199 ÷ 0.3528 ＝ 564 ポイント

229 ÷ 0.3528 ＝ 649 ポイント

### 2 SimpleText などのアプリケーションで PPD ファイルを開き、下線の太字部分を編集します。

```
      :
*DefaultPageSize: A4L
*PageSize Custom1: "
%FX_PrintOption: PageSize
<</PageSize ［564 649］/ImageBBox null>> setpagedevice
"
*End
      :
*DefaultPageRegion: A4L
*PageRegion Custom1: "
%FX_PrintOption: PageRegion
<</PageSize ［564 649］/ImageBBox null>> setpagedevice
"
*End
      :
*DefaultImageableArea: A4L
*ImageableArea Custom1: "11.40 11.40 552.6 637.6"
      :
*DefaultPaperDimension: A4L
*PaperDimension Custom1: "564 649"
      :
```

■Custom1

ここには、任意の文字列を入力します。ここで指定した文字列が、プリンタードライバーの用紙設定に表示されます。

■ImageableArea

ここには印刷可能な範囲を設定します。本機では、用紙の端から 11.4 ポイントは印字不可能領域になります。そのため、用紙サイズから、11.4 ポイント引いた値をここで定義します。

■PaperDimension

ここには、用紙サイズを設定します。ここで設定する用紙サイズは、手順 1 で計算したポイント単位で指定します。

# N セキュリティに関する設定

**セキュリティに関する設定について説明します。**

## N.1 Administrator のパスワードについて

**Administrator ユーザーにパスワードを設定しなかったり、簡単なパスワードを設定している場合､コンピュータウィルスなどに簡単に感染する恐れがあります。本機は初期状態で自動ログイン機能が有効になっています。**

補足

工場出荷時の Asministrator のパスワードは「printserver_v5.1」に設定されています。

### 自動ログイン機能の解除

**自動ログイン機能を解除するには、以下の手順で設定します。**

操作手順

**1 タスクバーの［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］を選択します。**

［コントロールパネル］ウィンドウが表示されます。

**2 ［ユーザーとパスワード］をダブルクリックします。**

［ユーザーとパスワード］ダイアログボックスが表示されます。

**3 ［このコンピュータを使うには、ユーザー名とパスワードを入力する必要があります］チェックボックスをチェックして、［OK］をクリックします。**

### Administrator のパスワード変更

**Administrator のパスワードは、以下の手順で変更できます。**

操作手順

**1 <Ctrl> キーと <Alt> キーを同時に押しながら､<Delete> キーを押します。**

［Windows のセキュリティ］ウィンドウが表示されます。

**2 ［パスワードの変更］をクリックします。**

［パスワードの変更］ダイアログボックスが表示されます。

**3** **[古いパスワード]に現在のパスワードを入力し、[新しいパスワード]と[新しいパスワードの確認入力]に新しいパスワードを入力して、[OK]をクリックします。**

**パスワード変更について詳しくは、Windows 2000 のオンラインヘルプを参照して下さい。Windows 2000 のオンラインヘルプは、タスクバーの[スタート]をクリックして表示される[ヘルプ]を選択すると表示されます。**

## N.2 TIFF フォルダーの共有について

**本機には、プリントオプションに[TIFF ファイルに保存]を指定すると、プリントイメージを TIFF データとして保存する機能があります。**
**作成された TIFF データを Windows のクライアントコンピュータから取得する場合、TIFF ファイルが格納されているフォルダー(初期状態では、D:\Fuji Xerox\Print Server Series\Work\tiff です)に Microsoft ネットワーク共有機能を設定する必要があります。**
**Microsoft ネットワーク共有機能を使用した場合、適正なアクセス権とパスワードを設定しないとコンピュータウィルスに感染する恐れがあります。**

補足

Windows のクライアントコンピュータからの TIFF データの取得については、「4.1.1 TIFF データの取得(Windows の場合)」を参照してください。

**共有設定は、以下の手順で設定します。**

操作手順

**1** **TIFF ファイルが格納されているフォルダー(初期状態は、D:\Fuji Xerox\Print Server Series\Work\tiff です)をマウスで右クリックして表示されるメニューで「共有」を選択します。**

[tiff のプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

**2** **[このフォルダを共有する]を選択し、アクセス権の設定をします。**

**3** **[OK]をクリックします。**

**アクセス権の設定など、詳細な共有機能の設定方法については、Windows 2000 のオンラインヘルプを参照して下さい。Windows 2000 のオンラインヘルプは、タスクバーの[スタート]をクリックして表示される[ヘルプ]を選択すると表示されます。**

## N.3　FTP の匿名アクセスについて

**FTP で匿名アクセスを許可していると、コンピュータウィルスに感染する恐れがあります。**
**そのため、本機では FTP の匿名アクセスを許可しない設定にしてあります。**
**FTP に匿名アクセスを許可する場合は、インターネットサービスマネージャに設定をする必要があります。**

補足
FTP プリントについては、「3.8 FTP を使ってプリントする」を参照してください。

**匿名アクセスの許可は、以下の手順で設定します。**

操作手順

**1　タスクバーの［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］を選択します。**

［コントロールパネル］ウィンドウが表示されます。

**2　［管理ツール］をダブルクリックします。**

**3　［インターネット サービス マネージャ］をダブルクリックします。**

［インターネットインフォメーションサービス］ウィンドウが表示されます。

**4　ウィンドウ左側の［*fxserver］を選択します。**

補足
「fxserver」は初期状態のコンピュータ名です。名称を変更している場合は、変更後のコンピュータ名が表示されます。

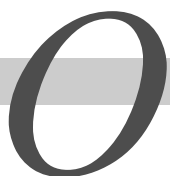
**5　［既定の FTP サイト］を選択し、［操作］メニューの［プロパティ］を選択します。**

［既定の FTP サイトのプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

**6　［セキュリティ・アカウント］タブを選択します。**

**7　［匿名接続を許可する］チェックボックスをオンにして、［OK］をクリックします。**

**8　［インターネット サービス マネージャ］を終了します。**

**詳細なインターネットサービスマネージャの設定方法については、Windows 2000 のオンラインヘルプを参照して下さい。Windows 2000 のオンラインヘルプは、タスクバーのスタートをクリックして表示される「ヘルプ」を選択すると表示されます。**

# O 用語集

Print Server Series に関連する用語には、印刷用語をはじめ編集用語や DTP 用語など、多岐に渡ります。サーバーの機能を理解し、本文を読み進むうえでの参考にしてください。

**CIEbased［シー・アイ・イー・ベースド］**
CIE は、commission Internationale de l'Eclariage の略で、国際照明委員会のこと。
CIE が発表しているデバイスに依存しないカラーモデルをもとに、色再現することをいいます。

**GCR［ジー・シー・アール］**
Gray-Component Replacement の略。
カラー画像のグレーの部分から CMY の成分を取り除き、K の濃淡に置き換えることをいいます。
画像を変換するときに、GCR の値を調整できるアプリケーションもあります。
→ UCR

**ICC プロファイル［アイ・シー・シー -］**
International Color Consortium の略。
各デバイスの色再現に関する情報を記述したファイルのことをいいます。

**IE［アイ・イー］**
Image Enhancement の略。文字の輪郭などをくっきり見せることをいいます。

**IT8［アイ・ティー・エイト］**
デバイスのキャリブレーションを行うための標準チャートのことをいいます。

**PPD［ピー・ピー・ディー］**
PostScript Printer Description File の略。
ポストスクリプトプリンターの設定情報を記述したファイルのことをいいます。

**RIP［リップ］**
Raster Image Processer の略。
ポストスクリプトデータをビットマップに展開することをいいます。

**TWAIN［トゥエイン］**
スキャナーソフトが、Photoshop など、ほかのアプリケーションに対応するための規格の名称です。

**UCR［ユー・シー・アール］**
Under Color Removal の略。
カラー画像の黒色の部分から CMY の成分を取り除き、K の濃淡に置き換えることをいいます。
RGB モードから CMYK モードに画像を変換するときに、UCR の値を調整できるアプリケーションもあります。
→ GCR

**網点［あみてん］**
印刷で色の濃淡が置き換えられる大小の点のことで、ハーフトーンともいいます。

**色分版［いろぶんぱん］**
RGB 画像を、プロセス印刷で使用する 4 色のインキに対応した CMYK の画像に分けることをいいます。

**オーバープリント**
オブジェクト同士が重なり合う場合に、
上下の色を重ねて印刷することをいいます。印刷のずれで白地がでることを防ぎます。
ブラックの文字は、すべてオーバープリントするようにデフォルト設定されているアプリケーションもあります。
→抜き合わせ

**ガンマ補正［- ほせい］**
感光材の感光特性を表わすカーブのことをガンマといい、デバイスのガンマ値に応じた最適のカーブに補正することを、ガンマ補正といいます。
Print Server Series や Photoshop は、画像のガンマ補正をしてコントラストや明暗を調整できます。

**キャリブレーション**
色の経時変化を補正して、機器の色再現性を標準状態に維持することをいいます。

**スクリーン線数［- せんすう］**
画像を出力するときに使われる、網点の列または線の数をいいます。
出力解像度とスクリーン線数の組み合わせで、画像のきめ細かさが変化します。
フィルム出力で使うスクリーン線数は、イメージセッターの解像度や印刷方法、および用紙によって異なります。

**墨版保持［すみはんほじ］**
CMYK データをプリントする場合に、色再現で重要な役割を持つ K（墨）版の情報を保持するしくみのことをいいます。

**特色［とくしょく］**
あらかじめ色を混ぜ合わせた、さまざまな色のインキのことです。
特色インキは、会社のロゴなど、色を正確に再現しなければならないときに使われます。
→プロセスカラー

**抜き合わせ［ぬきあわせ］**
オブジェクト同士が重なり合う場合に、
下になる色を、上の形で白く抜くことで、ノックアウトともいいます。
半透明の印刷インキを使うときに、色が重なって別の色になることを防ぎます。
→オーバープリント

**のど**
プリントされる部分と、本の背になる部分との間の空間をいいます。

**プリフライト**
ドキュメントが正しく出力されるかどうかをチェックすることをいいます。

**プロセスカラー**
CMYK の網点を重ね合わせて、さまざまな色を擬似的に再現する半透明のインキのことです。
スポットカラーともいいます。
→特色

**プロファイル**
デバイスごとのカラー属性を定義したファイルのことをいいます。

**分版出力［ぶんぱんしゅつりょく］**
印刷に使用するインキごとに、色の要素を分けてフィルムに出力します。
プロセスカラー印刷の場合は、各ページが CMYK の 4 枚のフィルムになります。

**ヘアライン**
小さな文字や極細線のことをいいます。

**ホワイトポイント**
画像内のもっとも明るい位置のことで、
白点ともいいます。

**連続階調［れんぞくかいちょう］**
写真のように、色と色がなめらかに変化していることをいいます。

# 索　引

## 記号・英数

## ア



## カ

## サ

## タ

## ナ



## ハ

## マ



## ヤ



## ラ

# マニュアルコメント用紙

**本書をより使いやすいものとするために、皆様からの貴重なご意見（説明不足、間違い、誤字、誤植、ご要望など）をお待ちいたしております。ご記入に際しましては、マニュアルに関することのみ具体的にご指摘くださるようお願いいたします。**

| マニュアルの名称 | DocuPrint CG835 取扱説明書（サーバー編） | | 管理 No | DE3067J1-4 |
|---|---|---|---|---|
| ご芳名 | | 貴社名 | | |
| 所属部門 | | 電話番号 | ［内線］ | |
| 所在地 | | | | |

| ページ | 行 | 内容へのご指摘／ご要望 |
|---|---|---|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

| 富士ゼロックス記入欄 | | |
|---|---|---|
| 記事 | 受付 No. | 受付担当印 |
| | | |

1 版

［切り取り線］

[ 折り込み線 ]

# 富士ゼロックス（株）社内メール扱い

［送付先］
HID 開発部
マニュアルグループ 行

担当社員

事業部 営業所 課 係

氏名

[ 折り込み線 ]

[ 切り取り線 ]

- ご記入くださいましたら点線の部分で折り込みホチキスなどでとめたうえ、お買い求めの販売店にお渡しください。
- このままで郵便物として投函なさらないようにご注意ください。

DocuPrint CG835 取扱説明書（サーバー編）

著作者 ― 富士ゼロックス株式会社
発行者 ― 富士ゼロックスプリンティングシステムズ株式会社

発行年月― 2005 年　1 月　　第 1 版

(帳票 No:DE3067J1-4)
Printed in Japan

● この商品の**保守（修理）、操作**のお問い合わせ、および**消耗品**のご購入については、
商品に貼られている**保守サポートの問い合わせ先シール**のあて先にお問い合わせください。

商品に問い合わせ先シールが貼られていない場合は、富士ゼロックスプリンティングシステムズプリンターサポートデスクにお問い合わせください。( 各アプリケーションの操作につきましては、各ソフトウェアメーカーの問い合わせ窓口にお問い合わせください。)

フリーダイヤル　フジゼロックス
**0120-66-2209**　FAX : 03-3342-1552

フリーダイヤル受付時間：土曜、日曜、祝日を除く 9 時～ 12 時、13 時～ 17 時 30 分、東京でお受けします。
ただし、通話地域制限がある内線電話機、および携帯電話機からはご使用になれません。全国通話ができる電話機をご使用ください。
表記の窓口は日本国内のお客様に限らせていただきます。

● 富士ゼロックス、および富士ゼロックスプリンティングシステムズに対するご意見、ご相談などは、お客様相談センターにご連絡ください。

フリーダイヤル
**0120-27-4100** フリーダイヤル受付時間：土曜、日曜、祝日を除く 9 時～ 12 時、13 時～ 17 時、東京でお受けします。ただし、通話地域制限がある内線電話機、および携帯電話機からはご利用になれません。全国通話ができる電話機をご使用ください。

● インターネットホームページで富士ゼロックスプリンティングシステムズの商品全般に関する情報、最新ソフトウェア等を提供しています。

**http://www.fxpsc.co.jp**

この取扱説明書は、リサイクルに配慮して製本されています。不要となった際には回収、リサイクルに出しましょう。
この説明書は再生紙を使用しております。

2005 年　1月　1版　　部番： 892E86553　　帳票番号：DE3067J1-4